

公第9卷 (通算第20卷)

公益財団法人  
日本生命濟生會

日本生命  
病院年報

公第9卷  
(通算第20卷)  
(2020年4月～2021年3月)



公益財団法人日本生命濟生會  
**日本生命病院年報**  
2020年4月～2021年3月

vol. 9

## 2020年度

# 日本生命病院年報の発刊にあたって



院長 立花 功

笠山宗正前院長の後任として2021年4月より日本生命病院院長を務めております。どうぞよろしくお願ひ申し上げます。当院年報(公第9巻:2020年4月~2021年3月)をお届けしますのでご高覧下さい。

2020年度は新型コロナウイルス感染症が世界中の医療体制を揺るがした1年でした。公益財団法人として、また地域医療支援病院として、当院は使命感をもってその診療に取り組みました。入院診療では、陰圧室を活用、患者数の増加時にはコロナ専用病棟を稼働し、大阪府からの要請に可能なかぎり対応して患者を受け入れました。また外来においても4月より、発熱・呼吸器症状患者をトリアージする外来体制を整備し診療にあたりました。感染対策については、できるだけ濃厚接触者を出さないよう職員に指示、医療用防護具がひっ迫する局面もありましたが多方面から供給や寄付を頂き、1年間を乗り切ることができました。

通常診療においては、4月にジャパンインターナショナルホスピタルズ(JIH)推奨病院として認定され、外国人受診者受け入れ体制を整えました。また救急診療科・救急診療センターを救急総合診療科・救急総合診療センターへ改組し、walk-in初診から2次救急まで、守備範囲の広いプライマリ・ケアができる体制としました。脳機能センターはニッセイ予防医学センターと連携し、アミロイドPETを用いた高精度の認知症早期診断への取り組みを開始しました。

9月13日には笠山院長(当時)が会長、日本生命病院が事務局を務め第13回日本医療マネジメント学会を開催、医療関係者を中心に約600名が参加しました。当院より、医療の質向上を目的とした34演題の発表を行いました。

大阪府下に初回の緊急事態宣言が発出された4、5月は入院、外来患者数が大きく減少しましたが、6月以降は急速に回復し前年に近い水準となりました。ニッセイ予防医学センターもドックと健診を一時休止しましたが、6月以降受け入れを再開しました。コロナ診療と通常診療、バランスをとりながら両立できた1年でありましたが、これも地域の医療機関、住民の皆さまのご理解・ご支援があってこそと思います。日本生命済生会の理念である「済生利民(人の生活といのちを救い、人のお役に立つこと)」を実践するために、今後もたゆまず最優の医療サービス提供に努めてまいります。引き続きご指導、ご鞭撻のほどよろしくお願ひ申し上げます。

# 目 次

2020年度日本生命病院年報の発刊にあたって 院長 立花 功

## 第I章 軌跡

1. 日本生命病院理念と基本方針	4
2. 患者さんの権利と義務について	4
3. 施設概要	6
4. 学会認定状況	8
5. 主要医療機器	9
6. 日本生命済生会 組織図	10
7. 会議・委員会	11
8. 2020年度 業績概要	12
9. 日本生命済生会（日本生命病院）の沿革	13
10. 日本生命済生会歴代会長、歴代理事長、日本生命病院歴代院長	16

## 第II章 病院統計

1. 全体統計	17
1) 一日平均外来患者数	17
2) 一日平均入院患者数	18
3) 患者年齢・診療圏構成	19
4) 病床稼働率	21
5) 救急患者数	22
6) 退院患者医療評価指標	23
①退院患者統計	23
②診療科別・月別・患者数	24
③診療科別・在院期間別・患者数	25
④疾病統計	26
⑤悪性新生物統計	28
⑥診療科別・月別・死亡（剖検）患者数	29
7) 手術件数	30
①診療科別・月別手術件数（手術室実施）	30
②診療科別・年間手術件数（総件数の内、上位のみ）	31
2. 医事統計	34
1) 診療科別医療収入	34
2) 医療行為別医療収入	36
①外来	36
②入院	37
3. その他統計	38
1) 病院従業員数	38
2) セカンドオピニオン外来件数	38

## 第III章 部門別概要〈診療科・センター・部(室)〉

循環器内科	39
消化器内科	41
総合内科	43
血液・化学療法内科	46
脳神経内科	48
腎臓内科	50
消化器外科	52
呼吸器外科	54
乳腺外科	55
心臓血管外科	56

産婦人科	57
小児科	59
神経科・精神科	61
脳神経外科	64
整形外科	65
皮膚科	66
泌尿器科	68
眼科	70
耳鼻咽喉・頭頸部外科	71
形成再建外科	73
放射線診断・IVR科	74
放射線治療科	75
麻酔・緩和医療科	76
リハビリテーション科	78
救急総合診療科	79
検査診断科	80
病理診断科	81
救急総合診療センター	82
がん治療センター	83
女性骨盤底センター	84
糖尿病・内分泌センター	85
消化器内視鏡センター	87
血液浄化センター	88
脳機能センター	89
乾癬センター	90
臨床研修部	92
輸血管理室	93
化学療法室	94
リハビリテーション室	95
中央手術管理部	98
中央臨床検査部	99
中央放射線部	102
栄養管理室	103
薬剤部	106
臨床工学室	108
臨床研究管理室	109
医療安全対策室	110
感染対策室	111
あったかサポートセンター	113
ニッセイ訪問看護ステーション	121
ニッセイケアプランセンター	123
看護部	124
国際室	132
ニッセイ予防医学センター	134

#### 第IV章 諸活動

1. 日本生命病院医学セミナーUpdate	136
2. 1年目研修医オリエンテーション	137
3. 実習生等受け入れ	138
4. 講演会・研修会	139
5. 日本生命病院医学賞・医学奨励賞	143
6. 地域活動	143
7. ボランティアについて	144
8. 広報関係（テレビ、新聞、雑誌等）	145
9. 院内行事	146

## 1. 日本生命病院理念と基本方針

### 理念

日本生命病院は公益財団法人日本生命済生会の基本理念である「濟生利民」の精神にもとづき、地域に対し、予防・治療・在宅まで一貫した総合的な医療サービスを提供します。

### 基本方針

1. 患者さんの立場に立った最良の医療サービスを提供します。
2. 常に安全な医療とまごころの看護を実践します。
3. 人権の尊重、プライバシーの保護、並びに法令等の遵守に努めます。
4. 日々研鑽に努め、より信頼される医療人を目指します。
5. 地域・社会のニーズに対応した変革を進め、地域医療と地域社会の健全な発展に貢献します。
6. 地域から愛され信頼される、安全・安心な病院を目指します。
7. 上記6項目を継続して実現するため、健全な経営を行います。

## 2. 患者さんの権利と義務について

### 《患者さんの権利》

医療は患者さんと医療関係者とが相互の信頼関係に基づき、協力し合って作り上げていくものです。日本生命病院では、患者さん中心の医療サービスの実践を常に心がけ、以下の患者さんの権利を大切にします。

1. 患者さんは、良質な医療を平等に受けることができます。
2. 患者さんは、自分が受ける治療や検査に関して、効果や危険性、他の治療方法の有無などにつき、わかりやすく説明を受けることができます。
3. 患者さんは、十分な説明と情報提供を受けたうえで治療方針など自らの意思で選択することができます。また希望しない医療を拒むことや自分で医療機関を選択し、転院することもできます。
4. 患者さんは、自分が受けている医療について知ることができます。
5. 患者さんは、個人として常にその人格を尊重され、また個人情報も自分の承諾なくして第三者に開示されることはありません。

## 《患者さんの義務》

日本生命病院では、ご来院・ご入院されるすべての患者さんに対し、安全・安心な環境において、良質な医療サービスを提供します。患者さんにおかれましても、病院の規則を守り、職員や他の人々に迷惑をかけない責務や自分自身の健康に関する情報を正確に提供する責務がありますので、ご理解とご協力をお願いいたします。

1. 患者さんには、自らの過去の病歴を含む健康に関する詳細な情報、診療中の変化を正確に伝える義務があります。
2. 患者さんには、治療や検査などの治療方針について、医療者から説明があった場合は、できるだけ明確な意思表示をする義務があります。
3. 患者さんには、医療が安全かつ効果的に実施されるよう、患者さんのご本人確認を含めた診療行為に積極的に参加し、協力する義務があります。
4. 患者さんには、病院内では、当院の規則および公共の場のルールを守って他の方の迷惑にならないよう行動する義務があります。
5. 患者さんには、医療費を支払う義務があります。
6. 患者さんには、医療は医学、社会、経済、倫理等の様々な要因により限界があることを認識する義務があります。

2019年4月 制定

### 3. 施設概要

1. 名称 公益財団法人日本生命済生会 日本生命病院
2. 所在地 大阪府大阪市西区江之子島2丁目1番54号
3. 竣工年月日 2018年1月5日  
工事期間 2015年10月～2017年12月
4. 開設年月日 2018年4月30日
5. 構造 鉄骨造（免震構造）
6. 延床面積 38,185.66㎡
7. 階数 地下1階、地上14階、塔屋2階
8. 高さ 67.99m
9. 設備概要 受変電：22kV特高スポットネットワーク受電（TR1.250kVA×3台）  
発電機：非常用発電機（ガスタービン）高圧 1,500kVA  
常用発電機（マイクロCGS）低圧 31kVA×10台  
無停電電源：医療用100kVA、情報用100kVA  
通信・信号：ナースコール、インターホン、テレビ共同受信、監視カメラ、入退室管理、  
電話、LAN  
熱源方式：ジェネリンク機、モジュールチラー、マイクロコージェネ  
空調方式：空調機、ファンコイル、空冷パッケージエアコン、（放射空調）  
給湯設備：ガス給湯ヒーター、ガス連結式瞬間型給湯器、貯湯式電気温水器  
消火設備：スプリンクラー、連結送水管、泡消火、窒素ガス消火、フード消火  
医療ガス：酸素、笑気、窒素、炭酸ガス、圧縮空気、吸引  
エレベータ：一般乗用5台、寝台用1台、人荷用2台、非常用2台、小荷物専用3台  
エスカレータ：6台
10. 許可病床数 350床

	14階 (1,604㎡)
	13階 (1,604㎡)
	12階 (1,604㎡)
一般病棟	11階 (1,604㎡)
	10階 (1,604㎡)
	9階 (1,611㎡)
	8階 (1,601㎡)
女性病棟 (LDR室、新生児室)	7階 (1,859㎡)
リハビリ庭園	リハビリテーション室／機械室／栄養管理室／厨房 6階 (2,419㎡)
	管理部門／医局／研修医スペース／看護部管理室／福祉事業局／医療安全対策室／ 感染対策室／診療情報管理室／情報システム室／国際室／技術トレーニング室／会議室／応接室 5階 (3,577㎡)
	手術室／集中治療室／化学療法室／血液浄化センター／ 中央臨床検査部 (検体・病理・細菌検査)／薬剤部／臨床工学室 4階 (3,577㎡)
	予防医学センター (人間ドック・健診)／消化器内視鏡センター／ 中央放射線部／臨床研究管理室 3階 (3,577㎡)
	外来／生理検査室／採血室／栄養指導室／医事サービス部／ あったかサポートセンター／がん治療センター／糖尿病・内分泌センター／乾癬センター 2階 (3,769㎡)
ニッセイ四季彩ガーデン	救急総合診療センター／リニアック治療室／訪問看護ステーション／ あったかふれあいホール／工房／コリドー／レストラン・カフェ／コンビニ 1階 (3,534㎡)
	駐車場 B1階 (3,811㎡)

- ・第8回みどりのまちづくり賞ランドスケープデザイン部門「大阪府知事賞」(最高賞) 受賞
- ・第39回大阪都市景観建築賞 (愛称: 大阪まちなみ賞)「緑化賞」 受賞



ニッセイ四季彩ガーデン



病院外観



コリドー

## 4. 学会認定状況

- ・日本内科学会認定医制度教育病院
- ・日本循環器学会専門医研修施設
- ・日本高血圧学会専門医認定施設
- ・日本心血管インターベンション治療学会研修関連施設
- ・日本消化器病学会認定施設
- ・日本臨床腫瘍学会認定研修施設
- ・日本肝臓学会認定施設
- ・日本膵臓学会認定指導施設
- ・日本消化器内視鏡学会指導施設
- ・日本超音波医学会専門医制度研修施設
- ・日本胆道学会指導施設
- ・日本内分泌学会認定教育施設
- ・日本糖尿病学会認定教育施設
- ・日本呼吸器学会認定施設
- ・日本呼吸器内視鏡学会認定施設
- ・日本リウマチ学会教育施設
- ・日本アレルギー学会専門医準教育施設
- ・日本血液学会血液研修施設
- ・日本神経学会専門医制度准教育施設
- ・日本腎臓学会研修施設
- ・日本透析医学会認定医制度認定施設
- ・日本外科学会専門医制度修練施設
- ・日本消化器外科学会専門医修練施設
- ・日本大腸肛門病学会認定施設
- ・日本消化管学会胃腸科指導施設
- ・日本臨床栄養代謝学会NST稼働施設
- ・日本呼吸器外科学会専門研修連携施設
- ・日本乳癌学会認定施設
- ・下肢静脈瘤血管内焼灼術実施・管理委員会  
下肢静脈瘤に対する血管内焼灼術の実施基準による  
実施施設
- ・四学会構成浅大腿動脈ステントグラフト実施基準  
管理委員会 浅大腿動脈ステントグラフト実施施設
- ・日本ステントグラフト実施基準管理委員会  
腹部ステントグラフト実施施設
- ・日本脈管学会認定研修関連施設
- ・日本産科婦人科学会専攻医指導施設
- ・日本産科婦人科内視鏡学会認定研修施設
- ・日本婦人科腫瘍学会専門医制度指定修練施設
- ・婦人科領域のロボット支援下腹腔鏡手術の関する  
委員会 ロボット支援下婦人科良性疾患手術実施施設
- ・日本精神神経学会専門医制度研修施設
- ・日本総合病院精神医学会  
一般病院連携精神医学専門医特定研修施設
- ・日本整形外科学会専門医制度研修施設
- ・日本皮膚科学会専門医研修施設
- ・日本泌尿器科学会専門医教育施設
- ・日本眼科学会専門医制度研修施設
- ・日本形成外科学会専門医制度認定施設
- ・日本乳房オンコプラスチックサージャリー学会  
エキスパンダー実施施設
- ・日本乳房オンコプラスチックサージャリー学会  
インプラント実施施設
- ・日本耳鼻咽喉科学会専門医研修施設
- ・日本医学放射線学会専門医修練機関
- ・日本IVR学会専門医修練施設
- ・日本麻酔科学会認定病院
- ・日本ペインクリニック学会指定研修施設
- ・日本病理学会登録施設
- ・日本臨床細胞学会認定施設
- ・日本がん治療認定医機構認定研修施設
- ・日本造血細胞移植学会  
非血縁者間造血細胞移植認定施設（診療科）
- ・日本脊椎脊髄病学会椎間板酵素注入療法実施可能施設
- ・卒後臨床研修評価機構（JCEP）認定施設
- ・日本インターナショナルホスピタルズ

（2021年4月1日現在）

## 5. 主要医療機器 (取得金額1,000万円以上)

品名	設置部署	数量	品名	設置部署	数量
超音波内視鏡	消化器内視鏡センター	1	マンモグラフィシステム AMULET	中央放射線部	2
超音波内視鏡観測装置	消化器内視鏡センター	1	自動注射払出機 YS-APF	薬剤部	1
超音波診断装置 Aplio i600	予防医学センター	4	超音波診断装置 VIVID E9 BASIC	中央臨床検査部	1
内視鏡本体・スコープ EVIS LUCERA ELITE	消化器内視鏡センター	6	超音波診断装置 Aplio i600	中央臨床検査部	1
内視鏡本体・スコープ VP-7000	消化器内視鏡センター	1	超音波診断装置 超音波診断措置 ARIETTA850	中央臨床検査部	1
ステレオ定位乳腺バイオプシーシステム	乳腺外科	1	血液検査分析器 HSトランスポートーション	中央臨床検査部	1
体外衝撃波結石破砕装置 Integra	泌尿器科	1	血液分析装置 XN-3000/XN-1000	中央臨床検査部	1
マルチカラーレーザー光凝固装置	眼科	1	生化学分析装置 LABOSPECT008 a	中央臨床検査部	2
走査型超広角眼底撮影装置 CLARUS	眼科	1	微生物分類同定分析装置 バイテックMS	中央臨床検査部	1
光干渉断層計 (OCT) シラスhd-oct prus	眼科	2	遠心型血液成分分離装置 スペクトラオプティア	中央臨床検査部	1
キャビン型紫外線治療器 UV7002K-TL01	皮膚科	1	自動染色装置 ベンチマークULTRA	中央臨床検査部	1
X線一般撮影装置	中央放射線部・ 予防医学センター	4	自動検体搬送装置 IDS-CLAS+X-1	中央臨床検査部	1
デジタルX線TVシステム	予防医学センター	5	採血管準備装置 BC・ROBO8001RFID/P62T	中央臨床検査部	1
ポータブル撮影装置	中央放射線部	2	眼科用手術顕微鏡	手術室	1
16列治療計画用CT Aquilion LB	中央放射線部	1	白内障手術装置 センチュリオンビジョンシステム	手術室	1
320列全身用X線CT診断装置 Aquilion ONE	中央放射線部	1	高圧蒸気滅菌器	手術室	2
320列全身用X線CT診断装置 Aquilion ONE/Genesis	中央放射線部	1	過酸化水素ガス滅菌装置	手術室	1
放射線治療システム True Beam	中央放射線部	1	耳鼻咽喉・頭頸部外科用手術顕微鏡 M525 F40	手術室	1
大動脈内バルーンポンプ IABP	中央放射線部	1	手術顕微鏡 OPMI LUMERA	手術室	1
X線テレビジョンシステム ZEXIRA	中央放射線部	1	手術室用FD搭載Cアーム Cios Alpha iV	手術室	1
経皮の心肺補助装置 PCPS	中央放射線部	1	透視下内視鏡用Cアーム VersiFlex VISTA	手術室	1
1.5テスラ全身用磁気共鳴装置 (MRI) MAGNETOM SYMPHONY	中央放射線部	1	ライカ脳神経外科手術顕微鏡 M530-OHX	手術室	1
3.0テスラ磁気共鳴断層装置 (MRI) MAGNETOM Skyra	中央放射線部	1	超音波手術装置 CUSA C37-1005	手術室	1
デジタルガンマカメラ	中央放射線部	1	超音波診断装置 Aplio i600	手術室	1
PET-CT装置 Discovery IQ.e	中央放射線部	1	ロボット手術システム da Vinci Xi	手術室	1
心臓用アンギオグラフィ装置 Allura Clarity FD10/10	中央放射線部	1	腹腔鏡装置 VISERA ELITE II	手術室	6
汎用アンギオグラフィ装置 Allura Clarity FD20	中央放射線部	1			



## 7. 会議・委員会

### 会 議

#### ・常勤理事会

理事長所管の下、常勤の理事以上がメンバーとなり、原則として毎週開催し、済生会3部門（病院、予防医学センター、訪問看護ステーション・ケアプランセンター）の基本的運営方針を協議決定する。

この他、会長や外部の理事、監事を交えた定時理事会がある。

・予算理事会 → 3月

・決算理事会 → 事業年度終了後3ヵ月以内に開催される

また評議員会が6月に開催される。

#### ・病院運営会議

理事長の委嘱により院長が主宰し、病院幹部をメンバーとして毎週開催され、日常的な病院運営のテーマについて討議・決定する。

ただし、予算・人員・規則の問題などに関しては、常勤理事会に付議する。

#### ・病院管理診療会議

院長を中心に、病院各科・各部の部長・担当部長、病棟師長以上等をメンバーとし、診療や病院運営に関する事項について協議、意見交換、連絡を行う。

（運営会議、病院管理診療会議ともそれぞれが独立して存在するのではなく、所定の内規の下に、課題を共有し改善を分担してより良く病院機能が発揮されることを基本的精神としている。）

### 委員会

各種委員会は、理事長または理事長の委嘱を受けた院長の諮問機関として、検討結果を理事会・病院運営会議に答申している。

当年度の設置委員会は次の通り。

委員会名	委員長	開催回数	委員会名	委員長	開催回数
ACLS委員会	中川 厚	9	診療録管理委員会	橋本奈美子	14
安全衛生委員会	芳川 浩男	12	治験審査委員会	水野 均	12
医療安全管理委員会	岸 正司	12	DPC・質向上委員会	田村 和義	4
医療ガス安全管理委員会	小泉 敏三	1	当直・救急・集中治療室検討委員会	岸 正司	6
医療機器・ディスポ検討委員会	笠山 宗正	6	透析機器安全管理委員会	宇津 貴	2
医療従事者業務検討委員会	笠山 宗正	2	日生医学賞顕彰委員会	岡部 太一	1
院内感染対策委員会	西垣 敏紀	12	年報作成委員会	花田 留美	2
栄養・給食委員会	宇津 貴	6	病院機能向上委員会	東山 眞里	16
化学療法運営委員会	西田 幸弘	2	防災管理委員会	有坂 好史	4
教育委員会	立花 功	4	放射線安全委員会	丸岡真太郎	1
クリティカルパス委員会	福井 辰成	4	訪問看護運営委員会	高鳥 郁子	1
研修推進委員会	宇都 佳彦	3	薬事管理委員会	笠山 宗正	4
研修管理委員会	笠山 宗正	4	輸血療法委員会	川上 学	7
情報管理委員会	毛利 年一	3	臨床検査適正化委員会	内藤 博昭	4
褥瘡対策委員会	宮崎 裕子	3	臨床工学室運営委員会	宇津 貴	7
診療情報提供委員会	高橋 励	0	倫理委員会	水野 均	11

## 8. 2020年度 業績概要

総収入	12,501百万円 (10,873百万円*)		
新入院患者数	9,015人	平均在院日数	10.7日
入院患者数(1日平均)	289人	入院単価	67,342円
病床稼働率	82.6%		
外来延患者数	232,260人	外来単価	17,046円
外来患者数(1日平均)	948人		
紹介率	80.9%	逆紹介率	109.4%

\* ( )内は病院単独

## 9. 日本生命済生会（日本生命病院）の沿革

1924年7月		財団法人「日本生命済生会」設立	1972	4	臨床研修指定病院の認定を受ける
1925	4	健康相談所（無料診療所）を開設 大地震に救護班派遣	1973	2	「日生病院医学雑誌」第1巻第1号を刊行
1930	6	緒方病院の土地、建物を譲り受け （大阪市西区新町）	1973	3	紀要「地域福祉研究」第1集刊
1931	6	日生病院（内科、外科、理学的診療科） 開院	1973	4	放射線学会「専門医修練機関」認定
1932	4	看護婦養成所を設立	1973	9	病歴図書部を新設
1932	7	産婦人科、小児科を新設	1973	10	超音波検査部「超音波カラー診断装置」 開発で機械振興会賞を受賞
1942	1	耳鼻咽喉科を新設	1974	7	創立50周年記念式典、50年史の編纂 （1979年発刊）
1947	1	眼科新設（その後皮膚泌尿器科、歯科、 整形外科新設）	1976	1	RI検査室を新設
1947	4	インターン制度の開始 （第1期生9名受入れ）	1978	3	「（新）病院建築基本構想委員会」設置
1948	9	健康保険、労災保険病院の指定を受ける	1978	4	学校、高等看護学院から看護専門学校へ 昇格
1949	7	結核病棟を設置（1973年8月、閉鎖）	1979	4	医療事務をコンピュータ化
1955	12	第二種社会福祉事業（無料低額診療）を 開始	1982	4	新病院（現在地）の竣工、開院
1956	1	日生病院、本館、別館につづき新館竣工 （350床へ）	1983	3	日本生命と第一回特別委員会 （5カ年計画策定）
1956	6	健康精密検査室（人間ドック）を開設	1984	3	全科で午後外来診療を開始
1957	8	総合病院の認可を受ける	1984	4	社会事業局を福祉事業部に改組
1958	4	済生会組織、三部門体制へ （現行体制スタート）	1985	4	病理部を再設置
1958	10	甲表採用、三基準認可	1987	12	HBS社（医療経営コンサルト）の診断を 受ける
1959	10	神経科新設	1988	10	横井先生、第5回世界超音波医学学術連合 会議からパイオニア賞を受賞
1960	4	学校、准看護学院から高等看護学院 （正看護婦養成）へ	1989	2	夕食を午後6時配膳
1961	6	日本生命済生会労働組合の結成	1989	10	専門外来（10科）開始
1965	8	各診療科に部長制採用	1989	11	自動再診受付機を設置
1967	10	中央検査室を「臨床検査センター」へ 拡大、充実	1990	10	学校、創立30周年記念式典
1968	8	第1回「社会福祉カウンセリング講座」 開講	1991	4	4週6休体制試行開始
1969	4	沖中重雄氏（虎の門病院長）を顧問委嘱	1991	10	地域の「健康講座」に講師派遣
1970	9	第1回「篤志解剖者慰霊祭」執行	1992	6	外科、世界内視鏡外科学会で受賞
1971	4	給与体系、退職金規定改正、 60才定年制施行	1993	2	「病院運営会議」を再開
			1993	4	MRIの稼働開始
			1993	6	全病棟「特Ⅲ類基準看護」の資格獲得
			1993	10	内科、産婦人科、人間ドックの外来領域 リフォーム工事完成

1994	3	内科外来等で予約診療開始	2005	3	電子カルテシステム稼動
1994	7	創立70周年記念式典、諸行事实施 (7~11月)、70年史の編纂開始	2006	4	血液・化学療法内科新設
1994	10	脳ドック検診開始	2006	7	DPC導入(入院医療費)
1994	10	新看護体系「2:1(A)」の承認	2007	2	土曜日閉院 4週8休制開始
1994	11	無菌治療室設置、使用開始	2007	3	7対1入院基本料算定開始
1995	2	保温保冷配膳車導入	2007	3	日生看護専門学校閉校
1995	8	日生医学賞・医学奨励賞創設、 第1回表彰式実施	2007	11	がん治療センター、低侵襲医療センター 開設
1995	8	山本前院長、和漢医薬学会から学会賞受賞	2008	4	ニッセイ総合健診クリニックオープン
1996	5	総合案内・看護相談の試行実施	2008	7	生活習慣病センター開設
1996	10	「歯科口腔外科」標榜	2008	10	乳腺外科新設
1997	2	経営改善推進本部・部会の発足	2009	3	第1回日生病院市民公開講座開催
1997	3	歯科臨床教育病院の新規指定	2009	4	大阪府がん診療拠点病院に指定
1997	3	疾病分類包括支払研究プロジェクト (医療経済研究機構)に選ばれ、参加 (全国17モデル病院)	2010	8	無料乳がん検診開始
1998	2	「日生病院だより」創刊号発行	2011	4	消化器内視鏡センター開設
1998	5	総合診療科機能発足	2012	1	厚生労働省より先進医療「腹腔鏡下子宮体 がん根治手術」(産婦人科)が承認される
1998	7・8	DRG/PPS分析結果報告会開催	2012	4	公益財団法人へ移行
1998	11	院外処方箋発行開始	2012	4	地域医療総合窓口 あったかサポートセンター創設
1998	11	薬剤管理指導料全科算定認可	2012	4	生活習慣病センターから糖尿病センターへ 組織名称変更
1999	3	医療材料院外SPD(物品管理システム) 始動	2012	4	厚生労働省より先進医療「前眼部三次元画 像解析」(眼科)が承認される
1999	7	インフラ工事開始 (2000年4月:3階新病棟オープン)	2012	8	320列マルチスライスCT導入
2000	3	日生訪問看護ステーションを開設	2013	4	新病院新設準備室の新設
2000	4	日生ケアプランセンター設置	2013	4	予防医学センターで「統合健診システム」 の稼働
2001	4	病院機能評価認定証取得	2013	5	厚生労働省より先進医療「腹腔鏡下仙骨隆 固定術」(産婦人科)が承認される
2001	4	「日生病院の理念」制定、 「患者様の権利」院内掲示	2013	12	ニッセイ緑の財団との共催イベント「自然 に学ぶ!自然に遊ぶ!健康キッズ」開催
2001	6	公開学術講演会開催 (講師:北村国立循環器病センター総長)	2014	1	広報誌「日生病院あったかサポート通信 『Saisei Rimin(済生利民)』」を発刊
2001	7	第1回日生病院病診連携フォーラム開催	2014	1	「金融コンシェルジュ」相談窓口開設
2002	1	開放型病院資格取得	2014	4	「変革4ヵ年計画」がスタート
2003	4	医療安全対策室設置	2014	4	病院業務改革推進本部、外来・病床運営管 理部、女性骨盤底センター、救急診療セン ター、中央放射線部、事務管理部の新設
2003	4	予防医学センター設置	2014	4	日本産科婦人科内視鏡学会 施設認定
2004	2	内科二次救急指定病院取得			

2014	5	新電子カルテシステムが全面稼働	2016	12	新病院上棟式
2014	7	日本生命済生会 創立90周年「90年小史」作成	2017	3	日本胆道学会 施設認定
2014	9	「ウィークエンド糖尿病精査入院」開始	2017	4	形成再建外科、リハビリテーション科、心臓血管外科、放射線治療科を新設
2015	1	日本呼吸器内視鏡学会 施設認定	2017	4	日本腎臓学会 施設認定
2015	4	中央手術管理部の新設	2017	5	日本婦人科腫瘍学会 施設認定
2015	6	胃がんのESD（内視鏡的粘膜下層剥離術）を再開	2018	1	日本呼吸器外科学会 施設認定
2015	7	新病院開設許可受ける	2018	2	「地域医療支援病院」として大阪府より承認
2015	9	休日診療の試験実施（9月23日、11月23日）	2018	4	日本ペインクリニック学会 施設認定
2015	10	新病院着工	2018	4	「日本生命病院」に改称し、江之子島へ移転・開院
2015	11	食道がんのESD(内視鏡的粘膜下層剥離術)を再開	2018	6	ダヴィンチによる手術開始
2016	1	呼吸器外科新設	2018	10	みどりのまちづくり賞・大阪府知事賞を受賞
2016	3	日本産科婦人科学会の倫理委員会で承認された、不妊治療の臨床研究に係る卵巣ミトコンドリア採取手術を開始	2018	11	神経内科を脳神経内科に改組
2016	4	耳鼻咽喉科を耳鼻咽喉・頭頸部外科に改組	2018	12	「スマートフォン診察呼出アプリ」の運用開始
2016	4	内科統括・外科統括職制の新設	2019	1	日本降臓学会 施設認定
2016	6	日本総合病院精神医学会 施設認定	2019	4	乾癬センターの新設、総合入院体制加算の算定開始、日本超音波医学会施設認定
2016	7	腎臓・透析センター、腎臓内科を新設	2019	5	大阪府「外国人患者受入地域拠点医療機関」に選定される
2016	7	「入退院支援センター」をあったかサポートセンター内に設置	2019	10	国際室の新設
2016	10	日本大腸肛門病学会 施設認定	2020	1	「帰国者・接触者外来」の設置
2016	11	日本消化管学会 施設認定	2020	3	JCEPの臨床研修評価を受審し認定を受ける

### (2020年度沿革)

2020年4月1日	救急総合診療科を改組新設、集中治療室8床全床稼働開始
2020年4月8日	予防医学センターにおける人間ドック・各種健診を一時休止（～5/31）
2020年4月16日	「ジャパン インターナショナル ホスピタルズ」の認証を受ける
2020年6月1日	認知症ケア加算1算定開始
2020年7月1日	栄養サポート加算算定開始、アミロイドPET検査開始、「糖尿病予防プログラム」の有償サービス開始
2020年7月6日	日本造血細胞移植学会 施設認定
2020年8月1日	看護職員夜間配置加算12対1算定開始
2020年12月1日	勤務管理システムを導入し紙管理から電子管理に移行
2020年12月6日	10階病棟を新型コロナウイルス感染症専用として運用開始（～3/16）
2021年3月7日	「大阪市西区消防記念日表彰」（救急業務運営協力医療機関）を受ける

## 10. 日本生命済生会歴代会長、歴代理事長、日本生命病院歴代院長

設立時の常任理事	小河 滋次郎	1924年～1925年
日本生命済生会 会 長	弘世 現	1960年～1991年
	川瀬 源太郎	1991年～2000年
	小林 幹司	2000年～2005年
	宇野 郁夫	2005年～2016年
	岡本 圀衛	2016年～
日本生命済生会 理 事 長	手塚 太郎	1925年～1932年
	弘世 助太郎	1932年～1936年
	成瀬 達	1936年～1951年
	弘世 現	1951年～1960年
	若林 源蔵	1960年～1968年
	浜田 勝巳	1968年～1980年
	浅井 啓三	1980年～1986年
	鳥井 静夫	1986年～1992年
	弟子丸 兆生	1992年～1994年
	平島 一	1994年～1996年
	沼田 輝夫	1996年～2002年
	小林 三紘	2002年～2008年
	野崎 篤彦	2008年～2018年
	三木 章平	2018年～
	日本生命病院 院 長	長雄 勝馬
清水 寛一		1937年～1946年
勝部 育郎		1946年～1948年
新海 輝一		1948年～1971年
諏訪 信吾		1971年～1974年
上野 元男		1974年、1976年～1977年
乾 久朗		1974年～1976年
中井 俊夫		1977年～1990年
山本 昌弘		1990年～2000年
佐藤 文三		2000年～2004年
宗田 滋夫		2004年～2008年
寺川 直樹		2008年～2013年
笠山 宗正		2013年～2021年
立花 功		2021年～



会長 岡本 圀衛



理事長 三木 章平



院長 立花 功

## 1. 全体統計

## 1 一日平均外来患者数

	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	累計平均
循環器内科	45 (55)	47 (56)	45 (52)	48 (50)	51 (50)	50 (50)	49 (54)	54 (51)	49 (54)	52 (51)	53 (51)	51 (48)	49 (52)
消化器内科	62 (81)	64 (80)	68 (80)	72 (77)	67 (80)	76 (81)	75 (80)	78 (81)	80 (85)	79 (83)	74 (79)	69 (79)	72 (80)
総合内科	158 (192)	159 (186)	165 (181)	171 (182)	171 (183)	178 (183)	174 (191)	177 (193)	178 (198)	174 (201)	178 (197)	168 (184)	171 (189)
血液・化学療法内科	27 (30)	27 (32)	29 (31)	31 (32)	31 (29)	33 (31)	30 (31)	36 (32)	33 (33)	32 (32)	35 (31)	31 (28)	31 (31)
脳神経内科	27 (29)	22 (28)	27 (27)	29 (28)	26 (26)	28 (27)	30 (29)	28 (27)	29 (33)	29 (29)	28 (29)	28 (29)	28 (28)
腎臓内科	20 (22)	20 (22)	21 (21)	21 (22)	23 (23)	23 (21)	22 (25)	23 (22)	23 (24)	24 (23)	23 (24)	22 (22)	22 (23)
内科(計)	339 (409)	339 (402)	354 (392)	372 (391)	369 (392)	387 (394)	380 (410)	397 (406)	392 (426)	390 (420)	390 (411)	369 (391)	373 (404)
消化器外科	17 (19)	19 (19)	17 (20)	20 (19)	18 (20)	20 (21)	19 (19)	24 (20)	20 (20)	20 (20)	21 (20)	22 (20)	20 (20)
呼吸器外科	2 (3)	2 (2)	2 (2)	3 (3)	3 (2)	3 (2)	3 (2)	2 (2)	2 (2)	3 (2)	3 (2)	3 (1)	3 (2)
乳腺外科	15 (19)	14 (17)	16 (19)	16 (17)	15 (15)	19 (19)	17 (17)	19 (19)	20 (19)	18 (19)	20 (17)	18 (16)	17 (18)
心臓血管外科	3 (4)	4 (3)	4 (4)	5 (4)	4 (4)	5 (4)	4 (4)	4 (4)	4 (4)	5 (4)	4 (4)	4 (3)	4 (4)
外科(計)	37 (44)	35 (41)	39 (45)	43 (46)	39 (41)	47 (47)	43 (42)	48 (44)	47 (45)	45 (45)	47 (43)	46 (41)	43 (44)
産婦人科	70 (88)	74 (92)	77 (92)	84 (90)	79 (89)	85 (88)	84 (89)	88 (89)	88 (90)	86 (89)	88 (84)	85 (86)	82 (89)
小児科	13 (38)	15 (37)	15 (42)	19 (37)	21 (31)	21 (40)	20 (31)	23 (25)	23 (27)	23 (25)	24 (26)	28 (23)	21 (32)
神経科・精神科	54 (61)	56 (63)	53 (59)	65 (61)	59 (62)	63 (60)	59 (61)	61 (61)	58 (66)	59 (65)	63 (61)	60 (56)	59 (61)
脳神経外科	4 (4)	4 (4)	3 (5)	4 (5)	4 (4)	5 (4)	4 (5)	4 (5)	4 (4)	4 (5)	4 (4)	5 (4)	4 (4)
整形外科	38 (55)	44 (58)	48 (57)	47 (50)	44 (49)	48 (56)	47 (53)	47 (53)	49 (55)	49 (53)	50 (49)	49 (48)	47 (53)
皮膚科	72 (86)	80 (91)	81 (83)	92 (87)	90 (83)	96 (84)	91 (89)	94 (83)	90 (85)	94 (88)	96 (87)	93 (81)	89 (86)
泌尿器科	41 (48)	42 (49)	41 (46)	43 (45)	41 (46)	43 (48)	46 (49)	45 (48)	50 (47)	47 (51)	47 (48)	45 (47)	44 (48)
眼科	38 (46)	41 (45)	47 (46)	47 (45)	46 (47)	50 (46)	47 (50)	50 (50)	48 (48)	48 (48)	50 (51)	48 (46)	47 (47)
耳鼻咽喉・頭頸部外科	33 (52)	36 (46)	40 (49)	47 (44)	35 (43)	45 (47)	42 (46)	46 (50)	42 (50)	34 (49)	37 (48)	35 (47)	39 (48)
形成再建外科	7 (12)	8 (10)	11 (12)	11 (13)	10 (13)	10 (14)	11 (11)	9 (10)	9 (13)	9 (13)	11 (12)	10 (10)	10 (12)
放射線診断・IVR科	3 (5)	3 (5)	3 (6)	4 (7)	5 (4)	5 (5)	4 (5)	5 (5)	4 (5)	4 (3)	5 (4)	5 (3)	4 (5)
放射線治療科	10 (12)	12 (10)	13 (11)	10 (9)	12 (10)	10 (9)	9 (11)	11 (15)	13 (10)	10 (8)	10 (14)	12 (13)	11 (11)
麻酔・緩和医療科	14 (19)	15 (18)	17 (20)	19 (21)	19 (19)	20 (18)	20 (19)	20 (20)	16 (20)	18 (18)	15 (21)	17 (19)	18 (19)
リハビリテーション科	14 (15)	14 (14)	17 (14)	15 (17)	14 (14)	14 (15)	15 (17)	14 (18)	13 (18)	15 (20)	15 (19)	15 (17)	15 (17)
救急総合診療科	26 (13)	26 (16)	18 (13)	26 (15)	31 (17)	24 (14)	21 (16)	23 (16)	20 (20)	24 (18)	21 (16)	17 (13)	23 (15)
糖尿病・内分泌センター	6 (6)	7 (6)	7 (7)	8 (6)	7 (6)	8 (7)	8 (8)	8 (7)	7 (8)	8 (7)	8 (8)	7 (7)	7 (7)
血液浄化センター	12 (9)	12 (10)	11 (9)	12 (9)	12 (8)	12 (10)	12 (10)	11 (9)	10 (11)	11 (13)	10 (12)	12 (11)	12 (10)
その他	0 (1)	0 (0)	0 (0)	0 (0)	0 (0)	0 (1)	0 (0)	0 (0)	0 (0)	0 (0)	1 (0)	0 (0)	0 (0)
合計	832 (1,023)	868 (1,016)	895 (1,008)	969 (995)	938 (979)	995 (1,006)	963 (1,025)	1008 (1,015)	986 (1,050)	981 (1,038)	993 (1,019)	959 (963)	948 (1,011)

(注) 1. 数値は少数第1位四捨五入

2. ( ) 内は前年同月

[医事サービス部]

2 一日平均入院患者数

	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	累計平均
循環器内科	15 (20)	15 (20)	14 (20)	14 (18)	18 (20)	18 (16)	19 (19)	23 (24)	17 (19)	20 (17)	19 (19)	18 (14)	17 (19)
消化器内科	27 (30)	22 (27)	29 (25)	29 (26)	24 (25)	27 (30)	26 (32)	23 (35)	30 (26)	27 (26)	26 (31)	21 (29)	26 (29)
総合内科	61 (62)	64 (50)	62 (49)	68 (56)	71 (52)	72 (58)	69 (63)	63 (58)	55 (62)	52 (57)	58 (59)	70 (54)	64 (57)
血液・化学療法内科	33 (24)	31 (28)	32 (31)	28 (29)	26 (27)	25 (29)	24 (30)	30 (23)	25 (25)	21 (28)	22 (33)	24 (33)	27 (28)
脳神経内科	9 (5)	9 (10)	13 (8)	11 (11)	11 (9)	10 (7)	10 (9)	5 (8)	6 (7)	5 (6)	6 (8)	5 (7)	8 (8)
腎臓内科	14 (9)	13 (8)	13 (11)	14 (6)	16 (9)	16 (10)	13 (9)	10 (7)	12 (11)	13 (14)	12 (11)	11 (11)	13 (10)
内科(計)	158 (150)	154 (144)	164 (143)	164 (146)	165 (141)	168 (149)	160 (163)	154 (155)	146 (150)	138 (148)	143 (162)	148 (147)	155 (150)
消化器外科	16 (23)	14 (23)	20 (21)	18 (20)	20 (15)	25 (20)	27 (20)	23 (19)	24 (19)	21 (19)	20 (22)	21 (16)	21 (20)
呼吸器外科	1 (2)	2 (1)	1 (1)	3 (1)	3 (2)	3 (2)	2 (2)	3 (1)	1 (1)	1 (1)	1 (1)	2 (2)	2 (1)
乳腺外科	4 (7)	3 (4)	2 (4)	4 (4)	5 (5)	6 (4)	4 (2)	3 (3)	3 (4)	3 (3)	6 (6)	6 (4)	4 (4)
心臓血管外科	4 (3)	3 (2)	4 (3)	3 (3)	3 (0)	4 (2)	3 (3)	4 (2)	3 (1)	3 (3)	5 (4)	5 (3)	4 (2)
外科(計)	26 (34)	22 (31)	28 (29)	29 (30)	32 (22)	38 (27)	38 (28)	32 (25)	32 (26)	29 (26)	31 (34)	35 (25)	30 (28)
産婦人科	23 (31)	27 (29)	31 (32)	32 (33)	36 (35)	31 (32)	31 (35)	32 (34)	35 (33)	31 (25)	33 (31)	34 (33)	31 (32)
小児科	2 (8)	2 (4)	3 (7)	2 (5)	3 (9)	4 (6)	4 (6)	2 (4)	3 (3)	3 (3)	2 (2)	3 (2)	3 (5)
神経科・精神科	9 (10)	6 (12)	10 (10)	12 (9)	11 (11)	11 (11)	12 (13)	11 (10)	6 (11)	5 (12)	6 (15)	10 (8)	9 (11)
脳神経外科	4 (3)	4 (3)	2 (3)	1 (2)	2 (3)	5 (5)	3 (3)	3 (3)	1 (1)	1 (1)	3 (3)	1 (4)	2 (3)
整形外科	25 (26)	23 (17)	25 (32)	23 (37)	24 (31)	24 (26)	27 (26)	24 (25)	20 (25)	14 (20)	19 (26)	21 (24)	22 (26)
皮膚科	9 (10)	10 (7)	10 (7)	11 (8)	9 (7)	12 (10)	9 (6)	8 (6)	7 (7)	7 (7)	6 (12)	5 (8)	8 (8)
泌尿器科	7 (10)	10 (7)	12 (13)	10 (11)	11 (12)	12 (8)	11 (8)	8 (11)	11 (10)	11 (9)	12 (11)	10 (9)	10 (10)
眼科	1 (2)	2 (2)	3 (1)	2 (1)	1 (2)	2 (2)	3 (2)	3 (3)	3 (2)	2 (3)	2 (2)	3 (3)	3 (2)
耳鼻咽喉・頭頸部外科	8 (9)	5 (6)	7 (6)	12 (6)	11 (5)	7 (4)	7 (4)	6 (7)	8 (5)	10 (3)	8 (5)	9 (6)	8 (6)
形成再建外科	3 (5)	2 (2)	1 (3)	1 (3)	1 (3)	1 (2)	1 (1)	1 (2)	1 (2)	1 (2)	3 (1)	2 (3)	1 (2)
放射線診断・IVR科	0 (0)												
放射線治療科	0 (0)												
麻酔・緩和医療科	0 (1)	0 (0)	0 (0)	1 (0)	0 (0)								
リハビリテーション科	0 (0)												
救急診療センター	3 (18)	3 (16)	4 (16)	3 (20)	3 (21)	4 (19)	4 (18)	5 (18)	4 (15)	6 (22)	6 (18)	6 (15)	4 (18)
合計	278 (317)	267 (279)	301 (303)	302 (313)	309 (301)	318 (301)	308 (312)	287 (303)	276 (291)	257 (281)	276 (322)	286 (288)	289 (301)

(注) 1. 数値は少数第1位四捨五入  
2. ( )内は前年同月

[医事サービス部]

### 3 患者年齢・診療圏構成

外来 年齢階級	年度	総数	大阪市内訳(主要区)										
			他府県	大阪府下	大阪市	西区	港区	大正区	住之江区	浪速区	中央区	福島区	その他の区
0~9	2013	2,255	85	47	2,123	1,456	310	58	68	63	23	43	102
	2014	2,161	61	51	2,049	1,397	278	62	62	72	22	46	110
	2015	2,092	75	48	1,969	1,293	293	52	82	76	30	42	101
	2016	1,894	56	47	1,791	1,190	271	44	103	59	30	29	65
	2017	1,771	55	44	1,672	1,144	216	37	118	50	28	21	58
	2018	1,909	68	42	1,799	1,147	234	38	155	69	30	37	89
	2019	2,010	83	64	1,863	1,151	228	33	154	68	50	51	128
	2020	1,422	42	56	1,324	735	151	35	79	56	45	50	173
10~19	2013	601	27	29	545	307	93	44	28	23	5	8	37
	2014	587	32	30	525	301	80	42	24	26	9	7	36
	2015	635	33	35	567	324	73	42	42	23	9	4	50
	2016	604	31	32	541	289	97	48	35	20	8	6	38
	2017	600	39	43	518	271	91	44	29	22	9	9	46
	2018	647	30	56	561	299	92	33	37	24	17	6	53
	2019	792	49	67	676	337	98	46	50	25	12	10	98
	2020	705	37	60	608	251	86	39	40	20	19	7	146
20~29	2013	2,280	264	302	1,714	838	207	91	65	113	82	58	260
	2014	2,235	270	303	1,662	818	207	89	61	108	85	47	247
	2015	2,254	255	303	1,696	791	222	88	61	112	105	44	273
	2016	2,444	317	365	1,762	792	235	88	67	115	106	49	310
	2017	2,293	284	334	1,675	809	181	73	77	139	89	38	269
	2018	2,246	281	334	1,631	788	182	88	60	108	73	55	277
	2019	2,307	275	314	1,718	800	183	96	69	122	83	49	316
	2020	2,123	203	295	1,625	702	148	67	67	127	119	52	343
30~39	2013	4,259	381	588	3,290	1,645	377	173	125	167	142	115	546
	2014	4,137	403	578	3,156	1,562	362	157	133	171	146	127	498
	2015	4,221	420	604	3,197	1,528	369	155	148	168	171	121	537
	2016	4,363	436	638	3,289	1,573	360	184	168	199	199	110	496
	2017	4,289	454	640	3,195	1,522	352	156	125	193	183	120	544
	2018	4,122	421	605	3,096	1,404	324	159	143	222	173	124	547
	2019	4,016	390	551	3,075	1,438	302	133	120	232	173	113	564
	2020	3,592	286	491	2,815	1,231	289	132	124	225	191	97	526
40~49	2013	4,997	612	1,020	3,365	1,233	544	276	155	135	126	126	770
	2014	5,077	653	1,000	3,424	1,229	549	269	134	133	139	137	834
	2015	5,541	718	1,152	3,671	1,340	561	328	153	162	161	123	843
	2016	5,806	722	1,245	3,839	1,385	607	341	169	162	156	140	879
	2017	5,870	689	1,283	3,898	1,417	568	288	181	180	197	149	918
	2018	5,695	671	1,147	3,877	1,427	575	296	183	171	192	150	883
	2019	5,656	613	1,039	4,004	1,575	526	303	203	183	212	170	832
	2020	5,006	470	922	3,614	1,352	492	257	172	196	214	134	797
50~59	2013	4,218	646	881	2,691	949	431	277	148	119	104	72	591
	2014	4,555	719	980	2,856	990	453	279	164	122	114	71	663
	2015	4,722	748	985	2,989	988	504	309	175	127	104	92	690
	2016	4,978	782	1,014	3,182	1,063	522	288	202	131	120	110	746
	2017	5,103	772	1,068	3,263	1,025	559	301	196	135	127	107	813
	2018	5,377	817	1,120	3,440	1,134	597	309	185	140	144	117	814
	2019	5,522	786	1,164	3,572	1,176	609	318	182	152	169	107	859
	2020	5,522	786	1,164	3,572	1,176	609	318	182	152	169	107	859
60~69	2013	5,769	816	1,090	3,863	1,482	556	500	263	201	102	75	684
	2014	5,725	798	1,068	3,859	1,451	589	495	278	207	105	69	665
	2015	5,789	784	1,061	3,944	1,441	600	511	308	196	113	71	704
	2016	5,883	771	1,072	4,040	1,423	654	524	330	200	116	79	714
	2017	5,633	761	1,046	3,826	1,333	618	475	330	194	129	70	677
	2018	5,512	747	986	3,779	1,300	646	435	327	177	121	76	697
	2019	5,435	814	1,002	3,619	1,249	584	384	302	164	132	77	727
	2020	5,012	700	894	3,418	1,168	576	362	275	154	129	65	689
70~79	2013	5,085	472	832	3,781	1,416	700	515	180	215	77	70	608
	2014	4,990	464	794	3,732	1,376	713	511	200	193	86	65	588
	2015	4,891	446	721	3,724	1,322	717	533	233	203	87	66	563
	2016	5,143	473	736	3,934	1,371	796	554	276	199	87	64	587
	2017	5,466	553	788	4,125	1,398	826	572	292	207	119	81	630
	2018	5,947	560	862	4,525	1,525	915	598	354	253	128	93	659
	2019	6,615	634	971	5,010	1,685	1,067	608	436	272	123	105	714
	2020	6,210	545	871	4,794	1,620	993	578	421	259	130	101	692
80~89	2013	2,539	171	309	2,059	801	356	265	82	121	74	32	328
	2014	2,574	179	280	2,115	798	388	276	86	120	66	43	338
	2015	2,718	184	275	2,259	852	414	275	96	130	73	50	369
	2016	2,834	186	294	2,354	901	450	296	117	125	73	47	345
	2017	2,887	194	328	2,365	891	482	285	109	117	56	56	369
	2018	3,094	213	308	2,573	950	573	295	138	114	81	59	363
	2019	3,527	236	376	2,915	1,032	700	348	180	123	88	60	384
	2020	3,281	208	343	2,730	971	642	302	170	130	84	45	386
90以上	2013	328	16	24	288	143	46	30	3	16	8	7	35
	2014	377	19	25	333	138	58	45	10	18	16	8	40
	2015	432	19	25	388	153	69	47	10	33	18	9	49
	2016	485	20	31	434	176	87	43	21	32	22	12	41
	2017	473	25	35	413	184	70	40	13	28	24	13	41
	2018	519	31	35	453	195	79	48	18	25	23	13	52
	2019	647	36	54	557	225	102	70	18	30	26	15	71
	2020	527	25	35	467	187	78	51	14	33	22	13	69
総計	2013	32,331	3,490	5,122	23,719	10,270	3,620	2,229	1,117	1,173	743	606	3,961
	2014	32,418	3,598	5,109	23,711	10,060	3,677	2,225	1,152	1,170	788	620	4,019
	2015	33,295	3,682	5,209	24,404	10,032	3,822	2,340	1,308	1,230	871	622	4,179
	2016	34,434	3,794	5,474	25,166	10,163	4,079	2,410	1,488	1,242	917	646	4,221
	2017	34,385	3,826	5,609	24,905	9,994	3,963	2,271	1,470	1,265	958	664	4,365
	2018	35,068	3,839	5,495	25,734	10,169	4,217	2,299	1,600	1,303	982	730	4,434
	2019	36,927	4,005	5,668	27,254	10,751	4,422	2,390	1,734	1,379	1,080	772	4,726
	2020	33,400	3,302	5,131	24,967	9,393	4,064	2,141	1,544	1,352	1,122	671	4,680

[診療情報管理室]

入院 年齢階級	年度	総数	大阪市内訳(主要区)										
			他府県	大阪府下	大阪市	西区	港区	大正区	住之江区	浪速区	中央区	福島区	その他の区
0～9	2013	168	9	1	158	101	27	27	4	10	3	5	4
	2014	319	16	9	294	165	70	70	12	10	9	5	17
	2015	481	21	17	443	285	84	9	16	14	7	7	21
	2016	433	16	11	406	228	100	7	27	12	7	13	12
	2017	374	19	5	350	199	87	1	39	4	6	2	12
	2018	374	19	8	347	196	61	9	36	13	4	8	20
	2019	296	8	4	284	170	53	5	27	3	11	3	12
2020	195	13	5	177	90	26	4	11	11	9	9	17	
10～19	2013	52	3	2	47	19	12	12	7	2	2	2	2
	2014	56	1	3	52	22	7	7	8	5	2	1	7
	2015	74	4	4	66	25	11	12	3	5	1	0	9
	2016	74	6	6	62	26	14	5	4	5	4	1	3
	2017	65	9	4	52	21	13	7	3	2	1	0	5
	2018	64	4	6	54	28	6	4	3	1	1	2	9
	2019	66	4	2	60	30	6	7	3	5	1	2	6
2020	46	3	4	39	16	6	5	2	3	2	1	4	
20～29	2013	367	38	39	290	114	51	51	22	14	15	16	42
	2014	433	48	50	335	135	50	50	23	18	28	13	52
	2015	410	49	44	317	109	54	23	10	30	20	11	60
	2016	466	61	75	330	107	54	17	21	22	22	15	72
	2017	454	78	87	289	100	37	16	19	27	18	11	61
	2018	465	56	67	342	140	35	23	23	27	18	16	60
	2019	442	61	81	300	115	37	21	12	28	20	9	58
2020	389	44	54	291	111	35	13	8	27	25	17	55	
30～39	2013	867	84	99	684	290	115	115	39	36	33	36	99
	2014	840	68	111	661	324	87	87	28	29	27	36	97
	2015	925	91	120	714	303	105	38	27	44	31	34	132
	2016	869	83	134	652	265	84	35	42	52	42	32	100
	2017	802	87	135	580	257	65	23	22	38	37	37	101
	2018	914	85	122	707	295	86	24	40	46	41	35	140
	2019	879	74	104	701	317	68	32	24	52	51	37	120
2020	849	53	101	695	295	74	27	28	54	50	32	135	
40～49	2013	785	78	162	545	164	96	96	52	23	23	23	136
	2014	903	113	180	610	195	92	92	63	27	24	25	161
	2015	907	104	191	612	191	87	77	28	29	38	27	135
	2016	823	91	196	536	167	85	45	21	29	26	27	136
	2017	870	99	189	582	172	82	54	38	32	47	22	135
	2018	828	85	185	558	180	90	41	30	24	35	17	141
	2019	877	71	156	650	222	81	53	38	36	43	34	143
2020	824	58	137	629	209	81	50	35	48	44	26	136	
50～59	2013	584	78	128	378	129	55	55	41	22	16	18	85
	2014	655	86	130	439	146	67	68	47	30	19	20	100
	2015	618	77	109	432	151	78	45	25	19	15	15	84
	2016	534	63	95	376	110	71	43	25	17	14	10	86
	2017	567	59	97	411	111	93	46	27	25	21	9	79
	2018	620	72	117	431	141	84	44	27	20	15	19	81
	2019	730	84	108	538	168	108	52	32	26	22	11	119
2020	737	65	125	547	159	79	68	35	24	29	17	136	
60～69	2013	1,050	118	223	709	229	104	104	106	60	18	40	141
	2014	1,037	139	167	731	257	129	125	87	49	46	25	131
	2015	967	97	152	718	223	127	110	62	41	19	10	126
	2016	857	89	109	659	217	124	86	63	36	15	11	107
	2017	874	73	132	669	221	121	86	66	31	16	12	116
	2018	866	83	127	656	212	130	74	57	36	17	11	119
	2019	879	101	111	667	211	136	75	64	34	11	9	127
2020	864	69	118	677	213	114	77	57	28	31	11	146	
70～79	2013	1,271	105	234	932	318	191	191	121	41	13	60	169
	2014	1,275	79	187	1,009	350	194	196	147	62	54	27	158
	2015	1,191	82	145	964	299	201	131	74	69	19	20	151
	2016	1,042	73	110	859	277	191	123	68	52	12	10	126
	2017	1,221	73	139	1,009	304	218	161	61	71	28	17	149
	2018	1,335	90	155	1,090	336	264	146	82	58	29	21	154
	2019	1,468	99	148	1,221	385	312	135	108	59	26	33	163
2020	1,501	90	160	1,251	363	277	147	108	76	29	26	225	
80～89	2013	790	47	103	640	230	106	106	84	34	24	42	111
	2014	845	38	84	723	243	125	126	102	36	52	22	126
	2015	857	41	79	737	255	129	110	31	55	24	14	119
	2016	810	33	72	705	260	133	97	41	44	21	11	98
	2017	897	47	75	775	279	161	92	43	48	25	15	112
	2018	973	45	77	851	314	192	96	60	34	29	19	107
	2019	1,054	46	86	922	300	254	104	55	50	27	22	110
2020	1,013	45	64	904	300	227	89	54	50	28	8	148	
90以上	2013	128	5	10	113	53	14	14	12	3	6	8	14
	2014	177	12	12	153	61	27	27	20	6	12	6	20
	2015	188	6	9	173	57	32	24	8	20	6	1	25
	2016	200	8	7	185	72	33	19	13	18	11	2	17
	2017	217	11	11	195	89	32	19	10	12	9	1	23
	2018	216	14	8	194	83	29	18	8	13	12	1	30
	2019	278	10	18	250	95	45	32	13	14	13	8	30
2020	224	9	14	201	62	31	22	7	18	8	5	48	
総計	2013	6,062	565	1,001	4,496	1,647	771	771	488	245	153	250	803
	2014	6,540	600	933	5,007	1,898	719	848	537	272	273	180	869
	2015	6,618	572	870	5,176	1,898	908	579	284	326	180	139	862
	2016	6,108	523	815	4,770	1,729	889	477	325	287	174	132	757
	2017	6,341	555	874	4,912	1,753	909	505	328	290	208	126	793
	2018	6,655	553	872	5,230	1,925	977	479	366	272	201	149	861
	2019	6,969	558	818	5,593	2,013	1,100	516	376	307	225	168	888
2020	6,642	449	782	5,411	1,818	950	502	345	339	255	152	1,050	

[診療情報管理室]

## 4 病床稼働率

		定床	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	累計平均	前年度累計平均
7階	1日平均患者数(人)	41	28	32	36	36	41	39	39	36	41	35	38	41	37	36
	稼働率		68.8%	77.5%	88.7%	88.7%	99.9%	94.7%	96.2%	87.2%	99.3%	86.5%	93.4%	99.0%	90.0%	87.7%
8階	1日平均患者数(人)	44	34	30	38	38	36	40	37	35	36	33	36	37	36	38
	稼働率		77.0%	68.2%	85.4%	85.6%	82.2%	90.6%	85.0%	78.9%	82.9%	75.5%	82.8%	83.1%	81.4%	85.9%
9階	1日平均患者数(人)	43	39	37	40	39	38	38	35	37	36	33	35	39	37	38
	稼働率		90.6%	85.8%	92.4%	91.5%	88.7%	88.2%	80.9%	86.4%	82.6%	77.4%	81.9%	89.6%	86.3%	88.8%
10階	1日平均患者数(人)	42	34	32	36	36	38	39	38	35	17	13	6	18	29	36
	稼働率		81.3%	76.7%	86.1%	86.1%	91.3%	93.2%	91.2%	82.5%	39.8%	30.2%	15.1%	44.0%	68.1%	86.1%
11階	1日平均患者数(人)	43	37	35	40	39	39	41	40	35	37	33	39	39	38	38
	稼働率		86.4%	81.7%	92.9%	90.3%	90.0%	95.2%	92.2%	82.2%	85.3%	77.3%	90.7%	89.9%	87.9%	89.5%
12階	1日平均患者数(人)	44	36	33	36	37	39	40	39	34	35	35	40	37	37	38
	稼働率		80.8%	75.8%	82.7%	84.7%	88.1%	90.2%	89.2%	77.8%	79.0%	78.7%	91.2%	84.6%	83.6%	87.1%
13階	1日平均患者数(人)	43	35	35	38	39	39	40	40	37	36	36	40	37	38	39
	稼働率		82.2%	81.0%	87.7%	89.6%	90.6%	94.1%	92.6%	87.1%	84.1%	83.3%	92.2%	85.7%	87.5%	90.0%
14階	1日平均患者数(人)	42	33	31	34	36	36	37	36	33	35	35	37	36	35	35
	稼働率		79.3%	74.7%	81.0%	84.8%	85.8%	89.2%	86.7%	79.2%	83.6%	83.5%	88.7%	84.9%	83.5%	82.3%
小計	1日平均患者数(人)	342	277	266	298	300	306	314	305	282	272	253	272	283	286	298
	稼働率		80.9%	77.7%	87.1%	87.7%	89.5%	91.9%	89.2%	82.6%	79.6%	74.1%	79.6%	82.6%	83.5%	87.2%
集中治療室	1日平均患者数(人)	8	2	1	3	3	2	3	3	4	4	3	3	3	3	3
	稼働率		23.8%	15.7%	36.7%	32.3%	31.0%	42.9%	41.5%	52.1%	47.2%	41.1%	41.5%	41.9%	37.3%	35.5%
計	1日平均患者数(人)	350	278	267	301	302	309	318	308	287	276	257	276	286	289	301
	稼働率		79.6%	76.2%	85.9%	86.4%	88.2%	90.8%	88.1%	81.9%	78.8%	73.4%	78.7%	81.7%	82.5%	86.0%

[医事サービス部]

5 救急患者数

	人 数													( 内、入 院 数 )												
	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	累計	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	入院計
循環器内科	21 (8)	20 (9)	22 (8)	15 (4)	21 (7)	18 (8)	26 (9)	17 (5)	21 (13)	23 (11)	12 (3)	25 (10)	241 (95)	18 (7)	13 (7)	16 (5)	14 (4)	20 (6)	15 (6)	25 (9)	14 (3)	21 (13)	21 (11)	10 (3)	22 (7)	209 (81)
消化器内科	72 (12)	39 (5)	66 (12)	53 (7)	44 (4)	41 (3)	47 (10)	58 (7)	48 (5)	36 (4)	44 (9)	25 (2)	573 (80)	71 (12)	39 (5)	63 (10)	51 (6)	42 (3)	40 (3)	45 (8)	55 (6)	46 (5)	35 (4)	41 (9)	23 (2)	551 (73)
総合内科	75 (35)	86 (44)	77 (29)	74 (35)	74 (32)	57 (21)	50 (21)	40 (18)	54 (24)	49 (26)	54 (20)	66 (22)	756 (327)	63 (32)	74 (38)	64 (24)	60 (31)	63 (30)	53 (20)	44 (19)	34 (15)	43 (21)	41 (22)	46 (19)	60 (22)	645 (293)
血液・化学療法内科	14 (3)	11 (4)	15 (4)	15 (4)	13 (5)	7 (1)	14 (0)	14 (3)	11 (3)	15 (3)	11 (0)	16 (7)	156 (37)	12 (3)	11 (4)	14 (4)	15 (4)	11 (4)	5 (1)	12 (0)	12 (3)	11 (3)	15 (3)	10 (0)	14 (7)	142 (36)
神経内科	3 (1)	8 (3)	10 (2)	8 (1)	10 (3)	7 (3)	8 (2)	3 (1)	3 (0)	7 (4)	5 (2)	3 (0)	75 (22)	3 (1)	8 (3)	10 (2)	8 (1)	8 (3)	7 (3)	6 (1)	3 (1)	3 (0)	7 (4)	5 (2)	3 (0)	71 (21)
腎臓内科	9 (4)	8 (3)	7 (3)	14 (1)	14 (9)	7 (5)	9 (6)	9 (1)	12 (9)	10 (5)	9 (2)	10 (2)	118 (50)	9 (4)	8 (3)	7 (3)	13 (1)	14 (9)	5 (4)	9 (6)	9 (1)	12 (9)	9 (4)	9 (2)	8 (2)	112 (48)
内科(計)	194 (63)	172 (68)	197 (58)	179 (52)	176 (60)	137 (41)	154 (48)	141 (35)	149 (54)	140 (53)	135 (36)	145 (43)	1,919 (611)	176 (59)	153 (60)	174 (48)	161 (47)	158 (55)	125 (37)	141 (43)	127 (29)	136 (51)	128 (48)	121 (35)	130 (40)	1,730 (552)
消化器外科	12 (3)	10 (3)	18 (4)	11 (4)	7 (2)	15 (3)	7 (1)	9 (4)	6 (0)	10 (1)	7 (2)	9 (4)	121 (31)	11 (3)	9 (3)	15 (2)	10 (4)	7 (2)	13 (3)	6 (1)	8 (3)	5 (0)	10 (1)	4 (1)	7 (3)	105 (26)
呼吸器外科	0 (0)	1 (0)	0 (0)	0 (0)	3 (1)	2 (0)	0 (0)	2 (0)	0 (0)	0 (0)	0 (0)	2 (0)	10 (1)	0 (0)	1 (0)	0 (0)	0 (0)	2 (1)	2 (0)	0 (0)	1 (0)	0 (0)	0 (0)	0 (0)	2 (0)	8 (1)
乳腺外科	3 (0)	1 (1)	1 (0)	3 (0)	2 (1)	1 (1)	1 (1)	3 (0)	1 (0)	3 (0)	1 (0)	2 (0)	22 (4)	1 (0)	1 (1)	0 (0)	2 (0)	2 (1)	1 (1)	1 (1)	3 (0)	0 (0)	2 (0)	1 (0)	1 (0)	15 (4)
心臓血管外科	1 (0)	1 (0)	1 (0)	2 (1)	1 (1)	2 (0)	3 (0)	0 (0)	1 (1)	2 (0)	1 (1)	1 (1)	16 (5)	1 (0)	1 (0)	1 (0)	2 (1)	1 (1)	2 (0)	3 (0)	0 (0)	1 (1)	2 (1)	1 (1)	1 (1)	16 (5)
外科(計)	16 (3)	13 (4)	20 (4)	16 (5)	13 (5)	20 (4)	11 (2)	14 (4)	8 (1)	15 (1)	9 (3)	14 (5)	169 (41)	13 (3)	12 (4)	16 (2)	14 (5)	12 (5)	18 (4)	10 (2)	12 (3)	6 (1)	14 (1)	6 (2)	11 (4)	144 (36)
産婦人科	91 (2)	85 (3)	93 (3)	100 (1)	115 (4)	103 (2)	117 (4)	120 (7)	87 (2)	115 (4)	99 (5)	118 (12)	1,243 (49)	32 (1)	32 (2)	36 (3)	37 (1)	51 (4)	38 (2)	43 (4)	52 (6)	43 (2)	55 (4)	45 (3)	44 (9)	508 (41)
小児科	2 (0)	1 (0)	7 (0)	4 (2)	4 (0)	5 (0)	1 (0)	5 (0)	1 (0)	2 (0)	3 (0)	4 (0)	39 (2)	2 (0)	1 (0)	7 (0)	2 (0)	3 (0)	5 (0)	1 (0)	5 (0)	1 (0)	2 (0)	3 (0)	4 (0)	36 (0)
神経科・精神科	4 (2)	4 (0)	3 (1)	3 (0)	6 (2)	3 (0)	3 (0)	4 (0)	2 (0)	2 (0)	1 (0)	1 (0)	36 (5)	4 (2)	3 (0)	2 (1)	3 (0)	6 (2)	3 (0)	3 (0)	4 (0)	2 (0)	2 (0)	1 (0)	1 (0)	34 (5)
脳神経外科	3 (1)	3 (2)	2 (2)	1 (1)	2 (2)	2 (0)	3 (1)	2 (1)	0 (0)	0 (0)	1 (0)	0 (0)	19 (10)	2 (1)	3 (2)	2 (2)	1 (1)	2 (2)	2 (0)	3 (1)	2 (1)	0 (0)	0 (0)	0 (0)	0 (0)	17 (10)
整形外科	15 (7)	13 (7)	15 (6)	9 (5)	15 (6)	13 (6)	11 (6)	9 (4)	8 (5)	8 (3)	11 (6)	7 (3)	134 (64)	11 (5)	9 (6)	11 (4)	8 (5)	10 (4)	9 (5)	9 (6)	6 (1)	5 (3)	6 (3)	8 (5)	5 (2)	97 (49)
皮膚科	20 (1)	20 (2)	23 (0)	14 (1)	16 (1)	18 (1)	13 (0)	13 (0)	11 (0)	7 (1)	8 (0)	12 (0)	175 (7)	19 (0)	19 (2)	22 (0)	14 (1)	15 (1)	18 (1)	11 (0)	12 (0)	10 (0)	6 (0)	8 (0)	11 (0)	165 (5)
泌尿器科	17 (4)	11 (3)	12 (2)	10 (1)	8 (4)	10 (1)	9 (4)	6 (0)	10 (2)	7 (2)	9 (1)	12 (2)	121 (26)	10 (4)	5 (3)	10 (1)	6 (1)	6 (3)	5 (1)	5 (2)	2 (0)	7 (2)	3 (1)	5 (0)	7 (2)	71 (20)
眼 科	0 (0)	0 (0)	1 (1)	1 (1)	0 (0)	2 (2)	0 (0)	0 (0)	1 (1)	0 (0)	0 (0)	0 (0)	5 (5)	0 (0)	0 (0)	0 (0)	0 (0)	0 (0)	0 (0)	0 (0)	0 (0)	0 (0)	0 (0)	0 (0)	0 (0)	0 (0)
耳鼻咽喉・頭頸部外科	5 (3)	5 (2)	9 (4)	9 (4)	7 (2)	5 (1)	11 (5)	6 (3)	10 (4)	7 (1)	10 (1)	10 (2)	94 (32)	4 (3)	4 (1)	8 (3)	8 (4)	7 (2)	4 (1)	8 (3)	3 (2)	8 (4)	5 (0)	9 (1)	7 (1)	75 (25)
形成再建外科	0 (0)	2 (0)	1 (1)	1 (0)	0 (0)	0 (0)	3 (2)	2 (2)	4 (3)	0 (0)	1 (0)	3 (2)	17 (10)	0 (0)	0 (0)	1 (1)	1 (0)	0 (0)	0 (0)	0 (0)	0 (0)	0 (0)	0 (0)	0 (0)	0 (0)	2 (1)
放射線診断・IVR科	0 (0)	0 (0)	0 (0)	0 (0)	0 (0)	0 (0)	0 (0)	0 (0)	0 (0)	0 (0)	0 (0)	0 (0)	0 (0)	0 (0)												
放射線治療科	0 (0)	1 (0)	0 (0)	1 (0)	0 (0)	1 (0)	0 (0)	0 (0)	0 (0)	0 (0)	0 (0)	0 (0)	0 (0)	0 (0)	0 (0)	0 (0)	1 (0)									
麻酔・緩和医療科	0 (0)	0 (0)	1 (0)	0 (0)	1 (0)	0 (0)	0 (0)	1 (0)	0 (0)	0 (0)	0 (0)	0 (0)	0 (0)	0 (0)	0 (0)	0 (0)	0 (0)	1 (0)								
救急総合診療センター	216 (104)	310 (172)	216 (144)	306 (187)	371 (215)	275 (162)	277 (172)	252 (144)	235 (141)	254 (171)	213 (132)	219 (137)	3,144 (1,881)	30 (23)	49 (39)	38 (31)	51 (41)	58 (43)	52 (34)	63 (50)	56 (41)	56 (48)	82 (65)	59 (44)	49 (41)	643 (500)
合 計	583 (190)	640 (263)	600 (226)	653 (260)	733 (301)	593 (220)	613 (244)	574 (200)	526 (213)	557 (236)	500 (184)	545 (206)	7,117 (2,743)	303 (101)	291 (119)	328 (96)	306 (106)	328 (121)	279 (85)	297 (111)	281 (83)	274 (111)	303 (122)	265 (90)	269 (99)	3,524 (1,244)

(注) 1. 各欄下段の( )の数値は救急車で搬送された患者数 [医事サービス部、救急・当直・集中治療室検討委員会]

## 6 退院患者医療評価指標

### ① 退院患者統計

注1) 疾病分類は厚生労働省大臣官房統計情報部編「疾病・傷害および分類提要ICD-10準拠」を使用した。  
2016年退院患者から、厚生労働省大臣官房統計情報部編「疾病・傷害および分類提要ICD-10(2013年版)準拠」を使用した。

注2) 手術分類は(財)医療情報システム開発センター監修「手術及び処置の分類ICD・9・CM」を使用した。  
2016年退院患者から、日本病院会版2003「手術及び処置の分類ICD・9・CM」を使用した。

注3) データは診療録管理システムから集計した。

注4) 実退院患者1入院、1主病名、1主手術で集計した。

	算定式	2012年度 (2012.4 -2013.3)	2013年度 (2013.4 -2014.3)	2014年度 (2014.4 -2015.3)	2015年度 (2015.4 -2016.3)	2016年度 (2016.4 -2017.3)	2017年度 (2017.4 -2018.3)	2018年度 (2018.4 -2019.3)	2019年度 (2019.4 -2020.3)	2020年度 (2020.4 -2021.3)
病床数(床)		350	350	350	350	350	350	350	350	350
一日平均在院患者数(人)	$\frac{\text{年間延入院患者数}}{365\text{日}}$	273	277	291	284	281	293	291	301	289
病床稼働率(%)	$\frac{\text{1日平均在院患者数}}{350\text{床}}$	78.0	79.1	83.1	81.1	80.3	83.7	83.1	86.0	82.6
平均在院日数(日)	$\frac{\text{年間延入院患者数}-\text{退院患者数}}{(\text{入院}+\text{退院患者数})\div 2}$	12.3	12.6	12.1	12.8	12.6	12.5	11.2	10.9	10.7
実退院患者数(人)		7,490	7,435	8,119	8,244	7,573	7,963	8,736	9,282	9,011
転科数		208	192	241	278	870	791	396	426	808
総退院患者数		7,698	7,627	8,360	8,522	8,443	8,754	9,132	9,708	9,819
実退院患者平均在院日数(日)	$\frac{\text{実退院患者入院延日数}}{\text{実退院患者数}}$	13.2	13.5	13.2	12.3	13.6	13.6	12.2	12.0	11.7
院内粗死亡率(%)	$\frac{\text{死亡退院患者数}}{\text{実退院患者数}} \times 100$	2.3	2.8	2.8	2.4	2.8	3.2	2.2	2.5	2.3
院内精死亡率(%)	$\frac{\text{入院48時間超死亡数}}{\text{実退院患者数}} \times 100$	2.1	2.4	2.5	2.3	2.4	2.8	2.0	2.3	2.1
剖検率(%)	$\frac{\text{剖検患者数}}{\text{死亡患者数}} \times 100$	8.1	9.3	6.2	7.5	5.7	5.5	2.6	4.3	2.3
術後死亡率(%)	$\frac{\text{術後10日以内死亡患者数}}{\text{総手術数}} \times 100$	-	-	0.05	0.02	-	-	-	-	-
帝王切開率(%)	$\frac{\text{帝王切開数}}{\text{分娩数}} \times 100$	14.2	16.6	15.7	16.8	19.4	19.1	21.2	23.0	19.3
分娩死亡率(%)	$\frac{\text{分娩による妊産婦死亡数}}{\text{分娩数}} \times 100$	-	-	-	-	-	-	-	-	-
新生児死亡率(%)	$\frac{\text{新生児死亡数}}{\text{出生数}} \times 100$	-	-	-	-	-	-	-	-	-
紹介入院率(%)	$\frac{\text{紹介入院患者数}}{\text{実退院患者数}} \times 100$	39.3	41.5	39.8	40.1	41.6	37.9	38.4	39.1	34.2
対診率(%)	$\frac{\text{対診数}}{\text{実退院患者数}} \times 100$	45.2	47.3	40.6	43.0	49.1	49.8	51.9	51.7	50.0

[診療情報管理室]

② 診療科別・月別・患者数

診療科	総数	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	死亡	剖検	
総数	計	9,011	648	688	731	796	768	809	859	710	831	679	676	816	209	4
	男	4,091	317	338	360	382	335	376	395	310	378	279	276	345	129	4
	女	4,920	331	350	371	414	433	433	464	400	453	400	400	471	80	-
循環器内科	計	577	43	36	45	39	57	57	50	57	52	39	48	54	13	-
	男	352	21	25	24	31	32	35	32	40	36	22	27	27	8	-
	女	225	22	11	21	8	25	22	18	17	16	17	21	27	5	-
消化器内科	計	1,125	97	73	84	98	80	102	117	92	111	92	81	98	18	1
	男	623	55	42	52	57	36	53	69	53	64	50	44	48	10	1
	女	502	42	31	32	41	44	49	48	39	47	42	37	50	8	-
総合内科	計	1,595	128	151	120	148	139	156	140	97	138	114	119	145	89	1
	男	949	78	92	79	85	85	95	78	55	81	65	66	90	59	1
	女	646	50	59	41	63	54	61	62	42	57	49	53	55	30	-
血液・化学療法内科	計	427	42	40	47	41	37	27	37	28	46	23	25	34	28	2
	男	271	27	27	34	29	28	21	23	16	27	13	10	16	15	2
	女	156	15	13	13	12	9	6	14	12	19	10	15	18	13	-
脳神経内科	計	134	6	11	15	16	8	17	11	4	11	12	11	12	5	-
	男	73	3	7	8	8	3	9	8	3	5	6	6	7	4	-
	女	61	3	4	7	8	5	8	3	1	6	6	5	5	1	-
腎臓内科	計	273	21	22	16	24	25	27	24	14	26	25	19	30	5	-
	男	163	15	13	8	16	15	14	17	10	15	13	9	18	5	-
	女	110	6	9	8	8	10	13	7	4	11	12	10	12	-	-
消化器外科	計	496	18	39	38	48	41	46	47	42	56	40	40	41	18	-
	男	306	13	25	24	28	26	23	32	31	36	21	20	27	10	-
	女	190	5	14	14	20	15	23	15	11	20	19	20	14	8	-
呼吸器外科	計	78	3	6	4	8	10	9	9	6	5	4	5	9	-	-
	男	43	1	4	3	6	5	5	4	3	4	1	4	3	-	-
	女	35	2	2	1	2	5	4	5	3	1	3	1	6	-	-
乳腺外科	計	161	14	10	8	15	12	16	13	18	13	12	9	21	3	-
	男	1	-	-	-	-	-	-	-	1	-	-	-	-	-	-
	女	160	14	10	8	15	12	16	13	17	13	12	9	21	3	-
心臓血管外科	計	96	8	6	14	7	8	8	8	8	10	4	7	8	-	-
	男	72	7	5	14	7	6	7	5	4	7	3	4	3	-	-
	女	24	1	1	-	-	2	1	3	4	3	1	3	5	-	-
産婦人科	計	1,690	101	119	131	140	164	141	145	150	160	140	149	150	6	-
	男	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
	女	1,690	101	119	131	140	164	141	145	150	160	140	149	150	6	-
小児科	計	187	14	14	19	11	18	22	22	12	15	14	10	16	-	-
	男	94	5	7	9	7	10	12	13	4	8	6	3	10	-	-
	女	93	9	7	10	4	8	10	9	8	7	8	7	6	-	-
神経科・精神科	計	100	10	8	7	11	11	9	14	6	10	3	3	8	-	-
	男	28	5	2	3	2	5	-	5	1	2	2	-	1	-	-
	女	72	5	6	4	9	6	9	9	5	8	1	3	7	-	-
脳神経外科	計	56	6	9	1	3	5	6	7	6	3	2	4	4	-	-
	男	33	4	5	1	1	2	3	5	3	2	2	2	3	-	-
	女	23	2	4	-	2	3	3	2	3	1	-	2	1	-	-
整形外科	計	319	31	24	29	28	26	22	33	27	30	19	20	30	-	-
	男	118	14	5	15	11	11	8	8	9	11	6	9	11	-	-
	女	201	17	19	14	17	15	14	25	18	19	13	11	19	-	-
皮膚科	計	259	23	25	20	31	17	32	26	20	18	16	14	17	-	-
	男	139	12	15	8	13	7	19	12	14	12	7	8	12	-	-
	女	120	11	10	12	18	10	13	14	6	6	9	6	5	-	-
泌尿器科	計	423	23	36	33	31	37	31	43	28	37	35	45	44	8	-
	男	322	19	29	27	25	30	27	35	21	29	22	32	26	7	-
	女	101	4	7	6	6	7	4	8	7	8	13	13	18	1	-
眼科	計	409	21	35	44	36	20	32	42	34	44	33	29	39	-	-
	男	205	12	20	23	25	9	20	15	15	21	11	15	19	-	-
	女	204	9	15	21	11	11	12	27	19	23	22	14	20	-	-
耳鼻咽喉・頭頸部外科	計	283	17	8	21	32	25	22	38	23	27	27	15	28	1	-
	男	146	12	5	13	18	10	11	17	13	11	14	6	16	1	-
	女	137	5	3	8	14	15	11	21	10	16	13	9	12	-	-
形成再建外科	計	96	9	5	10	10	11	6	6	10	9	4	7	9	-	-
	男	45	5	4	4	5	6	4	5	4	2	2	2	2	-	-
	女	51	4	1	6	5	5	2	1	6	7	2	5	7	-	-
麻酔・緩和医療科	計	2	1	-	-	1	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
	男	1	-	-	-	1	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
	女	1	1	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
救急総合診療科	計	212	11	11	25	13	15	18	27	27	10	21	16	18	15	-
	男	94	8	6	11	2	7	7	12	9	5	13	9	5	10	-
	女	118	3	5	14	11	8	11	15	18	5	8	7	13	5	-
予防医学センター	計	13	1	-	-	5	2	3	-	1	-	-	-	1	-	-
	男	13	1	-	-	5	2	3	-	1	-	-	-	1	-	-
	女	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-

[診療情報管理室]

③ 診療科別・在院期間別・患者数

診療科	総数	1～8日	9～15日	16～22日	23～31日	32～61日	62～91日	3～6月	6月～1年	1～2年	2年～	平均在院日数
総数	計 9,011 男女 4,091 4,920	5,385	1,739	758	474	497	112	43	3	-	-	11.7
循環器内科	計 577 男女 352 225	337	118	50	31	34	5	2	-	-	-	11.1
消化器内科	計 1,125 男女 623 502	759	216	79	29	32	9	1	-	-	-	8.3
総合内科	計 1,595 男女 949 646	629	482	246	96	117	20	4	1	-	-	14.3
血液・化学療法内科	計 427 男女 271 156	89	102	76	72	59	18	10	1	-	-	23.7
脳神経内科	計 134 男女 73 61	26	28	28	21	26	4	1	-	-	-	23.4
腎臓内科	計 273 男女 163 110	110	62	39	20	30	7	5	-	-	-	17.8
消化器外科	計 496 男女 306 190	244	115	44	35	39	9	9	1	-	-	15.6
呼吸器外科	計 78 男女 43 35	30	39	7	2	-	-	-	-	-	-	9.8
乳腺外科	計 161 男女 1 160	105	31	13	5	4	-	3	-	-	-	10.3
心臓血管外科	計 96 男女 72 24	50	13	11	10	8	4	-	-	-	-	9.2
産婦人科	計 1,690 男女 - 1,690	1,447	214	17	5	5	2	-	-	-	-	10.3
小児科	計 187 男女 94 93	169	17	1	-	-	-	-	-	-	-	6.8
神経科・精神科	計 100 男女 28 72	14	15	10	21	25	10	5	-	-	-	5.7
脳神経外科	計 56 男女 33 23	25	12	5	3	9	2	-	-	-	-	5.3
整形外科	計 319 男女 118 201	53	40	55	84	74	12	1	-	-	-	6.2
皮膚科	計 259 男女 139 120	102	97	37	15	7	1	-	-	-	-	34.2
泌尿器科	計 423 男女 322 101	282	85	26	14	13	2	1	-	-	-	34.3
眼科	計 409 男女 205 204	408	1	-	-	-	-	-	-	-	-	34.2
耳鼻咽喉・頭頸部外科	計 283 男女 146 137	219	35	7	5	11	5	1	-	-	-	17.5
形成再建外科	計 96 男女 45 51	86	7	1	1	-	1	-	-	-	-	18.5
麻酔・緩和医療科	計 2 男女 1 1	1	-	-	1	-	-	-	-	-	-	16.1
救急総合診療科	計 212 男女 94 118	187	10	6	4	4	1	-	-	-	-	25.8
予防医学センター	計 13 男女 13 -	13	-	-	-	-	-	-	-	-	-	21.2
												28.5
												12.3
												12.5
												12.1
												8.9
												8.6
												9.7
												2.1
												2
												2.2
												9.8
												11.4
												8.1
												5.3
												5.2
												5.4
												13
												23
												3
												4.7
												5.7
												3.9
												2
												2

[診療情報管理室]

④ 疾病統計

疾病別・診療科別・患者数（大分類）

コード	国際分類大項目分類	総数	循 内	消 内	総 内	血 内	神 内	腎 内	消 外	呼 外	乳 外	心 外	産婦科	
	総数	計	9,011	577	1,125	1,595	427	134	273	496	78	161	96	1,690
		男	4,091	352	623	949	271	73	163	306	43	1	72	-
		女	4,920	225	502	646	156	61	110	190	35	160	24	1,690
I	感染症及び寄生虫症	計	221	3	30	50	5	9	3	4	1	-	-	1
		男	113	2	14	24	3	9	2	3	-	-	-	-
		女	108	1	16	26	2	-	1	1	1	-	-	1
II	新生物（腫瘍） （悪性新生物（腫瘍））	計	3,149	-	578	658	341	-	2	261	52	149	-	712
		男	1,473	-	352	426	230	-	2	166	26	1	-	-
		女	1,676	-	226	232	111	-	-	95	26	148	-	712
III	血液及び造血器の疾患 並びに免疫機構の障害	計	67	-	4	12	34	1	1	1	1	-	-	6
		男	25	-	1	7	14	-	1	-	1	-	-	-
		女	42	-	3	5	20	1	-	1	-	1	-	6
IV	内分泌、栄養及び 代謝疾患	計	285	7	1	220	2	4	27	1	1	-	-	1
		男	153	4	-	119	2	1	17	-	-	-	-	-
		女	132	3	1	101	-	3	10	1	1	-	-	1
V	精神及び行動の障害	計	152	1	2	2	-	2	1	-	-	-	-	-
		男	56	1	1	2	-	1	-	-	-	-	-	-
		女	96	-	1	-	-	1	1	-	-	-	-	-
VI	神経系の疾患	計	126	-	1	5	2	51	1	-	-	-	-	-
		男	73	-	-	4	1	25	1	-	-	-	-	-
		女	53	-	1	1	1	26	-	-	-	-	-	-
VII	眼及び付属器の疾患	計	428	-	-	-	-	1	-	-	-	-	-	-
		男	213	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
		女	215	-	-	-	-	1	-	-	-	-	-	-
VIII	耳及び乳様突起の疾患	計	83	-	-	1	1	4	1	-	-	1	-	-
		男	33	-	-	-	1	2	1	-	-	-	-	-
		女	50	-	-	1	-	2	-	-	-	1	-	-
IX	循環器系の疾患	計	720	513	5	22	4	40	14	-	-	-	88	-
		男	461	315	4	11	3	26	12	-	-	-	65	-
		女	259	198	1	11	1	14	2	-	-	-	23	-
X	呼吸器系の疾患	計	468	9	5	271	12	7	17	1	18	-	-	-
		男	313	8	3	192	9	5	10	1	12	-	-	-
		女	155	1	2	79	3	2	7	-	6	-	-	-
XI	消化器系の疾患	計	724	4	452	15	5	2	4	212	-	-	-	6
		男	372	1	226	5	1	-	3	128	-	-	-	-
		女	352	3	226	10	4	2	1	84	-	-	-	6
XII	皮膚及び 皮下組織の疾患	計	181	-	1	15	2	1	1	-	-	1	1	-
		男	98	-	1	8	1	1	1	-	-	-	1	-
		女	83	-	-	7	1	-	-	-	-	1	-	-
XIII	筋骨格系及び 結合組織の疾患	計	273	1	3	56	2	3	7	-	-	-	-	-
		男	101	-	-	19	-	3	3	-	-	-	-	-
		女	172	1	3	37	2	-	4	-	-	-	-	-
XIV	腎尿路生殖器系の疾患	計	789	5	3	87	-	-	115	4	-	3	3	394
		男	226	4	3	26	-	-	69	2	-	-	2	-
		女	563	1	-	61	-	-	46	2	-	3	1	394
XV	妊娠、分娩及び 産じょく	計	551	-	-	1	-	-	-	-	-	-	-	550
		男	0	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
		女	551	-	-	1	-	-	-	-	-	-	-	550
XVI	周産期に発生した病態	計	136	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
		男	67	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
		女	69	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
XVII	先天奇形、変形及び 染色体異常	計	20	1	2	-	-	-	1	1	2	-	-	3
		男	11	-	-	-	-	-	-	-	2	-	-	-
		女	9	1	2	-	-	-	1	1	-	-	-	3
XVIII	症状、徴候及び異常臨床 所見・異常検査所見で他 に分類されないもの	計	74	6	13	21	2	3	3	2	-	6	-	1
		男	34	3	4	13	-	-	2	2	-	-	-	-
		女	40	3	9	8	2	3	1	-	-	6	-	1
XIX	損傷、中毒及び その他の外因の影響	計	299	2	11	14	9	-	48	4	3	-	4	15
		男	113	1	7	2	2	-	27	3	2	-	4	-
		女	186	1	4	12	7	-	21	1	1	-	-	15
XX	健康状態に影響を 及ぼす要因及び 保健サービスの利用	計	49	11	2	-	5	-	-	5	-	-	-	-
		男	32	6	-	-	3	-	-	1	-	-	-	-
		女	17	5	2	-	2	-	-	4	-	-	-	-
XXI	特殊目的用コード	計	216	14	12	145	1	6	27	-	-	-	-	1
		男	124	7	7	91	1	-	12	-	-	-	-	-
		女	92	7	5	54	-	6	15	-	-	-	-	1

小児科	神 経	脳 外	整 形	皮膚科	泌尿器	眼 科	耳鼻科	形 成	麻酔科	リ ハ	救 急	予 防
187	100	56	319	259	423	409	283	96	2	-	212	13
94	28	33	118	139	322	205	146	45	1	-	94	13
93	72	23	201	120	101	204	137	51	1	-	118	-
9	-	-	-	97	1	-	2	-	-	-	6	-
4	-	-	-	49	1	-	1	-	-	-	1	-
5	-	-	-	48	-	-	1	-	-	-	5	-
-	-	5	2	5	250	-	81	52	1	-	-	-
-	-	1	1	3	198	-	44	23	-	-	-	-
-	-	4	1	2	52	-	37	29	1	-	-	-
2	-	-	-	-	2	-	-	-	-	-	2	-
1	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
1	-	-	-	-	2	-	-	-	-	-	2	-
10	1	-	2	1	-	1	2	-	-	-	4	-
5	1	-	2	1	-	-	1	-	-	-	-	-
5	-	-	-	-	-	1	1	-	-	-	4	-
-	87	-	-	-	-	-	-	-	-	-	57	-
-	23	-	-	-	-	-	-	-	-	-	28	-
-	64	-	-	-	-	-	-	-	-	-	29	-
1	7	19	1	1	-	-	27	-	1	-	9	-
1	3	10	1	1	-	-	20	-	1	-	5	-
-	4	9	-	-	-	-	7	-	-	-	4	-
-	-	-	-	-	-	408	-	19	-	-	-	-
-	-	-	-	-	-	205	-	8	-	-	-	-
-	-	-	-	-	-	203	-	11	-	-	-	-
-	-	-	-	-	-	-	56	1	-	-	18	-
-	-	-	-	-	-	-	22	-	-	-	7	-
-	-	-	-	-	-	-	34	1	-	-	11	-
-	-	23	-	3	-	-	3	1	-	-	4	-
-	-	17	-	3	-	-	1	1	-	-	3	-
-	-	6	-	-	-	-	2	-	-	-	1	-
8	-	-	-	1	-	-	94	-	-	-	25	-
6	-	-	-	1	-	-	47	-	-	-	19	-
2	-	-	-	-	-	-	47	-	-	-	6	-
3	-	-	3	-	-	-	4	-	-	-	14	-
1	-	-	1	-	-	-	1	-	-	-	5	-
2	-	-	2	-	-	-	3	-	-	-	9	-
1	-	-	1	142	1	-	3	10	-	-	1	-
1	-	-	1	76	-	-	-	6	-	-	1	-
-	-	-	-	66	1	-	3	4	-	-	-	-
6	3	3	173	1	-	-	-	5	-	-	10	-
1	-	1	67	-	-	-	-	2	-	-	5	-
5	3	2	106	1	-	-	-	3	-	-	5	-
6	1	-	-	1	157	-	3	-	-	-	7	-
4	1	-	-	1	111	-	2	-	-	-	1	-
2	-	-	-	-	46	-	1	-	-	-	6	-
-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
136	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
67	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
69	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
2	-	1	-	-	2	-	3	2	-	-	-	-
1	-	1	-	-	2	-	3	2	-	-	-	-
1	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
3	-	-	-	-	4	-	3	1	-	-	6	-
2	-	-	-	-	4	-	3	1	-	-	-	-
1	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	6	-
-	1	5	128	7	2	-	2	5	-	-	39	-
-	-	3	40	4	2	-	1	2	-	-	13	-
-	1	2	88	3	-	-	1	3	-	-	26	-
-	-	-	9	-	4	-	-	-	-	-	-	13
-	-	-	5	-	4	-	-	-	-	-	-	13
-	-	-	4	-	-	-	-	-	-	-	-	-
-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	10	-
-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	6	-
-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	4	-

[診療情報管理室]

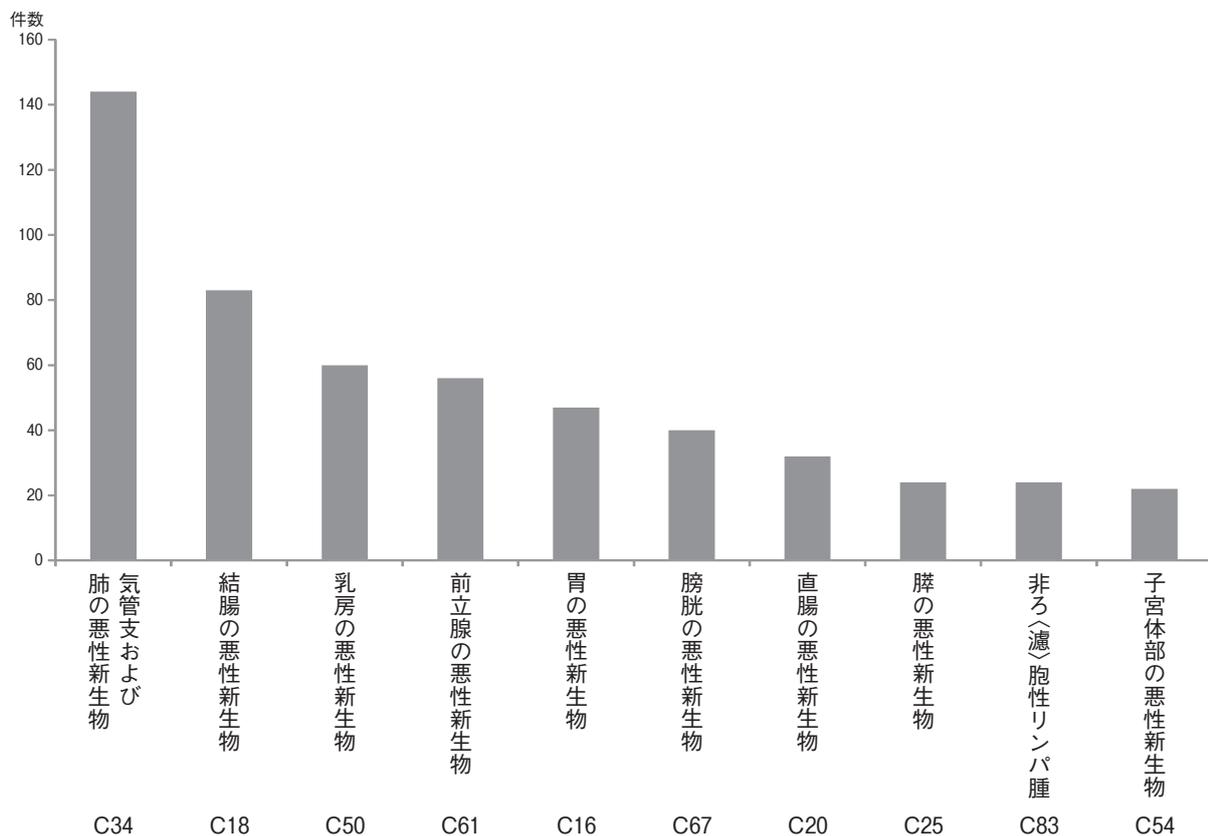
⑤ 悪性新生物統計

	算定式	平成23年 (2011)	平成24年 (2012)	平成24年度 (2012.4- 2013.3)	平成25年度 (2013.4- 2014.3)	平成26年度 (2014.4- 2015.3)	平成27年度 (2015.4- 2016.3)	平成28年度 (2016.4- 2017.3)	平成29年度 (2017.4- 2018.3)	平成30年度 (2018.4- 2019.3)	2019年度 (2019.4- 2020.3)	2020年度 (2020.4- 2021.3)
悪性新生物：比率 (%)	$\frac{\text{悪性新生物患者数}}{\text{実退院患者数}} \times 100$	16.1	14.8	14.7	16.0	14.5	14.6	16.2	16.4	16.2	19.5	22.3
悪性新生物：新発患者数		553	465	445	423	403	447	519	547	593	752	765

○ 2020年4月～2021年3月－初発がん統計トップ10（件数・平均在院日数）

ICD-10	疾患名	件数	在院日数計	平均在院日数
C34	気管支および肺の悪性新生物	144	3,302	23
C18	結腸の悪性新生物	83	1,030	12
C50	乳房の悪性新生物	60	696	12
C61	前立腺の悪性新生物	56	389	7
C16	胃の悪性新生物	47	986	21
C67	膀胱の悪性新生物	40	390	10
C20	直腸の悪性新生物	32	581	18
C25	脾の悪性新生物	24	737	31
C83	非ろ（濾）胞性リンパ腫	24	703	29
C54	子宮体部の悪性新生物	22	203	9

[診療情報管理室]



⑥ 診療科別・月別・死亡（剖検）患者数

診療科	総数	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	兼科患者数	退院患者数	粗死亡率	精死亡率	剖検率
総数	死亡 剖検 209 (4)	15 (-)	16 (-)	18 (2)	12 (-)	16 (-)	16 (1)	13 (1)	16 (-)	25 (-)	24 (-)	20 (-)	18 (-)	49 (-)	9,011 -	209 2.3	180 2	4 1.9
循環器内科	死亡 剖検 13 (-)	- (-)	1 (-)	- (-)	- (-)	- (-)	1 (-)	1 (-)	- (-)	4 (-)	1 (-)	2 (-)	3 (-)	3 (-)	577 -	13 2.3	9 1.6	- -
消化器内科	死亡 剖検 18 (1)	1 (-)	3 (-)	2 (-)	2 (-)	- (-)	1 (-)	1 (1)	2 (-)	2 (-)	1 (-)	2 (-)	1 (-)	4 (-)	1,125 -	18 1.6	14 1.2	1 5.6
総合内科	死亡 剖検 89 (1)	9 (-)	5 (-)	9 (1)	4 (-)	8 (-)	6 (-)	5 (-)	8 (-)	10 (-)	9 (-)	10 (-)	6 (-)	13 (-)	1,595 -	89 5.6	82 5.1	1 1.1
血液・ 化学療法内科	死亡 剖検 28 (2)	3 (-)	1 (-)	4 (1)	2 (-)	3 (-)	2 (1)	2 (-)	3 (-)	2 (-)	1 (-)	2 (-)	3 (-)	8 (-)	427 -	28 6.6	26 6.1	2 7.1
脳神経内科	死亡 剖検 5 (-)	- (-)	- (-)	- (-)	- (-)	- (-)	1 (-)	- (-)	1 (-)	1 (-)	1 (-)	1 (-)	- (-)	2 (-)	134 -	5 3.7	5 3.7	- -
腎臓内科	死亡 剖検 5 (-)	- (-)	- (-)	- (-)	- (-)	1 (-)	- (-)	1 (-)	1 (-)	2 (-)	- (-)	- (-)	- (-)	2 (-)	273 -	5 1.8	5 1.8	- -
消化器外科	死亡 剖検 18 (-)	- (-)	2 (-)	- (-)	2 (-)	1 (-)	1 (-)	1 (-)	- (-)	3 (-)	6 (-)	1 (-)	1 (-)	7 (-)	496 -	18 3.6	18 3.6	- -
呼吸器外科	死亡 剖検 - (-)	- (-)	78 -	- -	- -	- -												
乳腺外科	死亡 剖検 3 (-)	- (-)	- (-)	- (-)	- (-)	1 (-)	- (-)	- (-)	- (-)	- (-)	- (-)	- (-)	2 (-)	2 (-)	161 -	3 1.9	3 1.9	- -
心臓血管外科	死亡 剖検 - (-)	- (-)	96 -	- -	- -	- -												
産婦人科	死亡 剖検 6 (-)	1 (-)	1 (-)	2 (-)	1 (-)	1 (-)	- (-)	3 (-)	1,690 -	6 0.4	6 0.4	- -						
小児科	死亡 剖検 - (-)	- (-)	187 -	- -	- -	- -												
神経科・精神科	死亡 剖検 - (-)	- (-)	100 -	- -	- -	- -												
脳神経外科	死亡 剖検 - (-)	- (-)	56 -	- -	- -	- -												
整形外科	死亡 剖検 - (-)	- (-)	319 -	- -	- -	- -												
皮膚科	死亡 剖検 - (-)	- (-)	259 -	- -	- -	- -												
泌尿器科	死亡 剖検 8 (-)	- (-)	1 (-)	- (-)	1 (-)	1 (-)	2 (-)	1 (-)	- (-)	- (-)	1 (-)	- (-)	1 (-)	4 (-)	423 -	8 1.9	8 1.9	- -
眼科	死亡 剖検 - (-)	- (-)	409 -	- -	- -	- -												
耳鼻咽喉・ 頭頸部外科	死亡 剖検 1 (-)	- (-)	- (-)	1 (-)	- (-)	283 -	1 0.4	1 0.4	- -									
形成再建外科	死亡 剖検 - (-)	- (-)	96 -	- -	- -	- -												
麻酔・ 緩和医療科	死亡 剖検 - (-)	- (-)	2 -	- -	- -	- -												
リハビリ テーション科	死亡 剖検 - (-)	- (-)	- -	- -	- -	- -												
救急総合診療科	死亡 剖検 15 (-)	1 (-)	2 (-)	- (-)	- (-)	- (-)	2 (-)	1 (-)	1 (-)	1 (-)	4 (-)	2 (-)	1 (-)	1 (-)	212 -	15 7.1	3 1.4	- -
予防医学 センター	死亡 剖検 - (-)	- (-)	13 -	- -	- -	- -												

[診療情報管理室]

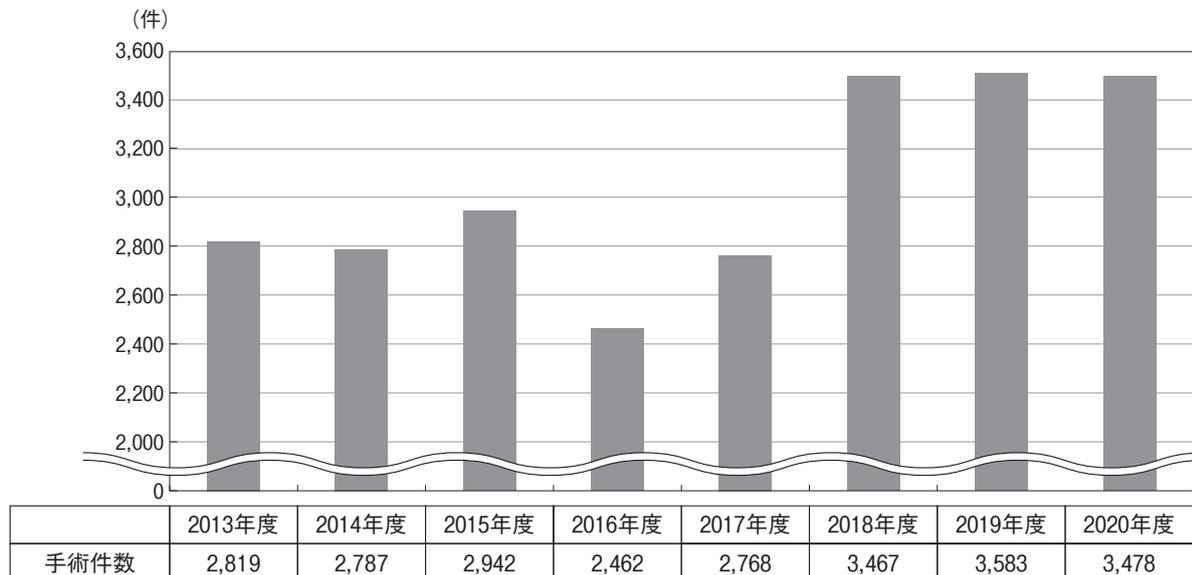
## 7 手術件数

### ① 診療科別・月別手術件数（手術室実施）

		4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	2020年度 合計	2019年度 合計
循環器内科	全麻	2	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	2	17
	局麻	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	1
消化器内科	全麻	0	0	0	0	0	1	0	0	0	0	0	0	1	0
	局麻	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
総合内科	全麻	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	2
	局麻	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	2
血液・化学療法内科	全麻	0	0	0	1	1	1	0	0	0	1	0	0	4	4
	局麻	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	2
脳神経内科	全麻	0	0	0	1	0	0	0	0	0	0	0	0	1	1
	局麻	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
腎臓内科	全麻	0	0	0	0	0	1	0	0	0	0	0	0	1	0
	局麻	0	0	0	0	0	1	0	0	0	0	0	0	1	0
消化器外科	全麻	17	24	34	34	35	41	38	34	41	30	22	36	386	347
	局麻	13	19	31	27	27	33	35	32	32	25	20	29	323	305
呼吸器外科	全麻	2	5	6	7	10	8	8	7	4	5	5	7	74	55
	局麻	2	5	6	7	10	8	8	7	4	5	5	7	74	55
乳腺外科	全麻	9	6	7	6	6	10	7	5	6	7	8	10	87	84
	局麻	7	6	4	5	5	7	7	5	6	5	7	9	73	64
心臓血管外科	全麻	8	11	15	12	11	11	12	10	8	7	9	16	130	141
	局麻	2	4	2	3	1	3	2	2	2	4	3	3	31	26
産婦人科	全麻	62	76	94	108	98	92	98	93	99	92	84	102	1,098	1,094
	局麻	46	55	71	73	68	64	71	70	70	64	61	76	789	807
脳神経外科	全麻	1	3	2	2	1	3	4	2	0	3	3	0	24	26
	局麻	1	0	1	1	1	2	1	2	0	3	2	0	14	19
整形外科	全麻	21	24	30	29	24	23	33	22	25	18	29	29	307	373
	局麻	18	20	24	27	22	19	28	19	20	16	26	27	266	308
皮膚科	全麻	1	9	10	19	11	17	13	14	13	16	15	21	159	134
	局麻	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
泌尿器科	全麻	12	26	17	23	22	29	29	22	28	22	29	24	283	345
	局麻	5	8	5	11	6	12	11	11	11	4	7	8	99	138
眼科	全麻	20	35	45	35	23	35	39	41	39	35	30	46	423	392
	局麻	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
耳鼻咽喉・頭頸部外科	全麻	14	1	18	23	23	16	20	19	20	19	10	20	203	243
	局麻	11	1	13	17	18	15	18	15	18	18	6	17	167	184
形成再建外科	全麻	15	13	26	23	26	20	23	20	17	14	18	25	240	288
	局麻	2	1	0	1	0	2	3	2	1	1	3	2	18	31
麻酔・緩和医療科	全麻	1	1	7	5	5	2	6	5	4	5	6	8	55	37
	局麻	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
合計	全麻	185	234	311	328	296	310	330	294	304	274	268	344	3,478	3,583
	局麻	107	119	157	172	158	166	184	165	164	145	140	178	1,854	1,942

手術室以外での手術、麻酔は含まれない。

[手術室]



② 診療科別・年間手術件数（総件数のうち、上位のみ）

循環器内科

総件数	163
経皮的冠動脈ステント留置術(その他のもの)	93
ペースメーカー移植術(経静脈電極)	21
経皮的冠動脈形成術(その他のもの)	13
経皮的冠動脈ステント留置術(不安定狭心症に対するもの)	9
経皮的冠動脈ステント留置術(急性心筋梗塞に対するもの)	7
ペースメーカー交換術	5
体外ペースメーカーキック術	5

血液・化学療法内科

総件数	20
造血幹細胞移植(臍帯血移植)	5
造血幹細胞採取(末梢血幹細胞採取)(自家移植)	5
造血幹細胞採取(末梢血幹細胞採取)(同種移植)	4
造血幹細胞移植(末梢血幹細胞移植)(自家移植)	2
造血幹細胞移植(末梢血幹細胞移植)(同種移植)	2

消化器内科

総件数	628
内視鏡的大腸ポリープ・粘膜切除術(長径2cm未満)	239
内視鏡的大腸粘膜切除術(長径2cm未満)	121
内視鏡的消化管止血術	46
内視鏡的胆道ステント留置術	46
内視鏡的大腸粘膜切除術(長径2cm以上)	28
小腸結腸内視鏡的止血術	27
内視鏡的胃ポリープ・粘膜切除術(早期悪性腫瘍胃粘膜下層剥離術)	20
経皮的内視鏡下胃瘻造設術	15
早期悪性腫瘍大腸粘膜下層剥離術	10
血管塞栓術(腹腔内血管等)(選択的動脈化学塞栓術)	9
内視鏡的膵管ステント留置術	7
下部消化管ステント留置術	7
内視鏡的胆道結石除去術(胆道碎石術を伴うもの)	6
内視鏡的胃ポリープ・粘膜切除術(その他のポリープ・粘膜切除術)	6
内視鏡的胆道結石除去術(その他のもの)	6
内視鏡的乳頭切開術(乳頭括約筋切開のみのもの)	5

消化器外科

総件数	438
腹腔鏡下胆嚢摘出術	66
腹腔鏡下結腸悪性腫瘍切除術	47
腹腔鏡下鼠径ヘルニア手術(両側)	40
抗悪性腫瘍剤静脈内持続注入用植込型カテーテル設置(頭頸部その他)	31
内視鏡的大腸ポリープ・粘膜切除術(長径2cm未満)	16
ヘルニア手術(鼠径ヘルニア)	13
腹腔鏡下虫垂切除術(虫垂周囲膿瘍を伴わないもの)	13
腹腔鏡下結腸切除術(小範囲切除、結腸半側切除)	11
腹腔鏡下胃切除術(悪性腫瘍)	11
腹腔鏡下直腸切除・切断術(低位前方切除術)	9
腹腔鏡下直腸切除・切断術(切除術)	9
腹腔鏡下虫垂切除術(虫垂周囲膿瘍を伴うもの)	8
内視鏡的大腸粘膜切除術(長径2cm未満)	8
腹腔鏡下ヘルニア手術(腹壁癒着ヘルニア)	8
食道狭窄拡張術(拡張用バルーンによるもの)	7
肝切除術(亜区域切除)	7
痔核手術(根治手術(硬化療法(四段階注射法によるもの)を伴わないもの))	6
腹腔鏡下腸管癒着剥離術	6
腹腔鏡下小腸切除術(その他のもの)	5
腹腔鏡下胃腸吻合術	5

総合内科

総件数	2
筋炎手術(大腿筋)	1
経皮的腹腔膿瘍ドレナージ術	1

## 呼吸器外科

総件数	76
胸腔鏡下肺悪性腫瘍手術(部分切除)	16
胸腔鏡下肺悪性腫瘍手術(肺葉切除又は1肺葉を超えるもの)	15
胸腔鏡下肺切除術(肺嚢胞手術(楔状部分切除によるもの))	11
肺悪性腫瘍手術(肺葉切除又は1肺葉を超えるもの)	8
胸腔鏡下膿胸腔搔爬術	5

## 乳腺外科

総件数	102
乳腺悪性腫瘍手術(乳房切除術・腋窩部郭清を伴わないもの)	15
乳腺腫瘍画像ガイド下吸引術(マンモグラフィ又は超音波装置によるもの)	14
乳腺悪性腫瘍手術(乳房部分切除術)(腋窩部郭清を伴わないもの)	13
乳腺悪性腫瘍手術(乳輪温存乳房切除術(腋窩部郭清を伴わないもの))	10
乳腺悪性腫瘍手術(乳房切除術・胸筋切除併施しない)	8
乳腺腫瘍摘出術(長径5cm未満)	7

## 心臓血管外科

総件数	167
経皮的シャント拡張術・血栓除去術(初回)	33
末梢動脈瘻造設術(内シャント造設術)(単純なもの)	30
下肢静脈瘤血管内焼灼術	22
四肢の血管拡張術	11
経皮的シャント拡張術・血栓除去術(初回の実施後3月以内に実施する場合)	9
ステントグラフト内挿術(腹部大動脈)	9
血管結紮術(その他)	6
動脈血栓内膜摘出術(その他)	5

## 産婦人科

総件数	1,239
子宮附属器腫瘍摘出術(両側, 腹腔鏡)	207
腹腔鏡下子宮筋腫摘出(核出)術	181
腹腔鏡下腔式子宮全摘術	164
子宮頸部(腔部)切除術	100
帝王切開術(選択切開)	54
子宮内膜ポリープ切除術(電解質溶液利用のもの)	46
腹腔鏡下腔式子宮全摘術(内視鏡手術用支援機器使用)	43
帝王切開術(緊急切開)	33
腔壁形成手術	31

## 小児科

総件数	3
新生児仮死蘇生術(仮死第1度)	3

## 脳神経外科

総件数	25
慢性硬膜下血腫穿孔洗浄術	9
水頭症手術(シャント手術)	8
頭蓋内腫瘍摘出術(その他)	2
脊椎固定術、椎弓切除術、椎弓形成術(椎弓切除)	2

## 整形外科

総件数	324
脊椎固定術、椎弓切除術、椎弓形成術(後方椎体固定)	69
人工関節置換術(膝)	56
骨折観血的手術(大腿)	25
人工関節置換術(股)	16
人工骨頭挿入術(股)	15
骨折観血的手術(下腿)	13
脊椎固定術、椎弓切除術、椎弓形成術(椎弓切除)	12
脊椎固定術、椎弓切除術、椎弓形成術(椎弓形成)	10
椎間板摘出術(後方摘出術)	10

## 皮膚科

総件数	19
皮膚切開(長径10cm未満)	8
皮膚腫瘍摘出術(露出部)(長径2cm以上4cm未満)	2
皮膚悪性腫瘍切除術(単純切除)	2

## 泌尿器科

総件数	274
膀胱悪性腫瘍手術(経尿道的手術・電解質溶液利用のもの)	62
経尿道的尿路結石除去術(レーザーによるもの)	45
経尿道的尿管ステント留置術	34
腹腔鏡下前立腺悪性腫瘍手術(内視鏡手術用支援機器を用いるもの)	19
体外衝撃波腎・尿管結石破碎術(一連につき)	17
経尿道的前立腺核出術	16
腹腔鏡下腎(尿管)悪性腫瘍手術	13
経尿道的電気凝固術	10
経皮的腎(腎盂)瘻造設術	7

## 眼科

総件数	424
水晶体再建術(眼内レンズを挿入する場合・その他のもの)	409
眼瞼下垂症手術(その他)	5
網膜光凝固術(その他特殊なもの・一連につき)	3
後発白内障手術	2
角膜・強膜異物除去術	2

## 耳鼻咽喉・頭頸部外科

総件数	314
口蓋扁桃手術(摘出)	96
リンパ節摘出術(長径3cm未満)	23
内視鏡下鼻・副鼻腔手術III型(選択的(複数洞)副鼻腔手術)	18
顔面神経減圧手術(乳様突起経由)	14
粘膜下鼻甲骨切除術	13
鼻中隔矯正術	12
扁桃周囲膿瘍切開術	12
内視鏡下鼻・副鼻腔手術IV型(汎副鼻腔手術)	11

## 形成再建外科

総件数	167
眼瞼下垂症手術(その他)	22
皮膚悪性腫瘍切除術(単純切除)	15
眼瞼下垂症手術(眼瞼挙筋前転法)	11
皮下腫瘍摘出術(露出部以外)(長径3cm以上6cm未満)	10
リンパ節摘出術(長径3cm未満)	8
皮膚腫瘍摘出術(露出部)(長径2cm以上4cm未満)	7
皮膚腫瘍摘出術(露出部以外)(長径6cm以上12cm未満)	6
皮膚切開(長径10cm未満)	6
皮膚腫瘍摘出術(露出部以外)(長径3cm以上6cm未満)	6
創傷処理(筋肉、臓器に達しないもの・長径5cm未満)	6
皮下腫瘍摘出術(露出部以外)(長径3cm未満)	5

## 麻酔・緩和医療科

総件数	16
胸水・腹水濾過濃縮再静注法	12
非観血的関節授動術(足)	4

## 救急総合診療科

総件数	9
創傷処理(筋肉、臓器に達しないもの・長径5cm未満)	5
創傷処理(筋肉、臓器に達するもの・長径5cm以上10cm未満)	2

[診療情報管理室]

## 2. 医事統計

### 1 診療科別医療収入

	4月			5月			6月			7月			8月			9月			10月		
	外来	入院	計																		
循環器内科	9,254	32,187	41,441	8,492	29,113	37,605	10,007	30,123	40,130	11,419	28,950	40,369	11,269	40,673	51,942	12,224	38,341	50,565	11,828	43,586	55,414
消化器内科	21,131	42,805	63,936	19,750	31,588	51,338	25,764	44,311	70,074	25,984	46,008	71,992	23,132	35,986	59,119	22,865	41,024	63,890	29,977	41,830	71,807
総合内科	82,040	94,690	176,730	85,129	92,881	178,010	99,012	93,030	192,042	95,319	104,410	199,730	96,424	111,493	207,917	104,002	116,082	220,084	105,817	112,918	218,735
血液・ 化学療法内科	36,285	72,599	108,884	30,819	65,900	96,719	42,366	74,609	116,975	33,844	72,343	106,187	41,341	65,605	106,946	29,278	67,604	96,881	41,236	62,981	104,217
脳神経内科	4,118	10,188	14,307	2,562	10,797	13,359	4,527	16,686	21,212	4,596	13,620	18,215	3,548	12,044	15,592	3,783	13,171	16,954	5,037	11,143	16,180
腎臓内科	5,034	19,458	24,492	4,735	17,594	22,329	6,110	16,162	22,271	5,972	18,141	24,112	5,997	20,859	26,856	5,986	24,290	30,276	6,091	18,356	24,447
内科(計)	157,863	271,927	429,790	151,487	247,873	399,360	187,785	274,920	462,705	177,134	283,472	460,606	181,712	286,660	468,372	178,138	300,513	478,651	199,986	290,814	490,800
消化器外科	7,683	30,647	38,330	7,961	29,619	37,580	7,468	48,523	55,991	9,262	40,452	49,713	8,099	48,814	56,913	10,386	61,859	72,244	9,826	60,962	70,787
呼吸器外科	623	3,060	3,684	416	6,917	7,334	705	7,413	8,118	635	11,544	12,180	828	12,802	13,630	894	12,186	13,079	1,078	12,893	13,971
乳腺外科	13,678	10,272	23,951	13,561	6,851	20,412	14,666	5,709	20,375	15,189	9,155	24,344	14,225	10,045	24,270	17,694	11,364	29,058	14,616	11,936	26,552
心臓血管外科	438	8,641	9,079	718	14,716	15,434	743	13,868	14,611	644	12,335	12,979	602	9,262	9,864	806	10,388	11,194	559	12,430	12,989
外科(計)	22,422	52,621	75,044	22,656	58,103	80,759	23,582	75,513	99,095	25,730	73,486	99,216	23,755	80,923	104,678	29,779	95,796	125,576	26,078	98,221	124,299
産婦人科	18,534	70,736	89,270	17,538	81,776	99,314	22,355	93,521	115,876	22,964	97,810	120,773	19,410	104,490	123,900	23,961	93,927	117,888	23,806	99,509	123,315
小児科	3,856	3,592	7,448	3,217	3,830	7,047	3,085	5,371	8,456	3,846	3,537	7,383	4,129	4,522	8,651	4,694	6,441	11,135	4,510	6,844	11,354
神経科・ 精神科	6,146	8,872	15,019	5,468	5,398	10,865	6,608	9,335	15,943	7,509	12,030	19,539	6,639	11,088	17,726	6,615	10,457	17,072	7,102	11,523	18,625
脳神経外科	746	4,269	5,014	731	4,458	5,189	862	4,375	5,238	1,115	2,566	3,681	1,049	5,057	6,106	1,151	7,279	8,430	1,091	5,096	6,187
整形外科	5,451	42,248	47,700	6,286	44,828	51,115	7,998	49,007	57,005	7,607	54,882	62,489	6,077	42,190	48,267	6,776	45,983	52,759	6,981	59,396	66,377
皮膚科	35,975	10,042	46,017	38,481	12,754	51,235	28,280	13,003	41,283	29,561	13,160	42,721	20,987	11,589	32,576	30,478	14,477	44,955	29,117	11,145	40,262
泌尿器科	14,743	13,281	28,024	14,914	19,852	34,766	14,551	19,650	34,201	15,123	21,748	36,871	13,834	20,055	33,889	13,991	23,769	37,760	16,076	25,284	41,360
眼科	6,493	4,689	11,182	6,314	7,565	13,879	8,207	10,077	18,284	7,497	7,678	15,175	6,932	4,611	11,543	7,260	7,892	15,152	7,838	7,872	15,710
耳鼻咽喉・ 頭頸部外科	5,477	14,718	20,194	5,595	5,948	11,542	7,267	12,235	19,501	8,496	24,647	33,143	6,630	19,692	26,322	8,063	12,152	20,215	8,437	14,767	23,205
形成再建外科	1,008	4,816	5,824	814	2,579	3,393	1,532	2,624	4,156	1,606	2,306	3,912	1,249	2,531	3,781	1,046	1,897	2,943	1,648	2,554	4,202
放射線診断・ IVR科	1,848	0	1,848	1,449	0	1,449	2,090	0	2,090	2,900	0	2,900	2,809	0	2,809	2,644	0	2,644	2,720	0	2,720
放射線治療科	3,337	2,858	6,195	3,545	2,502	6,047	4,705	4,498	9,203	3,158	6,598	9,756	4,762	5,852	10,614	2,876	2,866	5,742	1,967	3,838	5,805
麻酔・ 緩和医療科	250	1,668	1,917	303	1,035	1,338	424	1,749	2,173	403	2,467	2,870	403	1,598	2,001	347	1,714	2,062	481	2,151	2,632
救急総合診療 センター	7,813	6,279	14,092	8,166	6,749	14,916	6,396	6,735	13,131	9,004	7,275	16,278	9,939	7,781	17,720	7,221	8,224	15,445	7,327	9,569	16,895
糖尿病・ 内分泌センター	442	0	442	424	0	424	511	0	511	527	0	527	486	0	486	505	0	505	553	0	553
リハビリ テーション科	213	11,730	11,943	185	11,168	11,353	668	13,383	14,050	401	13,352	13,753	227	11,749	11,976	350	11,715	12,064	629	12,576	13,206
血液浄化 センター	6,676	0	6,676	7,085	0	7,085	6,765	0	6,765	6,937	0	6,937	6,854	0	6,854	7,034	0	7,034	7,091	0	7,091
その他	21	0	21	23	0	23	26	0	26	30	0	30	26	0	26	10	0	10	24	0	24
計	299,314	524,346	823,660	294,682	516,419	811,101	333,699	595,995	929,694	331,548	627,013	958,561	317,908	620,389	938,297	332,939	645,102	978,042	353,463	661,160	1,014,623
百分率	36%	64%	100%	36%	64%	100%	36%	64%	100%	35%	65%	100%	34%	66%	100%	34%	66%	100%	35%	65%	100%

[単位：千円]

11月			12月			1月			2月			3月			累計			前年度 累計	対前年 差額
外来	入院	計	外来	入院	計														
11,954	52,479	64,434	10,826	42,002	52,828	10,751	38,003	48,754	10,698	34,836	45,533	12,371	39,984	52,354	131,093	450,277	581,370	682,524	▲101,154
26,856	35,985	62,841	29,469	47,913	77,382	24,669	43,399	68,068	27,725	37,964	65,689	29,214	34,372	63,585	306,535	483,185	789,721	747,499	42,222
101,350	92,957	194,307	101,244	89,306	190,550	96,165	87,257	183,423	92,691	91,073	183,764	103,047	116,445	219,492	1,162,241	1,202,543	2,364,784	1,416,431	948,353
32,627	78,510	111,137	41,606	67,774	109,381	36,535	56,853	93,388	44,356	53,506	97,863	39,648	57,018	96,666	449,940	795,302	1,245,243	987,259	257,984
3,470	4,952	8,421	4,238	8,206	12,443	3,669	9,189	12,857	3,478	7,533	11,011	4,516	7,098	11,614	47,541	124,626	172,167	201,946	▲29,780
5,674	15,312	20,985	5,934	20,113	26,047	5,639	17,960	23,598	5,000	16,137	21,137	6,112	16,756	22,868	68,282	221,137	289,419	196,254	93,165
181,930	280,195	462,125	193,316	275,314	468,630	177,427	252,661	430,088	183,947	241,049	424,997	194,907	271,673	466,580	2,165,633	3,277,071	5,442,704	4,231,913	1,210,790
10,043	45,396	55,439	9,564	51,788	61,352	9,888	45,076	54,964	11,125	41,214	52,340	14,350	47,055	61,405	115,654	551,405	667,059	564,618	102,441
676	9,999	10,676	750	6,369	7,120	926	5,821	6,746	911	6,450	7,361	1,921	11,048	12,969	10,364	106,503	116,868	71,911	44,956
15,354	7,330	22,684	17,740	6,641	24,380	16,290	6,786	23,076	14,586	12,513	27,099	17,681	12,163	29,844	185,281	110,765	296,045	263,798	32,247
605	12,023	12,629	680	7,148	7,828	696	10,098	10,794	428	10,270	10,697	1,050	15,878	16,928	7,968	137,057	145,025	58,491	86,534
26,679	74,748	101,427	28,734	71,947	100,681	27,800	67,781	95,581	27,050	70,447	97,497	35,001	86,145	121,146	319,267	905,730	1,224,997	900,328	324,670
22,277	94,694	116,971	24,799	104,193	128,992	22,354	96,361	118,715	21,348	93,872	115,220	25,970	105,557	131,527	265,316	1,136,445	1,401,762	1,442,479	▲40,717
4,930	3,102	8,032	5,621	5,520	11,142	5,587	4,297	9,883	5,237	3,419	8,656	7,772	5,903	13,675	56,483	56,380	112,863	214,720	▲101,857
6,522	9,597	16,119	6,307	6,561	12,868	6,198	4,363	10,562	5,896	5,725	11,621	7,068	9,527	16,595	78,078	104,475	182,554	166,376	16,177
1,090	4,421	5,511	978	910	1,888	691	3,734	4,424	871	4,611	5,482	1,454	2,060	3,513	11,828	48,836	60,664	57,071	3,592
6,631	42,951	49,583	7,652	40,384	48,037	6,665	35,376	42,041	6,441	44,797	51,238	8,612	48,069	56,681	83,177	550,112	633,289	719,974	▲86,685
22,670	9,751	32,421	30,615	9,658	40,273	27,527	9,599	37,126	25,136	6,522	31,659	32,440	7,123	39,563	351,266	128,822	480,089	500,460	▲20,371
14,591	18,482	33,074	17,568	22,025	39,593	14,933	17,979	32,913	13,658	21,145	34,803	17,130	20,603	37,733	181,112	243,874	424,987	390,926	34,061
7,888	8,314	16,202	7,863	9,154	17,017	6,886	7,319	14,205	6,780	6,126	12,906	8,437	9,043	17,480	88,395	90,341	178,736	145,292	33,444
7,739	13,935	21,674	7,475	21,707	29,182	5,937	21,103	27,040	6,921	14,608	21,530	7,089	17,250	24,339	85,126	192,763	277,888	203,944	73,945
996	2,369	3,364	1,265	2,282	3,547	967	1,707	2,674	1,516	3,475	4,991	1,512	2,525	4,037	15,158	31,666	46,825	75,069	▲28,245
2,917	0	2,917	2,880	0	2,880	2,197	0	2,197	2,490	0	2,490	3,377	0	3,377	30,320	0	30,320	36,957	▲6,636
3,243	3,958	7,201	4,958	2,589	7,546	3,349	2,749	6,098	2,170	2,741	4,911	4,315	4,492	8,807	42,385	45,542	87,927	67,117	20,810
426	1,589	2,016	369	1,698	2,067	374	1,542	1,916	279	1,302	1,581	578	2,210	2,788	4,638	20,722	25,360	27,522	▲2,162
7,298	10,356	17,654	7,240	15,637	22,877	7,370	17,314	24,684	6,034	14,144	20,178	6,152	14,657	20,809	89,961	124,719	214,680	312,561	▲97,880
544	0	544	487	0	487	454	0	454	458	0	458	523	0	523	5,915	0	5,915	109,718	▲103,803
339	10,590	10,929	376	10,877	11,253	390	9,543	9,934	326	9,823	10,149	441	12,116	12,557	4,546	138,621	143,167	6,268	136,898
6,552	0	6,552	6,320	0	6,320	6,493	0	6,493	5,672	0	5,672	6,606	0	6,606	80,083	0	80,083	6,296,103	▲6,216,020
24	0	24	31	0	31	26	0	26	42	0	42	20	0	20	305	0	305	303	1
325,286	589,052	914,338	354,854	600,456	955,309	323,624	553,429	877,053	322,274	543,806	866,080	369,404	618,952	988,356	3,958,995	7,096,119	11,055,114	9,697,300	1,357,814
36%	64%	100%	37%	63%	100%	37%	63%	100%	37%	63%	100%	37%	63%	100%	36%	64%	100%		

[医事サービス部]

## 2 医療行為別医療収入

### ① 外来

[単位：千円]

	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	累計	前年度 累計	対前年 差額
初診料	3,810	3,361	3,911	4,307	4,075	3,906	4,162	3,694	3,427	3,225	3,123	4,038	45,039	53,983	▲8,943
再診料	10,214	9,670	11,523	11,933	11,009	11,674	12,272	11,144	12,346	11,145	10,632	13,186	136,748	144,764	▲8,015
指導料	34,655	32,888	28,037	25,786	24,015	26,331	25,139	23,307	25,931	25,806	22,048	26,389	320,331	409,062	▲88,731
処方料	10,463	11,483	13,148	11,935	11,112	9,029	13,577	11,374	11,471	12,665	17,492	15,776	149,524	193,717	▲44,194
注射料	106,687	106,923	116,258	113,924	114,191	117,524	124,811	114,738	131,398	115,603	120,692	127,919	1,410,670	1,230,257	180,413
処置料	8,328	8,361	8,081	8,810	8,371	8,729	8,897	8,443	8,348	8,156	7,239	8,574	100,336	89,153	11,184
手術料	3,403	4,263	5,876	5,814	5,094	5,544	5,985	6,124	5,827	5,528	5,365	6,331	65,153	53,817	11,335
検体検査料	69,527	68,525	88,591	88,144	83,256	90,174	93,733	84,398	91,168	83,420	80,300	98,458	1,019,692	1,079,236	▲59,544
画像検査料	33,930	31,533	37,287	40,849	36,765	39,854	42,586	39,270	40,899	37,881	37,511	44,113	462,478	474,350	▲11,873
リハビリ その他	12,932	12,332	15,102	14,209	14,599	13,359	13,239	13,479	15,971	13,370	11,956	16,110	166,660	176,628	▲9,968
自費	5,365	5,344	5,885	5,837	5,421	6,816	9,062	9,315	8,068	6,825	5,914	8,511	82,363	86,450	▲4,086
計	299,314	294,682	333,699	331,548	317,908	332,939	353,463	325,286	354,854	323,624	322,274	369,404	3,958,995	3,991,417	▲32,422

[医事サービス部]

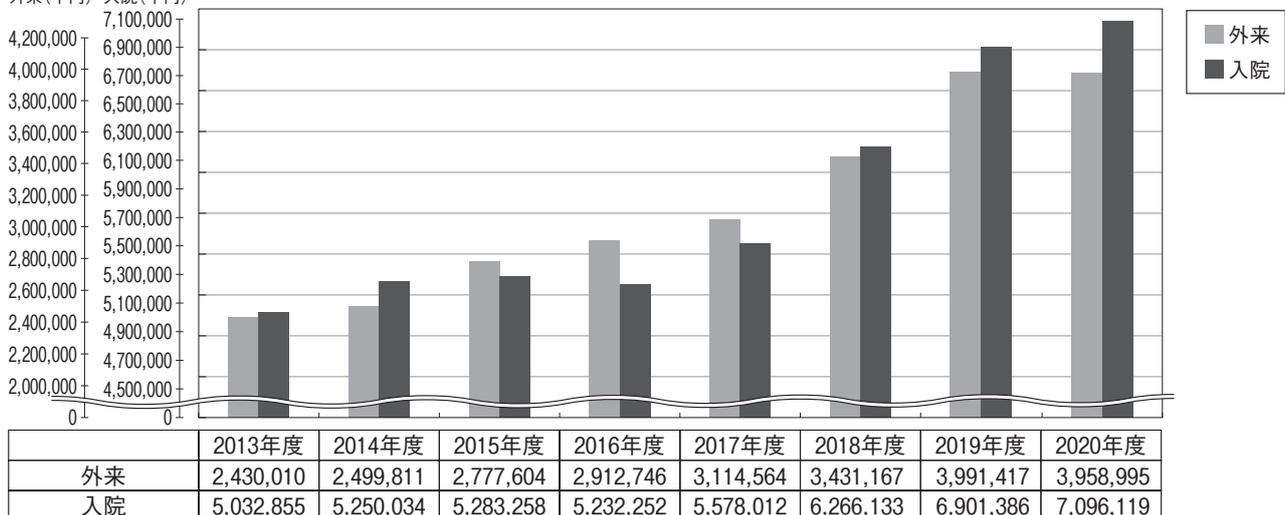
② 入院

[単位：千円]

	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	累計	前年度 累計	対前年 差額
診察料	351	444	353	411	470	343	385	319	470	481	445	287	4,759	4,756	3
指導料	6,634	6,146	6,384	7,669	6,876	7,279	8,349	6,148	6,810	6,208	6,122	7,285	81,910	76,561	5,349
処方料	7,539	4,954	4,554	6,847	8,733	9,782	9,073	4,286	6,047	5,571	6,810	7,296	81,493	98,350	▲16,857
注射料	10,815	6,648	11,449	13,719	13,340	26,131	14,926	14,932	17,671	18,659	19,492	18,939	186,722	203,658	▲16,936
処置料	2,908	3,190	3,362	3,619	2,515	3,900	4,142	3,772	3,091	3,281	2,450	2,902	39,132	41,554	▲2,422
手術料	99,950	115,908	144,885	157,457	128,714	144,307	168,050	141,960	146,409	128,726	133,271	145,430	1,655,067	1,652,014	3,052
検体検査料	7,098	8,333	9,860	10,250	10,607	12,167	10,969	10,467	13,141	13,094	12,211	12,269	130,466	122,977	7,490
画像検査料	1,126	1,295	1,516	1,382	1,446	1,635	1,710	1,629	2,379	2,172	1,799	1,776	19,865	18,669	1,197
リハビリ その他	14,616	13,730	18,026	19,750	17,561	14,627	16,413	14,582	13,331	12,207	12,502	16,656	184,000	159,319	24,680
入院料	49,239	51,521	51,730	55,807	60,650	63,362	61,771	62,426	76,670	74,966	59,678	59,224	727,044	659,385	67,659
DPC	269,228	256,508	289,414	294,129	305,441	297,651	303,093	271,841	257,634	238,473	240,528	288,079	3,312,019	3,177,539	134,480
食事療養費	14,058	13,669	14,449	15,054	15,683	15,532	15,363	13,622	13,212	12,621	12,357	14,240	169,860	179,289	▲9,429
自費	40,784	34,072	40,014	40,919	48,353	48,386	46,917	43,068	43,590	36,969	36,140	44,568	503,782	507,315	▲3,533
計	524,346	516,419	595,995	627,013	620,389	645,102	661,160	589,052	600,456	553,429	543,806	618,952	7,096,119	6,901,386	194,733

[医事サービス部]

外来(千円) 入院(千円)



### 3. その他統計

#### 1 病院従業員数（2020年4月1日時点）

		職員	性別		専攻医	研修医	常勤嘱託	非常勤・パート	
			男	女					
医師	2020年度	91	63	28	20	11	3	37	
	2019年度	89	69	20	12	12	2	36	
薬剤師	2020年度	18	8	10	0	0	0	2	
	2019年度	15	7	8	0	0	0	2	
放射線技師	2020年度	18	12	6	0	0	0	0	
	2019年度	19	13	6	0	0	0	0	
臨床検査技師	2020年度	33	13	20	0	0	0	4	
	2019年度	33	13	20	0	0	0	3	
理学療法士	2020年度	11	10	1	0	0	0	0	
	2019年度	11	10	1	0	0	0	0	
作業療法士	2020年度	4	4	0	0	0	0	0	
	2019年度	1	1	0	0	0	0	0	
管理栄養士	2020年度	4	0	4	0	0	0	0	
	2019年度	3	0	3	0	0	0	0	
ケースワーカー	2020年度	5	0	5	0	0	0	0	
	2019年度	4	0	4	0	0	0	0	
視能訓練士・眼鏡士	2020年度	1	0	1	0	0	0	1	
	2019年度	2	0	2	0	0	0	2	
公認心理師	2020年度	1	0	1	0	0	0	1	
	2019年度	1	0	1	0	0	0	0	
臨床心理士	2020年度	0	0	0	0	0	0	0	
	2019年度	0	0	0	0	0	0	1	
臨床工学技士	2020年度	0	0	0	0	0	0	0	
	2019年度	10	5	5	0	0	0	0	
看護師	2020年度	333	17	316	0	0	0	21	
	2019年度	316	11	305	0	0	0	24	
准看護師	2020年度	0	0	0	0	0	0	6	
	2019年度	0	0	0	0	0	0	7	
看護助手	2020年度	0	0	0	0	0	0	7	
	2019年度	0	0	0	0	0	0	7	
事務員	2020年度	49	28	21	0	0	0	28	
	2019年度	44	25	19	0	0	0	29	
一般技能労務職	2020年度	3	3	0	0	0	0	2	
	2019年度	3	3	0	0	0	0	2	
小計	2020年度	571	158	413	20	11	3	109	
	2019年度	551	157	394	12	12	2	113	
ニッセイ予防医学センター	医師	2020年度	4	1	3	0	0	2	3
		2019年度	5	3	2	0	0	2	2
	放射線技師	2020年度	5	2	3	0	0	1	5
		2019年度	5	2	3	0	0	0	4
	臨床検査技師	2020年度	0	0	0	0	0	0	12
		2019年度	0	0	0	0	0	0	11
	公認心理士	2020年度	0	0	0	0	0	0	2
		2019年度	0	0	0	0	0	0	2
	看護師	2020年度	12	0	12	0	0	0	0
		2019年度	9	0	9	0	0	0	6
	事務員	2020年度	15	5	10	0	0	0	23
		2019年度	13	5	8	0	0	0	23
	一般技能労務職	2020年度	1	1	0	0	0	0	0
		2019年度	1	1	0	0	0	0	0
小計	2020年度	37	9	28	0	0	3	45	
	2019年度	33	11	22	0	0	2	48	
訪問看護	看護師	2020年度	5	0	5	0	0	0	0
		2019年度	5	0	5	0	0	0	11
小計	2020年度	5	0	5	0	0	0	0	
	2019年度	5	0	5	0	0	0	11	
総計	2020年度	613	167	446	20	11	6	154	
	2019年度	589	168	421	12	12	4	172	

[総務人事G]

#### 2 セカンドオピニオン外来件数（年間計）

総合内科 1件、血液・化学療法内科 1件、乳腺外科 2件、産婦人科 7件、計 11件

[あったかサポートセンター]

循環器内科

スタッフ 部長：岡部太一（中央臨床検査部長）  
 担当部長：中川 厚（救急総合診療センター副センター長）  
 医 長：和田有希、吉川秀人  
 副 医 長：友瀧彰人  
 専 攻 医：高島大幸（2020年6月）

1. 診療内容

循環器内科では虚血性心疾患、心不全、各種弁膜症、高血圧症、脂質異常症、不整脈疾患、末梢血管疾患に加え、その危険因子である高血圧症、脂質異常症、糖尿病の診断・治療も行っている。

循環器疾患のなかでも、特に大きな課題を抱えているのが心不全である。団塊の世代が全員75歳以上になる2025年問題が指摘、2030年には心不全患者が爆発的に増加する「心不全パンデミック」も懸念されており、当科も積極的に受け入れ対応を実施、心不全の進展についてステージDである高齢化に伴う心不全の緩和ケアの重要性が増すと共に、未病という考えから心不全に至る危険因子の管理も非常に重要であることから、外来においては積極的に他科やドックからの受け入れを行い、安定した後は、登録医の先生方への逆紹介を行っている。

待機的な冠動脈造影検査については近年、年間600件前後、経皮的冠動脈形成術（PCI）も150～200件前後で推移していたが、コロナ禍の影響もあり、それぞれ330件、130件程度と減少したが、急性心筋梗塞などの緊急カテーテル検査などの救急疾患についても積極的に対応、大きな減少は認めなかった。

近年保険診療においてPCI実施については可能な限り虚血所見の証明を必要とされており、当院ではシンチ検査や運動負荷シンチ検査にて虚血評価を実施の上、カテーテル治療を実施している。

不整脈治療について、頻脈性不整脈に対するカテーテル心筋症焼灼術については心房粗動や上室性頻拍症など心房細動以外の不整脈に対しては大阪医科大学循環器内科出身の不整脈専門医の協力のもと当院にてアブレーション治療を可能な体制を構築、また心房細動症例については当院では定期的なアブレーション治療は実施していないが、薬物治療・アブレーション治療による治療の要否について循環器専門医が判断、必要と判断した症例については実施可能施設に紹介している（2020年は実施症例なし）。

徐脈性不整脈（洞不全症候群、房室ブロック）に対するペースメーカー治療（新規植込み・電池交換）については吉川医長が植込み手術を実施している。

また2016年9月より心臓リハビリテーションを当院でも開始、主に入院患者を対象に急性心筋梗塞後のみならず心不全や閉塞性動脈硬化症などに対して実施、可能な症例に対しては入院から外来へと継続実施して

いる。心臓リハビリテーション実施に際して安全にかつ有効に実施するため心肺運動負荷試験（CPX）実施、嫌気性代謝閾値を相定、評価実施、運動処方を行っている。

虚血性心疾患・心不全を中心に診療を行っているが、循環器一般診療・内科一般疾患に対しても関連疾患の診療も他科と協力、幅広く診療を行っている。

2. 診療体制

- 1) 外来診察スケジュール（表1）
- 2) 病棟体制（表2）
- 3) 検査スケジュール（表3）
  - ・心臓カテーテル検査・冠動脈形成術：放射線部（火曜 全日、木曜・全日、尚、緊急時には適時対応）
  - ・薬剤負荷心筋シンチ（火・木午前）
  - ・トレッドミル負荷心電図検査（月曜 午後）
  - ・経胸壁心臓超音波検査 頸動脈超音波検査（月～金曜 全日）
  - ・経食道心臓超音波検査（午後適時）
  - ・下肢静脈超音波検査（月～金曜 午後）
  - ・ホルター心電図検査（月～木曜、午前）
  - ・CPX：心肺運動負荷試験（午後適時）

3. 診療実績

- 1) 外来診療実績（表4）
- 2) 入院診療実績（表4、5）
- 3) 検査実績
  - 心臓カテーテル検査件数：330件
  - PCI（冠動脈インターベンション治療）：131件（内、緊急20件）
  - ペースメーカー治療（新規/交換）：21/5件
  - 冠動脈CT：298件
  - 心臓超音波検査：3,863件
  - 経食道心臓超音波検査：9件
  - トレッドミル負荷心電図：136件
  - 負荷心筋シンチ：63件
  - ホルター心電図検査：201件
  - CPX件数：4件

#### 4. 認定医・専門医など

日本内科学会認定内科医

4名（岡部、中川、和田、友瀨）

日本内科学会総合内科専門医 1名（岡部）

循環器専門医 3名（岡部、中川、友瀨）

日本心血管インターベンション治療学会

専門医・指導医 （中川）

#### 5. 業績

論文・著書

1. 田村有里, 友瀨彰人, 吉川秀人, 中川 厚, 岡部太一: 健診で指摘された, 常染色体優性多発嚢胞腎に合併した大動脈弁閉鎖不全症の2例, 日本生命病院医学雑誌, 48:33-37, 2020年

学会発表

1. 木下聡子, 友瀨彰人, 吉川秀人, 和田有希, 中川 厚, 岡部太一: 高Ca血症を契機に発見された心サルコイドーシスの1例, 第230回日本内科学会近畿地方会, 2020年12月, WEB開催
2. 森本尚喜, 友瀨彰人, 吉川秀人, 和田有希, 中川 厚, 岡部太一: 入院中に再燃を認めた特発性急性心膜炎の1例, 第230回日本内科学会近畿地方会, 2020年12月, WEB開催
3. 高島大幸, 友瀨彰人, 吉川秀人, 和田有希, 中川 厚, 岡部太一: 急性前壁心筋梗塞後に心室中隔穿孔を合併した1例, 第230回日本内科学会近畿地方会, 2020年12月, WEB開催

研究会発表

1. 岡部太一: レニン・アンジオテンシン系を考慮した心不全治療, あわぎ 腎・循環器セミナー, 2020年10月, 大阪
2. 岡部太一: 慢性心不全における心拍数管理意義, 心不全治療セミナー, 2020年11月, 大阪
3. 中川 厚: 循環器疾患における抗血栓療法, Bay Area Pharmacist Seminar, 2021年1月, 大阪

表1 外来診察スケジュール

月		火		水		木		金	
午前	午後	午前	午後	午前	午後	午前	午後	午前	午後
吉川	友瀨	岡部	永田	中川	吉川	岡部	岡部	岡部	中川 (予約)
中川				岡部/ 長谷川 (浩) (予約)**	和田			友瀨	

\*\*岡部は1・4・5週の予約再診、長谷川は2・3週の初診のみ

表2 病棟体制

	月	火	水	木	金
午前	カンファレンス	カンファレンス 心臓カテーテル (全日)	合同カンファレンス (放科・心外)	カンファレンス 心臓カテーテル (全日)	カンファレンス
午後			心リハカンファ	カンファレンス (夕~)	

表3 検査スケジュール

検査項目	月		火		水		木		金	
	午前	午後								
心エコー	● 紹・予									
頸動脈エコー	● 紹・予									
ホルター心電図		● 紹・予		● 紹・予		● 紹・予		● 紹・予		
末梢血管エコー		● 紹・予								
トレッドミル		○ 診								
心臓カテーテル検査			○ 診	○ 診			○ 診	○ 診		
負荷心筋シンチ									○ 診	

●: 紹介状・予約が必要 ○: 当院診察が必要

表4 年度別外来・入院延べ患者数

	2016年度	2017年度	2018年度	2019年度	2020年度
外来	13,827	14,750	14,144	12,558	12,092
入院	12,044	10,706	8,470	6,896	6,345

表5 2020.4~2021.3-入院患者の疾患（上位のみ）

疾患名	件数	平均在院日数
狭心症	284	5
心不全	136	19
COVID-19	14	10
心房細動および粗動	13	7
その他の不整脈	12	15
心臓および血管の挿入物および移植片の存在	11	11
急性心筋梗塞	10	28

# 消化器内科

スタッフ 主任部長：有坂好史（消化器内視鏡センター長）  
副部長：田中敏雄、若原ちか、荻巣恭平  
医 長：河田奈都子、花本浩一、北田隆起  
専攻医：石田哲朗（～2021年1月）  
顧問：中村秀次

## 1. 診療内容

全人的な医療をモットーとして、消化器疾患全般に対する診療を行っている。外科合同カンファレンス、放射線科合同カンファレンスを継続して行い、外科・放射線科の連携のもと集学的診断治療に努めている。上部・下部消化管内視鏡検査では、NBI拡大内視鏡、色素内視鏡を用いて、食道癌、胃癌、大腸癌の早期診断など高い診断精度を目指す。胆膵疾患および消化管粘膜下腫瘍に対しては超音波内視鏡検査を駆使し、超音波内視鏡下穿刺吸引法（EUS-FNA）も導入し、診断能の向上を図っている。治療の手技としては、内視鏡的粘膜切除術、ポリペクトミー、内視鏡的食道静脈瘤結紮術に加えて、胃・食道の早期癌に対して粘膜下層剥離術（ESD）も積極的に実施しており、早期大腸癌のESDも行っている。膵・胆管領域では、総胆管結石や閉塞性黄疸に対して内視鏡的逆行性膵胆道造影・内視鏡的乳頭切開術、胆管ステント留置術等を行っている。食道や胃の進行癌だけでなく膵癌、胆管癌に対しても、化学療法、放射線療法など集学的治療を行っている。肝疾患では、B型慢性肝炎に対するエンテカビル、テノホビル、TAF投与、C型慢性肝炎に対するIFN-free DAA経口療法を積極的に実施している。肝硬変に対しては肝癌の早期発見さらに発癌抑制も踏まえたきめ細かな診療を心がけ、分枝鎖アミノ酸製剤等の栄養療法、難治性腹水に対するCART療法など、QOLおよび生存率の向上を目指した治療を行っている。肝細胞癌に対しては、外科、放射線科との緊密な連携の下、外科切除、ラジオ波焼灼療法、肝動脈化学塞栓療法（TACE）等の局所治療を実施するとともに、局所コントロール不能例には分子標的治療薬も積極的に導入し、集学的治療を行っている。

## 2. 診療体制

- 1) 外来診察スケジュール（表1）
- 2) 病棟体制（表2）
- 3) 検査スケジュール（表3）

## 3. 診療実績

- 1) 外来診療実績（表4）
- 2) 入院診療実績（表4、5）

## 4. 認定医・専門医など

日本内科学会認定医	4名（有坂、河田、北田、中村）
日本内科学会総合内科専門医	2名（若原、荻巣）
日本内科学会認定指導医	1名（中村）
日本消化器病学会認定専門医	6名（有坂、若原、河田、荻巣、北田、中村）
日本消化器病学会認定指導医	4名（有坂、中村、若原、荻巣）
日本消化器内視鏡学会認定専門医	6名（有坂、若原、河田、荻巣、北田、中村）
日本消化器内視鏡学会認定指導医	3名（有坂、若原、中村）
日本肝臓学会認定肝臓専門医	4名（河田、荻巣、北田、中村）
日本肝臓学会認定指導医	1名（中村）
日本胆道学会認定指導医	2名（有坂、荻巣）
日本膵臓学会認定指導医	1名（有坂）
日本臨床腫瘍学会暫定指導医	1名（中村）
日本超音波医学会専門医	1名（河田）
日本がん治療認定医	1名（河田）

## 5. 業績

### 論文・著書

1. 有坂好史, 荻巣恭平, 花本浩一: <総説> 「胆嚢筋腫症の疫学と診断」, 胆道, 34(2):163-174, 2020年
2. Kyohei Ogisu, Atsuhiko Masuda, Tsuyoshi Fujita, Yukinao Tamazaki, Masao Kobayashi, Shuichi Terao, Tsuyoshi Sanuki, Akihiko Okada, Masayasu Adachi, Yoshifumi Arisaka, Haruka Miyazaki, Hayato Yoshinaka, Hiromu Kuitsumi, Eiji Umegaki and Yuzo Kodama: Influence of sex on the association between body mass index and frequency of upper gastrointestinal symptoms, JGH Open (An open access Journal of Gastroenterology and hepatology), 5 ; 4(5) : 937-944:doi : 10. 1002/jgh3. 12368, 2020年
3. Hirayuki Enomoto, Hideji Nakamura, Hiroki Nishikawa, Shuhei Nishiguchi, Hiroko Iijima: Hepatoma-Derived Growth Factor : An Overview and Its Role as a Potential Therapeutic Target Molecule for Digestive Malignancies, Int. J. Mol. Sci, 13 ; 21(12):4216:doi : 10. 3390/ijms21124216, 2020年
4. 山本昌弘, 北田隆起, 城光寺龍, 近藤 礎, 小山武俊, 中村 真, 有坂好史: 清熱作用を有する漢方生薬を含む漢方製剤により惹起された肝障害の1例, 漢方と最新治療, 29(3):195-197, 2020年
5. 有坂好史, 篠田和子, 山添直子: レジデントノート増刊. できる! 使いたくなる! 腹部エコー. 解剖学的知識と臓器別の走査・描出のコツ, 異常所見を学ぶ. 第3章 肝・胆・膵の解剖と異常所見. 3. 胆嚢の異常所見, レジデントノート, 22(14):118-126, 2020年

- 永井健一, 山下晋也, 北田隆起, 花本浩一, 萩巢恭平, 田中敏雄, 生島裕文, 小関萬里, 有坂好史, 水野 均: 腹腔鏡手術により切除し得た原発性小腸癌の1例, 癌と化学療法, 47(13): 2382-2384, 2020年
- 有坂好史, 萩巢恭平, 田中敏雄, 若原ちか, 北田隆起: 領域別症候群シリーズNo.15 肝・胆道系症候群(第3版)Ⅲ 肝外胆道編 その他の肝・胆道系疾患を含めて, 日本臨牀, 306-311, 3, 2021年, 日本臨牀社, 大阪

#### 学会発表

- 北田隆起, 中村秀次, 萩巢恭平, 河田奈都子, 村本 理, 有坂好史: 肝硬変患者におけるGlycated albumin/HbA1c ratio (GHR)とALBI scoreの相関性, 第56回日本肝臓学会総会, 2020年8月, 大阪
- 石田哲朗, 萩巢恭平, 北田隆起, 花本浩一, 若原ちか, 河田奈都子, 田中敏雄, 中村秀次, 有坂好史: 巨大な壁外性発育を来した横行結腸粘液癌の1例, 第113回日本消化器病学会近畿支部例会, 2020年10月, 大阪
- 北田隆起, 有坂好史, 石田哲朗, 花本浩一, 萩巢恭平, 河田奈都子, 若原ちか, 田中敏雄: 内視鏡所見に乏しくランダム生検にて診断した好酸球性胃腸炎の1例, 第113回日本消化器病学会近畿支部例会, 2020年10月, 大阪
- 北田隆起, 中村秀次, 萩巢恭平, 河田奈都子, 有坂好史: 当院における腎機能が低下したC型慢性肝炎・代償性肝硬変に対するグレカプレビル/ピブレンタスビル (GLP/PIB) 療法の検討, 第43回日本肝臓学会東部会, 2020年12月, 盛岡 (WEB開催)
- 北田隆起, 中村秀次, 萩巢恭平, 河田奈都子, 有坂好史: 薬剤生還障害と鑑別を要した急性E型肝炎の1例, 第43回日本肝臓学会東部会, 2020年12月, 盛岡 (WEB開催)
- 有坂好史: 消化器「膵臓・胆道・その他」-keynote講演, 日本超音波医学会第93回学術集会, 2020年12月, 仙台 (WEB開催)
- 有坂好史: 胆道系を極める - 悪性胆嚢病変を極める, 日本超音波医学会 超音波診断講習会(消化器), 2021年3月, WEB開

#### 研究会発表

- 北田隆起: Lenvatinib投与後に脳梗塞を来した1例, LENVIMA-HCC Expert seminar, 2020年11月, 大阪

表1 外来診察スケジュール

月		火		水		木		金	
午前	午後	午前	午後	午前	午後	午前	午後	午前	午後
有坂	萩巢 (予約)	若原	北田 (予約)	中村	中村 (予約)	中村	中村 (予約)	有坂	(予約)
北田		田中 (敏)		萩巢	石田	永瀬		田中 (敏)	

表2 病棟スケジュール

月		火		水		木		金	
午前	午後	午前	午後	午前	午後	午前	午後	午前	午後
	胃内視鏡	胃内視鏡	胃内視鏡	胃内視鏡	胃内視鏡	胃内視鏡	胃内視鏡	胃内視鏡	胃内視鏡
午後	肝生検 大腸内視鏡	大腸内視鏡 内視鏡カンファ	肝生検 造影超音波検査 大腸内視鏡	ERCP RFA 16:30 放射線科 カンファ 病棟カンファ				大腸内視鏡 13:30 回診 14:30 外科カンファ	

表3 検査スケジュール

検査項目	月		火		水		木		金	
	午前	午後								
内視鏡 胃	●		●		●		●		●	
内視鏡 大腸		○		○		○				○
EUS										○
ERCP			○					○		
膵精密エコー						●				

●: 紹介状・予約が必要 ○: 当院診察が必要

表4 年度別外来・入院延べ患者数

	2016年度	2017年度	2018年度	2019年度	2020年度
外来	15,255	17,192	18,594	19,449	16,035
入院	8,423	9,712	8,741	10,461	8,786

表5 2020.4~2021.3-入院患者の疾患(上位のみ)

疾患名	件数	平均在院日数
結腸、直腸、肛門および肛門管の良性新生物	306	3
結腸の悪性新生物	87	5
腸の憩室性疾患	86	7
胆道のその他の疾患	44	13
胃の悪性新生物	39	10
腸の血行障害	37	7
胆石症	34	10
消化器系のその他の疾患	27	8
直腸の悪性新生物	26	9
腸のその他の疾患	25	2
急性膵炎	24	22
肝および肝内胆管の悪性新生物	23	15
膵の悪性新生物	22	22
口腔および消化器の性状不詳または不明の新生物	21	7

スタッフ 部長：立花 功（副院長、内科統括）  
 担当部長：住谷 哲（糖尿病・内分泌センター長、ニッセイ予防医学センター担当部長）  
 副部長：宇都佳彦（臨床研修部長代行）  
 医 長：甲原雄平、藤本 潤、二宮隆介  
 専攻医：加藤更紗、山本久留実、高森啓成（～2020年9月）、  
 高島大幸（2020年7～9月）、門脇千聡（2020年4月、9月）、  
 田中雅樹（2020年4～8月、2020年11月～2021年3月）、田村有里（2020年4～7月）、  
 西岡美保（2020年4～7月、2020年11月～2021年3月）、  
 勝沼倫子（2020年7月）、木島 涼（2020年4、5、8～10月、2021年1～3月）、  
 仁木貴美子（2020年10月～2021年3月）  
 兼任：佐藤文三（名誉院長）、笠山宗正（院長）、河面 聡（予防医学センター）  
 非常勤：小瀬戸昌博、宮武明彦

### 1. 診療内容

総合内科は内分泌・糖尿病、膠原病・リウマチ疾患・呼吸器疾患を対象に診療を行なっている。その内容は糖尿病の患者教育、経口薬やインスリンを初めとする注射薬による血糖コントロール、ケトosisや糖尿病合併症治療、クッシング症候群や甲状腺機能異常など内分泌疾患の診断・治療、SLE、強皮症、皮膚筋炎など膠原病の診断・治療、(生物学的製剤の使用を含む)慢性関節リウマチ治療、そして肺がんの診断・(分子標的薬、免疫チェックポイント阻害薬を含む)薬物療法・放射線治療・緩和治療、間質性肺炎、気管支喘息、COPDなどの診断・治療である。

2019年度より発生したCOVID-19に対しては、救急・総合診療科を含む各内科で入院治療を行ったが、総合内科が多くの患者を担当した。

### 2. 診療体制

1) 外来診察スケジュール (表1)

2) 病棟体制 (表2)

病床数は59～69、病棟担当医は研修医1～2名、専攻医4～7名、常勤医4名で、患者によっては研修医と専攻医、または専攻医と常勤医の組み合わせで複数主治医体制をとって診療を行った。

3) 検査スケジュール (表3)

X線透視下気管支鏡検査：放射線部（水曜日午後）

### 3. 診療実績

1) 外来診療実績 (表4)

外来延べ患者数は2016年度以降増加を続け2019年度45,755人であったが、2020年度は37,965人と7,790人減少した。COVID-19感染拡大に伴う受診控えの影響が考えられる。

2) 入院診療実績 (表4、5)

入院延べ患者数は、2019年度20,685人から2020年度21,133人と448人増加した。疾患別ではCOVID-19が145人で患者数第3位となった。

3) 検査実績

気管支鏡検査は全例検査入院で施行している。検査数は2020年度250件と着実に増加している。

### 4. 認定医・専門医など

日本内科学会認定内科医	13名	(立花、小瀬戸、住谷、三木、宇都、甲原、二宮、佐藤、笠山、宮武、河面、生田、暮部)
日本内科学会認定指導医	7名	(立花、小瀬戸、住谷、三木、宇都、佐藤、笠山)
日本内科学会総合内科専門医	6名	(小瀬戸、住谷、三木、宇都、甲原、河面)
日本内分泌学会専門医・指導医	4名	(住谷、佐藤、笠山、宮武)
日本糖尿病学会専門医・指導医	2名	(住谷、笠山)
日本リウマチ学会専門医・指導医	1名	(小瀬戸)
日本アレルギー学会専門医	2名	(小瀬戸、宮武)
日本アレルギー学会指導医	1名	(小瀬戸)
日本呼吸器学会専門医	3名	(立花、甲原、河面)
日本呼吸器学会指導医	3名	(立花、甲原、河面)
日本呼吸器内視鏡学会気管支鏡専門医	2名	(立花、河面)
日本呼吸器内視鏡学会気管支鏡指導医	1名	(立花)
がん治療認定医	1名	(甲原)
日本高血圧学会指導医	1名	(笠山)
日本人間ドック学会専門医・指導医	2名	(住谷、佐藤)
日本救急医学会救急科専門医	1名	(生田)

## 5. 業績

### 論文・著書

1. Tobita S, Kinehara Y, Tamura Y, Kurebe H, Ninomiya R, Utsu Y, Kohmo S, Sato B, Nagai K, Maruoka S, Jokoji R, Koyama S, Tachibana I: Successful continuous nivolumab therapy for metastatic non-small cell lung cancer after local treatment of oligometastatic lesions, *Thoracic Cancer*, 11:2357-2360, 2020年
2. Katakami N, Mita T, Yoshii H, Shiraiwa T, Yasuda T, Okada Y, Torimoto K, Umayahara Y, Kaneto H, Osonoi T, Yamamoto T, Kuribayashi N, Maeda K, Yokoyama H, Kosugi K, Ohtoshi K, Hayashi I, Sumitani S, Tsugawa M, Ryomoto K, Taki H, Nakamura T, Kawashima S, Sato Y, Watada H, Shimomura I; UTOPIA study investigators: Tofogliflozin does not delay progression of carotid atherosclerosis in patients with type 2 diabetes: a prospective, randomized, open-label, parallel-group comparative study, *Cardiovasc Diabetol*, 19:110, 2020年
3. Katakami N, Mita T, Yoshii H, Shiraiwa T, Yasuda T, Okada Y, Torimoto K, Umayahara Y, Kaneto H, Osonoi T, Yamamoto T, Kuribayashi N, Maeda K, Yokoyama H, Kosugi K, Ohtoshi K, Hayashi I, Sumitani S, Tsugawa M, Ryomoto K, Taki H, Nakamura T, Kawashima S, Sato Y, Watada H, Shimomura I; UTOPIA study investigators: Effect of tofogliflozin on arterial stiffness in patients with type 2 diabetes: prespecified sub-analysis of the prospective, randomized, open-label, parallel-group comparative UTOPIA trial, *Cardiovasc Diabetol*, 20:4, 2021年
4. 住谷 哲:改訂版 糖尿病薬・インスリン治療 基本と使い分けUpdate ビグアナイド薬 弘世貴久編 羊土社, レジデントノート増刊, 22, 875-881, 2020年

### 学会発表

1. 鈴木茂仁, 祐實紋矢香, 宇都佳彦, 有坂好史, 水野 均, 笠山宗正, 住谷 哲, 川北理恵: 睪管内乳頭粘液性腫瘍の経過観察中に発見されたコハク酸脱水素酵素(SDHB) 遺伝子変異を有するパラガングリオーマの1例, 第93回日本内分泌学会学術総会, 2020年6月, 浜松(WEB開催)
2. 田中雅樹, 甲原雄平, 二宮隆介, 木島涼, 立花功: 当院におけるDurvalumab使用経験の検討, 第60回日本呼吸器学会学術講演会, 2020年9月, 神戸(WEB開催)
3. 西岡美保, 加藤更紗, 高森啓成, 門脇千聡, 田村有里, 宇都佳彦, 立花功, 笠山宗正, 住谷哲: 大腿四頭筋の化膿性筋炎を発症した未治療2型糖尿病患者の1例, 第57回日本糖尿病学会近畿地方会, 2020年10月, 大阪(WEB開催)
4. 落合 進, 西岡美保, 加藤更紗, 高森啓成, 門脇千聡, 田村有里, 立花 功, 笠山宗正, 住谷 哲, 佐藤智彦, 芳川浩男: MRIにて発症前後の経過を観察し得た 糖尿病性舞蹈病の1例, 第57回日本糖尿病学会近畿地方会, 2020年10月, 大阪(WEB開催)
5. 大西彩乃, 山本久留実, 藤本 潤, 二宮隆介, 甲原雄平, 宇都佳彦, 立花 功, 山下千佳紗, 和田有希: 長期抗生剤投与により寛解を得た劇症型G群レンサ球菌感染症の1例, 第230回日本内科学会近畿地方会, 2020年12月, WEB開催

### 研究会発表

1. 笠山宗正: 日常診療に潜む下垂体疾患~100 and more~, 第125回日本生命病院 医学セミナーUpdate, 2020年4月, 大阪
2. 住谷 哲: シンポジウム1 2型糖尿病のマネージメント~臨床研究の結果を実臨床に生かす「基礎治療薬としてのメトホルミンを活用する」, 第54回糖尿病学の進歩, 2020年9月, 金沢(WEB開催)
3. 立花 功: Inflammation Persists: COPD Update, 第98回西宮地域医療セミナー, 2020年10月, WEB開催
4. 佐藤文三: 腎・骨・血管連関を制御する生理活性物質一末期腎不全における役割, MBD UP TO DATE, 2020年12月, WEB開催

表1 外来診察スケジュール

月		火		水		木		金	
午前	午後	午前	午後	午前	午後	午前	午後	午前	午後
立花	立花	佐藤 (文)	佐藤 (文)	佐藤 (文)	佐藤 (文)	笠山	笠山	佐藤 (文) (予約)	佐藤 (文) (予約)
小瀬戸	小瀬戸	宮武*	宮武	笠山	三木	住谷	住谷	宮武*	宮武
住谷	住谷	三木	二宮	宮武*	宮武 (予約)	立花	宮武	住谷	二宮
宇都	三木	甲原	西岡	立花	河面	三木	甲原	藤本	
	暮部		山本	藤本	藤本	宇都	加藤 (更)		
						山本			

※11：30初診予約

表2 病棟体制

	月	火	水	木	金
午前	早朝カンファレンス	早朝カンファレンス	早朝カンファレンス	早朝カンファレンス	早朝カンファレンス
午後		抄読会	気管支鏡検査	症例検討会	病棟回診

表3 検査スケジュール

検査項目	月		火		水		木		金		
	午前	午後	午前	午後	午前	午後	午前	午後	午前	午後	
気管支鏡							○ 診				

○：当院診察が必要

表4 年度別外来・入院延べ患者数

	2016年度	2017年度	2018年度	2019年度	2020年度
外来	33,616	42,845	43,945	45,755	37,965
入院	17,016	16,802	17,201	20,685	21,133

表5 2020.4～2021.3—入院患者の疾患（上位のみ）

疾患名	件数	平均在院日数
気管支および肺の悪性新生物	625	14
肺炎、病原体不詳	146	14
COVID-19	145	9
2型糖尿病	118	13
尿路系のその他の障害	63	13
その他の間質性肺疾患	43	17
全身性結合組織疾患	31	22
その他の慢性閉塞性肺疾患	20	13
その他の体液、電解質および酸塩基平衡障害	19	10
アルドステロン症	18	4
下垂体疾患（下垂体機能低下症、クッシング病、先端巨大症など）	16	6
急性腎盂腎炎	14	11
その他の副腎障害	12	4
1型糖尿病	12	12
気胸	10	11

# 血液・化学療法内科

スタッフ 部長：川上 学（がん治療センター長、輸血管理室長、化学療法室長）  
副部長：加藤るり、中江吉希  
専攻医：三田和広（2020年10月～2021年3月）、田村有里（2020年8～9月）

## 1. 診療内容

急性白血病、慢性白血病、悪性リンパ腫、多発性骨髄腫、骨髄異形成症候群などの血液悪性疾患と、溶血性貧血、再生不良性貧血、特発性血小板減少性紫斑病などの良性疾患まで、血液疾患を全般的に診療している。白血球減少が高度な場合や同種造血幹細胞移植後等、免疫不全が高度な場合には無菌室で治療を行っている。

## 2. 診療体制

### 1) 外来診療スケジュール（表1）

主として外来13診で外来診療を行った。そのほか適宜必要に応じ、外来化学療法や骨髄穿刺、骨髄生検、輸血などの診療も外来化学療法室や中央処置室において行われた。

### 2) 病棟体制（表2）

部長含め3名の常勤医にて診療を行った。当科が開催および参加したカンファレンスのスケジュールを表2に示す。

### 3) 検査スケジュール

骨髄穿刺、骨髄生検は、中央処置室および入院病床で行われ、主治医が検鏡診断するとともに必要時検討会にて判定された。

### 4) 外来化学療法

多くの化学療法レジメンは、入院治療に引き続き外来通院でも継続され、外来化学療法室スタッフや薬剤師との協力のもと施行された。

## 3. 診療実績

### 1) 外来診療実績（表3）

外来患者数はのべ7,481名（昨年度比+415）であった。外来化学療法数は、900件（昨年度比+48）であった。

### 2) 入院診療実績（表3、4）

入院延べ数10,383（昨年比+1,515）であった。疾患の内訳を表4に示す。  
同種造血幹細胞移植を8件行った。

## 4. 認定医・専門医など

日本内科学会 総合内科専門医 3名（川上、加藤、中江）  
日本血液学会専門医 血液指導医 2名（川上、中江）  
日本血液学会専門医 1名（加藤）  
日本造血細胞移植学会 造血細胞移植認定医 2名（川上、中江）  
日本がん治療認定医機構 がん治療専門医 2名（川上、加藤）  
日本老年学会 老年病専門医・指導医 1名（中江）

## 5. 業績

### 学会発表

- 山本久留実, 川上 学, 加藤るり, 中江吉希, 小瀬戸昌博: ホジキンリンパ腫に対するニボルマブ療法1回投与後に免疫関連副作用としての多発性筋炎を急速発症した一例, 第229回日本内科学会近畿地方会, 2020年9月, WEB開催
- 中江吉希, 加藤るり, 中田 潤, 川上 学: 凝固第11因子欠乏と手術: 当院での2例, 第82回日本血液学会学術集会, 2020年10月
- 川上 学, 加藤るり, 中江吉希, 谷村 郎, 一井倫子: 血清エリスロポイエチンレベルの多血症診断における役割, 第82回日本血液学会学術集会, 2020年10月, 京都(WEB開催)
- 中江吉希, 加藤るり, 中田 潤, 川上 学: 術後に凝固第11因子欠乏に起因する大量出血を来した93歳男性, 第114回近畿血液学地方会, 2020年11月, WEB開催
- 加藤るり, 中江吉希, 川上 学: 腸骨を除く骨髄病変で発症し、確定診断にPET/CTが有用であった悪性リンパ腫症例, 第230回日本内科学会近畿地方会, 2020年12月, WEB開催
- 田村有里, 中江吉希, 加藤るり, 川上 学: 尿閉を契機に診断に至った悪性リンパ腫の一例, 第230回日本内科学会近畿地方会, 2020年12月, WEB開催
- 川上 学, 田中久仁子, 中江吉希, 加藤るり, 東山真里: 腫瘍随伴天疱瘡を伴う再発トランスフォーム濾胞性リンパ腫に対するPTCyを用いたHLA半合致移植, 第43回日本造血細胞移植学会総会, 2021年3月, 東京(WEB開催)

### 研究会発表

- 川上 学: 止血・凝固異常について, 第132回日本生命病院医学セミナーUpdate, 2021年1月, 大阪

表1 外来診察スケジュール

月		火		水		木		金	
午前	午後	午前	午後	午前	午後	午前	午後	午前	午後
加藤 (る)	川上	川上 (予約)	川上 (予約)	川上	中江	加藤 (る)		中江	川上

表2 カンファレンススケジュール

・症例検討会	(週1回)
・抄読会	(月2回)
・血液標本検討会	(適宜)
・内科合同カンファレンス	(月1回)
・内科・地域合同症例検討会	(年1回)

表3 年度別外来・入院延べ患者数

	2016年度	2017年度	2018年度	2019年度	2020年度
外来	6,622	6,862	7,066	7,481	6,930
入院	8,328	8,435	8,868	10,383	9,063

表4 2020.4～2021.3入院患者の疾患（上位のみ）

疾患名	件数	平均在院日数
骨髄異形成症候群	50	23
骨髄性白血病	36	40
リンパ性白血病	35	29
多発性骨髄腫および悪性形質細胞性新生物	23	27
紫斑病およびその他の出血性病態	11	28
肺炎、病原体不詳	11	13
無顆粒球症	10	11

# 脳 神 経 内 科

スタッフ 部長：芳川浩男（特任副院長、脳機能センター長）

部長代行：仁科拓也

副 部 長：佐藤智彦（～2021年3月）

## 1. 診療内容

神経内科部門は2013年4月より循環器・神経内科から分離独立し、浅野彰彦と仁科拓也の2名で発足したが、同年6月より佐藤智彦が加わり3人体制で運営していた。また2017年より前東北大学神経内科教授の森悦朗先生に特任顧問に就任いただき認知症分野の充実も図っていたが、2019年11月に前兵庫医科大学脳神経内科教授の芳川浩男が主任部長となり、4人体制となった。

めまいや痺れ、頭痛といった身近な症状の相談から、脳梗塞をはじめとする脳血管障害やパーキンソン病等の変性疾患に至るまで、様々な疾患の診断と治療に対応してきたが、入院対象となったのは脳梗塞が最も多く、次にパーキンソン病関連疾患となっている。

脳梗塞後遺症や難病疾患（パーキンソン病・脊髄小脳変性症・筋萎縮性側索硬化症など）の在宅療養においては、地域の先生による往診での訪問診療や訪問看護スタッフと連携を密にして、病状の変化に柔軟に対応してきたが、今後ともより一層努力していく所存である。

## 2. 診療体制

### 1) 外来診察スケジュール（表1）

日勤帯のどの時間帯も脳神経内科医師が対応できるように分担している。当科の佐藤医師は救急総合診療センターも兼務となっており、救急要請に対しても柔軟に対応している。

### 2) 病棟体制

仁科医師と佐藤医師が主治医となり運営しているが、毎週月曜日の回診と火曜日のカンファレンスで主科と共観の全患者の病状と治療方針を情報共有している。救急総合診療センターとの連携は佐藤医師を中心にチームとして対応している。

### 3) 検査スケジュール

脳神経内科医師が担当する予約検査は針筋電図のみであるが、脳波や誘発電位検査は中央臨床検査部と各病棟などと連携して、適宜施行している。

## 3. 診療実績

### 1) 外来診療実績（表2）

循環器・神経内科の一部門として計算した時期が長く、神経内科単独のデータはまだ5年目であるが、延べ外来患者数は順調に増加している。また診療内容も一般内科疾患の割合が減少し、より神経内科疾患に特化した状況に変化している。

### 2) 入院診療実績（表2、3）

順調に新規入院患者数は増加し、平均在院日数ほぼ横ばいで延べ入院患者数も増加している。

### 3) 検査実績

CT・MRA・RIなど各種検査は部門別の統計となっており、当科単独の実績としては計算していない。

## 4. 認定医・専門医など

日本神経学会の准教育機関としての認定を受けている。

日本内科学会認定医	2名（仁科、芳川）
日本内科学会総合内科専門医	1名（仁科）
日本神経学会専門医	3名（仁科、芳川、森）
日本循環器学会専門医	1名（仁科）
日本老年精神医学会専門医	1名（芳川）
日本認知症学会専門医	1名（森）
日本脳卒中学会専門医	1名（森）

## 5. 業績

### 論文・著書

1. Yusuke Tokuhara, Shouhei Watanebe, Hiroo Yoshikawa, Changes in clinical features of multiple system atrophy in Japan. Clinical Parkinsonism & Related Disorders, 3: 100054 (1-6), 2020年
2. Masamitsu Nishi, Takashi Kimura, Mitsuru Furuta, Koichi Suenaga, Tsuyoshi Matsumura, Harutoshi Fujimura, Kenji Jinnai, Hiroo Yoshikawa: Differences in splicing defects between the grey and white matter in myotonic dystrophy type1. PLOS ONE, 15:e0224912, 2020年
3. 芳川浩男: 神経疾患治療ノート ニコチン酸欠乏症, CLINICAL NEUROSCIENCE, 38:784-785, 2020年
4. 芳川浩男: 専門家による私の治療 多発性単ニューロパチー, 日本医事新報, 5016:48, 2020年

### 学会発表

1. Kishin Koh, Hiruyuki Ishiura, Takashi Kimura, Kiyotaka Nakamagoe, Keiko Nakamura, Yuta Ichinose, Hiroo Yoshikawa, Yoshihide Sunada, Akira Tamaoka, Masahito Yamada, Shoji Tsuji, Yoshihisa Takiyama, JASPAC, Clinical and Genetic study of SPG46 in Japan, 第61回日本神経学会学術大会 2020. 831-9. 2, 2020年8月, 岡山
2. Youwei Lin, Narita Tomoko, Satoru Oji, Katsuichi Miyamoto, Hiroshi Takashima, Kimiaki Utsugisawa, Masaaki Niino, Kazumasa Yokoyama, Osamu Watanabe, Shugo Suwazono, Masahiro Mori, Hiroo Yoshikawa, Hidenori Matso, Japan-Plasmapheresis Outcome and Practice Patterns Study for Neurological diseases: real world survey. 第61回日本神経学会学術大会 2020. 831-9. 2, 2020年8月, 岡山

3. Yusuke Tokuhara, Shinichiro Ukon, Yoshiki Tatsumi, Shouhei Watanabe, Hiroo Yoshikawa: Pathophysiology of Neuroaxonal dystrophy in Gracile Axonal Dystrophy mice., 第61回日本神経学会学術大会 2020. 831-9. 2, 2020年8月, 岡山

表1 外来診察スケジュール

月		火		水		木		金	
午前	午後	午前	午後	午前	午後	午前	午後	午前	午後
佐藤 (智)	仁科	芳川	芳川	仁科	芳川 (物忘れ外来 (予約) ※	芳川	森 (脳機能 障害外来 (予約)	浅野 (予約)	浅野 (予約)
			仁科		佐藤 (智)		芳川	交代 (初診)	交代 (初診)
							佐藤 (智)		

※1・2・4・5週 初診のみ

表2 年度別外来・入院延べ患者数

	2016年度	2017年度	2018年度	2019年度	2020年度
外来	6,313	6,342	6,553	6,881	6,132
入院	5,353	5,294	4,547	2,943	2,899

表3 2020.4~2021.3—入院患者の疾患（上位のみ）

疾患名	件数	平均在院日数
脳梗塞	38	26
パーキンソン（Parkinson）病	18	24
COVID-19	6	9
肺炎、病原体不詳	6	40
炎症性多発（性）ニューロパチ〈シ〉ー	6	16
ウイルス（性）髄膜炎	5	26
前庭機能障害	4	13

スタッフ 主任部長：宇津 貴（血液浄化センター長、栄養管理室長、臨床工学室長）  
副 部 長：水本 綾  
医 長：光本憲祐  
専 攻 医：新宮昂史、門脇千聡（2020年5～6月）、佐藤大飛（～2020年9月）、  
西岡美保（2020年9～10月）、勝沼倫子（2020年8月～2021年3月）

### 1. 診療内容

急性腎不全などの急性腎疾患、慢性糸球体腎炎やネフローゼ症候群などの慢性腎疾患から末期腎不全に至るまで、腎疾患全てを対象にしている。特に、糖尿病性腎臓病に関しては、早期腎症から末期腎不全まで、インスリン導入などの血糖管理を含めた総合的な治療を行っている。

末期腎不全に対しては適切な時期に透析療法（血液透析、腹膜透析療法など）への導入を行うとともに、慢性透析療法による血管合併症の検査・治療を行い予後の改善に努めている。

### 2. 診療体制

- 1) 外来診察スケジュール（表1）
- 2) 検査スケジュール（表2）

### 3. 診療実績

- 1) 外来診療実績（表3）
- 2) 入院診療実績（表3、4）

### 4. 専門医・指導医など

日本内科学会認定医	3名（宇津、水本、光本）
日本内科学会総合内科専門医	2名（宇津、水本）
日本腎臓学会専門医・指導医	2名（宇津、水本）
日本糖尿病学会専門医	1名（宇津）
日本高血圧学会専門医・指導医	1名（宇津）
日本透析医学会専門医・指導医	2名（宇津、水本）

### 5. 業績

#### 論文・著書

1. 宇津 貴:病氣とくすり2020 基礎と実践Expert's Guide慢性腎臓病, 薬局, 71:1158-1173, 2020年
2. Yuri Hirai, Aya Mizumoto, Kensuke Mitsumoto, Takashi Uzu.:Senior-Loken syndrome misdiagnosed as nephrosclerosis related to hypertensive disorders of pregnancy., BMJ Case Rep, 13:e236137, 2020年
3. 宇津 貴:透析患者が安全に服用できる鎮痛薬は? アセトアミノフェンが無効の場合, COX-2選択性NSAIDsを推奨する(Q&A), 日本医事新報, 5035:44-45, 2020年
4. 原田 環, 芳村大介, 徳田竹千代, 藤村龍太, 田中綾子, 水本綾, 林 大祐, 宇津 貴:甲状腺中毒症と副腎機能不全の合併により高度な高カルシウム血症が遷延し, ソレドロン酸の急性期反応を契機に副腎クリーゼが発症したと考えられたリンパ球性下垂体炎の症例, 日本病院総合診療医学会誌, 17:78-86, 2021年
5. Kenichi Shikata, Masakazu Haneda, Toshiharu Ninomiya,

- Daisuke Koya, Yoshiki Suzuki, Daisuke Suzuki, Hitoshi Ishida, Hiroaki Akai, Yasuhiko Tomino, Takashi Uzu, Motonobu Nishimura, Shiro Maeda, Daisuke Ogawa, Satoshi Miyamoto, Hirofumi Makino.:Randomized trial of an intensified, multifactorial intervention in patients with advanced-stage diabetic kidney disease : Diabetic Nephropathy Remission and Regression Team Trial in Japan (DNETT-Japan), J Diabetes Investig, 12:207-216, 2021年
6. 宇津 貴:高血圧UPDATE—最新動向を把握し, 栄養指導に活かす 食塩摂取と高血圧,臨牀栄養, 138:340-344, 2021年
  7. Ayano Oonishi, Aya Mizumoto, Kensuke Mitsumoto, Rinko Katsunuma, Takafumi Shingu, Takashi Oda, Takashi Uzu.:A man with immunoglobulin A nephropathy complicated by infection-related glomerulonephritis with glomerular depositions of nephritis-associated plasmin receptor. ,CEN case reports, : in press.,

#### 学会発表

1. 勝沼倫子, 新宮昂史, 光本憲祐, 水本 綾, 宇津 貴:繰り返す消化管出血を初発症状とした顕微鏡的多発血管炎の一例, 第231回日本内科学会近畿地方会, 2020年3月, 大阪 (WEB開催)
2. 宇津 貴:透析患者の治療 脳卒中up to date(教育講演), 第66回日本透析医学会学術集会, 2020年6月, 大阪 (WEB開催)
3. 佐藤栄次郎, 田中恵介, 加藤千尋, 三木和美, 岡崎浩也, 宮崎理恵, 田口貴大, 吉岡佑太, 北濱知美, 地田 紬, 新谷 隆, 光本憲祐, 水本 綾, 宇津 貴:当院でのシャントトラブルスコアリングの導入, 第66回日本透析医学会学術集会, 2020年6月, 大阪 (WEB開催)
4. 坂本彩弥 出口暁子, 松村寿美, 宇津 貴:多職種連携による血液透析患者への栄養指導の試み, 第66回日本透析医学会学術集会, 2020年6月, 大阪 (WEB開催)
5. 岡崎浩也, 加藤千尋, 田中恵介, 三木和美, 宮崎理恵, 田口貴大, 吉岡佑太, 北濱知美, 佐藤栄次郎, 地田 紬, 光本憲祐, 水本 綾, 宇津 貴:ブラッドボリューム(BV)計を応用した透析中の循環動態予測の試み, 第66回日本透析医学会学術集会, 2020年6月, 大阪 (WEB開催)
6. 佐藤大飛, 新宮昂史, 光本憲祐, 水本 綾, 宇津 貴, 藤野佳彦:Post Obstructive Diuresis(POD)に対するバソプレシン(AVP)の使用経験, 第229回日本内科学会近畿地方会, 2020年9月, 大阪 (WEB開催)
7. 新宮昂史, 光本憲祐, 水本 綾, 宇津 貴:シスプラチンの単回投与にて急性腎障害をきたし, 慢性透析へ移行した1例, 第50回日本腎臓学会西部学術大会, 2020年10月, 和歌山 (WEB開催)
8. 大西彩乃 水本 綾, 新宮昂史, 光本憲祐, 尾田高志, 宇津貴:感染性糸球体腎炎を併発したと考えられるIgA腎症の1例, 第50回日本腎臓学会西部学術大会, 2020年10月, 和歌山 (WEB開催)
9. 平井裕里, 水本 綾, 新宮昂史, 光本憲祐, 森貞直哉, 飯島一誠, 宇津 貴:妊娠高血圧症候群による腎硬化症と考えられていたSenior-Loken症候群(SLS)の一例, 第50回日本腎臓

- 学会西部学術大会, 2020年10月, 和歌山(WEB開催)
- 坂本彩弥, 出口暁子, 角南ちえ子, 高山由美子, 住谷 哲, 笠山宗正, 宇津 貴:FGM導入により療養に積極的に取り組むようになった2型糖尿病の1症例, 第63回日本糖尿病学会学術集会, 2020年10月, 大津(WEB開催)
  - 宇津 貴:血液透析患者のカリウム管理(セミナー), 第94回大阪透析研究会, 2021年3月, 大阪(WEB開催)

#### 研究会発表

- 勝沼倫子:低ナトリウム血症を呈した糖尿病患者の検討, 第8回SALT CLUB, 2020年2月,
- 宇津 貴:腎臓病患者の食事指導 エビデンスと実際, なにわDoctor's Network, 2020年10月,
- 宇津 貴:腎症抑制を目指したこれからの糖尿病診療, T2DM Online Conference(津), 2020年11月,
- 宇津 貴:新時代を迎えたCKD患者の貧血治療, 第3回大阪西部腎臓病診療連携セミナー, 2020年11月,
- 宇津 貴:CKD診療の現状と展望, CKD診療WEBカンファレンス, 2020年12月,

表1 外来診察スケジュール

月		火		水		木		金	
午前	午後	午前	午後	午前	午後	午前	午後	午前	午後
宇津	宇津	水本	水本	光本※	光本※	光本	宇津	水本	宇津
新宮	新宮	宇津							

※31日は光本先生不在

表2 検査スケジュール

検査項目	月		火		水		木		金	
	午前	午後								
腎生検				○診		○診		○診		

○:当院診察が必要

表3 年度別外来・入院延べ患者数

	2016年度	2017年度	2018年度	2019年度	2020年度
外来	675	2,681	4,268	5,476	4,900
入院	1,072	3,620	3,392	3,488	4,365

※2016.7～腎臓内科を新設

表4 2020.4～2021.3—入院患者の疾患

疾患名	件数	平均在院日数
腎生検目的	38	-
透析導入	28	-
慢性腎不全	52	20
心臓および血管のプロステーシス、挿入物および移植片の合併症	36	6
COVID-19	27	8
慢性腎炎症候群	18	5
肺炎、病原体不詳	16	23
心不全	10	13
その他の体液、電解質および酸塩基平衡障害	10	15
尿路系のその他の障害	9	19
急性腎不全	8	16
ネフローゼ症候群	7	36
2型糖尿病	5	10
反復性および持続性血尿	5	13

# 消化器外科

スタッフ 部長：水野 均（副院長、中央手術管理部長）  
副部長：生島裕文、山下晋也、永井健一  
専攻医：松下和子（2020年6月～）  
兼任：小関万里（特任顧問、外科統括）

## 1. 診療内容

当科は、消化器外科ならびに一般外科の手術治療を中心に診療を行っている。上部消化管（生島、永井）、下部消化管（水野、山下）、肝胆膵（小関）の消化器外科のすべての領域の疾患に対応している。頻度の多い疾患としては、食道癌、胃癌、大腸癌、肝癌などの悪性疾患、胆石症や単径ヘルニア、虫垂炎などの良性疾患などである。手術は腹腔鏡手術を積極的に導入しており、虫垂炎や胆石症のみならず、食道癌、胃癌、大腸癌等の悪性疾患や鼠径ヘルニアに対しても腹腔鏡手術を第一選択として行っている。

手術以外には、緩和治療、消化器癌化学療法にも積極的に取り組んでおり、皮下埋め込み型中心静脈リザーバーを用いた外来化学療法や終末期の栄養療法を行っている。

## 2. 診療体制

### 1) 外来診察スケジュール（表1）

外科外来1～3診で、表のような予定で外来診療を行っている。院内／院外からの時間内の緊急診療の依頼には原則、断らない対応をしている。

### 2) 病棟体制（表2）

表2の通りである。

研修医1名と常勤医5名が病棟診療を担当している。緊急の業務は、外来診察、検査、手術などの担当でない者が病棟代理として対応している。

## 3. 診療実績

### 1) 外来診療実績（表3）

外来患者数は表3の通りである。

### 2) 入院診療実績（表4）

入院患者数は表4の通りである。

手術症例（重複例、他科協力症例を含む）は430例で、そのうち全身麻酔が368例であった。鏡視下手術は281例であり、全身麻酔症例の76.4%が鏡視下手術であった。

主な悪性腫瘍切除手術は、食道癌4例（全例鏡視下手術）、胃癌17例（内14例が腹腔鏡手術）、結腸、直腸癌69例（内67例が腹腔鏡手術）、肝癌、肝転移14例、乳頭部癌、膵腫瘍9例、であった。

主な良性疾患手術は胆嚢摘出術が77例（内70例が腹腔鏡手術）、ヘルニア手術（単径、大腿、腹壁癩痕、閉鎖孔など）84例（内60例が腹腔鏡手術）、虫

垂切除28例（内27例が腹腔鏡手術）であった。良性疾患の手術では、患者さんの希望などにより細径鉗子を用いた手術や、単孔式手術を取り入れ、より低侵襲の手術を行っている。

### 3) 検査実績

上部消化管内視鏡検査、下部消化管内視鏡検査を行っている。

## 4. 専門医・指導医など

日本外科学会専門医 5名（小関、水野、生島、永井、山下）  
日本外科学会指導医 3名（小関、山下、永井）  
日本消化器外科学会専門医 2名（小関、山下）  
日本消化器外科学会指導医 2名（小関、山下）  
日本消化器病学会専門医 3名（小関、水野、山下）  
日本大腸肛門病学会専門医 1名（山下）  
日本がん治療認定医機構がん治療認定医  
4名（小関、水野、永井、山下）  
日本内視鏡外科学会技術認定医 2名（水野、山下）

## 5. 業績

### 論文・著書

- 永井健一，山下晋也，北田隆起，花本浩一，萩原恭平，田中敏雄，生島裕文，小関万里，有坂好史，水野 均：腹腔鏡手術により切除し得た原発性小腸癌の1例，癌と化学療法，47(13)：2382-2384，2020年
- 山下晋也，北田隆起，花本浩一，田中敏雄，永井健一，生島裕文，有坂好史，水野 均，小関万里：直腸RS癌D2リンパ節郭清術後S状結腸リンパ節転移に対して腹腔鏡下リンパ節摘出術を施行した1例，癌と化学療法，48：260-262，2021年

### 学会発表

- 大西彩乃，生島裕文，山下晋也，永井健一，水野 均，小関万里，前田 元：腹腔鏡下胃全摘出術後に急性膿胸を合併した1例，第120回日本外科学会総会，2020年8月，横浜（WEB開催）
- 木下聡子，生島裕文，山下晋也，永井健一，水野 均，小関万里：腹腔鏡下胃部分切除術を施行した胃原発calicifying fibrous tumorの1例，第82回日本臨床外科学会総会，2020年10月，大阪（WEB開催）
- 山下晋也，永井健一，生島裕文，水野 均，小関万里：直腸癌術後に腸閉塞で発見された小腸転移の1切除例，第75回日本大腸肛門病学会総会，2020年11月，横浜
- 山下晋也，永井健一，生島裕文，水野 均，小関万里：急性虫垂炎の診断で腹腔鏡下手術を施行したamyand'sヘルニアの1切除例，第75回消化器外科学会総会，2020年11月，和歌山
- Shinya Yamashita, Ryuki Kitada, Koichi Hnamoto, Kyouhei Ogisu, Toshio Tanaka, Kenichi Nagai, Hirofumi Ikushima, Yoshifumi Arisaka, Hitoshi Mizuno, Masato Koseki: A case of recurrent sigmoid volvulus treated with laparoscopic surgery, 第33回日本内視鏡外科学会総

会, 2021年3月, 横浜

6. 松下和子, 山下晋也, 永井健一, 生島裕文, 水野 均, 小関萬里: 単孔式腹腔鏡補助下に回腸部分切除術を施行した腸重積を呈した小腸脂肪腫の1例, 第33回日本内視鏡外科学会総会, 2021年3月, 横浜

#### 研究会発表

1. 永井健一, 山下晋也, 生島裕文, 小関萬里, 水野 均: 腹腔鏡手術により切除しえた原発性小腸癌の1例, 第42回日本癌局所療法研究会, 2020年5月, 大阪(WEB開催)
2. 山下晋也, 北田隆起, 花本浩一, 田中敏雄, 永井健一, 生島裕文, 有坂好史, 水野 均, 小関萬里: 直腸RS癌D2郭清術後242番リンパ節転移に対して腹腔鏡下摘出術を施行した1例, 第42回日本癌局所療法研究会, 2020年5月, 大阪(WEB開催)

表1 外来診察スケジュール

月		火		水		木		金	
午前	午後	午前	午後	午前	午後	午前	午後	午前	午後
水野	水野	交代	交代	山下	山下	永井	交代	小関	小関
生島	生島					松下			
小関*									

\*11:00まで

表2 病棟体制

	月	火	水	木	金
午前	早朝 術後回診	早朝 術後回診	早朝 術後回診		早朝 術後回診
午後				部長回診、 術前術後 症例検討	消化器外科・ 消化器内科合同 カンファレンス

表3 外来・入院延べ患者数

	2016年度	2017年度	2018年度	2019年度	2020年度
外来	3,446	3,764	4,403	4,761	4,317
入院	4,778	5,902	6,801	7,185	6,977

表4 2020.4~2021.3ー入院患者の疾患(上位のみ)

疾患名	件数	平均在院日数
結腸の悪性新生物	91	15
そけい〈兎径〉ヘルニア	50	6
胆石症	47	6
胃の悪性新生物	35	24
急性虫垂炎	29	9
直腸の悪性新生物	29	22
呼吸器および消化器の続発性悪性新生物	23	15
膵の悪性新生物	19	36
結腸、直腸、肛門および肛門管の 良性新生物	16	2
麻痺性イレウスおよび腸閉塞、 ヘルニアを伴わないもの	14	16
食道の悪性新生物	13	44
消化器系のその他および部位不明確の 良性新生物	10	8

# 呼 吸 器 外 科

スタッフ 部長：前田 元（特任副院長）（～2020年8月）  
副部長：富田栄美子（2020年9月～部長代行）

## 1. 診療内容

当科は2016年1月より1名体制で診療を開始し、2017年4月より常勤医2名体制となった。その後、2019年4月より再び1名体制、2020年1月より2名体制、同年9月より1名体制となった。1名体制時は阪大病院呼吸器外科医局からの応援医師および院内外科医と共に手術を行っている。

対象疾患としては肺癌が最も多く、総合内科で診断および病期判定を行った後に紹介されるケースが多いが、他院呼吸器内科からの手術依頼も増加傾向である。その他の疾患としては、自然気胸、転移性肺腫瘍、胸腔感染症、縦隔腫瘍などである。胸腔鏡下手術を主体に行っている。

病棟回診やカンファレンスは消化器外科と合同で行っている。

## 2. 診療体制

- 1) 外来診察スケジュール（表1）
- 2) 病棟体制（表2）

## 3. 診療実績

- 1) 外来診療実績（表3）
- 2) 入院診療実績（表3、4）

## 4. 専門医・指導医など

日本外科学会指導医・専門医	1名（前田）
日本呼吸器外科学会指導医・認定登録医	1名（前田）
日本胸部外科学会指導医	1名（前田）
日本外科学会外科専門医	1名（富田）
日本呼吸器外科学会呼吸器外科専門医	1名（富田）

## 5. 業績

### 学会発表

1. 富田栄美子, 福原謙二郎, 明石明則: 縦隔腫瘍と診断された肺過誤腫の一例, 第37回呼吸器外科学会総会, 2020年9月, 東京

### 研究会発表

1. 富田栄美子: 呼吸器外科 術式と呼吸機能, 第129回日本生命病院 医学セミナーUpdate, 2020年10月, 大阪

表1 外来診察スケジュール

月		火		水		木		金	
午前	午後	午前	午後	午前	午後	午前	午後	午前	午後
	富田 (予約)			富田		富田 (予約)			

表2 病棟体制

	月	火	水	木	金
午前		手術			
午後		手術		病棟回診 カンファレンス	

表3 年度別外来・入院延べ患者数

	2016年度	2017年度	2018年度	2019年度	2020年度
外来	303	467	524	508	562
入院	680	578	482	529	636

※2016.1～呼吸器外科を新設

表4 2020.4～2021.3—入院患者の疾患

疾患名	件数	平均在院日数
気管支および肺の悪性新生物	35	10
気胸	13	7
呼吸器および消化器の続発性悪性新生物	6	9
膿胸（症）	3	10
その他および詳細不明の胸腔内臓器の損傷	3	8
中耳および呼吸器系の良性新生物	3	7
中耳、呼吸器および胸腔内臓器の性状不詳または不明の新生物	2	6
胸腺の悪性新生物	2	11

# 乳 腺 外 科

スタッフ 部 長：西田幸弘  
副 部 長：中内千暁

## 1. 診療内容

乳癌検診に関しては、マンモグラフィと超音波検査を初診当日に施行し即日結果を出すことで、正常の方は1日で診察終了となる。腫瘍のある方は当日中に病理検査等を施行し1～2週間後には結果を出すシステムである。治療に関しては、専任のがん化学療法看護認定看護師常駐の化学療法室にて、初回入院の後は術前・術後ともに通院での外来化学療法を行っている。専任医師による放射線療法は、温存療法後、再発、転移すべてに対応している。手術に関しては術前化学療法が必要かの判断後、乳房温存術、全摘術を施行し必要に応じて再建術も施行しており、再建術は当院形成再建外科にてすべての術式に対応できる。RI+色素法によるセンチネルリンパ節生検では、より確実なOSNA法を併用しており、より正確な診断を目指している。診断部門では、微細な石灰化に対する診断としてステレオガイド下マンモトーム生検も実施している。

## 2. 診療体制

1) 外来診療スケジュール (表1)

## 3. 診療実績

1) 外来診療実績 (表3)

2) 入院診療実績 (表3、4)

## 4. 認定医・専門医など

日本乳癌学会専門医	1名 (中内)
日本乳癌学会認定医	1名 (西田)
日本乳癌学会評議員	1名 (西田)
がん治療認定医	2名 (西田、中内)
マンモグラフィ検診精度管理中央委員会	
マンモグラフィ読影認定医	2名 (西田、中内)
日本外科学会専門医	2名 (西田、中内)

## 5. 業績

### 学会発表

1. 西田幸弘, 中内千暁, 大島千春, 水越梓: MSI-High乳癌の1例 A case of High Microsatellite Instability of breast cancer, 第28回日本乳癌学会学術総会, 2020年10月, WEB開催

### 研究会発表

1. 西田幸弘: 遺伝子パネル検査, どないして出すんやったけ?, 第130回日本生命病院 医学セミナーUpdate, 2020年11月, 大阪

表1 外来診療スケジュール

月		火		水		木		金	
午前	午後	午前	午後	午前	午後	午前	午後	午前	午後
中内 (予約)	中内 (予約)	西田 (予約)	西田 (予約)	中内 (予約)	中内 (予約)	手術		西田 (予約)	西田 (予約)

表2 外来・病棟体制

	月	火	水	木	金
午前				手術	
午後	回診 病棟カンファ		検査 超音波・ステレオ ガイド下吸引生検	検討会 抄読会	

表3 外来・入院延べ患者数

	2016年度	2017年度	2018年度	2019年度	2020年度
外来	4,978	4,371	4,441	4,309	3,779
入院	1,374	1,541	1,402	1,504	1,263

表4 2020.4～2021.3入院患者の疾患 (上位のみ)

疾患名	件数	平均在院日数
乳房の悪性新生物	125	9
乳房の良性新生物	8	3
その他の部位の続発性悪性新生物	7	41
乳房の画像診断における異常所見	5	2
リンパ節の続発性および部位不明の悪性新生物	4	4
呼吸器および消化器の続発性悪性新生物	3	6
乳房の炎症性障害	2	7

# 心 臓 血 管 外 科

スタッフ 部長代行：新谷 隆

## 1. 診療内容

2018年4月から「血管外科」を専門とした常勤医師による診療を開始した。下肢閉塞性動脈硬化症を主とした末梢動脈疾患に対して薬物・運動療法を第一として適応に応じて血管内治療や外科的バイパス術などの血行再建術を実施している。下肢静脈瘤に対しては低侵襲である血管内焼灼術や従来のストリッピング術や硬化療法も行っている。また腎臓内科と連携し慢性腎不全患者の透析用血管アクセス治療も行っている。内シャント作製、修復と内シャント血管内治療も積極的に行っている。2019年度より腹部大動脈瘤に対するステントグラフト内挿術を開始した。

## 2. 診療体制

### 1) 外来診察スケジュール (表1)

水曜日、金曜日の午前に血管外科外来を行っている。  
金曜日の午後に大阪大学心臓血管外科の医師による心大血管を対象とした専門外来も行っている。

### 2) 病棟体制 (表2)

## 3. 診療実績

### 1) 外来診療実績 (表3)

### 2) 入院診療実績 (表3、4)

## 4. 認定医・専門医など

日本外科学会専門医 1名 (新谷)  
日本心臓血管外科専門医 1名 (新谷)  
日本脈管学会専門医 1名 (新谷)

## 5. 業績

### 論文・著書

1. 新谷 隆: 下肢静脈瘤に対するラジオ波焼灼術後の静脈機能検査からみた中期成績. 静脈学, 31:107-111, 2020年

### 学会発表

1. 新谷 隆: 下肢静脈瘤のラジオ波焼灼術後における自覚症状の評価 - AVVQを用いて -, 第40回日本静脈学会, 2020年10月, WEB開催  
2. 新谷 隆: 膝窩動脈外膜囊腫7例の検討, 第48回日本血管外科学会, 2020年11月, WEB開催  
3. 新谷 隆: 遠隔成績からみた膝窩動脈瘤手術の有用性の検討, 第51回日本心臓血管外科学会, 2021年2月, WEB開催

表1 外来診察スケジュール

月		火		水		木		金	
午前	午後	午前	午後	午前	午後	午前	午後	午前	午後
				新谷 (予約)				新谷 (予約)	横田 (予約)

表2 病棟体制

	月	火	水	木	金
午前			カンファレンス		
午後		手術		手術	

表3 年度別外来・入院延べ患者数

	2017年度	2018年度	2019年度	2020年度
外来	81	735	930	889
入院	0	625	938	1,192

※2017.1～心臓血管外科を新設

表4 2020.4～2021.3-入院患者の疾患 (上位のみ)

疾患名	件数	平均在院日数
アテローム (じゅく (粥) 状) 硬化 (症)	23	16
下肢の静脈瘤	21	5
大動脈瘤および解離	16	14
その他の動脈瘤	14	10
動脈の塞栓症および血栓症	9	29
心臓および血管のプロステーシス、挿入物および移植片の合併症	3	19
慢性腎不全	3	25
動脈および細動脈のその他の障害	2	5

# 産 婦 人 科

スタッフ 部長：橋本奈美子（女性骨盤底センター長）  
担当部長：佐伯典厚  
副部長：潮田至央、高山敬範、八田幸治  
医 長：岡 藤博、矢野悠子、田中絢香、邨田裕子、宮本真由子、沈 嬌  
専攻医：菊池香織、田村 聡、藤吉恵津子

## 1. 診療内容

良性腫瘍に対する内視鏡手術（腹腔鏡下手術・子宮鏡手術）を主として行っており、婦人科手術の半数以上を占めている。婦人科悪性腫瘍に対しては、広汎子宮全摘術・傍大動脈リンパ節郭清を含む根治手術、化学療法、放射線治療を行っている。また、子宮筋腫、子宮体癌に対するロボット支援手術を導入している。2021年度には、腹腔鏡下広汎子宮全摘出（子宮頸癌）に関する施設認定を受けている。

骨盤底疾患に対しては「女性骨盤底センター」にて従来の膣式子宮全摘術、膣壁形成術などに加え、メッシュを利用した腹腔鏡下ロボット支援仙骨膣固定術（LSC/RSC）、を行っている。

周産期においては、自然分娩を基本とし、助産師外来・母乳育児相談・マタニティビクス・ヨガを取り入れている。（コロナ渦にてマタニティビクス・ヨガは実施していない。）

## 2. 診療体制

- 1) 外来診察スケジュール（表1）
- 2) 病棟体制（表2）
- 3) 検査スケジュール（表3）

## 3. 診療実績

- 1) 外来診療実績（表4）
- 2) 入院診療実績（表4、5）

2020年度

- ・分娩数：428件
- ・総手術総数：1,284件

腹腔鏡下手術

- 腹腔鏡下膣式子宮全摘術 207件  
（ロボット支援43件含む）
- 腹腔鏡下子宮附属器腫瘍摘出術 258件
- 腹腔鏡下子宮筋腫摘出（核出）術 183件
- 腹腔鏡下子宮悪性腫瘍手術（子宮体癌）  
（ロボット支援） 8件

子宮鏡下手術

- 子宮鏡下子宮筋腫摘出術 39件
- 子宮内膜ポリープ切除術 66件

開腹手術

- 子宮悪性腫瘍手術 20件
- 子宮附属器悪性腫瘍手術（卵巣癌）23件
- 開腹単純子宮全摘術 28件

帝王切開術 84件

骨盤臓器脱（女性骨盤底センター）

腹腔鏡下仙骨膣固定術 34件

（ロボット支援 28件含む）

膣壁形成術（膀胱瘤手術） 36件

子宮脱手術（子宮全摘術及び膣壁形成） 17件

膣閉鎖 4件

腹圧性尿失禁

中部尿道スリング手術（TOT手術） 1件

## 4. 認定医・専門医など

- 日本産科婦人科学会専門医 11名  
（橋本、佐伯、潮田、高山、八田、矢野、岡、沈、田中、邨田、宮本）
- 日本産科婦人科内視鏡学会技術認定医 6名  
（橋本、佐伯、高山、八田、矢野、沈）
- 日本内視鏡外科学会技術認定医 6名  
（橋本、佐伯、高山、八田、矢野、沈）
- 日本婦人科腫瘍学会婦人科腫瘍専門医 2名  
（橋本、潮田）
- 日本性感感染症学会専門医 1名（佐伯）
- 母体保護法指定医 6名  
（橋本、佐伯、高山、田中、岡、沈）
- 日本がん治療認定医機構 日本がん治療認定医 5名  
（橋本、邨田、宮本、潮田、沈）
- 麻酔標榜医 1名（八田）

## 5. 業績

論文・著書

1. Murata H, Nakamura H, Ohta Y, Kitamura M, Ishikawa J, Kamiura S.: Two cases of spindle cell variant diffuse large B-cell lymphoma of the uterine cervix. Gynecol Oncol Rep. 33:100611, 2020年
2. 細井文子, 吉見佳奈, 岡 藤博, 沈 嬌, 八田幸治, 矢野悠子, 高山敬範, 尾崎公章, 佐伯典厚, 橋本奈美子: 肥満患者の巨大子宮頸部筋腫に対し腹腔鏡下単純子宮全摘出術を行った1例, 日本生命病院医学雑誌, 48:24-28, 2020年
3. 岡 藤博, 藤吉恵津子, 田村 聡, 菊池香織, 宮本真由子, 沈 嬌, 邨田裕子, 田中絢香, 矢野悠子, 八田幸治, 高山敬範, 潮田至央, 佐伯典厚, 城光寺龍, 水野 均, 橋本奈美子: 虫垂炎を伴った卵巣卵管膿瘍に対し腹腔鏡下手術を行った一例, 日本生命病院医学雑誌, 48:18-23, 2020年

学会発表

1. 橋本奈美子, 上浦祥司, 池田仁恵, 榎本隆之, 小林陽一, 永瀬智, 横山正俊, 片瀨秀隆, 三上幹男: 初期子宮頸がんにおける脈管侵襲陽性例の取り扱いおよび予後(高得点演題), 第72回日本産科婦人科学会学術講演会, 2020年4月, 東京(WEB

開催)

2. 八田幸治: 卵巣温存TLHの工夫: 閉経期TLHの開腹移行を減らそう, 第35回日本女性医学学会 学術集会(ランチョンセミナー), 2020年11月, 東京(WEB開催)
3. 橋本(矢田)奈美子, 藤吉恵津子, 田村 聡, 菊池香織, 宮本真由子, 沈 嬌, 邨田裕子, 田中絢香, 矢野悠子, 八田幸治, 高山敬範, 潮田至央, 佐伯典厚: 当院における良性疾患に対するロボット手術の経験, 第43回日本産婦人科手術学会, 2020年11月, 札幌(WEB開催)
4. 高山敬範, 岡藤博, 沈嬌, 宮本真由子, 邨田裕子, 田中絢香, 矢野悠子, 八田幸治, 吉見佳奈, 潮田至央, 佐伯典厚, 橋本奈美子: 岬角前面の血管走行異常を有する症例に対し腹腔鏡下仙骨陸固定術(LSC)を施行した2例, 第60回日本産科婦人科内視鏡学会学術講演会, 2020年12月, 神戸(WEB開催)
5. 田中絢香, 宮本真由子, 沈嬌, 邨田裕子, 岡藤博, 矢野悠子, 八田幸治, 高山敬範, 潮田至央, 佐伯典厚, 橋本奈美子: 腹腔鏡下手術後に悪性と診断された卵巣悪性腫瘍症例の検討, 第60回日本産科婦人科内視鏡学会学術講演会, 2020年12月, 神戸(WEB開催)
6. 矢野悠子, 岡藤 博, 沈 嬌, 宮本真由子, 邨田裕子, 田中絢香, 八田幸治, 高山敬範, 潮田至央, 佐伯典厚, 橋本奈美子: 術後2日目に新型コロナウイルス(COVID-19)肺炎を発症した1例, 第60回日本産科婦人科内視鏡学会学術講演会, 2020年12月, 神戸(WEB開催)
7. 岡 藤博, 沈 嬌, 田中絢香, 矢野悠子, 八田幸治, 高山敬範, 吉見佳奈, 潮田至央, 佐伯典厚, 橋本奈美子: 当院で経験したParasitic leiomyomaの3症例, 第60回日本産科婦人科内視鏡学会学術講演会, 2020年12月, 神戸(WEB開催)
8. 岡 藤博, 沈 嬌, 田中絢香, 矢野悠子, 八田幸治, 高山敬範, 吉見佳奈, 潮田至央, 佐伯典厚, 橋本奈美子: 虫垂炎を伴った卵巣卵管膿瘍に対し腹腔鏡手術を行った一例, 第60回日本産科婦人科内視鏡学会学術講演会, 2020年12月, 神戸(WEB開催)
9. 宮本真由子, 岡藤 博, 沈 嬌, 邨田裕子, 田中絢香, 矢野悠子, 八田幸治, 高山敬範, 潮田至央, 佐伯典厚, 橋本奈美子: 右側広靱帯内発育子宮筋腫と子宮頸部合併に対するTLHの1例, 第60回日本産科婦人科内視鏡学会学術講演会, 2020年12月, 神戸(WEB開催)
10. 邨田裕子, 前田通秀, 角田紗保里, 渡辺正洋, 中川美生, 久毅, 太田行信, 上浦祥司: 異所性子宮内膜組織から発生した悪性腫瘍の4症例, 第62回日本婦人科腫瘍学会, 2021年1月, 仙台(WEB開催)
11. 潮田至央: 卵巣境界悪性腫瘍に対する 腹腔鏡下妊孕性温存手術の検討, 第62回日本婦人科腫瘍学会, 2021年1月, 仙台(WEB開催)
12. 八田幸治, 菊池香織, 岡藤 博, 沈 嬌, 田中絢香, 矢野悠子, 高山敬範, 吉見佳奈, 潮田至央, 佐伯典厚, 橋本奈美子: 多量の腹水を伴った子宮内膜原発卵黄嚢腫瘍の1例, 第62回日本婦人科腫瘍学会, 2021年1月, 仙台(WEB開催)
13. 湊のり子, 金光俊行, 福井辰成: 急速な転機をたどった膀胱癌 plasmacytoid variant の2例, 第70回日本泌尿器科学会中部総会, 2021年3月, 金沢
14. 橋本奈美子: 婦人科内視鏡外科医として生きる, 第33回日本内視鏡外科学会, 2021年3月, 横浜(WEB開催)
15. 橋本(矢田)奈美子, 藤吉恵津子, 田村 聡, 菊池香織, 宮本真由子, 沈 嬌, 邨田裕子, 田中絢香, 矢野悠子, 八田幸治, 高山敬範, 潮田至央, 佐伯典厚: 当院におけるロボット支援手術の経験, 第9回 日本婦人科ロボット手術学会, 2021年3月, 松江(WEB開催)

表1 外来診察スケジュール

月		火		水		木		金	
午前	午後								
橋本	橋本	佐伯	佐伯	橋本	橋本	嶺田	嶺田	佐伯	佐伯
宮本	宮本	八田	八田	潮田	潮田	岡	岡	田中	田中
矢野	矢野	沈	沈	高山	高山	八木	八木	菊池	菊池
			藤吉		田村				

表2 病棟体制

	月	火	水	木	金
午前	抄読会 周産期 カンファレンス		部長回診		
午後		病理/ CTGカンファ (月1回)		術前 カンファレンス	画像 カンファレンス

表3 検査スケジュール

検査項目	月		火		水		木		金	
	午前	午後								
子宮鏡検査		○ 紹・予								
パッドテスト								○ 紹・予		○ 紹・予

○: 当院診察が必要

表4 年度別外来・入院延べ患者数

	2016年度	2017年度	2018年度	2019年度	2020年度
外来	21,677	21,241	23,092	21,479	18,191
入院	12,624	12,143	12,643	11,684	10,382

表5 2020.4~2021.3入院患者の疾患(上位のみ)

疾患名	件数	平均在院日数
子宮平滑筋腫	412	7
単胎自然分娩	325	7
卵巣の良性新生物	130	7
女性性器脱	86	7
子宮内膜症	85	7
子宮頸(部)の異形成	83	3
女性性器のポリープ	73	3
子宮体部の悪性新生物	50	7
既知の母体骨盤臓器の異常またはその疑いのための母体ケア	41	9

スタッフ 部 長：西垣敏紀（感染対策室長）  
副 部 長：中長摩利子、三浦夕子

## 1. 診療内容

外来診療では、午前診は感染症を中心とした一般小児科診療、午後診では各医師の専門性から、神経・発達・代謝（月・木曜）、発育・栄養・内分泌（月・木曜）、アレルギー（木曜）の専門外来を設けて診療を行っている。また、当院出生児の1か月検診（水曜）、必要に応じて、そのフォローアップ（金曜）も行っている。また、基礎疾患を有する小児も含め、ワクチン接種にも対応（火曜）している。

入院診療は、感染症を中心とした急性期疾患の精査・加療に加え、内分泌負荷テスト、鎮静を要する画像検査など検査入院も行っている。また、院内出生新生児全員に対して、出生時、退院時の診察を行い、周産期の病態に応じた緊急処置、検査、加療など小児科入院の上対応している。

## 2. 診療体制

2020年度は西垣部長、中長副部長と藤田医員の三人体制で診療を開始したが、3月末で藤田医員が退職、4月から三浦副部長が着任した。

### 1) 外来診察スケジュール（表1）

2020年4月以降の外来診察スケジュールを表1に示した。

### 2) 病棟体制

主として中長副部長、三浦副部長が主治医として、8階病棟及び7階新生児室で入院児の管理を行った。小児科カンファレンスを週1回、産婦人科との合同周産期カンファレンスを週1回行い、情報を共有し、治療方針を検討した。

## 3. 診療実績

2020年度は新型コロナウイルス感染症の全国的な流行に伴い、例年小児に通常みられる季節感染症が流行せず、激減した。また、新型コロナウイルス感染流行に伴う受診控えの現象も見られた。小児急性疾患のほとんどが感染症であることから、外来受診患者、さらには入院患者が顕著に減少した。

### 1) 外来診療実績（表2）

上記のように、小児の間で感染症が実質流行しなかったこともあり、受診患者は激減した。ただし、専門外来で対応する慢性疾患の紹介数、およびフォロー患者が増加したため、前年度比約4割の減少に抑えられた。

### 2) 入院診療実績（表2、3、4）

入院患者は、例年、新生児以外はそのほとんどが感染症である。その中で最も多い呼吸器感染症（肺炎、気管支炎、細気管支炎）の入院患者が、前年度比約95%の減少であったことに、新型コロナウイルスの流行の影響が顕著に表れている。一方で、内分泌疾患の紹介が増えたこともあり、下垂体関連の検査入院が増加した。

## 4. 認定医・専門医など

日本小児科学会専門医	3名（西垣、中長、三浦）
日本小児神経学会専門医	1名（西垣）
ICD（インфекションコントロールドクター）	1名（西垣）
臨床遺伝専門医・指導医	1名（西垣）
日本小児栄養消化器肝臓学会認定医	1名（中長）
新生児蘇生法専門コースインストラクター	1名（三浦）

## 5. 業績

### 論文・著書

- 石崎優子, 竹中義人, 西垣敏紀, 西嶋加壽代, 池宮美佐子, 板金康子, 川崎康寛, 神原雪子, 久保田恵巳, 坂本晴子, 武知哲久, 田中 薫, 田中祥介, 富吉泰夫, 中村美奈子, 新田雅彦, 春本常雄, 平林 円, 福田弥一郎, 藤井雅世, 藤岡雅司, 藤谷宏子, 丸山朋子, 和田 浩, 東野博彦, 福井聖子, 松下 享, 古川恵美, 池田友美, 長濱輝代: 小児科医の里子・養子の診療経験ならびに里親・養親支援に関する意識調査, 大阪小児科医学会会報, 195:26-33, 2020年

### 学会発表

- 鳥邊泰久, 荒井 洋, 宇野里砂, 柏木 充, 九鬼一郎, 島川修一, 田川哲三, 竹本 潔, 田邊卓也, 永井利三郎, 新居 敏, 最上友紀子, 西垣敏紀, 尾崎由和, 村上城子, 田尻 仁, 松下享: てんかんがある方の自転車の利用に関するアンケート調査, 第123回日本小児科学会学術集会, 2020年8月, 神戸 (WEB開催)

### 研究会発表

- 西垣敏紀: 新型コロナウイルスを知って、向き合う 小児科医の視点から, 第126回日本生命病院 医学セミナーUpdate, 2020年7月, 大阪
- 西垣敏紀: 新型コロナウイルス感染症の概要, 大阪市感染対策支援(OIPC)ネットワーク会議西部ブロック研修会, 2020年8月,
- 西垣敏紀: 新型コロナウイルス感染症の動向と対応について, JCR社内研修会, 2020年11月,
- 中長摩利子: 小児の発育と成長曲線の見方, 西区養護教諭研修会, 2020年12月,
- 西垣敏紀: 神経発達症の診断と薬物治療について, ノーベルファーマ講師招聘勉強会, 2020年12月,

6. 西垣敏紀:先天性代謝異常症の治療～リソソーム病を中心に, 大阪小児Web Seminar, 2020年12月,
7. 中長摩利子:小児の発達・成長曲線から疾患を読む, 第133回 日本生命病院 医学セミナーUpdate, 2021年2月, 大阪

表1 外来診察スケジュール

月		火		水		木		金	
午前	午後	午前	午後	午前	午後	午前	午後	午前	午後
西垣 (神経・発達 (予約))	西垣 (神経・発達 (予約))	西垣 (予防 接種 (予約))	西垣 (1カ月 検診 (予約))	西垣 (神経・発達 (予約))	西垣 (神経・発達 (予約))	西垣 (神経・発達 (予約))	三浦 (フォロー アップ (予約))		
中長 (内分泌・副 臓器 (予約))	三浦		池原		中長 (内分泌・副 臓器 (予約))	中長 (内分泌・副 臓器 (予約))	三浦		
						池原 (アレルギー (予約))			

表2 年度別外来・入院延べ患者数

	2016年度	2017年度	2018年度	2019年度	2020年度
外来	7,434	7,936	8,920	7,706	4,389
入院	3,553	2,935	2,657	1,843	924

表3 2020.4～2021.3—小児科入院患者の疾患（上位のみ）

疾患名	件数	平均在院日数
全身性結合組織疾患	6	6
下垂体疾患（下垂体機能低下症、クッシング病、先端巨大症など）	5	3
尿路系のその他の障害	5	6
その他の内分泌障害	4	3
肺炎、病原体不詳	4	6
新生児の呼吸窮迫	3	4
その他および詳細不明の原因による新生児黄疸	3	3
部位不明の細菌感染症	2	9
皮膚および粘膜病変を特徴とするその他のウイルス感染症、他に分類されないもの	2	4

表4 2020.4～2021.3—新生児入院患者の疾患（上位のみ）

疾患名	件数	平均在院日数
その他および詳細不明の原因による新生児黄疸	37	5
新生児の呼吸窮迫	34	7
妊娠期間短縮および低出生体重に関連する障害、他に分類されないもの	17	8
周産期に発生したその他の呼吸器疾患	9	5
周産期に特異的なその他の感染症	7	7
新生児の哺乳上の問題	6	6
新生児吸引症候群	5	8

スタッフ 部 長：高橋 励  
副 部 長：鈴木由貴、青木保典  
専 攻 医：林 実佳

## 1. 診療内容

COVID-19の蔓延が広く認識され始めた2020年2月初頭を境に、対話による診察が基本である当科診療においても、最新の知識に基づき細心の注意を払って感染拡大を防ぐ必要が生じている。このため2020年4月からの新年度は、新たな専門分野や患者の開拓よりも、安全な診療・実習体制の工夫に重点がおかれた。特徴的な診療分野も昨年度と同じく「認知症」、「産業精神医学」を掲げる。

まず「認知症」については、脳神経外科、脳神経内科、神経科・精神科で構成する脳機能センターの診療実数は外来を中心に維持している。指導者は芳川センター長、森悦郎先生、池田学先生で、定期的なセンターカンファレンスも行っている。

当科医師では鈴木を主務として、青木・木藤・高橋がかかわる。当科はやまと精神医療センター、大阪大学精神医学教室による精神科専門医研修（3年間の後期研修）の協力病院であり、今年度は大阪大学から派遣された林が1年間在籍し、森先生のご指導のもと、他院精神科では難しい高次機能障害の症例報告を雑誌投稿した。

次に「産業精神医学」では（1）産業医、地域企業、院内からの紹介症例診療以外に、高橋は（2）予防医学センターと連携し、企業や、当院がそれらの企業に派遣する産業医による対応を補助するセカンド=オピニオン外来を続け、（3）職員に生じた精神面の健康問題の対応は総合病院精神科の本来の責務であるが、その他に産業医による事例対応に協力させて頂いている。

（4）（1）～（3）のような事例対応にとどまらず、職場改善方法論の開発は産業保健の重要なテーマである。高橋は、職場復帰プログラムの管理、ストレスチェックによる独自の職場分析法の開発、長時間労働に対する指導実践などに取り組んでいる。

特に「社員の健康状態に至る要因の特定は、昨今流行の精神的要因から始めるのでは不十分であり、それ以前の要因 -職場固有の物理的・社会的環境要因から鳥瞰すべき」という視点を持ち、予防医学センターと連携し、企業において個々の事例対応を超えて職場環境づくりに寄与する労働衛生コンサルタントの側面をもつ業務アプリケーションの開発を計画していたが、COVID-19蔓延により当面延期を余儀なくされている。

（5）高橋と丸山心理士は予防医学センターの関藤心理士と、予防医学センター経由で提携する日本生命傘

下の特例子会社（障害者重点雇用企業）の相談・指導・健康管理の他に、健康経営プロジェクトのプログラムを作成した。これは将来の労働人口高齢化を見据えたトータル=ヘルス=プロモーション（THP）の障害者バージョンともいえる新しい試みであるが、COVID-19蔓延のため実施自体は遅延している。

（6）江川と高橋は、産業精神保健に関する研究会を、院外の精神科医・産業医と定期的に行っているが、この交流も一時停止している。

有床総合病院精神科のルーティン業務（一般・専門外来診療、院内他科連携、入院診療）について報告する。

当科の一般外来では（1）うつ病・パニック障害などのうつ病圏、（2）全般的な不安障害などの神経症圏、（3）適応障害などストレス関連疾患の、診療所・院内他科からの紹介例が多い。

専門外来は一般診療の枠内で時間を確保して行っている。（4）「慢性疲労（症候群）」（高橋）では、一般の精神科では対応が難しい慢性疲労・各種の心身症（身体表現性障害）・一部の慢性疼痛などの紹介を総合病院・医療センター・大学病院等から受けてきた。（5）「認知症」は脳機能センターにかかわる医師全員が担当する。昨今は社会構造の変化を反映し、（1）～（4）に比して、認知症周辺の高齢者の精神的な問題（老年期うつ病など）の割合が著増しているが、当科では鈴木を主務とする脳機能センターの枠組みを生かして対応できている。また高齢者の身体因性精神医学・神経精神医学的診療は院内他科との連携を通じて行うことが多い。また（6）顕在・潜在的な発達障害にどのように対応するかは当科の課題であるが、症例数としてはそれほど多くない。

院内他科との連携には、（4）のように心身の問題を一元的に特定できない症例の併診（高橋）の他、コンサルテーション・リエゾン=サービス（CLS）や緩和ケアのコンサルテーション（相談）・リエゾン（直接診療）の枠組みも用いて対応している。他科入院患者が従来合併する精神疾患、せん妄・適応障害の新たな発症、高齢初発のてんかん（青木）など診療数も多く、他科からの転科入院も増えている。

入院診療は、総合病院精神科の入院病床が全国的に減少しているため紹介入院先として機能している。一般医療法に基づき、他科との混合病棟体制であるため、受け入れには原則的にADLが概ね自立し行動制限の必要が無い症例との条件があるが、昨今入院患者の特性

にも外来と同様(5)(6)の変化がある。(5)の入院や身体科からの転科などADL低下症例への対応スキル向上のため、特に当科は病棟・病院全体と連携する意義がある。

緩和ケア業務については、(1)高橋は他病院が主催する研修会の精神・心理部門に協力しているが今年度は開催中止が多かった。(2)丸山心理士が院内緩和ケア業務に定期参加している。(3)がん診療拠点病院の要件として、当院主催の緩和ケア研修会が2020年度に再開し、当科からは高橋・青木・丸山心理士が協力した。

## 2. 診療体制

神経科・精神科の主要医師は青木・鈴木・高橋(以上常勤)、木藤(非常勤)の4名である。木藤は複数日の外来診療を担当しているが常勤には復帰していない。専攻医として林が2019/4月～翌3月の1年間在籍した。江川功が外来診療を半日/週担当した。

### 1) 外来診療スケジュール(表1)

2診～3診での完全予約制で行っているが、随時予約外の対応は必要であり、診察室としてはDブロックの2～3診・カウンセリング室、Bブロックの1～2診が常時稼動する状態であり、受け入れの円滑化をはかるために、初診患者はあったかサポートセンター経由の紹介を前提にしている。

診療・心理検査(脳機能センター引田)において、脳機能センターと協働する業務も多い。また治療の質向上のため、完全予約制で心理士(丸山)によるカウンセリングを行う症例もある。

### 2) 検査体制(表2)

当科では心理検査、脳波検査、脳画像検査を多用する。

まず心理検査は一般分野と認知機能分野に分かれる。一般分野では重症度(うつ状態など)の半定量的評価、性格・人格特性の定性的評価を行っている。認知機能分野では、「認知症専門」をうたう多くの病院でスクリーニングレベルの検査にとどまっているが、当院では高次機能障害や神経疾患の特定に不可欠なバッテリーを施行可能である。次に脳波検査はてんかん診療や、他科連携における症候性・器質性病態の推定において有用である。認知症に対する画像検査も頻用されている(頭部MRIの定量的計算・定性的評価法、脳血流SPECT、DLB/ParkinsonismへのDATscan、心筋MIBG検査など)。

神経精神医学を重視する立場から検血・検尿など一般身体検査も行う。アルツハイマー病(AD)のリスクファクターは生活習慣病のそれと大きく重なり、初期認知症や軽度認知障害(MCI)の認知機能マネジメントのため生活習慣病モニタリングは有効である。

特殊な検査として、当科では以前より認知機能低

下の生理学的評価を積極的に行っている(例:パルスオキシメトリーの援用、注意機能測定ソフトウェアの独自開発)。青木は認知症の客観的な初期診断・病態把握を可能にする脳波分析手法を開発したが、続々と研究論文を産出しており、複数の認知症性疾患の臨床・治験に用いられている。

### 3) 病棟体制

非常勤医を除いて、外来での主治医が入院加療をも受け持ち、3名が13～14床を目標に加療を行っている。

### 4) CLSおよび緩和ケア業務体制

青木が中心になり、緩和ケア業務とCLSを一体化した枠組みでリエゾン(=直接診療)を行う他、主要メンバーが随時コンサルテーション(=相談)を受ける。丸山心理士は血液・化学療法内科と連携し「無菌室化学療法カウンセリング」を続けている。

### 5) 心理士業務体制

認知機能検査は2名の心理士が分担している。丸山は心理カウンセリング・一般心理検査・緩和ケア・産業精神保健・認知機能スクリーニングなど多彩な業務に従事する。引田(脳機能センター)は神経心理学を専門に研究しており、高度な認知機能検査バッテリーを操る。

### 6) 教育体制の診療体制への包含

(1) 大阪大学医学部学生の臨床実習を毎年行っている。前述の業務のうち一般・専門外来診療・院内他科連携・心理検査・脳波検査)について、常勤医3名・非常勤医1名・心理士2名の6名が、専門分野に応じて実習・講義を分担する。

(2) 精神科の前期研修は研修協力病院(水間病院・藍野病院)で行われるべき業務が殆どであるため、当科は精神科の最終レポート作成過程のみにかかわる。しかし前期研修医にとっては、むしろ院内他科連携の実務を通して得る精神科領域の経験がより有意義と考えられる。

(3) 新専門医制度に関連して、学会による教育施設認定に積極的である。

①精神科を専門とする医師のための、日本精神神経学会の専門医研修認定施設(大阪大学、やまと精神医療センターとの連携型)を維持している。

②神経精神医学(身体的問題が大きく関与する精神医学分野)のサブスペシャリティを目指す精神科上級医のための、日本総合病院精神医学会の特定研修施設であったが、2019年度に施設認定の格上げをはかるため、高橋が同学会専門医・指導医試験を受験し合格した。

(4) 公認心理士制度に関連して、武庫川女子大学大学院の修士学生を対象に、公認心理師資格取得のための病院実習を毎年行っている。

(5) 脳機能センターカンファレンスを月1回、科内の薬物療法勉強会を月2回程度行っているが、

別に2020年度から、臨床精神医学の全般にわたるカンファレンスを行った。

### 3. 診療実績

#### 1) 外来診療実績 (表3)

COVID-19の蔓延に対する安全対策を反映して患者数は減少している。

#### 2) 入院診療実績 (表3、4)

入院数にも1)と同様の傾向がみられる。さらに、COVID-19病床確保に協力するため、当科患者数を伸ばせない事情もある。従来、有効な病床利用への方法論として、近医精神科との通信・勉強会などのネットワーク強化に努め、紹介増をはかっていたが、この交流もCOVID-19蔓延のため一旦縮小している。

### 4. 認定医・専門医など

- ・日本精神神経学会専門医 2名 (高橋・鈴木)
- ・同 指導医 2名 (高橋・鈴木)
- ・日本総合病院精神医学会特定指導医 1名 (高橋)
- ・同 専門医および指導医 1名 (高橋)
- ・精神保健指定医 2名 (鈴木・青木)
- ・日本医師会認定産業医 2名 (高橋・鈴木)
- ・同 認定産業医の資格者 (未登録) 1名 (青木)
- ・厚生労働省労働衛生コンサルタント登録資格者 (未登録) 1名 (高橋)

表1 外来診療スケジュール

月		火		水		木		金	
午前	午後	午前	午後	午前	午後	午前	午後	午前	午後
高橋 (勵)	鈴木 (由)	木藤	森※② (物忘れ 外来)	木藤	木藤	江川	青木	高橋 (勵)	高橋 (勵)
青木 ※①	林		林	鈴木 (由)	鈴木 (由)	池田 (物忘れ 外来)		青木	青木
				高橋 (勵)				鈴木 (由)	

※①22日は休診、※②9日は休診

表2 検査スケジュール

検査項目	月		火		水		木		金	
	午前	午後								
脳波				○		○		○		○
心理テスト	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○

○：当院診察が必要

表3 年度別外来・入院延べ患者数

	2016年度	2017年度	2018年度	2019年度	2020年度
外来	15,073	14,573	14,193	14,848	13,105
入院	3,749	3,600	2,904	4,012	2,984

表4 2020.4～2021.3ー入院患者の疾患 (上位のみ)

疾患名	件数	平均 在院日数
うつ病エピソード	51	39
身体表現性障害	12	21
双極性感情障害<躁うつ病>	9	44
その他の不安障害	4	32
神経系のその他の変性疾患、 他に分類されないもの	4	25
てんかん	3	12
その他の筋障害	2	42
統合失調症	2	40
アルコール使用<飲酒>による 精神および行動の障害	2	5

# 脳 神 経 外 科

スタッフ 部 長：田村和義（診療情報管理室長）

## 1. 診療内容

当科も2018年4月に新設されて3年が経過した。慢性硬膜下血腫、水頭症、脳腫瘍、脳出血などの治療は軌道に乗った。また、カテーテルを用いた血管内治療も大阪大学および関連施設の応援を得て、軌道に乗ってきている。脊椎疾患の小侵襲手術も開始しており、脊髄腫瘍も整形外科と共同して手術を行っている。

## 2. 診療体制

1) 外来診察スケジュール（表1）

## 3. 診療実績

1) 外来診療実績（表2）

2) 入院診療実績（表2、3）

## 4. 認定医・専門医など

日本脳神経外科学会専門医 1名（田村）  
 日本脳卒中学会専門医 1名（田村）  
 日本脊髄外科学会認定医 1名（田村）

## 5. 業績

学会発表

1. 田村和義, 田村有里, 佐藤智彦, 芳川浩男: 当院における直近3年間のTrousseau症候群17例の検討, 日本脳神経外科学会第79回学術総会, 2020年10月, 岡山

表1 外来診察スケジュール

月		火		水		木		金	
午前	午後								
				田村				田村	

表2 年度別外来・入院延べ患者数

	2018年度	2019年度	2020年度
外来	690	1,089	887
入院	1,079	1,016	865

※2018.4～脳神経外科を新設

表3 2020.4～2021.3—入院患者の疾患（上位のみ）

疾患名	件数	平均在院日数
水頭症	18	16
その他の非外傷性頭蓋内出血	10	12
頭蓋内損傷	5	17
脳内出血	5	36
髄膜の良性新生物	4	14
脳実質外動脈の閉塞および狭窄、脳梗塞に至らなかったもの	3	4
その他の椎間板障害	2	18
くも膜下出血	2	2

# 整 形 外 科

スタッフ 部長：毛利年一（救急総合診療センター副センター長）  
 副部長：行方雅人、平塚雅之  
 医 員：石橋輝哉（2020年10月～）  
 専攻医：河野壮太郎（～2020年9月）

## 1. 診療内容

当科は、関節外科、脊椎外科、骨折外傷を3本柱として診療を行ってきた。

関節外科では膝および股関節の関節症や関節リウマチに対して人工関節手術や外来での保存療法を行ってきた。特に人工関節の進歩はめざましく、耐用性に優れたセラミックやクロスリンクポリエチレンなどを使用して患者様の負担を減らすよう最小侵襲手術を行っている。

脊椎外科では下肢痛で歩行が困難になっている腰部脊柱管狭窄症患者に対する開窓術や椎体間固定術を主に行っている。

外傷では高齢者の骨折が増加しており、骨粗鬆症治療とともにできるだけ早期の手術を心がけている。また、ロコモティブシンドロームが世間に認知されつつあり、この領域の診療は今後も必要不可欠で力を入れていくべき分野だと考えられる。

また、当科はリハビリテーション室と密接に連携し、早期退院・早期社会復帰を目標に治療に当たっている。手術患者に対しては手術前からリハビリテーションを行うだけでなく、術後早期から集中して運動療法を行ってきた。

## 2. 診療体制

### 1) 外来診察スケジュール（表1）

整形外科1、2診で外来診療を行った。

### 2) 病棟体制（表2）

病床数は28、常勤医4名が担当し診療を行った。

## 3. 診療実績

### 1) 外来診療実績（表4）

外来患者数は前年度並より微減した。

### 2) 入院診療実績（表4、5）

手術件数は増加したが、入院患者数は微減した。

## 4. 専門医・指導医など

日本整形外科学会認定リウマチ医 2名（毛利、平塚）  
 日本整形外科学会認定運動器リハビリテーション認定医  
 2名（行方、平塚）  
 日本整形外科学会認定整形外科専門医 1名（行方）  
 日本脊椎脊髄病学会指導医 1名（行方）

## 5. 業績

### 論文・著書

1. Teruya Ishibashi Tetsuya Tomita Shigeyoshi Tsuji: Kinematics of bicruciate and posterior stabilized total knee arthroplasty during deep knee flexion and stair climbing, Journal of Orthopaedic Research, early view, 2020年
2. 佐々木うらら, 平林伸治, 毛利年一: 人工膝関節全置換術後早期のリハビリテーション治療経過中にBaker嚢腫が破裂しDVTとの鑑別を要した2症例の経験, リハビリテーション科診療近畿地方会誌, 20:25-29, 2020年

### 学会発表

1. 石橋輝哉, 富田哲也, 玉置雅史: Cruciate retaining型とCondylar stabilized型人工膝関節置換術後の階段昇降動作における三次元動態解析, 第35回日本整形外科学会基礎学術集会, 2020年10月, 東京(WEB開催)

表1 外来診察スケジュール

月		火		水		木		金	
午前	午後	午前	午後	午前	午後	午前	午後	午前	午後
行方		毛利				行方 (予約)		毛利 (予約)	
平塚※ (予約)	手術	石橋 (予約)	手術	交代 (初めの 方のみ)	手術	平塚※	行方 (特診 外来 (予約))	石橋	毛利 (特診 外来 (予約))
		辻(成) (軟部 関節 外来 (予約))							

※22、25、29日は休診

表2 病棟体制

	月	火	水	木	金
午前		術前カンファ			
午後					部長回診

表3 年度別外来・入院延べ患者数

	2016年度	2017年度	2018年度	2019年度	2020年度
外来	13,965	13,696	13,609	12,846	10,327
入院	8,533	10,070	10,207	9,648	7,515

表4 2020.4～2021.3入院患者の疾患（上位のみ）

疾患名	件数	平均在院日数
大腿骨骨折	42	33
膝関節症膝の関節症	33	38
その他の変形性脊柱障害	33	23
その他の椎間板障害	27	25
その他の椎間板障害	21	17
肩および上腕の骨折	20	9
下腿の骨折、足首を含む	17	30
前腕の骨折	16	12
脊椎症	10	34
膝関節症 [膝の関節症]	10	29
腰椎および骨盤の骨折	10	31

# 皮 膚 科

スタッフ 部長：東山真里（副院長、あったかサポートセンター長、臨床研究管理室長、乾癬センター長）

医 長：林 美沙

専攻医：山下千佳紗、赤路和哉

西区では数少ない重症皮膚疾患の入院治療が可能な施設である。乾癬やアトピー性皮膚炎、結節性痒疹、円形脱毛症、尋常性白斑、強皮症などの難治性疾患、皮膚外科、小児皮膚疾患、高齢者皮膚疾患、分子標的抗ガン剤による皮膚障害及び皮膚疾患全般について質の高い医療の提供を目指す。大阪大学皮膚科学教室や、その関連病院と密な連携をとり病院間及び病診連携を重視している。皮膚疾患患者のQOLを尊重し、病気の悪化や再発の防止を目標にきめ細かい生活指導に力を入れている。11月12日に「ニッセイ いい皮膚の日」として患者対象の学習会を皮膚科・形成外科医師と看護師で開催。熱傷をテーマに講演した。

医療設備：薬浴室（外来、病棟とも）、全身型紫外線照射装置2機（UVA、ナローバンドUVB）、部分型紫外線照射装置、手足用ナローUVB/UVA照射装置、エキシマライト、凍結療法（スプレー式）、表在超音波装置

## 1. 診療内容

専門外来：【乾癬外来】年間初診患者数は尋常性乾癬が約150名、乾癬性関節炎が35名で再診は延べ700名余り。掌蹠膿疱症および掌蹠膿疱症性骨関節炎の初診も増加 (1) 治療内容 1. 外用療法 2. 光線療法（入浴PUVA療法またはナローバンドUVB照射-全身型、エキシマライト、手足用ナローUVB/UVA照射） 3. 内服療法（レチノイド、シクロスポリン、アプレミラスト、メトトレキセート） 4. 生物学的製剤。これらより個々の患者に最適な治療を選択 (2) 乾癬センターとして扁桃炎・高脂血症・糖尿病など乾癬を悪化要因や心血管系イベントを含む併存症につき関連診療科と連携して精査。(3) 重症、難治例にはアダリムマブ、インフリキシマブ、セトリズマブ・ウスチキヌマブ、セクキヌマブ、プロダルマブ、イキセキズマブ、グセルクマブ、リサンキズマブなどの種々の生物学的製剤を積極的に導入し特に乾癬性関節炎にも奏効。乾癬・掌蹠膿疱症に関する臨床治験や臨床研究も実施。(4) 乾癬性関節炎は整形外科医と診断・治療につき連携。2013年より関節エコーを用い早期診断の向上をはかっている。(5) 療養を支援する場として大阪大学 皮膚科学教室と協力して大阪乾癬患者友の会の事務局も務める。【アトピー外来】重症例では光線療法やシクロスポリン療法、生物学的製剤も併用。悪化原因の精査、スキンケア指導、関連科診療科との連絡を密に総合的に診療を行う。QOLを尊重し病気の悪化や再発の防止を目標にきめ細かい生活指導に力を入れている。【エキシマ治療】308nmのエキシマライトを用いて難治な爪乾癬・尋常性乾癬・アトピー性皮膚炎・尋常性白斑・環状肉芽腫などの治療を行い良好な結果を得ている。【皮膚外科手術】良性悪性腫瘍、ケロイド、褥瘡、糖尿病性病性壊疽などは形成外科医と協力し治療。

## 2. 診療体制

### 1) 外来診察スケジュール（表1）

外来診療 主治医制で再診は予約制。

原則3診体制で診察。初診外来あり（月、水曜は東山担当）。再診外来は月～金（午前）。専門外来：乾癬外来は火（午前・午後）、木（午前・午後）、全予約制（ただし初診は、あったかサポートセンター経由のみ予約可）。アトピー外来は金（午前）

手術：水曜午前は局所麻酔

### 2) 病棟体制（表3、4）

病棟担当医は常勤医3名で、主治医となって診療を行った。新入院患者数は20名/月、入院患者数年間のべ患者数は2944名、1日平均8名で、帯状疱疹、重症乾癬、アトピー性皮膚炎、水痘、じんま疹、蜂窩織炎、薬疹、多型紅斑、丹毒、皮膚良性腫瘍/悪性腫瘍、下腿潰瘍、自己免疫性水疱症など。乾癬パス入院や、食物アレルギー、薬疹の原因薬精査なども行った。

形成外科と協力して褥瘡回診を行っている。

### 3) 検査スケジュール（表2）

月曜・水曜の午後にパッチテスト・光線テスト・皮膚生検などを行っている。

表在エコー検査は随時。

## 3. 診療実績

### 1) 外来診療実績（表3）

2020年度の外来延べ患者数19,666名、1日平均89名。

紹介患者数 48名/月。

年間手術件数159件

### 2) 入院診療実績（表3、4）

### 3) 検査実績

皮膚生検数 300件/年

## 4. 専門医など

日本皮膚科学会認定皮膚科専門医 2名（東山、林）

## 5. 業績

### 論文・著書

1. Chinuki Y, Yagami A, Adachi A, Matsunaga K, Ugajin T, Yokozeki H, Hayashi M, Katayama I, Kohno K, Shiwaku K, Morita: In vitro basophil activation is reduced by short-term omalizumab treatment in hydrolyzed wheat protein allergy., E. Allergol Int., 69:284-286., 2020年
2. Kume M, Kiyohara E, Aoyama R, Hayashi M, Morikawa Y, Maeda T, Tanemura A, Wataya-Kaneda M, Katayama I, Fujimoto M.: Primary cutaneous anaplastic large cell lymphoma with rapid liver infiltration after spontaneous resolution of the primary lesion., J Dermatol, 47:e190-e191., 2020年
3. Shimizu Y, Hayashi M, Ohata C.: Mucinous Syringometaplasia: Surrounding Acanthosis With Hyperkeratosis Tends to Conceal the Change., Am J Dermatopathol, 42:953-955., 2020年

4. Ohata C, Shimizu Y, Hayashi M. : Pemphigus foliaceus in a patient with psoriasis treated with brodalumab., J Dermatol., 47:e455-e457., 2020年

5. 東山真里:角化症・乾癬治療薬(内服薬)エトレチナート, 皮膚科全身療法薬 up to date, 五十嵐敦之., p61~p63, 1, 2020年, 南江堂, 東京都

6. Shinichi Imafuku 1, Yasumasa Kanai 2, Kenta Murotani 3, Takanobu Nomura 4, Kei Ito 5, Chika Ohata 6, Fumikazu Yamazaki 7, Takuya Miyagi 8, Hidetoshi Takahashi 9, Yukari Okubo 10, Hidehisa Saeki 11, Masaru Honma 12, Yayoi Tada 13, Tomotaka Mabuchi 14, Mari Higashiyama 15, Satomi Kobayashi 16, Yuki Hashimoto 17, Mariko Seishima 18, Tatsuyuki Kakuma:Utility of the Dermatology Life Quality Index at initiation or switching of biologics in real-life Japanese patients with plaque psoriasis : Results from the ProLOGUE study, J Dermatol Sci, 21:S0923-1811, 2021年

学会発表

1. 赤路和哉, 荒瀬規子, Peh Jin Teng, 清原英司, 室田浩之, 乃村俊史, 藤本 学:へパリン類似物質が奏功した symmetrical acral keratodermaの一例, 第84回日本皮膚科学会東部支部学術大会, 2020年8月, web開催甲府

2. 高山由美子, 山下利子, 竹永由香, 灰谷直美, 出口暁子, 廣田将司, 辻 成佳, 東山真里:乾癬センターにおける医療連携, 第13回日本医療マネジメント学会大阪支部学術集会, 2020年9月, 大阪

3. 山下利子, 高山由美子, 竹永由香, 灰谷直美, 出口暁子, 廣田将司, 東山真里:乾癬センターにおける医療連携〜看護師の役割〜, 第13回日本医療マネジメント学会大阪支部学術集会, 2020年9月, 大阪

4. 東山真里:乾癬のチーム医療, 第13回日本医療マネジメント学会大阪支部学術集会ランチョンセミナー, 2020年9月, 大阪

5. 山下利子, 高津宜倫, 坪井弥恵, 矢山かおり, 佐藤博子, 橋本由起, 東山真里:皮膚科外来における乾癬診療に対する看護師の関わり〜生物学的製剤治療を中心に〜, 第35回日本乾癬学会学術大会, 2020年9月, web開催福島

6. 出口暁子, 山下利子, 高山由美子, 宇津 貴:乾癬センターにおける医療連携, 第13回日本医療マネジメント学会大阪支部学術集会, 2020年9月, 大阪

7. 田中久仁子, 高田洋子, 山下知佳紗, 東山真里, :皮膚科・乾癬センター開設に併せたチーム医療による積極的栄養管理の介入, 第13回日本医療マネジメント学会大阪支部学術集会, 2020年9月, 大阪

8. 東山真里:「乾癬のあと一歩を模索する」QOL向上に繋げる難治部位の乾癬の治療, 第36回日本臨床皮膚科医会総会・臨床学術大会ランチョンセミナー, 2020年9月, web開催浜松

9. 林 美沙, 赤路和哉, 山下千佳紗, 東山真里, 辻 成佳:乾癬に全身性強皮症 (limited cutaneous SSc)を合併した3例, 第35回日本乾癬学会学術大会, 2020年9月, web開催福島

10. 山下千佳紗, 赤路和哉, 林 美沙, 東山真里:イクセキズマブ投与中に脳梗塞と帯状疱疹を合併した乾癬性関節炎の1例, 第72回日本皮膚科学会西部支部学術大会, 2020年10月, web開催松山

11. 赤路和哉, 山下千佳紗, 林 美沙, 東山真里:同居する家族が帯状疱疹に罹患した後に発症した成人水痘の2例, 第71回日本皮膚科学会中部支部学術大会, 2020年10月, web開催岐阜

12. 林 美沙:今だからこそ重要な外用指導!, 第71回日本皮膚科学会中部支部学術大会 イブニングセミナー, 2020年10月, web開催岐阜

13. 高田洋子, 東山真里, 山下千佳紗, 田中久仁子, 小瀬戸昌博:深部静脈血栓症を合併した両下腿の多発性浅性血栓性静脈炎の1例, 第50回日本皮膚免疫アレルギー学会総会学術大会, 2020年12月, 高知

14. 山下千佳紗, 赤路和哉, 林 美沙, 東山真里:結節型類天疱瘡の1例, 第50回日本皮膚免疫アレルギー学会総会学術大会, 2020年12月, 高知

15. 赤路和哉, 中川幸延, 角田佳純, 高藤円香, 清原英司, 藤本学:全身性エリテマトーデス(SLE)を合併した膿疱性乾癬の1例, 第482回日本皮膚科学会大阪地方会, 2020年12月, web開催大阪

16. 東山真里:当科における乾癬治療の診療科・他職種間連携について, 第50回日本皮膚免疫アレルギー学会総会学術大会ランチョンセミナー, 2020年12月, 高知

17. 林 美沙, 赤路和哉, 山下千佳紗, 東山真里:単発の結節性ループスムチン症の経過中に全身性エリテマトーデスを発症した1例, 第482回大阪地方会, 2020年12月, web開催大阪

18. 今中洋子, 東山真里, 赤路和哉, 山千佳紗, 田中久仁子, 林 美沙, 藤原作平:アログリプチン内服後に発症し他のDPP-4阻害薬によって再燃した水疱性類天疱瘡の1例, 第483回錦織千佳子教授退官記念大阪地方会, 2021年3月, 神戸

研究会発表

1. 東山真里:チームで取り組む乾癬治療, 札幌 one team 乾癬講演会, 2020年10月, web開催札幌

2. 林 美沙:当院における掌蹠膿疱症診療の実際, Psoriasis/PPP Web Seminar, 2020年10月, web開催大阪

3. 赤路和哉:やけど, ニッセイいい皮膚の日の催し, 2020年11月, 大阪

4. 東山真里:合併症を有する乾癬患者での生物学的製剤の選択, 第3回あわぎ乾癬セミナー, 2020年11月, 大阪

5. 東山真里:QOL向上に繋げる乾癬の治療〜どう使うリサンキズマブ, 乾癬治療を語る夕べ, 2020年11月, 大阪

6. 林 美沙:蜂窩織炎と鑑別を要した乾癬性関節炎について, 第3回あわぎ乾癬セミナー, 2020年11月, 大阪

7. 林 美沙:リサンキズマブのデータを読み解く!, 乾癬治療を語る夕べ, 2020年11月, 大阪

8. 山下千佳紗, 赤路和哉, 林 美沙, 東山真里:接触皮膚炎との鑑別を要した毛孔性紅色秕糠疹の1例, 大阪北西部地区皮膚科症例検討会, 2021年3月, 大阪

表1 外来診察スケジュール

	月		火		水		木		金	
	午前	午後	午前	午後	午前	午後	午前	午後	午前	午後
診察室	林		乾癬 外来 東山 (予約)	乾癬 外来 東山 (予約)	山下		田中		林	
	東山 (予約)	検査 パッチ テスト 生検 等 (予約)	整形 辻 (予約)	乾癬 外来3 林 (予約)	東山 (予約)	検査 光線 テスト 生検 (予約)	乾癬 外来2 林 (予約)	乾癬 外来 東山 (予約)	アトピー 外来 林 (予約)	
	甲斐 (初診)		山下 (初診 のみ)		林 (予約)		赤路	乾癬 外来3 山下 (予約)	赤路	
検査室	赤路		乾癬 外来 辻 (予約)				乾癬 東山			

表2 検査スケジュール

検査項目	月		火		水		木		金	
	午前	午後	午前	午後	午前	午後	午前	午後	午前	午後
パッチテスト 皮内テスト 光線テスト 皮膚生検		○ 診								

○: 当院診察が必要

表3 年度別外来・入院延べ患者数

	2016年度	2017年度	2018年度	2019年度	2020年度
外来	25,726	23,831	21,976	20,722	19,666
入院	3,296	3,799	3,202	2,901	2,944

表4 2020.4~2021.3-入院患者の疾患 (上位のみ)

疾患名	件数	平均在院日数
帯状疱疹帯状ヘルペス	63	9
蜂巣炎(蜂窩織炎)	59	14
乾せん(癬)	30	11
帯状疱疹 [帯状ヘルペス]	15	10
摂取物質による皮膚炎	13	10
丹毒	11	11
慢性単純性苔せん(癬) および痒疹	6	13
じんま(蕁麻疹)	5	7

スタッフ 部長：福井辰成（血液浄化センター副センター長）  
副部長：湊のり子、金光俊行

## 1. 診療内容

当科は泌尿器疾患および男性生殖器疾患を対象に診療を行なった。

泌尿生殖器悪性腫瘍に対する外科的治療、抗がん化学療法、放射線治療、前立腺肥大症に対する外科的治療、薬物療法、過活動膀胱、神経因性膀胱に対する薬物療法、運動療法、生活指導、尿路結石に対する薬物療法、低侵襲手術などを行った。

近年は、人口の高齢化、食生活の欧米化とともに前立腺癌患者が増えており、当科でも、前立腺癌の診断および治療が診療全体に占める割合が高くなっている。

## 2. 診療体制

### 1) 外来診察スケジュール（表1）

泌尿器科外来1～2診で外来診療を行った。

### 2) 病棟体制

病床数は10～20、病棟担当医は、常勤医が主治医となって診療を行った。

### 3) 検査スケジュール（表2）

膀胱鏡検査：泌尿器科膀胱鏡検査室（月～金曜）

尿流検査：泌尿器科検査室（月～金曜）

膀胱内圧測定、尿道抵抗測定：泌尿器科検査室

（火・木曜）

逆行性尿路造影、尿道膀胱造影、排尿時膀胱造影（火曜）

## 3. 診療実績

### 1) 外来診療実績（表3）

外来患者数は延べ9,826人であった。

### 2) 入院診療実績（表3、4）

入院患者は延べ3,441人であった。

### 3) 治療実績

経直腸の前立腺生検術は70例に対して行った。前立腺癌に対し2018年5月より導入されたロボット手術による前立腺全摘除術は25例に行った。去勢抵抗性前立腺癌に対しては新規ホルモン剤であるエンザルタミド、アピラテロン、アパルタミドを使用することで治療の幅を広げ良好な治療成績を納め、また患者数も着実に増加している。また去勢抵抗性前立腺癌骨転移に対し塩化ラジウム（Ra-223）を用いた治療を行った。

膀胱癌に対する外科的治療は、経尿道的電気切除術71例、尿路変向2例（自排尿型代用膀胱形成術

0例・回腸導管造設術2例）に対して行った。膀胱癌、尿管癌の治療あるいは再発予防として、再発しやすい癌に対してBCG膀胱内注入療法（上部尿路がん症例には尿管ステント留置下）を施行した。膀胱固有筋層に浸潤する膀胱癌に対しては、再発した場合致命的となる実験的な膀胱温存療法ではなく、標準的治療である根治的膀胱全摘除術を行った。局所浸潤膀胱癌に対しては術前化学療法を施行した上で手術を行う方針とした。

前立腺肥大症に対する外科的治療として、経尿道的前立腺切除術（経尿道的核出術を含む）を16例、行った。特に腫大が高度な場合には、バイポーラ電気メスを用いた経尿道的核出術（TUEB）を主にを行った。

腹腔鏡下手術は腎、副腎、腎盂尿管疾患に対して17例に行った。内訳は根治的腎全摘除術4例、腎部分切除術1例、副腎摘除術6例、腎尿管全摘除術6例である。手術時間はやや延長するが、開腹手術に比べて術後の鎮痛剤の投与量が著しく減量でき、患者様のQOLが良好で、術後の回復期間が短く、在院日数も短縮できた。

尿路結石（腎結石、尿管結石）に対して体外衝撃波碎石術（ESWL）を37例に行っている。経尿道的膀胱碎石術を6例に、経尿道的尿管碎石術を40例に行い全例に対しレーザーを用いて碎石を行った。その他、陰のう水腫根治術、精巣摘除術など陰囊内容の手術が10例であった。

## 4. 認定医・専門医など

日本泌尿器科学会専門医	3名（福井、湊、金光）
日本泌尿器科学会指導医	3名（福井、湊、金光）
日本がん治療認定医機構認定医	2名（福井、金光）
日本医師会認定産業医	2名（福井、金光）

## 5. 業績

### 学会発表

1. 湊のり子, 金光俊行, 福井辰成: 急速な転機をたどった膀胱癌 plasmacytoid variant の2例, 第70回日本泌尿器科学会中部総会, 2021年3月, 金沢

表1 外来診察スケジュール

月		火		水		木		金	
午前	午後	午前	午後	午前	午後	午前	午後	午前	午後
交代	交代	黒田	福井	交代	手術	湊	湊	藤田 (昌)※	福井
湊	湊	金光				福井	特殊 検査	金光	手術

※2・4週は福本

表2 検査スケジュール

検査項目	月		火		水		木		金	
	午前	午後	午前	午後	午前	午後	午前	午後	午前	午後
膀胱内圧測定 尿流検査 前立腺エコー 逆行性腎盂造影		○ 診		○ 診				○ 診		○ 診

○：当院診察が必要

表3 泌尿器科年度別外来・入院延べ患者数

	2016年度	2017年度	2018年度	2019年度	2020年度
外来	11,007	11,422	11,353	11,507	9,826
入院	3,467	3,481	3,441	3,643	3,441

表4 2020.4～2021.3ー入院患者の疾患（上位のみ）

疾患名	件数	平均在院日数
前立腺の悪性新生物	100	8
膀胱の悪性新生物	96	11
腎結石および尿管結石	51	4
閉塞性尿路疾患および逆流性尿路疾患	26	7
前立腺肥大（症）	19	8
前立腺の炎症性疾患	14	8
尿管の悪性新生物	14	13
腎盂の悪性新生物	13	9
急性腎盂腎炎	11	10
腎盂を除く腎の悪性新生物	8	9

# 眼 科

スタッフ 部長代行：谷井啓一  
副 部 長：辻川 睦  
副 医 長：馬場圭太

## 1. 診療内容

当科は日本眼科学会の研修指定病院で、大阪大学眼科学教室と連携し、白内障・緑内障・角結膜疾患・糖尿病網膜症を中心に、地域の基幹病院としての立場から眼科疾患全般に対応できるよう努めている。

2016年度は、大阪大学眼科教室からの非常勤医師による外来診療のみであったが、2017年8月に谷井部長代行が赴任し、常勤医体制を再開した。

最新の設備を用いた質の高い医療の提供と、患者様に満足していただける説明・啓蒙を診療指針に掲げている。また、病診連携を積極的に進めており、患者様の眼科 かかりつけ医との連絡を密に取っており、かかりつけ 医よりの紹介→当科での手術等の急性期治療→かかりつけ医への逆紹介という基本方針で診療を行っている。

ほとんどの科を網羅する日本生命病院の一診療科として、全身状態のよくない症例や、眼科単科では対応困難な 症例の眼科治療も他科と連携しながら行っており、さらにニッセイ予防医学センターとも協力し、眼底検診による疾患の早期発見・予防に努めている。また、眼科疾患の難病認定申請に関する検査および臨床調査個人票の発行や、身体障害者手帳申請に関する検査および診断書・意見書の発行、視角障害者スポーツに関するサポートも行っている。

## 2. 診療体制

- 1) 外来診療スケジュール (表1)
- 2) 検査スケジュール (表2)

## 3. 診療実績

- 1) 外来診療実績 (表3)
- 2) 入院診療実績 (表3、4)

## 4. 認定医・専門医など

日本眼科学会専門医	2名 (谷井・辻川)
日本網膜硝子体学会・眼科PDT研究会	
光線力学療法認定医	1名 (谷井)
視覚障害者用補装具適合判定医師	1名 (谷井)
ICD	1名 (谷井)
臨床研修指導医	1名 (谷井)
日本医師会認定産業医	1名 (谷井)
日本体育協会認定スポーツドクター	1名 (谷井)
日本障がい者スポーツ協会認定障がい者スポーツ医	1名 (谷井)

表1 外来診療スケジュール

	月		火		水		木		金	
	午前	午後	午前	午後	午前	午後	午前	午後	午前	午後
谷井			馬場		谷井		辻川		谷井	
辻川	手術		辻川	特殊検査	辻川	手術	駒井	特殊検査	馬場	特殊検査
					馬場					

表2 検査スケジュール

検査項目	月		火		水		木		金	
	午前	午後								
光凝固 YAG 蛍光造影 硝子体注射 ボトックス						○			○	○

○：当院診察が必要

表3 年度別外来・入院延べ患者数

	2016年度	2017年度	2018年度	2019年度	2020年度
外来	8,146	8,217	10,452	11,418	10,343
入院	0	231*	769	795	756

\*2017.8～眼科常勤医体制の再開

表4 2020.4～2021.3入院患者の疾患

疾患名	件数	平均在院日数
白内障 (H25、26は合算すること)	403	2
眼瞼のその他の障害	3	2
水晶体のその他の障害	1	2
白内障 (H25、26は合算すること)	1	2
2型糖尿病	1	4

スタッフ 部 長：小泉敏三  
副 部 長：金澤成典  
医 員：藤田裕人

### 1. 診療内容

中耳疾患（慢性中耳炎、鼓室硬化症など）、内耳疾患（突発性難聴、メニエール病、頭位めまい症など）、顔面神経麻痺（ベル麻痺、ハント症候群など）、鼻疾患（慢性副鼻腔炎、アレルギー性鼻炎）、および頭頸部腫瘍・がん、等の診療に注力している。近年は頭頸部腫瘍への診療体制をととのえ、診断（PET、NBI内視鏡、即時の内視鏡下生検）、治療（抗がん剤や分子標的薬などの薬物治療、定位放射線治療、再建を含めた拡大手術）などを複数診療科と連携しながら実施している。また、耳科手術では、従来の慢性中耳炎に対する鼓室形成術に加え、メニエール病に対する内リンパ嚢開放術や顔面神経麻痺に対する顔面神経減荷術にも取り組んでいる。

### 2. 診療体制

#### 1) 外来診察スケジュール（表1）

一般診療：月～金曜am  
（火：手術日のため初診のみ）  
専門診療：腫瘍（月pm、水pm、金pm：金澤）  
補聴器（水pm：担当医）  
めまい（水pm、金pm：小泉）  
難聴・中耳炎（水pm、金pm：小泉）  
補聴器（水pm：担当医）

初診時に原則的に耳鼻咽喉科領域の各専門の医師が診療を担当する方針としている。

#### 2) 病棟体制

耳鼻咽喉・頭頸部外科は10床の定床数（9階病棟）で入院診療を行っている。外来診療担当医が、引き続き入院診療も主治医として診療を行っている。頭頸部がん症例については、複数医師で患者を担当している。

#### 3) 検査スケジュール

- ・聴力検査：月～金曜am・pm
- ・めまい・平衡機能検査（カロリック、VEMP含む）：月～金曜am・pm
- ・ABR検査：随時・即時
- ・ENOG検査：随時・即時
- ・内耳造影MRI検査：水・金曜全日
- ・超音波検査、鼻咽喉頭内視鏡検査：随時・即時
- ・嚥下内視鏡検査：随時・即時
- ・頸部造影CT：随時・即時
- ・頭頸部単純・造影MRI：随時
- ・PET：随時

### 3. 診療実績

#### 1) 外来診療実績（表3）

耳鼻咽喉領域の急性難聴やめまいなどの耳疾患、頭頸部癌（口腔癌、咽喉頭癌、甲状腺癌など）については専門医が診療を担当している。他に鼻副鼻腔疾患や扁桃疾患に対しても手術体制が整っている。近隣の医療施設からの紹介や救急患者を随時受入れ、その患者の症状が安定すれば逆紹介も行っている。大阪市西区やその周辺地域の基幹病院としての役割を果たしている。まためまい専門検査は大阪府広域からの患者を受け入れている。

#### 2) 入院診療実績（表3、4）

近年、手術件数増加に伴い入院件数の増加もみられる。また、従来から急性炎症疾患（扁桃炎、急性喉頭蓋炎など）、急性めまいや急性感音難聴、顔面神経麻痺の加療も実施している。他診療科と連携して、頭頸部がんに対する集学的治療も積極的に実施している。

#### 3) 検査実績

聴力検査：1,816件  
めまいセット標準検査：128件  
VEMP, カロリック検査：241件  
内耳造影MRI検査：65件  
頸部超音波検査：1,258件  
鼻咽喉頭内視鏡検査：1,389件

### 4. 認定医・専門医など

日本耳鼻咽喉科学会専門医・指導医	2名（小泉、金澤）
補聴器相談医	1名（小泉）
補聴器適合検査認定医	1名（小泉）
がん治療認定医	2名（金澤）
頭頸部がん専門医・指導医	1名（金澤）
身体障害者福祉法15条指定医	2名（小泉、金澤）

## 5. 業績

### 学会発表

- 小泉敏三, 藤田裕人, 細野研二, 藤田信哉, 北原 糺: 内耳造影MRIにおけるフリーソフトImageJを用いた前庭内リンパ水腫の3次元の評価法, 第30回日本耳科学会総会・学術講演会, 2020年11月, 北九州

### 研究会発表

- 金澤成典: 頭頸部がんの診療について, 第128回日本生命病院 医学セミナーUpdate, 2020年9月, 大阪

表1 外来診察スケジュール

月		火		水		木		金	
午前	午後	午前	午後	午前	午後	午前	午後	午前	午後
金澤	金澤 (腫瘍)	担当医		小泉	小泉 (めまい) (予約)	小泉		小泉	小泉 (中耳炎・難聴) (予約)
宮下			手術	金澤	金澤 (腫瘍) (予約)	宮下	手術	金澤	金澤 (腫瘍) (予約)
担当医			手術	藤田	藤田 (予約)	中山		藤田	藤田 (予約)

※1・3・5週は小泉、2週は金澤、4週は藤田(裕)

表2 検査スケジュール

検査項目	月		火		水		木		金	
	午前	午後								
聴力検査 平衡機能検査 味覚検査	○診									
聴性脳幹反応		○診								

○: 当院診察が必要

表3 耳鼻咽喉科年度別外来・入院延べ患者数

	2016年度	2017年度	2018年度	2019年度	2020年度
外来	11,618	10,579	11,159	11,506	8,821
入院	4,436	2,278	1,860	2,051	2,727

表4 2020.4~2021.3-入院患者の疾患(上位のみ)

疾患名	件数	平均在院日数
扁桃およびアデノイドの慢性疾患	34	6
前庭機能障害	31	5
慢性副鼻腔炎	21	6
顔面神経障害	20	9
口腔および消化器の性状不詳または不明の新生物	11	6
扁桃周囲膿瘍	11	7
急性扁桃炎	9	5
耳下腺の悪性新生物	8	8
甲状腺の悪性新生物	7	17
睡眠障害	7	6
その他の難聴	7	9
鼻および副鼻腔のその他の障害	7	6
その他および部位不明の大唾液腺の悪性新生物	5	20
喉頭の悪性新生物	5	52
声帯および喉頭の疾患、他に分類されないもの	5	7
鼓膜穿孔	5	5

# 形 成 再 建 外 科

スタッフ 部長代行：宮崎裕子  
医 長：大島 遥

## 1. 診療内容

形成再建外科では体表の外傷や腫瘍、変形、異常を取り扱っている。また治らない傷や目立つ傷あと、眼瞼下垂、がんの切除およびその修復（頭頸部再建や乳房再建など）の治療も行う。疾患の根治のみでなく、整容性に配慮した治療を心がけている。

外傷については全身を対象に対応しており、特に露出部である顔面や四肢を多く治療している。擦過創、挫滅創、裂創、剥脱創、咬創、熱傷、凍傷など幅広い外傷に対応している。顔面骨折も変形や機能障害の程度に応じて手術をしている。皮膚、皮下腫瘍については理学所見を中心にエコー、CT、MRIなどの画像検査を組み合わせる複合的に病態を診断し、皮膚科と合同カンファレンスを行い、治療計画を立てている。また、切除した腫瘍については同カンファレンスにて病理診断の検討会を行っている。眼瞼疾患については眼瞼下垂を中心に、睫毛内反症などの治療を行っている。顔面神経麻痺においては静的再建やボトックスによる痙攣の治療を主に行っている。乳房再建では人工物や自家組織（広背筋皮弁、腹直筋皮弁、腹部穿通枝皮弁など）を用いた再建方法の中から患者に合った治療方法を選択している。褥瘡については皮膚科と合同で治療を行っており、入院患者の褥瘡治療は形成外科及び皮膚科、多職種を含めた褥瘡対策チームで対応している。糖尿病性足壊疽や重症虚血肢などの難治性創傷は他科と連携の上治療を行っている。この他にも副耳、耳瘻孔、ケロイド、腋臭症、陥入爪の治療も行っている。

## 2. 診療体制

### 1) 外来診察スケジュール（表1）

外来診察は原則1診体制。初診、再診共に1診体制で対応している。月、火曜日は大島が担当。水、金は宮崎が担当。また緊急の外傷も随時引き受けて対応している。

### 2) 病棟体制

病棟は宮崎、大島ともに担当。形成外科内でも情報を共有し、対応できるようにしている。共観患者に関しても同様に行っている。

### 3) 手術スケジュール

主には月曜日と金曜日午後に局所麻酔の手術、全身麻酔や臨時の局所麻酔の手術に関しては、全科共通枠で必要に応じ、対応している。手術は全て中央手術室で行っているが、外傷や緊急性のある小手術に対しては外来処置室にて対応している。

## 3. 診療実績

- 1) 外来診療実績（表2）
- 2) 入院診療実績（表2）
- 3) 手術実績（表3）

## 4. 認定医・専門医など

日本形成外科学会専門医 2名（宮崎・大島）  
乳房再建用エキスパンダー/インプラント責任医師 1名（宮崎）  
下肢静脈血管内焼灼術実施医 2名（宮崎・大島）

## 5. 業績

### 学会発表

1. 大島 遥, 宮崎裕子, 藤原敏宏:壊死性抗がん剤によって生じた血管外漏出性皮膚潰瘍の一例, 第126回関西形成外科学術集会, 2020年11月,大阪
2. 大島 遥:壊死性抗がん剤による血管外漏出が原因で生じた右胸部皮膚潰瘍, 第12回日本創傷外科学会総会・学術集会, 2020年12月, 岡山

表1 外来診察スケジュール

月		火		水		木		金	
午前	午後								
		大島		宮崎				宮崎	

表2 年度別外来・入院延べ患者数

	2017年度	2018年度	2019年度	2020年度
外来	2,742	2,911	2,907	2,169
入院	1,097	1,083	869	481

※2017.4～ 形成再建外科を新設

表3 2020.4～2021.3ー入院患者の疾患（上位のみ）

疾患名	件数	平均在院日数
眼瞼のその他の障害	19	4
皮膚のその他の悪性新生物	15	7
その他および部位不明の性状不詳または不明の新生物	9	3
良性脂肪腫性新生物（脂肪腫を含む）	7	3
骨髄炎	5	12
非ホジキン（non-Hodgkin）リンパ腫のその他および詳細不明の型	5	4

# 放射線診断・IVR科

スタッフ 部長：小林美登利（中央放射線部長）  
副部長：牧 大介、合田晴一

## 1. 診療活動

各種画像診断（CT、MRI、単純X線、マンモグラフィ、消化管造影、排泄性尿路造影、血管造影など）、各種IVR（肝細胞癌に対する塞栓・動注、消化管出血や産科出血などの止血、胆道穿刺・ドレナージ、膿瘍穿刺・ドレナージ、ラジオ波焼灼術、生検など）、核医学診断（SPECT、PET-CT）を行っている。

3名の放射線診断専門医（常勤）が、大阪大学ならびに大阪市立大学の専門医（非常勤）の支援を得て、質の高い画像診断とIVRを実践している。

## 2. 臨床実績（2020年4月1日から2021年3月31日）

- 1) 画像診断CT 16,063例、MRI 6,613例、単純X線 1,652例、消化管造影 2例、SPECT 763例、PET-CT 481例
- 2) 血管系IVR 28例（動注・塞栓術（肝癌）11例、消化管止血術 4例、子宮動脈塞栓術 3例、副腎静脈サンプリング 8例、塞栓術（動脈瘤など）2例）
- 3) 非血管系IVR 17例（経皮的生検（肺・脾・後腹膜）10例、経皮的膿瘍ドレナージ（腹腔内・後腹膜・腸腰筋）5例、経皮経肝的胆道穿刺・吸引・ドレナージ 2例）

## 3. 認定医、専門医など

日本医学放射線学会放射線診断専門医 3名（小林、牧、合田）  
日本IVR学会専門医 2名（牧、合田）

## 4. 業績

### 研究会発表

1. 牧 大介: MRI の基本的なシーケンスと造影剤の注意点, 第134回日本生命病院 医学セミナーUpdate, 2021年3月, 大阪

表1 検査スケジュール

	月		火		水		木		金	
	午前	午後								
IVR		○						○		○

※放射線診断は毎日実施

表2 外来検査スケジュール

検査項目	月		火		水		木		金	
	午前	午後								
単純撮影	★ 紹									
CT(単・造)	● 紹・予									
MRI(単・造)	● 紹・予									
骨塩定量	● 紹・予									
乳房撮影	● 紹・予		● 紹・予	● 紹・予	● 紹・予		● 紹・予	● 紹・予	● 紹・予	● 紹・予
RI	● 紹・予									
PET-CT	● 紹・予	● 紹・予			● 紹・予	● 紹・予			● 紹・予	● 紹・予

●：紹介状・予約が必要 ★：紹介状のみにて検査可

表3 年度別外来延べ患者数

	2016年度	2017年度	2018年度	2019年度	2020年度
放射線診断・IVR科	4,244	1,268 <sup>※</sup>	1,249	1,166	888

※2017.4～放射線科から放射線診断科（2018.4から放射線診断・IVR科）に改組、放射線治療科を新設

# 放射線治療科

スタッフ 部長代行：丸岡真太郎

## 1. 診療内容

2017年4月より「放射線治療科」を新設し、診療を開始した。

がん治療の三本柱の一つである放射線により各種がんに対する放射線治療を行っており、根治目的の放射線治療だけでなく、がんによる各種症状を和らげるための緩和的照射も行っている。2018年5月より新リニアック装置TrueBeamに機器更新を行い、体幹部定位照射をはじめとした高精度放射線治療を行っている。

主な対象疾患は下記の通り

頭頸部腫瘍、消化器腫瘍（食道癌、膵臓癌、肝臓癌等）、泌尿器科腫瘍（前立腺癌、膀胱癌等）、婦人科腫瘍（子宮頸癌、卵巣癌等）などの悪性腫瘍に対する放射線治療、頭蓋内腫瘍、肺腫瘍、肝腫瘍に対する定位放射線治療、ケロイド等の良性疾患に対する放射線治療、骨髄移植前処置としての全身照射

## 2. 診療体制

1) 外来診察スケジュール（表1）

## 3. 診療実績

部位別治療件数

総計 232件

造血器・リンパ 52件

婦人科 8件

頭頸部 21件

乳腺 31件

消化器 12件

泌尿器 32件

肺縦隔 75件

その他 1件

うち

定位照射 転移性脳腫瘍 3件

原発性肺癌 8件

全身照射（3Gy又は4Gy） 6件

## 4. 認定医・専門医など

日本医学放射線学会放射線科専門医 1名（丸岡）

日本医学放射線学会放射線治療専門医 1名（丸岡）

表1 外来診察スケジュール

月		火		水		木		金	
午前	午後								
丸岡	丸岡	立川	丸岡						

表2 年度別外来延べ患者数

	2017年度	2018年度	2019年度	2020年度
放射線治療科	2,208	1,952	2,624	2,437

※2017.4～放射線治療科を新設

スタッフ 部長：花田留美（中央手術管理部部長代理）  
副部長：玉井 裕、藤原優子、須田万理  
医 長：鈴木史子（～2021年1月）  
常勤嘱託：岡田俊樹、三上麻紀子、鈴木史子

## 1. 診療内容

診療内容としては、主に手術麻酔管理、ペインクリニック外来、緩和医療をおこなっている。2020年度はそれに加えて、立花副院長からの依頼でCOVID-19患者での挿管症例に対して、オンコール体制で挿管対応をした。

### 1) 手術麻酔管理

手術時の麻酔だけでなく、術前評価、手術麻酔、術後診察を一連として麻酔管理としている。

予定手術においては、外来受診可能な状態の患者さんのみ術前診察を麻酔科外来で週5日行っている。術前診察で、患者さんの全身状態の評価を行い、最も適した麻酔法を選択する。全身麻酔はもちろん脊髄くも膜下麻酔・硬膜外麻酔・神経ブロック等も行い、重症患者の場合局所麻酔でも全身管理に携わることもある。麻酔法およびその合併症について患者さんに十分に説明し、理解していただき、信頼関係を確立するためにも術前診察は非常に重要であり、時間をかけている。

できるだけベストな状態で手術に臨めるように他部門とも連携している。まず、術前問題点を早期に把握するため麻酔科管理症例については、2017年より全例入退院センターにてスクリーニングを兼ねて麻酔科術前問診票を記入いただき、術前問題点があれば各科に連絡し、早期に手術認定看護師の介入、術前禁煙指導、呼吸器内科での治療や呼吸器リハビリ、術前体重コントロールのための栄養指導、薬剤部へ入院前の内服薬の把握などを依頼し、麻酔科での術前診察が行われるまでに問題点が少しでも改善され、周術期合併症のリスク軽減がなされるようなシステムを構築している。緊急手術では、適宜術前診察を行うが、当日緊急手術においても、迅速に効率よく手術まで行えるように手順を整理した。

術後疼痛管理も積極的に行っており、必要時はPCA（Patient Controlled Analgesia）装置を用いて鎮痛薬を持続投与の上、疼痛時に患者さんがボタンを押して鎮痛薬を追加投与する方法を使用している。

### 2) ペインクリニック外来

週3日開設し、他科、他院からの紹介患者を主に診察している。急性痛のみならず、当院で癌治療中の患者の疼痛管理にも積極的に取り組んでいる。

### 3) 緩和医療

2008年2月より緩和ケアチームが発足し、入院中は依頼患者に主治医と連携しながら直接介入で対応し、主に身体症状の軽減に携わっている。チームでの回診とカンファランスは、週に1回月曜日に行い、薬剤部、認定看護師、ソーシャルワーカー、放射線治療医、臨床心理士と常に連携しよりよい症状緩和を目指している。また、緩和ケア研修会（PEACE）も麻酔科医の減少により、2015年度より中断していたが、2020年度より再開することができた。2021年2月28日にCOVID-19の影響を最小限にするため、受講生の参加は院内のみに限定し、無事に終了した。

### 4) その他

当院のプログラムでは初期研修中の1年目の1～2ヶ月は麻酔科を研修する。初期研修中に到達すべき経験目標としての基本的手技のうち、気道確保、静脈ルート確保、腰椎穿刺、気管挿管の技術に関しては、当科にて確実に身につけさせるように指導している。また、将来どの診療科に進んでも役に立つように緩和医療にも積極的に参加してもらい、基本的な医療用麻薬の使い方やその他の症状緩和への対応などができるように、指導することを心がけている。

2020年度はいろいろなところでCOVID-19への対応の影響を受けた。

手術室では、マスク換気、挿管操作などエアロゾルによる感染リスクが高いため、COVID-19患者にも対応できるように、すべての全身麻酔管理症例において、挿管、抜管時は防護具の装着も指導し、通常よりさらに感染に配慮するようにした。

そのほか、外部からの研修の受け入れは困難と判断し、2019年度まで受け入れていた救急救命士の挿管実習を2020年度はお断りした。COVID-19の感染状況が落ち着けば、再開を検討したい。また、当院はCOVID-19感染の中等症患者の受け入れを行っているため、その中で人工呼吸器管理が必要となる症例に対しての挿管対応をオンコール体制で当科が担当した。

## 2. 診療体制

### 1) 外来診察スケジュール (表1)

### 2) 病棟体制

今まで病棟体制はとっていなかったが、緩和ケアチームへの依頼患者が増加しており、認定看護師のみの対応では難しくなってきたため、2020年度は緩和ケアチームの回診を1名/日交代で担当している。緩和ケアチーム介入患者の疼痛などの身体症状管理を緩和ケア認定看護師と連携して行っている。

## 3. 診療実績

新病院への移転後、2018年度、2019年度と手術件数は増加してきていたが、2020年はCOVID-19の影響を受けて、4月5月に手術制限をしていた影響もあり、総手術件数3478例、うち麻酔科管理手術件数は2091例、緊急手術は96例となり、2019年に比較するとやや減少した。(2019年度は、総手術件数3,583例、うち麻酔科管理手術件数2,298例、緊急症例は105例であった。)

移転前より外科系診療科も徐々に増え、血液浄化センターを併設していることも有り、症例も重症化、複雑化しているが、周術期もとくに問題なく対応することができた。

2020年度は、気管支鏡検査なども一時減っていたせいもあり、手術室外での全身麻酔の依頼は無かった。一方、緩和ケアチーム依頼患者は、年々増加しており、緩和ケアチーム依頼患者は、2020年度は、のべ294例〔2019年度は、のべ239例〕の患者に対応した。非がん患者(慢性心不全、末梢血管障害、透析患者など)での症状コントロールを依頼されることも多くなってきた。2020年度からは、1人/日で病棟担当医をきめて、認定看護師とともに毎日ラウンドしてきめ細かく対応できるようにしている。

ペインクリニック外来では、2018年度より大阪大学から月曜日にペインクリニック専門医を招聘し、手術室での外来透視ブロック、超音波ガイド下ブロックなども積極的におこなっている。2020年度は、外来患者数は、やや減少した。

### 1) 外来診療実績 (表2)

### 2) 入院診療実績 (表2)

## 4. 専門医・指導医など

日本麻酔科学会指導医・専門医

4人(花田、岡田、須田、藤原)

日本麻酔科学会 専門医 2人(玉井、鈴木)

麻酔科標榜医

7人(花田 岡田、玉井 藤原 須田、鈴木 三上)

日本ペインクリニック学会専門医 2人(花田、植松)

## 5. 業績

### 論文・著書

- 岡田俊樹, 三上麻紀子, 藤原優子, 玉井 裕, 花田留美: 左室駆出率が30%以下の虚血性心不全4症例の麻酔管理経験, 日本生命病院医学雑誌, 48:13-17, 2020年

### 学会発表

- 三上麻紀子, 植松弘進, 鈴木史子, 須田万里, 藤原優子, 玉井裕, 花田留美: 難治性仙腸関節痛に対し超音波ガイド下仙骨神経外側枝高周波熱凝固が有効であった関節リウマチ合併乾癆性関節炎症例, 日本ペインクリニック学会第1回関西支部学術集会, 2020年11月, 大阪(WEB開催)

表1 外来診察スケジュール

月		火		水		木		金	
午前	午後	午前	午後	午前	午後	午前	午後	午前	午後
戸崎 (術前)	戸崎 (術前)	玉井 (ペイン)	玉井 (術前)	藤原 (術前)	藤原 (術前)	三上 (術前)	三上 (術前)	花田 (ペイン)	花田 (術前) ※
植松 (ペイン)		岡田 (術前)	岡田 (術前)	須田 (術前)	須田 (術前)		鈴木 (術前)	鈴木 (術前)	清水 (術前)
三上 (ペイン)									

※2週目以降は鈴木

表2 年度別外来・入院延べ患者数

	2016年度	2017年度	2018年度	2019年度	2020年度
外来	4,849	5,268	4,410	4,704	3,908
入院	38	50	60	37	26

表3 2020.4~2021.3 ブロック実績

ブロック名	件数
超音波ガイド下ブロック	159
透視下神経ブロック	33
高周波熱凝固	12
その他外来ブロック	135

# リハビリテーション科

スタッフ 部長：平林伸治（リハビリテーション室室長）

## 1. 診療内容

2017年4月よりリハビリテーション科はリハビリテーション医療を専門に開始した。外来診察にて最初に関与するリハビリテーションの目標やゴールを説明する。リハビリテーション練習を提供する疾患は以下のようなものである。

- 1) 急性期疾患で入院された方の回復を促進する。
- 2) 慢性疾患の急性増悪で入院された方の在宅生活につなげる。
- 3) 維持期の方は在宅で行うリハビリテーションが中心のため、当院で行うことは自主的にできる運動の指導や、リハビリテーションができていないかの確認である。実際の練習指導は在宅チームや介護保険によるチームに連携して行っている。

リハビリテーションの目的やゴールは障害全部が元通りに戻るのではなく、地域や在宅で適応して生活できるように調整していくことであり、そのために相談や援助を行う診療科である。

2020年度はCOVID-19による新型コロナ感染症対策として、密にならないように集団での体操や外来通院でのリハビリテーションを制限しクラスターの発生に注意した。対象患者数の大幅な増加は見込めなかったが、リハ専門3職種（PT・OT・ST）が1人の患者さんに対して複数回リハ実施したことで、延べ患者数は増加した。3職種が介入する手厚い体制は、それぞれの専門性を発揮し、早期退院に向けて貢献した。

## 2. 診療体制

外来診察スケジュール、月曜から金曜の午前中に実施。

## 3. 診療実績

毎日リハビリテーション室や病棟・病室にてリハ提供している人数は1ヵ月ごとに算出した平均は106人（100～120）で年間延べ人数34,036人である。初診後に新規リハ開始した患者は1日9.2人（8～10）である。

2020年 月別に集計したリハビリテーション提供した1日患者数

	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月
提供人数	114	112	116	120	114	112	112	113	100	100	106	107

2020年 月別に集計した新規開始患者数

	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月
新患者数	166	167	215	197	199	173	213	180	161	181	166	207

## 4. 認定医・専門医

日本リハビリテーション医学会 専門医、指導医（平林）  
 日本義肢装具学会 専門医（平林）  
 日本超音波医学会 専門医、指導医（平林）  
 日本整形外科学会 専門医（平林）  
 日本職業災害学会社会医学系 専門医、指導医（平林）  
 日本整形外科超音波学会 名誉会員（平林）

表1 外来診察スケジュール

	月		火		水		木		金	
	午前	午後								
平林			平林		平林		平林		平林	

表2 年度別外来延べ患者数

	2016年度	2017年度	2018年度	2019年度	2020年度
外来	3,459	3,819	4,015	3,267	4,667

※2017.4 リハビリテーション科 新設

# 救 急 総 合 診 療 科

スタッフ 主任部長：岸 正司（院長補佐、救急総合診療センター長、集中治療室長、医療安全対策室長）  
 副 医 長：暮部裕之  
 兼 任：毛利年一（整形外科）、中川厚（循環器内科）  
 専 攻 医：高島大幸（～2020年5月）、勝沼倫子（～2020年6月）、  
 木島 涼（2021年6, 7, 11, 12月）、門脇千聡（2021年7, 8月）、門脇千聡（2021年8月）、  
 田中雅樹（2021年9, 10月）、田村有里（2021年10月～）、石田哲朗（2021年2, 3月）

## 1. 診療内容

救急外来初診患者の診察に加え、救急車にて来院された患者の初期対応を行い、必要に応じて各専門分野診療科や他院への紹介を行う。内科専攻医および、臨床研修医のプライマリケア、救急全般に対する診療能力の向上を目指した研修プログラムも担っている。

## 2. 診療体制

1) 外来診察スケジュール（表1）

## 3. 診療実績

- 1) 外来診療実績（表2）
- 2) 入院診療実績（表2）

## 4. 認定医・専門医など

日本救急医学会指導医 1名（岸）  
 日本救急医学会救急科専門医 1名（岸）  
 日本内科学会認定内科医 1名（暮部）  
 日本呼吸器学会呼吸器専門医 1名（暮部）

## 5. 業績

### 論文・著書

1. 岸 正司, 草野孝文, 伊原郁夫, 馬場武彦, 松岡哲也, 木野稔:大阪府の外国人観光客への救急医療の実態に関するアンケート調査(続報), 大阪救急, 101:3-7, 2020年
2. 草野孝文, 岸 正司, 伊原郁夫, 馬場武彦, 松岡哲也, 行岡正雄, 木野 稔:大阪府の高齢者の救急医療の実態に関するアンケート結果報告, 大阪医学, 51(2):31-35, 2021年

### 学会発表

1. 廣田将史, 藤岡栄悟, 片岡宏一郎, 岡部綾子, 赤地美保, 加藤千尋, 田中恵介, 牧田佐和子, 生田武蔵, 岸 正司:当院RSTにおける理学療法士の関わりー人工呼吸器管理中に歩行練習が可能となった症例の経験ー, 第13回日本医療マネジメント学会大阪支部学術集会, 2020年9月, 大阪
2. 牧田佐和子, 生田武蔵, 村上輝明, 田中恵介, 加藤千尋, 藤岡栄悟, 廣田将史, 赤地美保, 岡部彩子, 岸 正司:二次救急病院での呼吸ケアサポートチーム(RST)の意義について, 第13回日本医療マネジメント学会大阪支部学術集会, 2020年9月, 大阪
3. 生田武蔵, 岸 正司, 暮部裕之, 高森啓成, 高島大幸:外国人診療におけるリスクマネジメント, 第13回日本医療マネジメント学会大阪支部学術集会, 2020年9月, 大阪

表1 外来診察スケジュール

月		火		水		木		金	
午前	午後	午前	午後	午前	午後	午前	午後	午前	午後
田村 (石田)	田村 (石田)	石田 (田村)	石田 (田村)	田村 (石田)	田村	石田	石田 (田村)	田村 (石田)	石田 (田村)
暮部	岸	暮部	暮部	暮部	暮部	岸	暮部	岸	暮部

表2 年度別外来・入院延べ患者数

	2016年度	2017年度	2018年度	2019年度	2020年度
外来	6,182	3,339	3,371	3,745	5,217
入院	3,939	4,597	5,830	6,559	1,338

## 検査診断科

スタッフ 部長：大山摩佐子（予防医学センター副センター長）

### 1. 診療内容

日常診療において、診断・治療を行うには、正確かつ迅速な検査が求められる。

当院は地域医療支援病院として病診連携を進める上で、高度で専門的な検査を行うことや、患者さんへの継続的なケアを安定して受けていただくために、病診連携検査（CT、MRI、消化管検査、生理検査）を行っている。

検査診断科では、特に地域のかかりつけ医の先生方へ生理検査として、各種超音波検査（頸部エコー、甲状腺エコー、心エコー、腹部エコー、血管エコー）や呼吸器、循環器、神経学的検査を病診連携検査として行っている。

地域の様々な医療機関がその機能を十分に発揮しながら相互に連携することで、地域の患者さんを総合的、効果的かつ継続的にケアし、患者さんのための医療を目指していく。

# 病 理 診 断 科

スタッフ 部長代行：城光寺 龍

## 1. 診療内容

組織診断・細胞診断・病理解剖が当科の主な業務である。

日本病理学会認定登録病院、日本臨床細胞学会認定病院を取得している。病理学的診断を正確に行うために、臨床各科との密な情報交換を行い、臨床医が正確な診断と最適な治療法の選択ができるようにしている。またCPCを開催し、臨床医だけでなく研修医の教育・研修の質の向上にも取り組んでいる。

診断および検査精度の向上を図るために、日本臨床細胞学会及び日本臨床衛生検査技師会の外部精度管理に参加、更に免疫組織学および遺伝子検査手法を積極的に取り入れて、病理学的診断を正確に行うように努めている。

診療体制としては、病理診断管理加算Ⅰの算定を行なっているほか、病理部門システム（松波ガラス Pathwindow）にて、標本作製過程へのバーコード導入により検体取り違い防止のための機構を導入しているほか、デジタル画像の報告書への添付も行っている。

新規診療内容としては、液状化細胞診（Thinprep）を非婦人科以外の材料へ広げ、標本作製の標準化および省力化を行っている。

一部医療機関との間で検査（免疫染色）の受託を行っている。

また診療上必要と思われる検査に関しても順次導入を行っている。

## 2. 診療体制

部長代行：城光寺 龍

（病理専門医、細胞診専門医、臨床研修指導医）

非常勤医師 2名（大阪大学、大阪警察病院より）

臨床検査技師（中央検査部兼任）：

5名（細胞検査士3名）

事務職員（中央検査部兼任）：1名

## 3. 診療実績

検査実績（表1）

組織診断：6,060件

細胞診断：9,670件

術中迅速診断：195件

病理解剖：4件（内科系4件、剖検率2.3%）

表1 検査実績

	組織診件数	細胞診件数 (うち予防医学センター)	術中迅速	剖検
H28	4,128	8,584(1,746)	111	14
H29	4,634	6,509(0)	93	12
H30	5,050	6,953(0)	134	5
R1	5,715	11,307(4,602)	124	10
R2	6,060	9,670(3,402)	195	4

2020年度はCPCの開催は5回行われ、内容は下記の如くであった。

第303回6月26日：膀胱癌（消化器内科）

第304回10月2日：肺癌（総合内科）

第305回11月6日：慢性骨髄単球性白血病（血液内科）

第306回12月15日：EBV陽性びまん性大細胞型B細胞性リンパ腫（血液内科）

第307回3月23日：肺癌（総合内科）

## 4. 業績

論文・著書

1. Tobita Satoshi, Kinehara Yuhei, Tamura Yoshio, Kurebe Hiroyuki, Ninomiya Ryusuke, Utsu Yoshihiko, Kohmo Satoshi, Sato Bunzo, Nagai Kenichi, Maruoka Shintaro, Jokoji Ryu, Koyama Shohei, Tachibana Isao: Successful Continuous Nivolumab Therapy for Metastatic Non-Small Cell Lung Cancer After Local Treatment of Oligometastatic Lesions., Thoracic Cancer, 11:2357-2360, 2020年
2. 城光寺龍: SMARCA4-deficient thoracic sarcomaの1例, 日本生命病院医学雑誌, 48:29-32, 2020年
3. 岡藤 博, 藤吉恵津子, 田村 聡, 菊地香織, 宮本真由子, 沈嬌, 邨田裕子, 田中絢香, 矢野悠子, 八田幸治, 高山敬範, 潮田至央, 佐伯典厚, 城光寺龍, 水野 均, 橋本奈美子: 細胞診で診断しえた子宮頸部内分泌癌(小細胞癌)の1例, 日本生命病院医学雑誌, 48:18-23, 2020年

学会発表

1. 城光寺龍, 佐藤和明, 池田純一郎, 森井英一: SMARCA4-deficient thoracic sarcomaの1例, 第109回日本病理学会総会, 2020年7月, 福岡(WEB開催)

研究会発表

1. 城光寺龍: ゲノム診療のため病理組織検体取り扱い, 第127回日本生命病院 医学セミナーUpdate, 2020年8月, 大阪

# 救急総合診療センター

スタッフ センター長：岸 正司（院長補佐、救急総合診療科主任部長、集中治療室長、医療安全対策室長）  
副センター長：中川 厚（循環器内科担当部長）、毛利年一（整形外科部長）  
暮部裕之（救急総合診療科）、宇都佳彦（総合内科）、田村和義（脳神経外科）、  
佐藤智彦（脳神経内科）、行方雅人（整形外科）、生島裕史（消化器外科）、高崎かおり、木村由美、  
牧田佐和子、湯浅賀容子、河合洋子、飯田志保、黒塚恭子、石居優子（以上看護部）  
玉川雄一、田中恵介（中央臨床検査部）、藤丸泰一（中央放射線部）、坂本彩弥（栄養管理室）、  
足立充司（薬剤部）、重谷政憲（総務人事G）、岡野 智（医事サービス部）

## 1. センターの概要

地域の救急医療における役割を意識しながら、その中核として円滑に機能するよう心がけている。

センター長（救急科専門医、指導医）、救急診療科スタッフのみならず、関連する診療科を代表する副センター長、内科当番医、外科系・内科系各科担当医（これらの指導の下で臨床研修医等も）が、総合力で救急患者の診療にあたっている。

## 2. 主な対象疾患

- ・重症度、内因・外因を問わず、当センター受審が必要と判断する急性病態
- ・紹介すべき診療科が特定しづらい病態

## 3. 主な検査と治療

- ・救急室における呼吸・循環管理（人口呼吸器など）
- ・ポータブル画像撮影
- ・超音波検査
- ・創傷処置
- ・小手術
- ・洗浄処置

# がん治療センター

**スタッフ** センター長：川上 学（血液・化学療法内科部長、輸血管理室長、化学療法室長）  
 田中敏雄（消化器内科）、立花 功、甲原雄平、二宮隆介（総合内科）、水野 均（消化器外科）、  
 前田 元（呼吸器外科、～2020年8月）、西田幸弘（乳腺外科）、橋本奈美子（産婦人科）、  
 高橋 励（神経科・精神科）、福井辰成（泌尿器科）、金澤成典（耳鼻咽喉・頭頸部外科）、  
 小林美登利（放射線診断・IVR科）、丸岡真太郎（放射線治療科）、花田留美、玉田裕、  
 藤原優子（以上麻酔・緩和医療科）  
 小山佐知子、大島千春、水越 梢、村上弘子、西川由佳子、増田ますみ、阪井理恵、土井美奈子  
 （以上看護部）  
 田中 孝（リハビリテーション室）、浅野正宏（中央臨床検査部）、矢野勝之（中央放射線部）、  
 村元絵実（管理栄養士）、宮麻紀子（薬剤部）、本家裕子（あったかサポートセンター）、  
 丸山加奈（神経科・精神科）  
 岩本愛佑美（医事サービス部）、山本寛（総合企画部）

## 1. 診療内容

「大阪府がん診療拠点病院」として、引き続き各領域で内容の充実に取り組んだ。

### 【主たる業務】

- 1) がんに関する集学的治療の充実
- 2) 緩和ケアチームの運営、緩和ケアに関する教育研修
- 3) がん治療に関する相談対応、情報提供
- 4) がん患者に対する口腔ケアの啓蒙と推進
- 5) がん登録の推進

### 【具体的内容】

#### 1) 集学的治療

- ①多診療科・多職種が参加するキャンサー・ボードを月1回の頻度で開催した。当番診療科（表1）の経験症例を中心に、それ以外の診療科における症例や緩和ケアチームが介入した症例に関する診断・治療方針の検討を行った。また、院内の「ACP情報共有シート」の運用方法などについて情報共有を行った。

#### ②レジメン登録

化学療法運営委員会と連携し、レジメンの審査を行い、化学療法の安全確実な実施体制を構築した。

#### 2) 緩和ケア

- ①緩和ケアチームによる介入、週1回の回診とカンファレンスを開催した。緩和ケアチーム依頼件数は239件であった。
- ②がん対策推進基本計画に定められているPEACEに基づく「緩和ケア研修会」を2021年2月27日に日本生命病院において開催した。24名が参加した。

#### 3) 相談支援

##### ①がん患者指導管理料イの算定

がんの診断を受けた患者に対して、PEACE研修会を受講した医師と有資格看護師（がん性疼痛看護認定看護師・乳がん看護認定看護師・がん化学療法認定看護師）とが共同して指導した場合に算定できるものであるが、351件に対して行った。

##### ②がん患者指導管理料ロの算定

がん患者の心理的不安を軽減するための指導を211件に対して行った。

##### ③がん患者指導管理料ハの算定

抗悪性腫瘍の投薬又は注射の必要性などについての説明を19件に対して行った。

##### ④がん相談

がん治療に関する相談を259件受けた。

##### ⑤がんサロン（あったか茶論）の企画・運営

COVID-19パンデミックの状況であったため、開催を休止した。

#### 4) がん患者に対する口腔ケアの啓蒙と推進

・口腔ケアサポートチームによる病棟ラウンド

抗がん剤治療や放射線治療に伴う口腔合併症を軽減し、QOLを向上させることを目的として、大阪市西部圏域6歯科医師会の協力下に、歯科医師と院内の他職種スタッフから成る口腔ケアサポートチームによる9階病棟のラウンドを週1回行った。

#### 5) がん登録

がん登録を行い、大阪府がん登録事業に参加した。

#### 6) がん治療センター運営要領を策定した。

表1

開催月	当番診療科	参加人数
2020年		
4月	中止	
5月	消化器内科	34名
6月	整形外科、リハビリ	24名
7月	放射線治療科	22名
8月	血液・化学療法内科	39名
9月	総合内科	31名
10月	放射線治療科・IVR科	30名
11月	産婦人科	39名
12月	消化器外科	25名
2021年		
1月	耳鼻咽喉・頭頸部外科	27名
2月	乳腺外科	24名
3月	呼吸器外科、がん治療センター	35名

# 女性骨盤底センター

**スタッフ** センター長：橋本奈美子（産婦人科部長）  
 潮田至央、高山敬範、八田幸治、岡 藤博、矢野悠子、邨田裕子、沈 嬌、宮本真由子、  
 菊池香織、藤吉恵津子、田村 聡（以上産婦人科）  
 山下晋也（消化器外科）、福井辰成、湊のり子（泌尿器科）  
 森蘭祐子、木村由美、吉岡眞奈、麦田友里、藤本玲奈（以上看護部）  
 藤岡栄悟、安達幸恵（以上リハビリテーション室）、倉本訓子（中央臨床検査部）、  
 山田純子（中央放射線部）、松村寿美（栄養管理室）、森岡浩子（薬剤部）、  
 津田百合香（医事サービス部）

## 1. 診療活動

今般日本の高齢化はますます増加傾向にあり、婦人科疾患領域では骨盤内臓器脱がその最たる疾患で、軽症まで含めると50歳以上の女性の約半数が罹患すると言われている。米国では女性の11%が手術を受けている。

骨盤内臓器脱は直接的な死因にはならないが、QOL（生活の質）をひどく低下させる疾患である。罹患の特徴として、婦人科または泌尿器科のどちらを受診するかを迷い、治療が遅れるという現状がある。また、腹圧性尿失禁も、比較的侵襲の低い手術によって著明に改善するものの、受診をためらう女性が多い。

当センターは、これらの疾患を治療しより良い社会生活を再び過ごすことができるよう、サポートするために設立された。

手術療法の適応とならない軽症例については、リハビリテーション室にて指導を行い、再発予防のための減量目的に主に手術患者さんを対象に栄養指導も行っている。

### 1) 治療部門

〈外科的治療〉

- ・骨盤内臓器脱（膀胱瘤・子宮脱・直腸瘤・小腸瘤・肛門脱）：腹腔鏡下ロボット支援仙骨脛固定術（LSC, RSC）、腔式子宮全摘術、膣壁形成術、会陰形成術、ル・フォー中央膣閉鎖術 等
- ・腹圧性尿失禁：中部尿道スリング手術（TOT手術）

### ●LSC（腹腔鏡下仙骨脛固定術）について

2020年度診療報酬改定により、ロボット支援下手術（RSC）が保険収載予定となり、当院でも2020年3月より導入している。

### 【2020年度 入院手術件数】

膣壁形成（膀胱瘤手術）他	36件
LSC/RSC	34件
腔式子宮全摘（VT）	17件
膣閉鎖	4件
TOT	1件
合計	92件

〈保存的治療〉

- ・リハビリ指導（骨盤底筋体操）
- ・栄養指導（肥満等食事指導）
- ・切迫性尿失禁、過活動性膀胱（OAB）に対する薬物治療
- ・産褥尿漏れ（助産師外来）
- ・ペッサリー修復・指導

### 【2020年度 栄養指導件数】

合計10件

月	4月	5月	6月	7月	8月	9月
件数	0	2	1	1	1	1
月	10月	11月	12月	1月	2月	3月
件数	0	0	1	1	0	2

### 【2020年度 リハビリ：骨盤底筋運動指導人数】 合計10件

月	4月	5月	6月	7月	8月	9月
件数	0	0	0	2	1	0
月	10月	11月	12月	1月	2月	3月
件数	2	2	1	2	0	0

### 2) 広報（サービス）部門

総合受付、予防医学センターでのパンフレット配布

# 糖 尿 病 ・ 内 分 泌 セ ン タ ー

スタッフ センター長：住谷 哲（総合内科担当部長、予防医学センター担当部長）

中川 厚（循環器内科）、宇都佳彦、加藤更紗、西岡美保、高森啓成（2020年4～9月）、  
高島大幸（2020年4～9月）、門脇千聡（2020年4～9月）、田村有里（2020年4～7月）、  
仁木貴美子（2020年10月～2021年3月）（以上総合内科）、

宇津 貴、光本憲祐、新宮昂史（以上腎臓内科）、福井辰成（泌尿器科）、大島 遥（形成再建外科）、  
細野研二（耳鼻咽喉・頭頸部外科）、角南ちえ子、高山由美子、和田仁美、町田友里、北理香子、  
宇垣政江、石井泉美（以上看護部）、森岡浩子（薬剤部）、倉本訓子（中央臨床検査部）、  
麦田盛穂（リハビリテーション室）、山中裕也（総合企画部）、木下奈美（医事サービス部）

## 1. 診療内容

院内の各診療科医師および各部署のスタッフからなる糖尿病・内分泌センターのもとで活動を継続している。

## 2. 診療体制

糖尿病・内分泌センターでは、糖尿病患者および過食・運動不足などの生活習慣が関与する肥満・脂質異常症・高尿酸血症・高血圧症などの患者を中心に多職種のスタッフによる診療を行っている。患者の日常の代謝動態や生活習慣上の問題点を把握し、疾病の進行や合併症の発症・進行を抑制することを目的としている。

### 1) 外来診察スケジュール

毎週月～金曜日の5日間、糖尿病看護認定看護師や管理栄養士を含む糖尿病療養指導士の資格を持つスタッフが中心となり、病態の評価および指導を行った。

### 2) 病棟体制

入院中の糖尿病患者を対象に、総合内科・看護部・栄養管理室・リハビリテーション室・中央臨床検査部・薬剤部の協力を得て、糖尿病に関する集団指導（糖尿病ふれあい教室）を週2日実施した。またDMT（Diabetes Management Team）回診を毎週水曜午後に行った。

## 3. 診療実績

### 1) 外来診療実績

#### ①オーダーメイド糖尿病診療

30分枠の完全予約制で、患者の安静時代謝量・摂取エネルギー量・運動エネルギー量・身体能力を測定・評価し、患者毎の病態と生活習慣に応じた個別の栄養指導・運動指導・生活習慣指導を実施した。これらの指導は患者の病態や治療効果を考慮し複数回実施している。2020年度に当センターを受診した患者数は延べ2,108名（2019年度は2,111名）であった。

#### ②糖尿病合併症の管理

糖尿病足病変のハイリスク患者を対象として糖尿病神経障害の評価と診断、足ケア、潰瘍・壊疽防止のための指導を実施した（糖尿病合併症管理）。2020

年度における実施件数は222件（2019年度は121件）であった。

また、糖尿病腎症患者を対象に、医師・看護師・管理栄養士による透析予防のための指導も実施した（糖尿病透析予防指導管理）。2020年度における実施件数は681件（2019年度は754件）であった。

### 2) 入院患者の診療

#### ①糖尿病集団指導

〈糖尿病ふれあい教室講師〉

加藤更紗、西岡美保、田村有里、高森啓成、高島大幸、門脇千聡、仁木貴美子（総合内科）、宇津貴、光本憲祐、新宮昂（腎臓内科）、角南ちえ子、高山由美子（看護部）野村浩英、森岡浩子、宮原阿友美、平田亜紀、内藤陸、野村暢彦（薬剤部）廣田将史、安達幸恵、新井聖章（リハビリテーション室）浅野宏正、玉川雄一、大嶽雄也、小西美香、山添直子、鈴木千代美、山下唯、渡辺温子（中央臨床検査部）松村寿美、村元絵実（栄養管理室）  
2020年度における糖尿病ふれあい教室の参加患者数は延べ126名（2019年度は162名）であった。（COVID-19感染予防対策のため、4～6月は開催せず。）

### 3) 活動

#### ①日本生命病院糖尿病フェアの開催

糖尿病の発症と進行抑止のために有益な情報提供を行うため、世界糖尿病デーにあわせて糖尿病に関する正しい理解のための啓発活動を実施した。当センターのスタッフを中心に、血糖測定、HbA1c測定、頸動脈エコー、医療相談などを実施した。

〈日時〉2020年11月20日（金）11：30～13：30

〈場所〉日本生命病院1F あったかふれあいホール

〈内容〉

- ・血糖測定
- ・筋肉量・握力測定
- ・血管年齢測定
- ・栄養相談
- ・服薬相談
- ・医師相談
- ・ミニセミナー など

## ②公開セミナーの開催

患者および一般市民を対象に公開セミナーを開催した。

『2020年度第1回ニッセイ市民健康セミナー』

〈日時〉2020年10月3日（土）14：00～16：00

〈場所〉日本生命病院1F あったかふれあいホール

〈内容〉

### 第1部

講演1：

「お薬は生物?!～大切に管理しましょう!～」  
(薬剤部 森岡浩子)

講演2：

「糖尿病治療の最近の話題」  
(糖尿病センター長 住谷 哲)

### 第2部

「落語寄席」 (桂文喬・桂喬美)

## 4. 業績

### 論文・著書

1. 住谷 哲:続・そこが知りたかった 糖尿病の大規模臨床試験 第3回 Look AHEAD, 糖尿病プラクティス, 37:383-386, 2020年
2. 住谷 哲:続・そこが知りたかった 糖尿病の大規模臨床試験 第4回 ACE, 糖尿病プラクティス, 37:499-502, 2020年
3. 住谷 哲:続・そこが知りたかった 糖尿病の大規模臨床試験 第5回 CREDENCE, 糖尿病プラクティス, 37:626-630, 2020年
4. 住谷 哲:続・そこが知りたかった 糖尿病の大規模臨床試験 第6回 CAROLINA, 糖尿病プラクティス, 37:744-748, 2020年
5. 住谷 哲:続々・そこが知りたかった 糖尿病の大規模臨床試験 第1回 ADVANCE, 糖尿病プラクティス, 38:120-125, 2021年
6. 住谷 哲:続々・そこが知りたかった 糖尿病の大規模臨床試験 第2回 CARDS, 糖尿病プラクティス, 38:252-255, 2021年

# 消化器内視鏡センター

スタッフ センター長：有坂好史（消化器内科主任部長）

田中敏雄、若原ちか、萩巢恭平、北田隆起（以上、消化器内科）、  
宇都佳彦（総合内科）、大山摩佐子、栗波仁美（以上、予防医学センター）、  
水野 均、生島裕文、永井健一、山下晋也（以上、消化器外科）、石田哲郎、松下和子（専攻医）  
芳賀宣子、榎本知奈美、村上真紀、杉浦理絵、佐藤麻衣子、阪井理恵、橋本千代、西田幸子、  
山田愛可（以上看護部）、足立充司（薬剤部）、浅野正宏（中央臨床検査部）、  
加藤千尋（臨床工学部）、上田俊樹（総合企画部）、堀本政希（予防医学センター）

## 1. 診療内容

消化器内視鏡センターは、日本生命病院内視鏡室、ニッセイ予防医学センター内視鏡室、消化器内科、消化器外科を有機的に連携することにより消化器内視鏡関連業務の質の向上を目指している。安全、安心な苦痛の少ない内視鏡検査を心がけ、内視鏡検査のトレーニングを希望する医師を指導している。予防医学センターでの人間ドック、企業健診、ならびに日本生命病院での内視鏡検査、加療を行い、消化器内科、消化器外科の連携により消化器癌の早期発見、早期治療を目指す。また、地域医療連携室経由で、上部内視鏡検査を直接予約できるよう便宜をはかり、日本消化器内視鏡学会、日本消化器病学会、日本大腸肛門病学会、日本消化管学会、日本膵臓学会、日本胆道学会の指導施設としての役割を果たしている。

### a. 検査・治療部門

上部消化管内視鏡

通常内視鏡検査

内視鏡的粘膜切除術（EMR）

内視鏡的粘膜下層剥離術（ESD）

内視鏡的静脈瘤結紮術（EVL）

内視鏡的胃瘻造設術（PEG）

超音波内視鏡（EUS）

超音波内視鏡下穿刺吸引法（EUS-FNA）

膵・胆道系内視鏡

内視鏡的逆行性胆道膵管造影（ERCP）

内視鏡的乳頭括約筋切開術（EST）

内視鏡的採石・砕石術

内視鏡的ステント挿入術（ENBD・ERBD tube）

超音波内視鏡（EUS）

超音波内視鏡下穿刺吸引法（EUS-FNA）

超音波内視鏡下膵仮性嚢胞ドレナージ

管腔内超音波検査法（IDUS）

下部消化管内視鏡

通常内視鏡検査

内視鏡的粘膜切除術（EMR）

内視鏡的粘膜下層剥離術（ESD）

超音波内視鏡（EUS）

### b. 学術部門

研修医・コメディカル対象：カンファレンス

内視鏡室の通年での研修医への開放

### c. 広報（サービス）部門

地域医療連携室経由での内視鏡業務開放

# 血 液 浄 化 セ ン タ ー

スタッフ センター長：宇津 貴（腎臓内科主任部長、栄養管理室長、臨床工学室長）

副センター長：福井 辰成

水本 綾、光本憲祐、新宮昂史、佐藤大飛（以上腎臓内科）、吉川秀人（循環器内科）、  
新谷 隆（心臓血管外科）、湊のり子、金光俊行（以上泌尿器科）、高崎かおり、河村理香、  
柏井由美子、安藤圭子、賀戸ひとみ、湊 真子、村上智美（以上看護部）、池田久雄（薬剤部）、  
加藤千尋、田中恵介、宮崎理恵（以上臨床工学室）、坂本彩弥（栄養管理室）、  
萩原佑気（医事サービス部）

## 1. 診療内容

腎臓内科・泌尿器科の医師スタッフ、看護部、ME部門、薬剤部、栄養管理部などの他職種が共同して診療を行うことを特徴としている。新病院移転後は外来透析を開始し、透析ベッドも3床から20床へ増床したため、他施設での外来透析患者の入院対応など幅広く対応している。2018年4月から心臓血管外科医師も当センターのメンバーに加わり、ブラッドアクセスの造設・再検を積極的に行っている。また生理検査室の協力を得て、SPPを用いたフットケアなどにも新しく取り組んでいる。

集中治療室での血液浄化療法においても、持続血液濾過透析（CHDF）のみでなく、血液透析（HD）にも対応可能となっている。

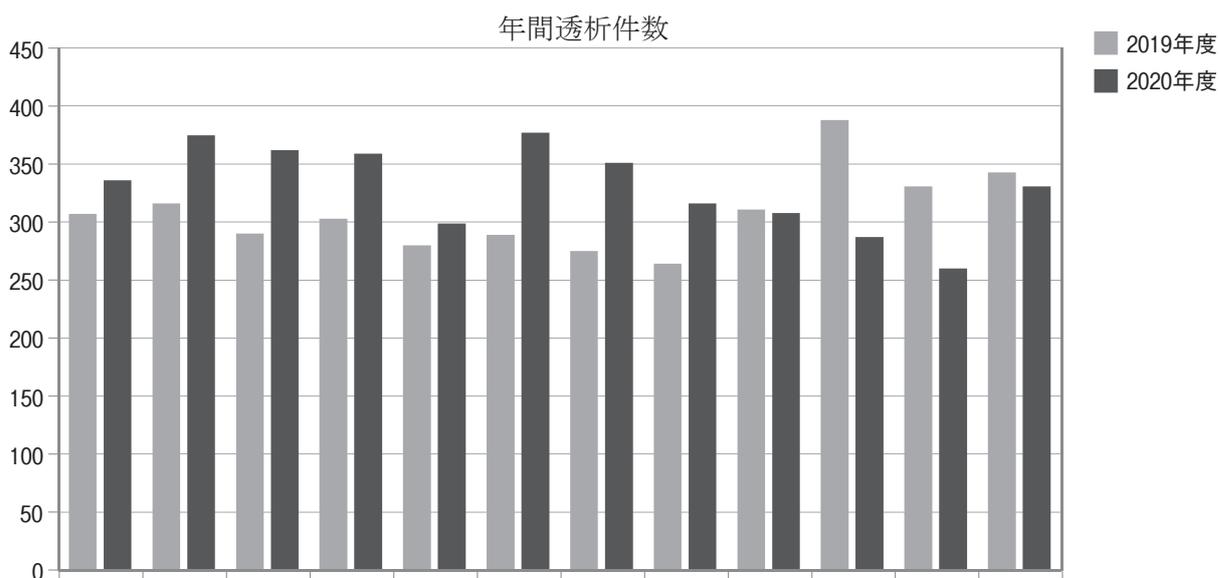
## 2. 診療実績

透析導入患者 22名  
内シャント手術件数 31件  
シャントPTA件数 44件

## 3. 専門医・指導医など

日本透析医学会専門医・指導医 2名（宇津・水本）

図1 2020年度 月別血液透析延べ件数



	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	累計
2019年度	307	316	290	303	280	289	275	264	311	388	331	343	3697
2020年度	336	375	362	359	299	377	351	316	308	287	260	331	3961

# 脳機能センター

スタッフ センター長：芳川浩男（特任副院長、脳神経内科部長）

顧問：森悦朗

仁科拓也、佐藤智彦（以上脳神経内科）、

高橋励、青木保典、鈴木由貴、木藤友実子（以上神経科・精神科）、

田村和義（脳神経外科）、酒井亜紀子、姉川友里江、町田友里、井上けい子、森山綾乃、

日高結衣、石川奈津美、福田洋子（以上看護部）、阪本昂平（総務人事G）

## 1. 診療内容

新病院の新築・移転に際してはその基本構想に「高齢社会を支える診療機能の強化」「健康寿命延伸に向けた予防医療・先制医療の推進」を掲げ、認知症に係る診断・治療の強化を重点課題とした。この目的のために2017年4月に認知症疾患医療センター準備室（室長：森悦朗顧問）を新設し、具体的な検討と準備を進めてきた。

そして2018年4月に、認知症の予防・早期診断・治療を中心に脳機能障害をきたし得る疾患について幅広く診療する観点から、名称を「脳機能センター」とし、脳神経内科、神経科・精神科、脳神経外科の各診療科と看護部を中心としたチームによる体制を整備し診療を開始した。2019年11月芳川特任副院長が脳神経内科主任部長に赴任後は、笠山院長から芳川特任副院長にセンター長が変更された。

脳機能センターでは、種々の認知症性疾患や軽度認知障害（認知症前駆状態）、さまざまな原因による記憶障害、言語障害、高次脳機能障害に対する診療・セカンドオピニオン・コンサルテーションを実施してきた。治療法のみならず介護法にも原因疾患の診断と病態の把握が大きく関わるため、専門医による診察、詳細な神経心理評価、先進的な画像検査などを用いることにより原因疾患を診断することが重要である。認知症性疾患に対する治験から介護法や社会資源の利用についての指導までを含め、病態に合わせた治療を実施した。

## 2. 診療体制

外来診療では、脳神経内科および神経科・精神科の両診療科で、対象疾患の診療を行ってきた。特に、毎週月曜日午前と火曜日午後には神経科・精神科による「物忘れ外来」、隔週の水曜日午後には脳神経内科による「物忘れ外来」、木曜日午後には「脳機能障害外来」の専門外来を実施した。

認知症性疾患の診療においては、脳神経内科医、神経・精神科医、脳神経外科医が連携し診療を行った。3.0テスラMRI、脳血流SPECT、DATスキャン、MIBG心筋シンチグラムなどの高度医療器を用いた画像診断を行うとともに、公認臨床心理師および言語聴覚士による認知機能評価、認知症看護認定看護師による看護を実施した。

正常圧水頭症が疑われた患者については入院により精密検査を行い、適応となる患者に対しては脳神経外科でシャント手術を施行した。

## 3. 診療実績

アルツハイマー型認知症、レビー小体型認知症、パーキンソン病、進行性核上性麻痺、大脳皮質基底核変性症、前頭側頭型認知症、原発性進行性失語症、特発性正常圧水頭症、脳血管障害や外傷性脳損傷などに伴う高次脳機能障害などの診療を中心に行ってきた。入院および外来患者数を含む診療実績は脳神経内科および神経科・精神科の項に記す。

また、1ヵ月に1～2回、脳機能センターの全体カンファレンスを実施し、診断・治療困難な症例についての検討、診療技術の向上のための勉強会および情報共有を行った。

また、レビー小体型認知症を対象とした新規薬剤の臨床治験に参加した（継続中）。

## 4. 認定医・専門医など

日本神経学会専門医	3名（森、芳川、仁科）
日本神経学会指導医	2名（森、仁科）
日本認知症学会専門医	1名（森）
日本認知症学会指導医	1名（森）
日本老年精神医学会専門医	1名（芳川）
日本脳卒中学会専門医	2名（森、田村）
日本脳神経外科学会専門医	1名（田村）
日本精神神経学会専門医	2名（高橋、鈴木）
日本精神神経学会指導医	2名（高橋、鈴木）

# 乾癬 センター

スタッフ センター長：東山眞里（副院長、皮膚科部長、あったかサポートセンター長、臨床研究管理室長）  
林 美沙、田中久仁子、山下千佳紗、赤路和哉（以上皮膚科）、辻 成佳（整形外科）、  
友瀨彰人（循環器内科）、北田隆起（消化器内科）、住谷 哲（総合内科）、佐藤智彦（脳神経内科）、  
宇津 貴（腎臓内科）、細野研二（耳鼻咽喉・頭頸部外科）、谷井啓一（眼科）、  
平林伸治（リハビリテーション科）、高山由美子、丸岡 綾、秋山 麗、林恵理子（以上看護部）、  
千原亜紀子（薬剤部）、片岡宏一郎、廣田将史（以上リハビリテーション室）、  
谷内千紗、松榮優子（あったかサポートセンター）  
中村由美（栄養管理室）、高名礼子（医事サービス部）

## 1. センターの概要

乾癬は炎症性角化症に分類される難治性皮膚疾患で、約12%以上の患者に関節炎を併発する。いまだ完全に病因は解明されていない。皮膚症状、関節症状のため乾癬患者さんのQOLは身体的、精神的にも著しく障害されている。また有病率は増加傾向にあり人口の0.34%、43万人と推定される。乾癬の治療は最近10年で生物学的製剤の登場など新薬の開発も進み治療は飛躍的に進歩した。患者の重症度に応じた積極的な治療が求められる。一方近年乾癬は多くの併存症（メタボリック症候群、高脂血症、心血管系障害、糖尿病、関節炎、ぶどう膜炎、肺気腫、慢性腎不全、炎症性腸炎、骨粗鬆症、鬱病など）があり全身の炎症性疾患と認識されている。乾癬は皮膚のみならずトータルマネジメントを要する疾患である。乾癬患者のQOL及び生命予後の改善をめざして①最適な治療により早期かつ安全に皮膚症状・関節症状を寛解に導く②併存症の早期診断や治療により乾癬患者の健康状態の改善を図るとともに、合併症の発症を予防し心身ともに健全な状態に導く③大学やその他の医療機関と協力して乾癬に関する病態の解明、治療の進歩に貢献しうる臨床研究・臨床治験を行うことを目標に2019年4月に乾癬センターを開設した。当センターでは院内関連診療科、多職種との密なる連携による乾癬のトータルマネジメントを実践している。また掌蹠膿疱症と掌蹠膿疱症性骨関節炎についても診断・治療を行っている。

## 2. 診療内容

### 1) 乾癬の皮疹の治療

適切な重症度の評価（皮疹の重症度・QOL障害・併存症）のもと、個々の患者のニーズに応じた最適な治療を患者とともに決定。外用治療、外用指導を重視し光線治療はエキシマライト、手足型光線照射機器、全身型ナロー照射機器、入浴PUVA療法などを選択。内服療法（エトレチナート・シクロスポリンA、アプレミラスト、メトトレキサート）は重症度、合併症、年齢などを考慮し選択。また既治療で効果不十分な患者には生物学的製剤も積極的に使用。  
皮膚疾患ケア看護師（日本皮膚科学会認定）が、外

用指導、看護相談、生物学的製剤自己注射指導も行ない、患者さんの早期寛解をサポートしている。

### 2) 乾癬性関節炎の早期診断・治療と掌蹠膿疱症性骨関節炎の診断と治療

辻成佳医師（整形外科・リウマチ医、非常勤医）が火曜日に乾癬センターで乾癬性関節炎の患者の診断と治療を行っている。皮膚科医と密な連携により治療方針を決定。乾癬性関節炎の早期診断・治療に努めている。診察・関節エコー・骨単純撮影・MRI・血液検査などを実施し診断。治療は内服薬・生物学的製剤・リハビリテーションなどを行う。

### 3) 併存症の早期診断・予防

#### 1. 院内関連診療科とのチーム医療

初診時 採血（高脂血症・糖尿病・肝機能障害・高尿酸血症・腎障害・感染症）血圧・体重・身長・BMI・腹囲測定、症例により頸部動脈エコーを施行。併存疾患が疑われると院内関連診療科へ紹介。紹介頻度の高い診療科一整形外科・リハビリ科・総合内科・循環器内科・腎臓内科・耳鼻科・脳神経内科・精神科・予防医学センターなどと横断的に乾癬患者の併存症の予防と治療を行う。また定期的に関連診療科、コメディカルスタッフとのカンファレンスを開催。掌蹠膿疱症では耳鼻科と連携し扁桃炎などの病巣感染につき精査・治療を行った。

#### 2. 外来での集団患者指導プログラム

2019年度は乾癬・乾癬性関節炎の早期改善・悪化予防・併存症の治療のため栄養指導・リハビリ指導・看護指導・看護相談・薬剤指導などを火曜日と木曜日の午後に集団で指導していたが、2020年度は感染対策のため集団指導は実施せず。指導の必要な患者にはリハビリテーション科に紹介して作業指導、運動指導を行った。看護師による生活指導や外用指導、管理栄養士による栄養指導（糖尿病・高脂血症・高尿酸血症・肥満など）も個人単位で行った。

### 4) 乾癬に関する乾癬に関する病態の解明、治療に関する臨床研究・臨床治験

乾癬の病態や治療については、まだ完全に解明されはしない。当センターでは大阪大学や全国の乾癬治療施設と協力して乾癬に関する病態の解明、

治療に関する共同研究を行っている。また院内の他科連携により臨床研究も今後すすめて行く予定。また乾癬・乾癬性関節炎掌蹠膿疱症の新薬の臨床治験も実施した。

5) 地域医療機関との連携

2018年11月より乾癬、乾癬性関節炎に特化した、セミナーを当院で主催し、2020年11月12日に第3回「あわざ乾癬セミナー」をハイブリッド形式で開催。治療、診断について、講演や症例検討を行った。

### 3. 診療実績

2020年度

乾癬センター受診全患者数1,038名

うち初診患者数165名

内訳は

尋常性乾癬147名

乾癬性関節炎41名

掌蹠膿疱症18名

掌蹠膿疱症性骨関節炎13名

## 臨床研修部

スタッフ 部長代行：宇都佳彦（総合内科副部長）

医 師：中川 厚（循環器内科担当部長）、水野 均（消化器外科部長）、

八田幸治（産婦人科）、岸 正司（救急診療科主任部長、救急診療センター長）

初期研修医：2年目 大西彩乃、落合 進、熊ノ郷有希、平井祐里、安井友紀

1年目 植田真帆、木下聡子、森本尚喜、森本祐太郎、大蔵裕平、村田さくら

事務 務：重谷政憲（総務人事G担当部長）、谷由美子（総務人事G主任）、阪本昂平（総務人事G）

### 1. 活動内容

新研修制度の開始に伴い、2005年度臨床研修部が創設された。各年度当院単独型（日本生命病院研修プログラム）での定員5名に加え、大阪大学、神戸大学からの1年目たすぎがけ研修医が当院で研修を行う。ローテート科の変更など、個々の研修医の要望に柔軟に対応している。2018年度より、2年目研修医に日本医療教育プログラム推進機構（JAMEP）の基本的臨床能力評価試験を受験してもらい、研修医の臨床能力評価と研修プログラムの評価・改善に役立てることとした。

2019年度にはより一層の研修環境の充実を目指し、卒後臨床研修評価機構（略称JCEP）を受審し、認定を受けた。

### 2. 実績

#### 1) マッチング試験（2020年8月22日）

男性23名 女性18名、計41名が受験した。

内容：筆記試験・小論文・面接・適性検査

募集定員5名マッチし、出身大学は 大阪市立大学1名、関西医科大学1名、大阪大学3名であった。

#### 2) JAMEP基本的臨床能力評価試験受検（2021年1月25日・2年次研修医5名受験）

#### 3) 病院見学学生

男性46名、女性27名、計73名。

#### 4) 病院説明会への参加

レジナビ Fairオンライン西日本（2020年10月13日）

配信視聴学生：6年生：30名、5年生：16名、計46名

スタッフ 室 長：川上 学（血液・化学療法内科部長、がん治療センター長、化学療法室長）  
玉川雄一（中央臨床検査部）

## 1. 診療内容

輸血管理室では、病院内で行われる輸血業務の全般を行い、管理している。業務は、厚生労働省が策定した「輸血療法の実施に関する指針」（改訂版）及び「血液製剤の使用指針」（改訂版）に基づいて行っている。

## 2. 診療体制

### 1) 輸血の管理体制

#### ①担当技師

玉川が担当技師として輸血検査業務の指導を行っている。時間外・休日は、検査技師が24時間体制で輸血検査を行っているが、必要に応じて担当技師がバックアップをしている。

#### ②責任医師

川上が責任医師として、輸血副作用や輸血業務に関するコンサルテーションに応じている。

#### ③輸血療法委員会

院内の各職種（医師、看護師、薬剤師、検査技師、医事担当）からなる委員会を2ヵ月に1回開催し、血液の使用状況調査、輸血療法に伴う事故・副作用・合併症の把握などを含め、輸血業務の効率化・安全性向上のための対策などについて検討している。

## 3. 診療実績

### 1) 血液製剤の使用状況

①赤血球液（RBC）	2,928単位
自己血	68単位
②新鮮凍結血漿（FFP）	918単位
③血漿交換療法におけるFFP	180単位
④アルブミン	1,665単位
濃厚血小板	9,655単位

\*FFPおよびアルブミン製剤の使用量は、適正とされる基準

$$\text{FFP/RBC比} = (\text{②} - \text{③}/\text{②}) / \text{①} = 0.14 < 0.54$$

$$\text{アルブミン/RBC比} = \text{④}/\text{①} = 0.49 < 2$$

を満たしていた。

### 2) 血液製剤の廃棄状況

RBC 84単位、FFP 36単位、PC 0単位

### 3) 2020年度における変更点

#### ①危機的出血における非常事態宣言時にオーダーするFFPの単位数変更

従来の10単位から8単位に変更した。理由は (i) 10単位の場合、4単位製剤と2単位製剤が混在し、不便であること、(ii) 8単位とした方が、オーダーのタイミングが遅れない傾向にあること、である。

#### ②AB型 FFPの院内在庫の開始

予期しない大量出血時に、すべての血液型の患者に緊急的に使用できるようにAB型FFP 8単位を院内在庫として常備する運用を開始した。

#### ③輸血後感染症の血液検査について

従来は、輸血後3か月たった時点で行うことが推奨されていたが、厚生労働省による指針の変更に従って、以下の運用に変更し、「輸血に関する説明および同意書」の内容も変更した。

感染リスクを考慮し、HBV、HCVの感染が疑われる場合等には、関係学会のガイドライン等を参考として、肝炎ウイルス関連マーカーの検査等を行う。感染リスクを考慮し、HIV感染が疑われる場合等には、輸血後2～3ヶ月以降に抗体検査等を行う。

#### ④自己血バックの変更

貯血中に輸液するための点滴ラインを接続するための側管付きの貯血バッグへの変更を検討した結果、穿刺針を交換できるタイプである「テルモ血液バックCPDAオスコネクター付き」に変更した。

#### ⑤FFP融解装置の変更

血液製剤の汚染リスク軽減、看護師の作業負担軽減、融解時間の短縮を目的として、従来の恒温槽式からジェルパック式の製品に変更した。

## 4. その他

輸血教育講演会（年1回）

2021年1月29日「クイズで学ぶ輸血療法」と題して、血液・化学療法内科 川上による輸血療法講演会を開催した。参加者は72名であった。

# 化学療法室

スタッフ 室 長：川上 学（血液・化学療法内科部長、がん治療センター長、輸血管理室長）  
看護 師：大島千春（がん化学療法看護認定看護師）、増田ますみ、里井景子（以上看護部）

## 1. 診療内容

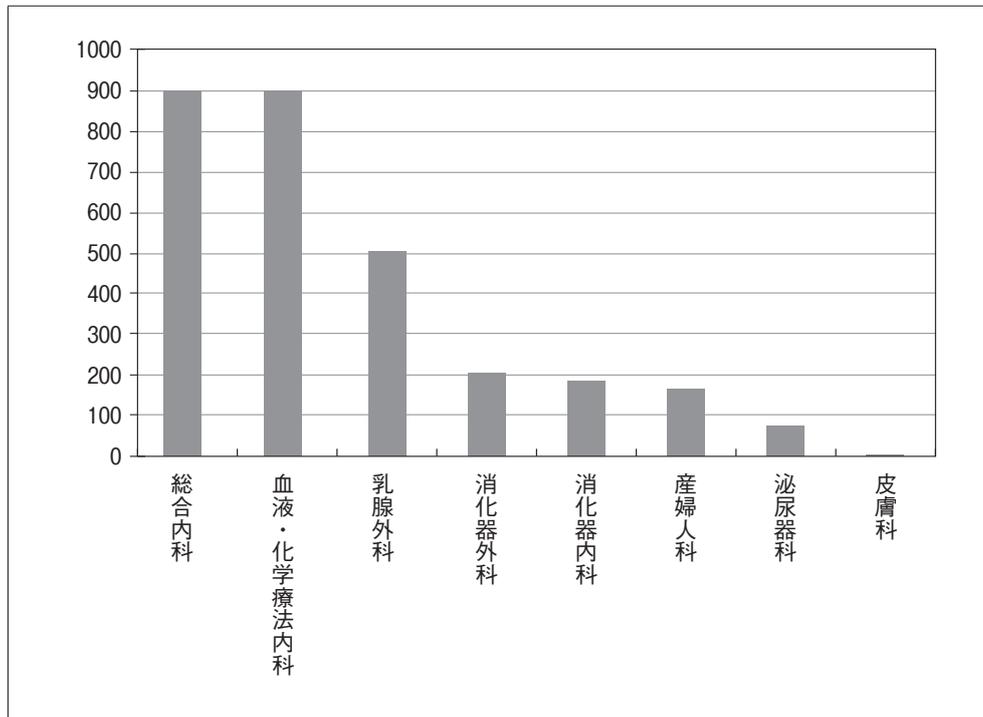
外来通院での抗がん剤治療、関節リウマチなどの膠原病や乾癬などの自己免疫疾患に対する生物学的製剤投与などの専用治療室として運用、外来化学療法加算を算定している。特に、消化器・一般外科、乳腺外科、産婦人科の症例は、がん化学療法看護認定看護師が化学療法開始前にカウンセリングを主体とする面談を行い、患者及び家族の治療に関する疑問や不安の軽減に努めている。また、入院から外来移行時にオリエンテーションを行い、滞りない外来治療への移行をサポートしている。治療中は、患者及び家族に副作用のセルフモニタリングを指導し、自宅で起こった副作用の対処は随時電話相談を受けながら、速やかに対応できる体制を整えている。また、患者さんのプライバシーに配慮し、希望者には個室ベッドを使用いただいている。

## 2. 診療実績

化学療法室利用者件数は、総数3,789件（前年度比+626）で、その内化学療法加算の算定（点滴抗がん剤の投与）件数は3,586件（前年度比+639）で、診療科別の内訳は図1の通りであった。尚、総合内科、消化器内科、皮膚科の集計には、各々関節リウマチ、クローン病、潰瘍性大腸炎、乾癬に対する生物学的製剤の投与が含まれている。

尚、個室の利用は48件であった。

図1 2020年度 診療科別化学療法加算算定件数



# リハビリテーション室

スタッフ 室 長：平林伸治（リハビリテーション科部長）

理学療法士：片岡宏一郎、麦田盛穂、廣田将史、田中 孝、藤岡栄悟、白川 桂、安達幸恵、  
泉本亮二、新井聖章、藪田拓武、世傳智貴

作業療法士：鶴谷高志、妹尾昌洋、阪本拓也、松下卓也

言語聴覚士：四釜淳子、柿塚晴奈、渡部宏幸

## 1. 診療内容

各診療科からのリハビリテーション（以下 リハ）依頼に対し、身体機能の向上を目標に理学療法士と作業療法士、言語聴覚士が連携し合いながら最良のリハ医療を提供してきた。

リハの内容は、急性期の運動器疾患・脳血管疾患・呼吸器疾患・悪性疾患・循環器疾患の患者などを中心に実施し、それぞれの疾患に対応した個別のプログラムを実践してきた。運動器リハは関節の変性や炎症疾患、体幹・上・下肢の外傷や骨折、熱傷瘢痕による関節拘縮、高齢者の方の運動器不安定症などの患者が対象となり、2020年度は8,850件の実績があった。脳血管疾患等リハは脳梗塞、脳出血、ギランバレー症候群等、多発性硬化症、パーキンソン病、脊髄小脳変性症、運動ニューロン疾患（筋萎縮性側索硬化症）、末梢神経障害、皮膚筋炎、多発性筋炎などの患者が対象となり、6,898件の実績があった（前年度比12%増）。呼吸器リハは肺炎、無気肺、慢性閉塞性肺疾患（COPD）、気管支喘息、全身麻酔手術をする患者の手術前後の呼吸機能訓練を要する患者が対象となり、2,432件の実績があった（前年度比18%増）。がんリハは消化器疾患、呼吸器疾患、血液疾患、乳がんなどの患者に対し治療により生じた疼痛、筋力低下、障害等に対して二次的障害を予防し、運動機能の低下や生活機能の低下予防・改善を目的とする患者が対象となり、6,771件の実績があった（前年度比21%増）。心大血管疾患リハは、心筋梗塞、心不全、不安定狭心症、閉塞性動脈硬化症、ペースメーカー植え込み術などの患者に対し、運動耐容性の向上や運動習慣の習得を目標とする患者が対象となり、2,722件の実績があった。廃用症候群リハは、外科の開胸開腹手術、泌尿器科手術、婦人科手術後などの廃用予防、嚥下障害、脱水症、皮膚疾患、胆のう炎などの患者が対象となり、6,403件の実績があった。

総合計件数は34,076件で、前年度比1%増加した。

早期リハを継続して行うために、連休を中心に休日にもリハを実施し、早期離床を促した。

地域連携としては、退院後の生活について不安を抱いている入院患者に対して退院前に自宅を訪問してきた。手すりなどの環境整備を確認したり、自助具の活用方法について指導を行った。

地域への情報発信として運動領域における講演を院内外で行った。

予防領域においては、ウィークエンド糖尿病・メタボ精査入院などにおいて個々の患者に対する運動機能評価を行い、その結果をもとにオーダーメイドの運動指導を行った。

チーム医療においては、リハカンファレンスの定期的な開催や循環器内科部長回診・乳腺外科部長回診・整形外科部長回診・NST回診・RST回診や、糖尿病回診などに同行するとともに、緩和ケアカンファレンスなどへの参加を行い、ADLを阻害している現象の把握や原因の追求を行った。また、糖尿病ふれあい教室での運動指導、女性骨盤底センターからの紹介に対する骨盤底筋体操の指導など、他職種との連携を図りながらリハの専門性を発揮した。言語聴覚士による言語機能訓練や摂食嚥下機能療法を実施し、口腔機能の改善や食糧提案に向けて取り組んだ。

リハの質向上においては、院内での勉強会はさることながら院外での講習会や研修会にも自主的に参加し、最新の情報を収集しその内容をスタッフ間で共有した。さらに心臓リハ指導士（1名）、呼吸療法認定士（3名）、糖尿病療養指導士（2名）、がんのリハビリテーション研修会修了者（17名）などの資格を有するとともに、関連学会である日本リハビリテーション医学会、日本心臓リハビリテーション学会、呼吸ケアリハビリテーション学会、ペインクリニック学会などに所属し、最良の医療が臨床の中で活かせるよう努めた。学術活動においては、病院の特性を生かした症例を対象にデータを集め、リハ医療を向上させるために関連学会にて発表や論文投稿を行った。

リハ教育分野においては、リハ関連学科の大学や専門学校から実習生を積極的に受け入れ、教育しやすい環境を整備した。

## 2. 施設基準

- ・運動器リハビリテーション料（Ⅰ）
- ・脳血管疾患等リハビリテーション料（Ⅰ）
- ・呼吸器リハビリテーション料（Ⅰ）
- ・がん患者リハビリテーション料
- ・心大血管疾患リハビリテーション料（Ⅰ）
- ・廃用症候群リハビリテーション料（Ⅰ）

### 3. 業績

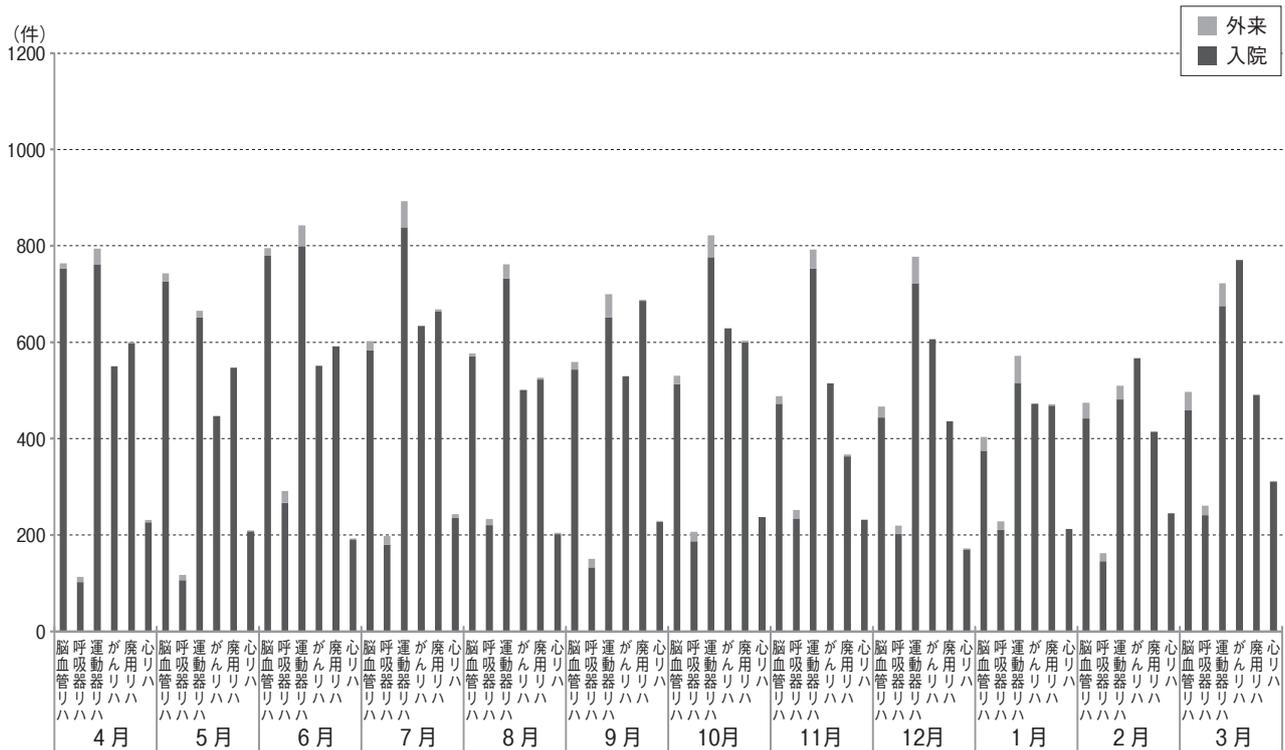
#### 論文・著書

1. 柿塚晴奈, 四釜淳子, 安達幸恵, 片岡宏一郎, 平林伸治: 当院における急性呼吸器疾患患者の特徴と摂食嚥下機能の関係について, 日本生命病院医学雑誌, 48:1-7, 2020年
2. 白川 桂, 岸 正司, 平林伸治: 救急搬送されたビタミンB1欠乏症患者4例のリハビリテーション経過と転帰について, 日職災医誌, 68:233-237, 2020年

#### 学会発表

1. 平林伸治, 麦田盛穂, 佐原啓太: 転倒したままで長時間経過後に搬送された大腿骨頸部骨折例のリハビリテーション結果, 第57回日本リハビリテーション医学会, 2020年8月, 京都
2. 白川 桂, 安達幸恵, 泉本亮二, 廣田将史, 田中 孝, 藤岡栄悟, 藪田拡武, 阪本拓也, 麦田盛穂, 柿塚晴奈, 四釜淳子, 片岡宏一郎, 平林伸治: サルコペニアの摂食嚥下障害が疑われ、回復に難渋した症例の理学療法経過, 第57回日本リハビリテーション医学会, 2020年8月, 京都
3. 柿塚晴奈, 四釜淳子, 安達幸恵, 片岡宏一郎, 平林伸治: 当院の食道がん患者に対する嚥下リハビリテーション治療, 第57回日本リハビリテーション医学会, 2020年8月, 京都
4. 阪本拓也, 松下卓也, 鶴屋高志, 安達幸恵, 泉本亮二, 片岡宏一郎, 平林伸治: 在宅生活していた人の地域に退院できるADL評価, 第57回日本リハビリテーション医学会, 2020年8月, 京都
5. 麦田盛穂, 平林伸治: 糖尿病性多発神経障害を有する2型糖尿病患者の身体的特徴について, 第57回日本リハビリテーション医学会, 2020年8月, 京都
6. 阪本拓也, 鶴谷高志, 泉本亮二, 安達幸恵, 白川 桂, 新井聖章, 麦田盛穂, 片岡宏一郎, 四釜淳子, 平林伸治: 在宅生活していた人の地域へ退院する時の問題, 第13回日本医療マネジメント学会大阪支部学術集会, 2020年9月, 大阪
7. 麦田盛穂, 廣田将史, 田中 孝, 泉本亮二, 片岡宏一郎, 平林伸治, 宮本浩樹, 加戸ひとみ, 吉川秀人, 中川 厚, 岡部太一: 心大血管リハビリテーション立ち上げの意義とその役割について, 第13回日本医療マネジメント学会大阪支部学術集会, 2020年9月, 大阪
8. 廣田将史, 藤岡栄悟, 片岡宏一郎, 岡部彩子, 赤地実保, 加藤千尋, 田中恵介, 牧田佐和子, 生田武蔵, 岸 正司: 当院RSTにおける理学療法士の関わりー人工呼吸器管理中に歩行練習が可能となった症例の経験ー, 第13回日本医療マネジメント学会大阪支部学術集会, 2020年9月, 大阪
9. 牧田佐和子, 生田武蔵, 村上輝明, 田中恵介, 加藤千尋, 藤岡栄悟, 廣田将史, 赤地実保, 岡部彩子, 岸 正司: 二次救急病院での呼吸ケアサポートチーム(RST)の意義について, 第13回日本医療マネジメント学会大阪支部学術集会, 2020年9月, 大阪
10. 高山由美子, 山下利子, 竹永由佳, 灰谷直美, 出口暁子, 廣田将史, 辻 成佳, 東山真里: チーム連携で支える乾癬 看護師が関わった1例, 第13回日本医療マネジメント学会大阪支部学術集会, 2020年9月, 大阪
11. 藤岡栄悟, 麦田盛穂, 安達幸恵, 白川 桂, 片岡宏一郎, 平林伸治, 行方雅人, 西田幸弘, 中内千暁: 転移性骨腫瘍による下肢対麻痺に対し, 長期リハビリテーションによりADL改善を認めた1例, 第47回日本リハビリテーション医学会近畿地方会, 2020年9月, 大阪
12. 柿塚晴奈, 四釜淳子, 片岡宏一郎, 平林伸治: 呼吸器疾患で入院を繰り返す患者の特徴, 第4回日本リハビリテーション医学会秋季学術集会, 2020年11月, 神戸
13. 平林伸治, 麦田盛穂: 高CK血症を伴うインフルエンザ肺炎のリハビリテーション結果, 第4回日本リハビリテーション医学会秋季学術集会, 2020年11月, 神戸
14. 白川 桂, 平林伸治, 岸 正司(救急診療科): 救急搬送されたビタミンB1欠乏症患者4例のリハビリテーション経過と転帰について, 第65回日本職業・災害医学会, 2020年12月, 浜松

図1 2020年度 月別脳血管リハ・呼吸器リハ・運動器リハ・がんリハ・廃用リハ・心リハ件数



	4月						5月						6月					
	脳血管リハ	呼吸器リハ	運動器リハ	がんリハ	廃用リハ	心リハ	脳血管リハ	呼吸器リハ	運動器リハ	がんリハ	廃用リハ	心リハ	脳血管リハ	呼吸器リハ	運動器リハ	がんリハ	廃用リハ	心リハ
入院	753	102	761	550	597	226	726	106	651	447	547	208	779	267	799	551	591	191
外来	11	11	33	0	3	5	17	11	14	0	0	2	16	24	43	0	0	2

	7月						8月						9月					
	脳血管リハ	呼吸器リハ	運動器リハ	がんリハ	廃用リハ	心リハ	脳血管リハ	呼吸器リハ	運動器リハ	がんリハ	廃用リハ	心リハ	脳血管リハ	呼吸器リハ	運動器リハ	がんリハ	廃用リハ	心リハ
入院	584	180	838	634	664	235	571	220	732	501	523	202	543	133	651	529	686	227
外来	18	18	54	0	4	8	6	13	30	0	3	3	16	18	49	0	2	2

	10月						11月						12月					
	脳血管リハ	呼吸器リハ	運動器リハ	がんリハ	廃用リハ	心リハ	脳血管リハ	呼吸器リハ	運動器リハ	がんリハ	廃用リハ	心リハ	脳血管リハ	呼吸器リハ	運動器リハ	がんリハ	廃用リハ	心リハ
入院	513	187	776	629	599	237	472	234	753	515	363	231	444	203	722	606	436	170
外来	17	20	46	0	4	0	16	18	39	0	4	1	22	16	55	0	0	2

	1月						2月						3月					
	脳血管リハ	呼吸器リハ	運動器リハ	がんリハ	廃用リハ	心リハ	脳血管リハ	呼吸器リハ	運動器リハ	がんリハ	廃用リハ	心リハ	脳血管リハ	呼吸器リハ	運動器リハ	がんリハ	廃用リハ	心リハ
入院	375	211	516	472	468	213	442	146	481	567	414	245	460	241	675	770	490	311
外来	28	17	56	0	3	0	32	16	29	0	0	0	37	20	47	0	2	1

## 中央手術管理部

スタッフ 部長：水野 均（副院長、消化器外科部長）  
部長代理：花田留美（麻酔・緩和医療科）  
医師：小関萬里（特任顧問、外科統括）  
西田幸弘（乳腺外科）、新谷隆（心臓血管外科）、  
橋本奈美子（産婦人科）、田村和義（脳神経外科）、毛利年一（整形外科）、  
東山眞里（副院長、皮膚科）、金光俊行（泌尿器科）、谷井啓一（眼科）、  
小泉敏三（耳鼻咽喉・頭頸部外科）、宮崎裕子（形成再建外科）  
看護師：下山優子、堤 早苗  
医療技能職：足立充司（薬剤部）、三木和美 佐藤栄次郎（臨床工学室）  
事務：寺野純一（情報システムG）、田中大輔（施設用度G）

### 1. 概要

中央手術管理部は手術室の効率的な運営等を目的として、2015年4月に中央管理部門の一つとして新設され、現在に至っている。2020年度の手術件数は3,478例で、このうち全身麻酔手術数は1,855例であった。COVID-19の影響を受け、4月13日から4月26日の間は「不急」ではない手術のみを受け入れる期間があった。これらの影響を受け、手術件数は105件減少した。（前年度は手術件数3,583例、全身麻酔件数1,942例）

- 手術室で発生したインシデント・オカレンスの共有を行った。6月にインシデント・オカレンスの共有、10月に手術安全チェックリストのサインアウト時の確認の仕方が変更となった。
- 入院支援センターでの手術室看護師対応について、3月に説明が行われた。次年度4月より予約システムを使用して運用を開始することが決定した。

### 2. 診療内容

〈主たる業務〉

- 医療機器、手術材料、薬剤並びに手術枠等、手術室全般の適切な運営管理
- 安全で質が高くかつ効率的な手術室運営の企画実施

### 3. 診療実績

- 毎月第2週月曜日に「中央手術管理部定例会」を開催し、効率的な運営のために各診療科の実績や要望に応じて手術枠の変更を随時行った。今年度は次年度の耳鼻科長時間手術枠についての検討され、次年度4月より変更が決定した。
- 2020年4月新型コロナウイルス感染症の影響を受け、手術室では4月より気管挿管・抜管時のリスク回避の対策がなされた。8月には術前スクリーニングとして、手術日が決定した患者の入院前「健康チェック表」の記載が開始された。10月は入院時・入院中に手術を受ける患者の発熱時のスクリーニングが検討され開始された後、必要時術前PCR検査も開始となった。

# 中央臨床検査部

スタッフ 部長：岡部太一（循環器内科部長）  
精度管理担当医：内藤博昭  
医療技能部長／技師長：浅野正宏

## 1. 組織体制

常勤：30名（育休1名含）。パート・再雇用：3名。  
（2020年3月末時点）

## 2. 主な実績

◇以下の4事項を組織目標とした。

- 1) 臨床検査の適正化を推進し、安定稼働に努める。
  - ・各部門・日当直マニュアルの全てを見直した。全62ファイル。
  - ・各部門の標準化のためのシートを作成した。
  - ・経費削減への取り組みにPDCAサイクルを当てはめている。
- 2) 臨床検査の見える化とゼネラル化を図る。
  - ・ターン・アラウンド・タイム；TATによる業務検証を行い、利用者の視点を次期システム（2021年秋予定）に反映させるための検討を重ねている。
  - ・スタッフのローテーションによる業務の客観的な視点を高め、相互連携に反映させ、さらに不測の事態による臨床検査業務への影響を軽減させている。
- 3) 臨床検査情報の発信と集約を推進する。
  - ・各部門における様々な問題を情報の相互連携により抽出し、課題解決を通して人の育成、On Job Trainingに繋げている。
- 4) 学術活動に取り組む。
  - ・勉強会の定期開催：3回。うち生理検査の患者のベッド移動・介助研修をリハ士指導で行った。
  - ・中検主催以外の研修会、勉強会へのスタッフ参加平均回数は7.7回。前年度6回。
  - ・学術発表、講演、論文等は5回。
  - ・科学的根拠の探究と倫理的認容性の実践モデルとして、臨床研究「SARS-CoV2のワクチン接種対象者におけるSARS-CoV2抗体の検討（前向き観察研究）」を開始した。

◇検体検査室【生化学、免疫、血液、止血凝固、尿一般、（核酸増幅検査）】

- 1) 検査項目の見直しの一環として、心臓型脂肪酸結合蛋白；H-FABP、クンケル反応；ZTTを廃止。ジゴキシン、LH、FSHを院内測定から外部検査ラボへ委託。CA125、HCGを自動免疫測定器アリニティi（アボットジャパン）から同ルミパルスL2400（富士レリオ）へ測定器変更した。

- 2) クレアチニン、LDHなど生化学項目の薬剤の影響について臨床検査ニュースで発信した。
- 3) グローバル化への対応として、LDH、AIPの2項を日本臨床化学会；JSCC勧告法から世界的標準法の国際臨床化学連合；IFCCに4月より変更した。
- 4) SARS-CoV2感染症の抗原検査法、エスプラインSARS-CoV2・イムノクロマト法（富士レリオ）を5月、新規開始した。
- 5) SARS-CoV2を含む呼吸器感染症起炎体22種の同時検出法、Film Array呼吸器パネル・Multiplex nested RT-PCR法（ビオメリュージャパン）を8月、新規開始した。
- 6) SARS-CoV2 IgG II（スパイク蛋白）定量、同IgM（スパイク蛋白）定性、同IgG（ヌクレオキャプシド）定性検査試薬（アボットジャパン）を入手し、1年間の抗体価の推移を検討する臨床研究を開始した。

◇微生物検査室

- 1) キャンピロバクターの検出感度を上げ、経費削減もできる変法スキロー培地に変えた。
- 2) 院内感染管理対策に参画し、抗菌薬の適正利用とアンチバイオグラムの活用に取り組んでいる。

◇生理検査室

- 1) 体性感覚誘発電位検査、下肢静脈瘤超音波検査を新規開始した。
- 2) 超音波検査の報告書デザインの見直しを行った。
- 3) 予防医学部門と連携し、超音波検査の用語の統一を図った。
- 4) 超音波測定器LOGIQ E10sR2を後継導入した。従来、目的・臓器別に超音波検査の調整を行っていたが、汎用性が高い当該器により検査枠、患者待ち時間問題が軽減された。

◇病理検査室と輸血検査、予防医学センター検査室については、病理診断科と輸血管理室、予防医学センターの項を各々参照にされたい。

◇精度管理

臨床検査の第三者評価として、日本臨床検査技師会、日本医師会、大阪府医師会、さらに健診部門における日本総合検診医学会精度管理調査に参加した。また新型コロナウイルス感染症のPCR検査法等に関わる精度管理調査（厚生労働省委託事業、11月、全国約500施設対象）に参加し、いずれも良好な評価を得た。

◇臨地（学生）実習

実習先の医療機関の感染症対策により臨地実習が制約を受けたことから、2大学、1専門学校計8名の実習生を受け入れた。

### 3. 業績

#### 論文・著書

1. 堤涼一郎, 鋤園彩乃, 八瀬山宏治, 山崎篤司, 若原達哉, 大澤由布子, 玉川雄一, 倉本訓子, 浅野正宏, 小瀬戸昌博:可溶性インターロイキン-2(sIL-2R)測定における試薬検討報告, 日本生命病院医学雑誌, 48:8-12, 2020年

#### 学会発表

1. 松谷憲一, 小西美香, 佐古大輔, 浅野正宏, 小瀬戸昌博:質量分析計 VITEK MS 導入とそれに伴う微生物検査室の業務改善について, 第13回日本医療マネジメント学会大阪支部学術集会, 2020年9月, 大阪
2. 若原達哉, 倉本訓子, 古川浩司, 玉川雄一, 堤涼一郎, 八瀬山宏治, 山崎篤司, 鋤園彩乃, 浅野正宏, 内藤博昭, 小瀬戸昌博:新病院移転とともに変更した分析装置およびその運用について, 第13回日本医療マネジメント学会大阪支部学術集会, 2020年9月, 大阪
3. 玉川雄一, 倉本訓子, 徳山由佳, 渡辺温子, 山下 唯, 浅野正宏, 小瀬戸昌博, 住谷 哲:新病院移転を契機に糖尿病関連検査の問題点を抽出し改善を実施した結果について, 第13回日本医療マネジメント学会大阪支部学術集会, 2020年9月, 大阪
4. 小西美香, 佐古大輔, 松谷憲一, 浅野正宏, 小瀬戸昌博:当院に新たに導入した微生物感受性分析装置DPS192iXの検討 - Haemophilus influenzaeとMoraxella catarrhalisを用いた薬剤感受性検査の検討 -, 第13回日本医療マネジメント学会大阪支部学術集会, 2020年9月, 大阪

中央臨床検査部 2020年度 主な実績

(件)

部門	領域	項目名	2017年度	2018年度	2017年度比(%)	2019年度	2018年度比(%)	2020年度	2019年度比(%)
検体検査	生化学	血糖	93,721	95,738	2.1	102,325	6.9	91,498	-10.6
		HbA1c	56,101	59,658	6.3	61,959	3.9	55,165	-11.0
		総蛋白	92,625	96,563	4.2	102,106	5.7	97,496	-4.5
		電解質	93,818	97,629	4.0	102,163	4.6	97,155	-4.9
		APTT	10,961	11,739	7.0	13,120	11.8	13,147	0.2
		血液ガス(動・静・臍帯)	3,991	5,024	25.8	6,553	30.4	6,737	2.8
	血液学	血算	121,833	127,567	4.7	128,373	0.6	111,263	-13.3
		骨髓検査	227	221	-2.6	254	14.9	266	4.7
	一般(尿)	尿定性	51,449	56,753	10.3	57,293	1.0	52,745	-7.9
	便潜血	ヒトヘモグロビン	29,961	32,845	9.6	33,063	0.7	27,230	-17.6
	免疫学	アデノウイルス(迅速抗原検出キット)	679	656	-3.3	423	-35.5	69	-83.7
		RSウイルス(迅速抗原検出キット)	173	176	1.7	101	-42.6	11	-89.1
		インフルエンザウイルス(迅速抗原検出キット)	1,700	1,180	-30.5	1,128	-0.4	30	-97.3
		StreptA(迅速抗原検出キット)	730	669	-8.3	472	-29.4	89	-81.1
		CEA	11,110	12,401	11.6	15,620	25.9	14,432	-7.6
		CA19-9	5,480	6,386	16.5	8,124	27.2	7,949	-2.2
		シフラ	728	1,557	113.8	1,988	48.5	1,942	-2.3
		ProGRP	1,194	1,338	12.0	1,515	13.3	1,414	-6.7
		PSA	6,296	6,566	4.2	7,338	11.8	6,761	-7.9
		TSH	13,634	15,178	11.3	16,634	9.6	14,913	-10.3
		インスリン	6,451	6,462	0.1	7,158	10.8	5,618	-21.5
HBsAg		13,922	15,396	12.9	15,791	2.6	13,782	-12.7	
HCVAb	13,412	14,568	4.6	14,922	2.4	13,059	-12.5		
遺伝子・核酸	呼吸器パネル						606	-	
微生物検査	一般細菌培養	呼吸器	2,220	2,372	22.6	2,634	11.0	2,289	-13.1
		消化器	744	968	30.1	931	-3.8	1,010	8.4
		泌尿器・生殖器	1,948	2,390	22.6	2,388	0.0	2,741	14.7
		血液・穿刺液	3,746	4,159	11.0	4,614	10.9	5,282	14.4
		その他	1,359	1,684	23.9	1,681	-0.1	1,866	11.0
生理検査	超音波	心臓	3,550	3,923	10.5	3,950	0.7	3,916	-0.8
		頸動脈	1,110	1,093	-2.5	1,056	-0.3	942	-10.7
		四肢血管	956	1,369	43.2	1,252	-8.5	1,092	-12.7
		経食道心臓	17	14	-17.6	17	21.4	8	-52.9
		腹部	4,919	5,073	3.1	4,991	-1.6	4,697	-5.8
		腎動脈	101	197	95.0	255	29.9	277	-8.6
		脾精密	136	80	-42.1	92	15.0	103	11.9
		腹部造影	26	24	-8.3	19	-20.8	16	-15.8
		表在	719	718	-0.2	715	-0.4	621	-13.1
	心電図	安静	11,195	12,090	7.9	12,297	1.7	11,461	-6.8
		CVR-R(自律神経R-R間隔)	192	180	-6.2	175	-2.8	150	-14.3
		マスター運動負荷試験	341	277	-18.7	200	-27.8	149	-25.5
		トレッドミル運動負荷試験	206	126	-38.9	116	-7.9	136	17.2
	肺機能	一般	4,321	4,909	44.0	4,688	-4.5	3,452	-26.4
		呼気中一酸化窒素濃度(NO)	2,030	1,978	-2.5	2,334	18.0	1,338	-42.6
		精密	67	52	-22.3	55	5.8	64	16.4
	他の循環器・呼吸器系生理	24時間ホルター心電図	275	257	-6.5	180	-30.0	203	12.8
		24時間自動連続血圧	68	35	-48.5	43	22.9	24	-44.2
		簡易睡眠時無呼吸(SAS)	87	92	5.7	91	-1.0	76	-16.5
		ABI・TBI(足関節上腕血圧比・足趾上腕血圧比)	1,394	1,332	-4.5	1,136	-14.7	998	-12.1
		SPP/TCPO2(皮膚還流圧測定/経皮酸素分圧測定)	-	54	-	62	14.8	60	-3.2
		CPX(心肺運動負荷試験)	8	13	62.5	33	153.8	0	-
		アデノシン負荷心筋シンチ	138	118	-14.5	87	-26.3	58	-33.3
	神経系生理	神経伝導	234	234	0.0	205	12.3	190	-7.3
		脳波	274	299	9.1	305	2.0	250	-18.0
	耳鼻科系生理	平衡機能検査(VOG、重心動揺、VEMP)	206	346	67.9	389	12.4	444	14.1
		聴力検査(純音、語音、ティンパノ、OAE)	1212	1,747	44.1	1,881	7.7	1,912	16.4
神経検査(ABR、味覚、ENoG)		21	25	19.0	32	28.0	20	-37.5	
中央採血室 採血患者数				※ 65,829		73,514		69,682	-5.2

※2018年5月より新病院移転と新採血システムになったため、4月分を除外している。

## 中央放射線部

スタッフ 部長：小林美登利（放射線診断・IVR科部長）

担当部長：長澤浩造（技師長）

在津裕明、新谷泰正、藤丸泰一、山田純子、中農智絵、北埜希望、白石奈菜、芝 理賀、  
勘田雅浩、矢野勝之、安藤 真、奥 昂祐、越智由知、坂田航矢、安部 弘、土山裕生、  
北山 瑛、草野麗夏、武内真優、山中翔太

### 1. 診療内容

質の高い検査・治療の提供にスタッフ全員で取り組んでいる。また、24時間検査体制にも対応し、緊急検査の充実に取り組んでいる。

### 2. 診療体制（機器）

CT	2台（320列・320列）
MRI	2台（3.0T・1.5T）
PET/CT	1台
RI	1台
リニアック	1台
治療計画用CT	1台（16列）
一般撮影	2台
X線TV	2台
乳房撮影	1台
骨塩定量	1台
アンギオ	2台
結石破碎	1台
外科用イメージ	3台
ポータブル	2台

### 4. その他

#### 1) 取得資格

第1種放射線取扱主任者	2名
健診マンモグラフィ認定技師	5名
放射線治療専門放射線技師	3名
放射線治療品質管理士	2名
胃がんX線検診技術部門B資格	1名
放射線管理士	2名
放射線機器管理士	2名
X線CT認定技師	3名
臨床実習指導教員	1名
診療放射線技師実習施設指導者	10名

### 3. 診療実績（2020年度 検査件数）

検査項目	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	累計
CT	1,227	1,145	1,320	1,375	1,306	1,391	1,449	1,331	1,441	1,308	1,286	1,487	16,066
MRI	409	392	581	610	551	582	646	542	578	516	547	658	6,612
RI	62	44	55	76	69	73	61	72	65	58	55	75	765
PET/CT	37	29	34	39	37	40	47	41	30	40	42	45	461
単純X線	2,122	2,159	2,480	2,483	2,398	2,418	2,636	2,364	2,301	2,325	2,204	2,635	28,525
MMG	93	74	102	104	82	123	109	102	126	100	117	130	1,262
リニアック(新患)	14	17	25	22	24	15	19	18	22	21	11	25	233

# 栄 養 管 理 室

スタッフ 栄養管理室長：宇津 貴（腎臓内科主任部長、血液浄化センター長、臨床工学室長）  
 松村寿美、坂本彩弥、村元絵実、中村由美  
 ＊栄養サポートチーム（NST） 水野 均、田村有里、森山綾乃、石本佳奈子、藤井克至、  
 中村由美、村元絵実

## 1. 診療内容

糖尿病、腎臓病、心臓病、脂質異常症など食事療法を必要とする患者に対する個別食指導及び集団食事指導を実施している。

また、入院患者には、栄養管理計画書を作成し、栄養管理によって疾患の治療に貢献できるように努めている。栄養サポートチーム（NST）ラウンドを通して、必要な患者に対して低栄養の改善、食事内容の見直し、栄養補給法について検討している。

## 2. 診療体制

### 1) 指導スケジュール（表1）

各病棟で入院食事栄養指導、栄養指導室で外来個別栄養指導、糖尿病・内分泌センターで外来個別栄養指導と透析予防指導を行っている。また、乾癬センター、腎臓病、糖尿病は集団栄養指導を実施している。

### 2) 病棟体制（表2）

病棟を担当制として、受け持ち病棟の対象患者を中心に食事指導を行った。

## 3. 診療実績

各診療科で栄養指導を行い件数増加に繋がった。

### 1) 外来個別食事指導の実績（表3）

105件／月

### 2) 入院個別食事指導の実績（表3）

105件／月

### 3) 集団食事指導の実績（表3）

4件／月

### 4) 診療科別個別指導の実績（表4）

前年度に比して腎臓内科、消化器内科、皮膚科、呼吸器外科の指導実績が増加した。

### 5) 入院食事提供の実績

表5参照

### 6) NST活動実績（加算件数）

月	4	5	6	7	8	9	10	11	12	1	2	3	計
人	非	非	非	55	58	57	63	24	36	45	44	50	432

- ・主治医のほか病棟、医療スタッフからの依頼で対応
- ・NST勉強会：2020年10月22日  
 「経腸栄養剤の試飲・内容検討」  
 →検討結果、経腸栄養剤を一部リニューアルした。

### 7) 病棟での取り組み

癌化学療法治療者のQOL改善のために、昼食・夕食において特別選択食の導入とともに、低菌食の導入も行なった。

＊がん化学療法患者向け特別選択食の件数

月	4	5	6	7	8	9	10	11	12	1	2	3	計
食	303	356	272	289	445	443	441	341	215	155	232	349	3,841

### 8) 新しい取り組み

- ・入院外来：腎臓病集団指導（毎月第3月曜日）
- ・NST加算開始（2020年7月～）

### 9) その他 活動

1. 2020年7月3日 栄養管理室主催  
 「半固形経腸栄養剤 メイフロー（明治）メディアエフブッシュケア（ネスレ）」勉強会
2. 2020年11月20日 日本生命病院糖尿病フェア  
 「栄養相談と塩分クイズ」
3. 2021年1月29日 糖尿病セミナー  
 「糖尿病専門医と管理栄養士による糖尿病治療・予防のための勉強会」松村寿美

＊院外敷地内阿波座大食堂とのコラボ事業

昼食メニュー「バランス定食」監修を毎月

（献立内容、献立・栄養バランス、栄養価計算を含む）

＊あったかサポート通信 年4回 執筆

### 10) イベント食と行事食カードの提供

- ・行事食に加え、食育イベント食と行事食カードを提供した。

## 4. その他

### 1) 所属学会

日本病態栄養学会 1名  
 日本臨床栄養代謝学会 1名  
 日本栄養士会 2名

### 2) 取得資格

日本糖尿病療養指導士 1名  
 栄養サポートチーム（NST）専門療養士の  
 実地修練修了者 2名

## 5. 業績

### 学会発表

1. 坂本彩弥, 出口暁子, 松村寿美, 河村理香, 安藤圭子, 柏井由美, 加藤千尋, 田中恵介, 宮崎理恵, 宇津貴:多職種との連携による透析患者の栄養指導実施の試み, 第13回日本医療マネジメント学会大阪支部学術集会, 2020年9月, 大阪
2. 松村寿美, 大和由紀子, 角南ちえ子, 出口暁子, 坂本彩弥, 宇津 貴, 笠山宗正, 住谷 哲, 鈴木茂仁:1型糖尿病患者への応用カーボカウント導入目的入院について, 第13回日本医療マネジメント学会大阪支部学術集会, 2020年9月, 大阪
3. 坂本彩弥, 出口暁子, 松村寿美, 宇津 貴:多職種連携による血液透析患者への栄養指導の試み, 第65回日本透析医学会学術集会, 2020年11月, 大阪 (WEB開催)

### 研究会発表

1. 坂本彩弥:指導の実際とアドヒアランス不良例への対応, なにわDoctor's Netwoak, 2020年9月, 大阪
2. 住谷 哲, 松村寿美:糖尿病専門医と管理栄養士による糖尿病治療・予防のための勉強会, 糖尿病セミナー, 2021年1月, 大阪
3. 松村寿美, 坂本彩弥, 中村由美, 村元絵実:昼食メニュー「バランス定食」監修 (献立内容・栄養価計算) 院外敷地内 あわぎ大食堂とのコラボ事業, 2018/5月~2021/3月, 大阪

表1 個別食事指導スケジュール

	月	火	水	木	金
外来栄養指導室	松村	中村	松村	坂本	村元
病棟	坂本/ 村元	松村/ 村元	坂本/ 中村	中村/ 村元	松村
糖尿病・内分泌センター	中村	坂本	村元	松村	坂本

回診業務 (木曜PM NST/褥瘡/口腔ケア)

表2 担当病棟

病棟	担当
HCU	中村
7階	中村
8階	中村
9階	村元
10階	松村
11階	村元
12階	坂本
13階	松村
14階	坂本

表3 個別・集団栄養指導実績

	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	累計	平均	前年累計	前年平均
外来個別	67	71	103	91	97	87	83	97	97	84	92	96	1,065	89	1,178	98
DM外来個別	73	80	94	104	91	97	97	94	91	81	78	105	1,085	90	1,110	93
DM透析予防	55	45	62	56	56	55	63	64	56	55	57	53	677	56	754	63
入院個別	77	89	139	108	109	99	108	98	116	99	101	111	1,254	105	1,119	93
集団	0	0	0	3	7	5	7	8	8	6	3	6	53	4	177	15
合計	272	285	398	362	360	343	358	361	368	325	331	371	4,134	345	4,338	362

疾患別個別栄養指導件数 (集団指導含まず)

	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	累計	平均	前年累計	前年平均
胃腸病	20	20	22	18	25	21	24	30	46	38	40	31	335	28	182	15
肝臓病	9	2	9	4	1	2	6	1	5	4	0	5	48	4	52	4
糖尿病	46	54	72	52	65	62	57	62	61	50	59	69	709	59	776	65
腎臓病	28	25	31	31	29	30	38	34	31	29	34	36	376	31	365	30
高血・心臓・高脂	34	52	86	73	70	55	54	60	61	57	53	57	712	59	778	65
肥満症	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
術後食	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
脾臓食	5	7	12	10	10	7	7	5	7	0	2	5	77	6	92	8
その他	2	0	10	11	6	9	5	3	2	5	5	4	62	5	50	4
合計	144	160	242	199	206	186	191	195	213	183	193	207	2,319	193	2,295	191

表4 診療科別個別栄養指導実績（糖尿病・内分泌センター、集団含まず）

	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	累計	平均
循環器内科	12	18	26	19	28	16	22	24	23	19	20	25	252	21
消化器内科	23	18	26	30	23	21	22	31	41	38	35	29	337	28
総合内科	43	36	54	50	45	51	41	35	50	36	36	46	523	44
血液・化学療法内科	5	5	3	5	4	2	6	2	3	3	4	4	46	4
腎臓内科	20	19	24	22	21	22	27	27	18	22	24	28	274	23
脳神経内科	1	3	12	9	10	6	4	2	4	1	4	3	59	5
消化器外科	8	9	17	7	14	13	16	14	14	9	12	10	143	12
整形外科	1	0	3	2	1	1	2	1	1	0	4	3	19	2
神経科・精神科	0	0	7	1	2	4	2	2	0	1	2	1	22	2
皮膚科	9	19	27	25	17	19	19	16	18	16	14	11	210	18
泌尿器科	3	5	6	3	6	3	3	4	1	1	1	1	37	3
産婦人科	13	17	28	16	27	18	19	28	30	27	27	35	285	24
乳腺外科	0	1	2	2	1	2	1	1	3	2	2	0	17	1
救急総合診療科	3	4	1	0	0	0	2	0	2	0	0	0	12	1
小児科	0	0	0	0	1	1	1	1	0	1	1	1	7	1
耳鼻咽喉・頭頸部外科	0	1	3	4	0	2	1	3	4	6	2	6	32	3
麻酔・緩和医療科	0	1	0	0	1	0	0	0	0	0	0	0	2	0
呼吸器外科	0	2	1	3	1	2	1	1	0	1	0	0	12	1
形成再建外科	0	0	0	0	0	0	1	0	1	0	0	1	3	0
その他	3	2	2	1	4	3	1	3	0	0	5	3	27	2
合計	144	160	242	199	206	186	191	195	213	183	193	207	2,319	193

表5 患者給食数

患者給食	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	累計	前年累計
常食	8,533	8,570	8,516	9,409	10,033	9,773	9,642	8,610	8,078	6,811	6,915	9,030	103,920	107,634
軟菜食	3,103	3,729	4,069	4,312	5,282	4,348	4,655	3,751	3,718	4,489	3,754	4,210	49,420	48,940
特食	8,789	7,681	8,557	8,334	7,789	8,647	8,217	7,598	7,541	7,189	7,436	7,683	95,461	105,415
合計	20,425	19,980	21,142	22,055	23,104	22,768	22,514	19,959	19,337	18,489	18,105	20,923	248,801	261,989
調乳本数	2,393	3,988	3,372	2,449	2,909	2,522	2,900	2,260	2,990	2,575	2,258	2,715	33,331	32,185
特食加算率	43%	38%	40%	38%	34%	38%	36%	38%	39%	39%	41%	37%	-	-

## 薬 劑 部

スタッフ 薬剤部長：野村浩英  
副部長：足立充司  
課長：池田久雄  
主任：古久保有希子、宮麻紀子  
薬剤師：平田貴宏、六車裕一、千原亜紀子、平田亜紀、森岡浩子、内藤 睦、小寺由香  
藤井克至、宮原阿友美、神原弘和、藤田真弓、中田帆南、小杉味菜子（2020年8月～）、  
野村暢彦（2020年10月～）  
パート薬剤師：辻 俊美、中野静香  
事務員：岩城淳子

### 1. 業務内容

本年度は、医薬品に関する運用について、薬剤師や看護師など多職種チームのもとに策定し、安全でかつ確実な運用を実現した。医薬品の適正な在庫管理、法令を遵守した保管管理のもと調剤、病棟業務を通して、医薬品の安定供給、適正使用、チーム医療へ参画に継続的に取り組んだ。

手術決定時の入院前服用薬の確認業務で、手術決定後、入院前に術前休薬必要薬を確認することで、手術を安全に行えるように支援した。医薬品安全管理について、職員への医薬品安全管理の講演や、医師を含む多職種をメンバーとした医薬品安全管理ワーキングによる院内ラウンドの実施、疑義照会の一元管理可能なデータベース化による可視化による、問題点の把握と共有、業務改善ができる取組みを継続した。DIニュースの定期的な発行で院内の情報発信が円滑に行うことができた。また最適使用推進ガイドラインの遵守確認、糖尿病、ICT、NST、緩和ケア、褥瘡対策などのチーム医療への参画により医薬品の適正使用を図った。

後発医薬品使用体制加算1算定要件85%の使用率を目標とし、90%以上の高い水準を確保した。

癌化学療法レジメンの登録と円滑な運用を行った。新規申請67レジメンの承認審査並びに登録を行うと共に、オーダ内容の確認・承認、抗癌剤の調製から、被曝・拡散防止など、安全で安心な薬物療法の更なる向上に努めている。また算定要件に伴い、抗がん剤レジメンを病院ホームページへ公開し定期的な更新を行った。

製剤は院内特殊製剤の調製、供給に取り組んでいる。申請のあった特殊製剤について倫理委員会に諮り使用についての有用性や安全性を確認している。製造物責任法に対応するため、日本病院薬剤師会より公示された指標に従って院内製剤の倫理上の検討も行った。新規市販された同効製品の購入にも積極的に関わり、製剤業務量の軽減・効率化を図った。

薬品管理上、採用薬品、削除薬品の審議を薬事管理委員会に諮り、採用品目数は前年度並で推移している。

採用医薬品の製品回収（クラスⅡ）や出荷調整が今年度も発生し、回収に伴う院内の対応、運用の変更や調剤薬局との連携を図りながら患者様の不利益にならないよう十分な配慮を行いながら対応した。

医療外業務として薬学部5年次学生1期（11週）3～4名の病院実務実習の受け入れ体制を継続した。

コロナ専用病棟の運用開始に伴い、感染対策を考慮した院内の薬剤搬送、病棟業務を構築した。また治療薬の管理を行った。

今後も、医薬品情報の有用かつ適時な情報管理の強化により、安心して安全な薬物療法の実践を更に深化する組織体制を発展させると共に、常に「患者さんのために何ができるか」を考えて行動できる人材育成を行う。

### 2. 業務体制

#### 1) 人員配置 2021年3月時点

人員：薬剤師21名（パート2名を含む）、事務員1名  
配置：調剤・製剤業務9名、薬剤管理指導業務8名  
DI（薬品情報室）1名  
臨床研究管理室（事務局）1名  
薬品管理 事務員1名  
（産休、育休者各1名除く）

#### 2) 病棟体制

新病院より専任薬剤師8名とし病棟業務実施加算体制を継続。

手術予定患者の入院前持参薬の確認、薬剤管理指導（服薬指導）、保険診療に定められた病棟業務を実施し、適正かつ、安心・安全な薬物療法に努めた。

### 3. 活動内容

#### 1) 日常業務

外来処方箋枚数 208枚/日（外来注射処方を含む）  
入院処方箋枚数 220枚/日  
入院注射処方箋枚数 814枚/日  
服薬指導件数 720件/月（薬剤管理指導業務）  
病棟業務実施加算 1,609件/月  
抗癌剤調製件数 497件/月

#### 2) 院内学術活動（講演）

医療安全講演会・医薬品の安全管理講習会

#### 3) 院内広報活動

医薬品情報（安全性情報） 10通  
DSU（医薬品安全対策情報） 9通  
新規採用薬情報 4通  
お薬ニュース 8通

#### 4. 認定薬剤師など

日本医療薬学会認定薬剤師	3名
がん薬物療法認定薬剤師	3名
感染制御認定薬剤師	1名
抗菌化学療法認定薬剤師	1名
妊婦・授乳婦薬物療法認定薬剤師	1名
日本糖尿病療養指導士	5名
日本緩和医療薬学会麻薬教育認定薬剤師	1名
認定実務実習指導薬剤師	4名

(2021年3月31日現在)

- 森岡浩子, 足立充司, 下山優子, 花田留美, 野村浩英: 中央手術室における, 医薬品管理の取り組み, 第13回日本医療マネジメント学会大阪支部学術集会, 2020年9月, 大阪
- 渡邊裕之, 榎原克也, 中野寛之, 倉橋基尚, 近藤 篤, 村上賢次, 中尾将彦, 足立充司, 萱野勇一郎, 平井美保子, 尾上雅英: がん化学療法における登録レジメンの凍結基準となる最適な未使用期間の検討: 多施設共同調査, 第30回日本医療薬学会年会, 2020年10月, 名古屋 (WEB開催)
- 平田貴宏, 池田久雄, 足立充司, 野村浩英: 急性気道感染症の患者数と経口抗菌薬の処方状況調査, 第30回日本医療薬学会年会, 2020年10月, 名古屋 (WEB開催)
- 神原弘和, 池田久雄, 平田亜紀, 森岡浩子, 足立充司, 野村浩英: 手術患者における自己調節硬膜外鎮痛中断後の鎮痛薬使用調査, 第30回日本医療薬学会年会, 2020年10月, 名古屋 (WEB開催)
- 林崎修也, 六車裕一, 圓東寛基, 赤沢麻衣子, 池見泰明, 今井哲司, 米澤 淳, 中川貴之, 松原和夫: 神経障害性疼痛を有するがん患者におけるオピオイドスイッチ後のメサドンとタペンタドールの治療効果比較, 第42回日本病院薬剤師近畿学術大会, 2021年1月, 大阪 (WEB開催)

#### 5. 業績

##### 学会発表

- 足立充司, 古久保有希子, 阿部恭子, 野村浩英, 前田 元: 医薬品の安全管理を多職種で取り組むメリットについて, 第13回日本医療マネジメント学会大阪支部学術集会, 2020年9月, 大阪

##### 薬剤関係件数

摘 要		4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	累計	前年度累計		
処方箋	外来	枚数	枚数	3,421	3,744	4,188	4,548	4,544	4,352	4,417	4,197	4,369	4,357	4,015	4,519	50,671	51,434
			件数	5,150	5,539	6,064	6,575	6,583	6,410	6,428	6,298	6,476	6,587	6,048	6,788	74,946	72,247
		1日当り	枚数	163	197	190	217	227	218	201	221	208	229	223	196	2,490	2,563
			件数	245	292	276	313	329	321	292	331	308	347	336	295	3,685	3,601
	入院	総数	枚数	6,499	6,003	7,254	7,326	6,899	7,154	7,365	6,416	6,401	5,855	6,002	7,052	80,226	82,034
			件数	12,632	11,165	12,974	13,681	12,297	13,229	13,350	11,662	11,892	10,854	11,297	12,898	147,931	155,348
		1日当り	枚数	217	194	242	236	230	238	238	214	206	189	214	227	2,645	2,698
			件数	421	360	432	441	397	441	431	389	384	350	403	416	4,865	5,094
注射	入院	総数	枚数	21,479	23,286	25,654	24,734	24,495	25,857	26,412	25,229	26,618	23,711	22,811	26,003	296,289	286,263
		1日当り	枚数	716	751	855	798	790	862	880	841	859	765	815	839	9,771	9,385

摘 要	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	累計	前年度累計
薬剤管理指導業務算定	703	669	798	815	735	759	821	706	664	587	623	755	8,635	8,998
抗癌剤混合調剤件数 (外来化学療法)	258	232	265	267	264	266	290	308	304	314	289	330	3,387	2,864
(入院化学療法)	178	192	245	257	205	213	234	269	198	194	180	215	2,580	1,867
TPN調製件数	34	25	59	29	46	40	20	47	63	56	74	59	552	426

摘 要		4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	累計	前年度累計	
麻薬処方箋	外来	内 用	0	0	0	0	0	0	0	1	0	0	0	1	3	
		外 用	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	
		注 射	0	0	0	2	0	0	0	0	0	0	0	1	3	4
	入院	内 用	154	107	170	225	252	215	200	131	98	77	117	137	1,883	1,477
		外 用	4	2	13	14	13	20	15	4	10	13	10	5	123	131
		注 射	243	271	381	394	420	391	403	404	394	430	325	422	4,478	4,987

##### 製剤室

摘 要		4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	累計	前年度累計
一般製剤	件数	27	28	26	38	35	32	25	28	24	28	25	21	337	402
無菌製剤	件数	11	10	10	14	11	14	10	14	11	13	11	6	135	133

[薬剤部]

# 臨床工学室

スタッフ 室 長：宇津 貴（腎臓内科主任部長、血液浄化センター長、栄養管理室長）  
主 任：加藤千尋、三木和美、田中恵介

## 1. 診療内容

臨床工学室は、2017年4月より中央臨床検査部から独立し新設された。現在10名の臨床工学技士が様々な臨床業務に関わり、医師・看護師や各種医療技術者と共に治療に携わっている。

## 2. 診療体制

### 1) 臨床業務

主に下記臨床業務に関わっている。

#### ①手術室

手術支援ロボット業務、血管内治療の清潔介助、術中自己血回収

#### ②血管造影室

心臓カテーテル検査・治療、心臓ペースメーカーの植込み・電池交換、植込み型心電計の植込み、心内心電図測定、血管内治療の清潔介助

#### ③集中治療室

緊急血液浄化（血液透析、持続血液濾過透析法、血漿交換療法）、補助循環業務（IABP・PCPS）

#### ④血液浄化センター

血液透析、オンラインHDF、顆粒球除去療法、血漿交換療法、末梢血幹細胞採取、顆粒球採取

#### ⑤外来

ペースメーカー定期チェック、ペースメーカーMRI対応

#### ⑥その他

腹水濾過濃縮、術前術後・緊急時のペースメーカーチェック、人工呼吸器・経鼻高流量酸素療法（NHF）使用時対応、RST（呼吸サポートチーム）ラウンド

### 2) 医療機器の保守・修理・点検業務

外来・病棟や手術室・集中治療室などで使用する院内の様々な医療機器の保守・修理・点検を行い、医療機器がいつも清潔で安全に使用できるよう管理運用している。

## 3. 認定資格

透析技術認定士	7名
心血管インターベンション技師	3名
3学会呼吸療法認定士	4名
臨床ME専門認定士	1名
第1種消化器内視鏡技師	1名

# 臨床研究管理室

スタッフ 室長：東山真里（副院長、皮膚科部長、あったかさサポートセンター長、乾癬センター長）  
 CRC（臨床研究コーディネーター）：谷口真理子（看護師）  
 村崎由紀子（臨床検査技師）（～2021年1月）  
 寺西由加里（臨床検査技師）  
 松谷憲一（臨床検査技師）（2021年2月～）  
 事務局：六車裕一（薬剤師）（～2020年5月）、千原亜紀子（2020年6月～）  
 小原秀子（ソラスト）

## 1. 活動内容

臨床研究管理室では、治験審査委員会・倫理委員会の事務局として治験、臨床研究、製造販売後調査の窓口業務を行っている。新規治験受託に関しては、受託可能な疾患を調査し治験依頼者（製薬会社）への打診を行ったり、日本医師会治験促進センターからの治験案件調査を各該当診療科と協同しながら案件を受託している。治験受託時に、治験依頼者との調整が円滑に運べるよう病院HPには施設情報チェックリストを公開している。

治験審査委員会委員及び倫理委員会委員に対して、院内研修会を実施している。

日常業務では、CRCが治験受託時から治験終了まで、安心・安全で質の高い治験・臨床研究が提供できるよう被験者対応、治験依頼者対応、治験責任医師・分担医師への対応を行っている。また、院内各部署との調整を工夫・改善しながらチームとして治験が滞りなく推進出来るよう行っている。今年度は、COVID-19感染拡大により、治験依頼者の訪問が規制されたため、早々にWeb会議を実施し業務が滞らないようにした。

また、臨床研究管理室会議を1回/月開催し、運営等について協議している。

治験標準業務手順書、事務局マニュアル、CRC業務マニュアル、外部CRC対応マニュアルの改訂も行った。

## 2. 活動実績

1. 治験審査委員会（IRB） 12回開催  
倫理委員会 11回開催
2. 年間治験実施件数 18件  
（前年度からの継続実施15件、2020年度新規受託3件）
3. 製造販売後調査 新規契約28件
4. 臨床研究 実施件数41件

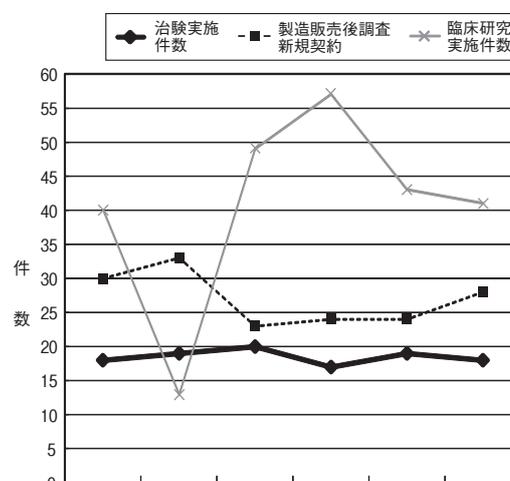
新規受託件数は3件であり前年より3件減少した。原因としては、COVID-19感染拡大により治験依頼者が新薬及び新機器開発を保留としたためである。

年間治験実施件数は18件であり、2015年からの5年間をみると多少増減はあるもののほぼ横ばいである。これは、前年度までの実績が反映されている。臨床研究実施件数、製造販売後調査新規契約は前年と比べ横ばいである。（図1）。治験における被験者対応人数の減少は、来院間隔の長い治験が多かったためである。また、モニター対応時間に関しては、COVID-19感染拡大によりモニターの来院が制限されたことにより減少している。（図2）。

## 3. 認定

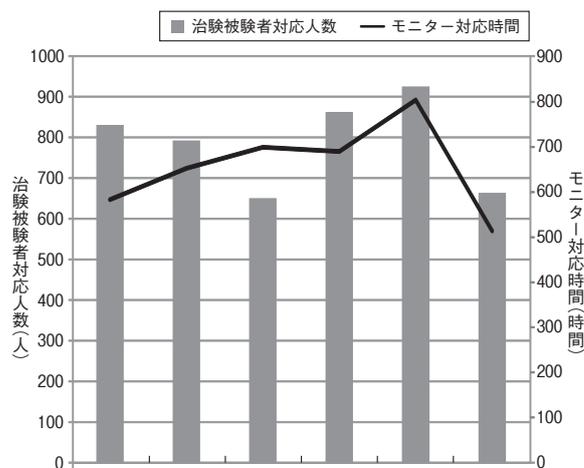
日本臨床薬理学会認定CRC 1名（谷口真理子）

【図1（治験・臨床研究等実施状況）】



年度	2015	2016	2017	2018	2019	2020
治験実施件数	18	19	20	17	19	18
製造販売後調査 新規契約	30	33	23	24	24	28
臨床研究実施件数	40	13	49	57	43	41

【図2（治験被験者対応人数・モニター対応時間）】



年度	2015	2016	2017	2018	2019	2020
治験被験者対応人数	832	794	652	864	927	665
モニター対応時間	583.25	652.75	699.5	689.75	804	513.75

# 医 療 安 全 対 策 室

スタッフ 室 長：前田 元（特任副院長、呼吸器外科部長）（～2020年8月）、  
 岸 正司（院長補佐、救急総合診療科主任部長）（2020年9月～）  
 医療安全管理者：阿部恭子（看護師長）  
 室 員：野村浩英（薬剤部長） 近石克也（医事サービス部長）

## 1. 概要

インシデント・アクシデントレポート及びオカレンスレポートについての分析・情報共有を「医療安全ミーティング」として医療安全対策室で週単位に実施、再発防止策を検討した。また多職種によるワーキング活動を引き続き行っている。医療安全管理体制 地域連携加算 I を継続した。

指して導入したオカレンス報告は2019年度には13診療科から30件、2020年度には8診療科から25件の報告があった。それらについても、検討を行った。

インシデント・アクシデント報告の推移  
 (2018年度～2020年度)

	薬 剤	転 倒 ・ 転 落	輸 血	治 療 ・ 処 置	ド レ ン ・ チ ュー ブ	検 査	医 療 機 器	療 養 上 の 世 話	そ の 他	合 計
2018年度	419	345	9	116	81	120	43	21	152	1,306
2019年度	562	407	6	94	147	178	47	91	139	1,671
2020年度	517	404	15	85	149	152	41	144	100	1,607

## 2. 活動内容

### 1) 医療安全管理マニュアルの見直し、改訂

- ①医療安全管理委員会規定
- ②中心静脈カテーテル挿入の認定、手技に関する指針
- ③医療事故発生時の報告ルート
- ④注意すべき穿刺部位
- ⑤身体拘束マニュアル
- ⑥カラーシリンジルール

### 2) 医療安全管理者の育成

看護部安全対策委員会では、毎月、事例の共有及び検討を行った。看護管理者のリスクのとらえ方や医療安全管理に対する意識が高まるように働きかけた。

### 3) 医療安全管理体制 地域連携加算 I

I - I 連携 JCHO大阪みなと中央病院（相互ラウンド）

2020年3月 相互評価をメールにて行った。

I - II 連携 大野記念病院

COVID-19の影響で、審査は出来ず。

### 4) ワーキング活動

医療安全管理委員会では、下部組織として2017年度から、医療安全全般ワーキング、医薬品安全管理ワーキング、医療機器安全管理ワーキング、転倒・転落防止ワーキングという4つの実働的な多職種ワーキンググループを設置、活動開始した。2019年度に設置したVTE予防ワーキングでは、VTEリスク評価表を作成、全入院患者に使用を開始した。医薬品安全管理ワーキングでは、定期的なラウンドを行い、薬剤に関するインシデント事例の検討等を行った。転倒転落防止ワーキングでは、毎月病棟のラウンドを行い、療養環境の確認、薬剤やりハビリの情報共有、看護計画の見直し等を行った。

### 5) 医療安全ミーティング

週に1回開催した。週単位でのインシデント・アクシデントレポートの分析、事例の検討を行った。さらに、2017年度11月より合併症の報告促進を目

### 6) 医療安全研修

【第1回】2020年9月30日（水）17：30～18：30

テーマ：Googleから学ぶ！—心理的安全性が医療チームに与えるもの—

講 師：近畿大学病院

病院長補佐・安全管理部 教授

辰巳陽一先生

参加者 171名（医師 31名、研修医 8名、薬剤師 14名、看護師 61名、コメディカル32名、事務職 25名）

総合評価「良い」 97.3%

【第2回】2020年12月22日（火）17：15～18：15

#### 1. 医薬品安全管理ワーキング

テーマ「有害事象の報告制度と医薬品安全管理ワーキング ラウンド報告」

講 師：薬剤部副部長 足立充司

#### 2. 医療機器安全管理ワーキング

テーマ「医療機器とアラーム」

講 師：臨床工学技師 田中恵介

#### 3. 虐待対応

講 師：小児科部長 西垣敏紀

医療ソーシャルワーカー 福庭加奈

参加者 173名（医師 36名、研修医 10名、薬剤師 7名、看護師 61名、コメディカル 22名、事務職 37名）

総合評価「良い」 100%

いずれも未受講者に動画による追加研修を実施した。

# 感 染 対 策 室

スタッフ 室 長：西垣敏紀（インфекションコントロールドクター、小児科部長）  
薬 剤 師：池田久雄（抗菌化学療法認定薬剤師、感染制御認定薬剤師）  
検査技師：小西美香（感染制御認定臨床微生物検査技師、認定臨床微生物検査技師）  
看 護 師：大野典子（感染症看護専門看護師）

## 1. 活動内容

感染対策室は病院の理念に基づき、最良の医療サービスを目指し日々の感染症予防と感染が発生した場合のその拡大防止、また適切な抗菌薬使用など感染症の診断治療の支援を担う。

本年度は新型コロナ感染症が世界的に流行した。感染対策室では職員の不安・負担を可能な限り軽減しつつ速やかに患者を受け入れられるよう手順を作成した。作成にあたっては感染症が時に差別・偏見をもたらすことから、患者の権利擁護、院内各部門の業務負担のバランスの維持などに配慮した。また、新興感染症であることから信頼できる情報を遅滞なく入手できるよう取り組んだ。また、職員に対するワクチン接種に関する手順、取り決めを事務、薬剤部と協働し作成した。

ICT/ASTは週1/回カンファレンスを開催し抗菌薬使用状況の確認や微生物検査検出状況、耐性菌検出状況などの分析を行った。ラウンドではカンファレンス結果に基づく診療支援はもとより薬剤師と微生物検査技師による情報、またICTリンクナースからの情報などを踏まえ、感染対策の実施状況を確認し、加えて抗菌薬適正使用に関する情報を提供した。

社会的活動としては大阪市感染症対策支援ネットワークの幹事病院、地域医療支援病院として地域に向けた学習会を企画開催、地域医療機関からの相談を受け付けた。

## 2. 活動体制

感染対策室は医師、薬剤師、微生物検査技師、事務職員から構成されるAST/ICTと連携し、感染症診療や感染防止に関する支援・介入を速やかに開始できる体制となっている。

また、患者の最も近くで感染リスクを評価しているICTリンクナースが、異常を察知すれば速やかに感染対策室へ報告できる体制をとっている。

ICT/AST、ICTリンクナースでは対応が困難と判断した場合は、臨時または拡大院内感染対策委員会の開催を召集し早急な対応が可能な体制をとっている。

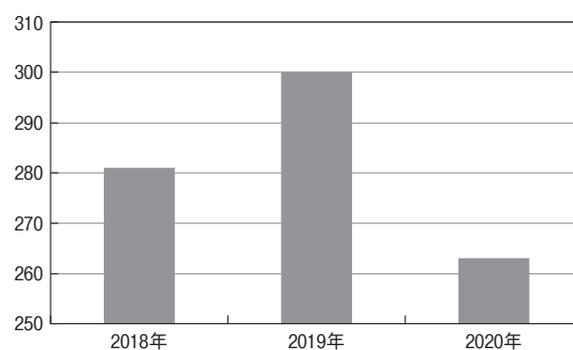
## 3. 活動実績

### 【感染症診療の支援】

ICTの介入件数は263件（平均22件/月）であった。届け出抗菌薬の長期使用、治療における抗菌薬の選択と効果判定などに加え、本年度はCOVID-19の検査、診

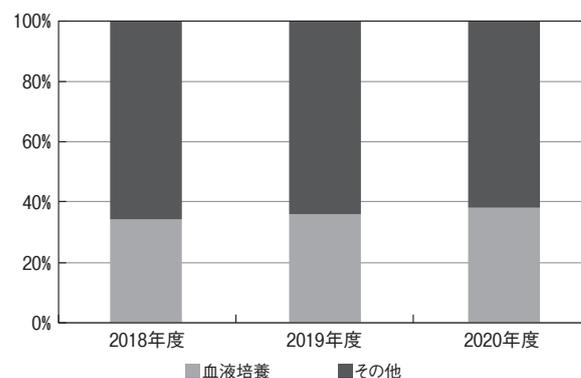
療、COVID-19治癒後の診療対応等、新型コロナウイルス感染症に関わる相談に対して介入した。

COVID-19患者および疑い患者に関する感染防止策や退院基準に関することはICTではなく全て感染対策室が直接介入し、延べ入院患者数は217名、延べ入院患者日数は1,902日患者/日だった。



（図1）ICT介入件数

感染症診療において重要な使用となる微生物検査血液培養検査は4556検体、血液培養以外は7562検体で、血液培養の占める割合が微増した（図2）。



（図2）微生物検査検体数

### 【耐性菌検出抑制、集団感染防止に対する取り組み】

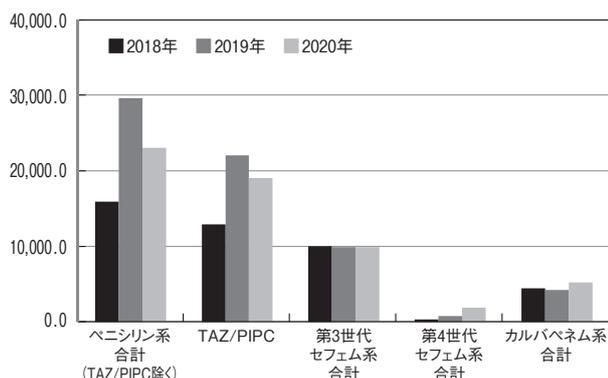
本年度は当院で初めてバンコマイシン耐性腸球菌を確認したが1例のみの検出となり拡大することはなかった。ESBL産生菌はじめその他の耐性菌も院内での孤発症例はあったが、同一部署・診療科での集積はなかった。

### 【抗菌薬適正使用に対する取り組み】

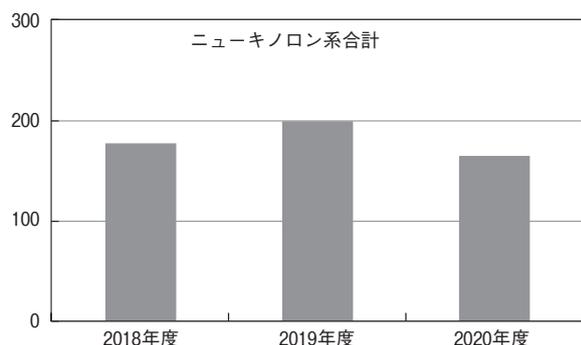
当院では、外来・入院ともに大腸菌に対するキノロン系抗菌薬の感受性率が低下傾向にあり、アンチバイオグラムを更新し、啓発した。

届出抗菌薬の年間総使用量はカルバペネム系抗菌薬5281.3g（2019年度4232.8g）、タゾバクタム・ピペラシリン19029.4g（2019年度22008.9g）、第三世代セファロスポリン系抗菌薬9880.2g（2019年度9927.3g）（図3）であった。厚生労働省がAMRアクションプランの成果目標とするフルオロキノロン系抗菌薬は162.9g（2019年度197.5g）（図4）に減少した。

届出抗菌薬の届出率は年間平均80%、最も低い月が2021年2月70.1%、次いで2020年4月75.3%、最も高い月が2021年8月91.4%、次いで2021年1月88.7%だった。



（図3）年間抗菌薬使用量（g）

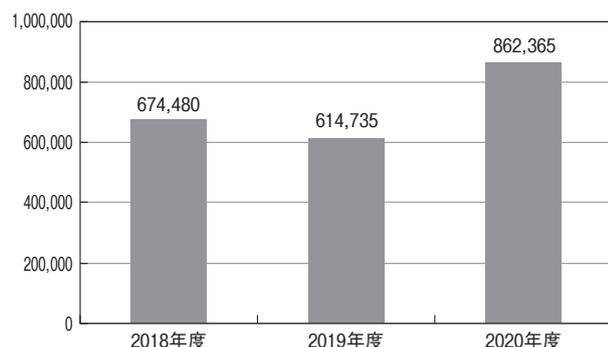


（図4）年間抗菌薬使用量（g）

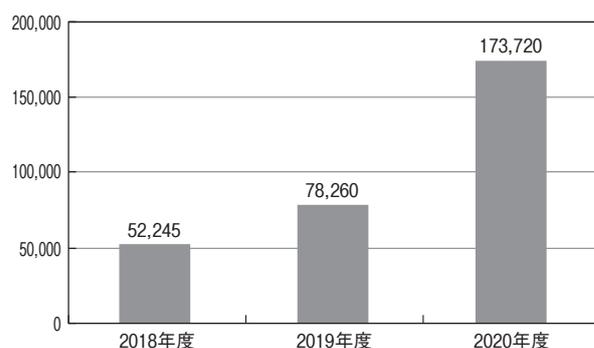
#### 【手指衛生徹底への取り組み】

手指衛生徹底への取り組みとして、感染リンクナーズはもとより、COVID-19対策として院内全ての部署・部門が協働し啓発を行った。

全病院で手指消毒剤の使用量は増加し（図5）、なかでも外来・診療部門の使用量は2倍以上増加した（図6）。



（図5）擦式手指消毒剤年間購入量（ml）



（図6）外来・診療部門擦式手指消毒剤年間購入量（ml）

#### 【地域連携施設における取り組み】

感染対策加算Ⅰ取得の病院との相互ラウンドを12月に行った。感染対策加算Ⅱ取得の病院とのカンファレンスはCOVID-19の影響から開催回数が11月、2月の2回開催となったが、大阪市感染対策支援ネットワーク幹事病院として、8月に大阪市西部地域の施設対象に新型コロナウイルスに関する研修会を企画開催した。

#### 【職員教育】

- ・第43回院内感染対策委員会教育講演（2020年7月10日）  
新型コロナウイルスを知って、向き合うー小児科医の視点からー：出席者599名（対象者637名）、出席率94%
- ・SARS-COV-2PCR検査導入のための臨床検査技師への個人防護具の着脱
- ・新採用者研修

#### 4. 業績

##### 学会発表

1. 平田貴宏，池田久雄：急性気道感染症の患者数と経口抗菌薬の処方状況調査，第30回日本医療薬学会年会，2020年10月，名古屋
2. 大野典子，医療施設の歴史と感染対策の変遷，第13回日本医療マネジメント学会大阪支部学術集会（ランチョンセミナー），2020年9月，大阪

# あったかサポートセンター

**スタッフ** センター長：東山眞里（副院長、皮膚科部長、臨床研究管理室長、乾癬センター長）  
 部長：近石克也 担当部長：吉川克巳 副部長：本家裕子

(1) 地域医療サービスグループ

事務員：西岡千幸、高名礼子、山下智咲、谷内千紗、山口美里、萩原洋子、  
 久次米ちひろ（2020年10月～）、伊藤良太（2021年3月～）、  
 渡辺喜代美、谷川志津香、西田和馬（～2020年10月）、清藤真由美

(2) 入退院支援センター

センター長：鈴木八枝子（副看護部長）  
 看護師：久留明子（統括師長）、小山佐知子、川瀬俊子、湯阪久美子、田村千穂、  
 中村美智子、中田宏美（～2021年2月）、清山深雪、土井美奈子（2020年7月～）  
 事務員：小谷五月、幸得明美、高山あゆみ

(3) 医療福祉相談グループ（入退院支援センター兼務）

医療ソーシャルワーカー：本家裕子（社会福祉士・精神保健福祉士・介護支援専門員）、  
 (Medical Social Worker:MSW) 松栄優子（社会福祉士・介護支援専門員）、  
 福庭加奈（社会福祉士・精神保健福祉士）、  
 黒川曜子（社会福祉士）、佐竹友貴（社会福祉士）、  
 鎌田蒔子（社会福祉士・精神保健福祉士）（2020年6月～）

※患者サポートスタッフ：浜田麗美、中野敬子、藤原裕美子

## 1. 地域医療サービスグループの活動内容

### 1) 医療連携

- a. 地域の医療機関からの診療・検査予約
- b. 紹介患者の受付
- c. 紹介患者の受診結果報告
- d. かかりつけ医の紹介（歯科含む）
- e. 病診連携フォーラム・懇話会等の開催、開催協力
- f. 登録医、緊急時入院受入医療機関、在宅患者緊急時入院希望の登録・契約手続き
- g. 開放型病院登録医の共同診療時の対応
- h. 病院紹介冊子の作成

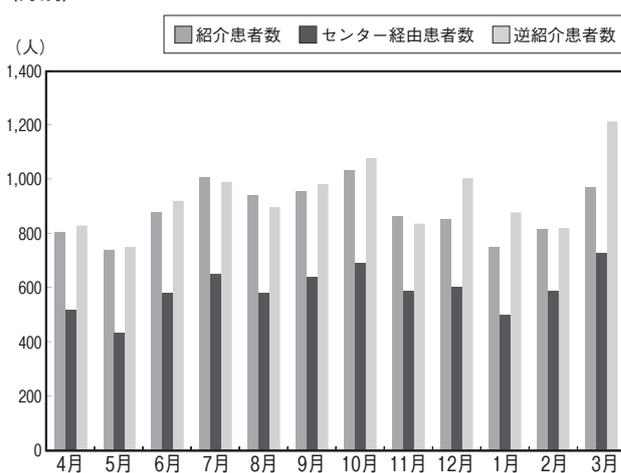
- i. 地域医療NETWORKの開設
  - j. セカンドオピニオンの受付・他院への申込
- ### 2) サービス広報
- a. 医療機関向け診療案内の発行
  - b. 登録医への診療日程案内・情報提供
  - c. 患者向け広報誌「あったかサポートセンター通信 Saisei Rimin」の発行
  - d. 市民健康セミナー等の開催、開催協力(p.141～142参照)
  - e. 地域医療機関等の情報収集・調査
  - f. 患者の声、意見収集等を踏まえた患者サービス体制管理

■ 2020.4～2021.3 診療科別紹介数、あったかサポートセンター経由患者数  
 (年間)

科 別	紹介患者数* (救急車搬入患者含む)	センター 経由患者数	逆紹介 患者数
循環器内科	387	297	612
消化器内科	709	545	813
総合内科	1,164	757	1,435
血液・化学療法内科	214	181	329
脳神経内科	236	223	268
腎臓内科	149	117	595
消化器外科	130	98	328
呼吸器外科	22	20	75
乳腺外科	144	125	202
心臓血管外科	66	73	148
脳神経外科	30	25	80
産婦人科	1,744	1,205	2,266
小児科	302	245	163
神経科・精神科	183	194	240
整形外科	382	292	595
皮膚科	572	445	405
泌尿器科	303	215	418
眼科	97	101	300
耳鼻咽喉・頭頸部外科	696	482	486
形成再建外科	198	150	143
放射線診断・IVR科	828	1,008	962
放射線治療科	8	8	10
麻酔・緩和医療科	17	18	6
救急総合診療センター	1,995	236	287
リハビリテーション科			
検査診断科	18	18	18
合計	10,594	7,078	11,184

※紹介患者数は初診算定数。

(月別)



	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月
紹介患者数	803	737	877	1,006	939	956	1,031	864	850	749	814	968
センター経由患者数	516	431	579	650	578	638	690	587	600	498	586	725
逆紹介患者数	828	749	919	989	896	981	1,077	835	1,003	876	819	1,212

- g. 院内イベント企画・開催、開催協力
- h. 図書・情報コーナーの管理
- i. ボランティアの受付・調整

## 2. 入退院支援センターの活動内容

2016年より入退院支援センターを開設し5年目となる。入退院支援センターは、入院決定時から各職種が連携して安心して入院生活が送れるよう支援すること、入院時から退院後の生活をふまえた退院支援を実践し、より質の高い医療サービスを提供することを目的としている。

### 1) 業務内容

- a. 医事部門・入院受付
  - ①入院申し込み・入院当日の入院手続き・病室の希望の把握
  - ②無料低額診療事業等の紹介
- b. 看護師
  - ①病棟師長：入院時間調整
  - ②外来看護師：患者基礎情報の収集・術前オリエンテーション・クリニカルパスの説明
  - ③退院支援専従看護師：退院調整
- c. 薬剤師
  - ①術前内服確認
- d. MSW
  - ①退院調整
  - ②ソーシャルワーク業務

### 2) 活動実績

時間内の入院患者数は増加傾向であったが、COVID-19専用病棟の為病床数が減少し、月平均578件（昨年度603件）であった。

外来看護師によるオリエンテーションは、月平均171件（昨年172.6件）薬剤師による術前服薬確認は月平均131件（昨年155.6件）であった。

入退院支援加算算定件数は、退院支援専従看護師・MSWを中心に継続的に活動実施し、センター看護師、病棟看護師間の連携も密にとった結果、入退院支援加算1は、月平均193.7件（昨年度152.9件）で昨年より26.6%上昇、入院時支援加算は、月平均41.1件（昨年度37.7件）で、昨年より9%上昇した。

## 3. 医療福祉相談グループの活動内容

### 1) 相談援助

#### a. 相談援助総件数

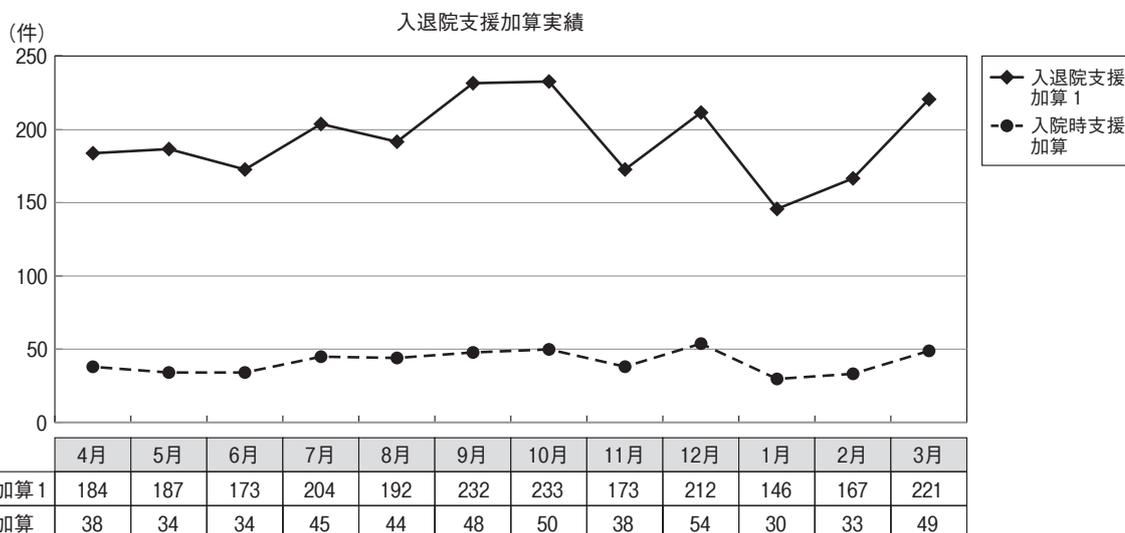
2020年度は、総数14,101件（1日平均53.1件、月平均1,175件）の相談を受けた。年々増加の一途を辿っていた相談件数は、退院調整看護師の増員により一旦は減少したが、MSW増員による業務分担見直しも影響し、大きく増加したと推察される。

#### b. 新規相談

2020年度の新規相談は3,851件（昨年は3,385件）であった。紹介経路別にみると、看護師（862件）、医師（571件）およびその他の職員を含め、院内スタッ

## ■入退院支援センター 活動状況（2020.4～2021.3）

月	時間内 入院実数 (8:30～17:00)	センター看護師		薬剤師	外来看護師
		予定分	予定外 (緊急)	術前服薬確認	術前オリエン テーション
4月	507	292	200	95	118
5月	493	306	175	131	144
6月	667	427	237	133	181
7月	611	424	176	148	183
8月	594	246	106	128	175
9月	636	448	163	150	183
10月	636	443	180	130	197
11月	579	419	155	152	199
12月	561	392	159	127	160
1月	489	317	119	129	169
2月	493	350	143	117	150
3月	669	496	163	135	204
平均	578	380.0	164.6	131.2	171.9



フからの支援依頼が41.6%（昨年は37.2%）を占め、本人（782件）と家族（604件）からの相談が36.0%（昨年は41.7%）であった。

c. 相談援助内容

相談内容は、退院への援助（在宅へ向けての療養環境整備の援助および転院・施設入所先の選定援助）が36.2%と最も多く、次いで無料・低額診療に関する相談援助（27.9%）、介護保険、身体障害者手帳、特定疾患、精神保健等の諸制度に関する説明や申請援助（15.9%）、受診・受療に関する問題調整（8.5%）となった。

2) 地域活動

- a. 近隣施設（医療機関、介護老人保健施設等）への訪問等による連携の促進
- b. 西区地域支援調整チーム高齢者支援専門部会および西区障がい者・高齢者虐待防止専門部会へ参画による地域の高齢者施策等への貢献
- c. 西区在宅医療・介護連携推進会議等に参画し、地域

の在宅医療の普及と医療・介護連携の推進

- d. ニッセイケアプランセンター介護支援専門員（ケアマネジャー）兼務による在宅生活の支援
- e. 大阪市子ども虐待医療支援検討会、大阪府児童虐待防止医療ネットワーク事業連絡会参加による各関係機関との児童虐待対応の連携強化
- f. 脳卒中地域連携パス、大腿骨頸部骨折地域連携パスへの参画、脊椎椎体骨折地域連携パスの新規導入による円滑な地域医療連携の促進

4. 業績

学会発表

1. 福庭加奈, 本家裕子, 松榮優子, 黒川曜子, 清水美紗: 集中治療室入室患者に対する支援についての分析, 第13回日本医療マネジメント学会大阪支部学術集会, 2020年9月, 大阪
2. 西岡千幸, 本家裕子, 吉川克巳: 医療空間にひろげるホスピタルアートの取組み, 第13回日本医療マネジメント学会大阪支部学術集会, 2020年9月, 大阪

■ 医療福祉相談グループ

〈相談援助件数〉

	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	累計	前年度累計
循環器内科	58	76	70	86	128	86	83	70	60	102	64	57	940	541
消化器内科	24	38	48	88	55	42	42	38	59	66	32	57	589	502
総合内科	188	202	225	216	329	212	215	232	254	196	206	258	2,733	1,684
血液・化学療法内科	100	91	121	98	109	73	80	108	114	111	102	125	1,232	1,170
脳神経内科	68	83	108	116	98	84	120	54	53	48	44	52	928	1,012
腎臓内科	64	77	92	83	92	129	77	82	71	74	69	80	990	416
消化器外科	37	32	45	59	81	73	70	41	45	59	46	41	629	407
呼吸器外科	4	2	1	11	12	9	0	0	1	3	2	15	60	34
乳腺外科	30	21	21	38	35	32	37	11	12	10	37	30	314	195
心臓血管外科	12	2	2	6	9	14	5	6	13	14	19	30	132	63
脳神経外科	16	16	20	11	13	43	20	16	4	3	19	4	185	194
産婦人科	39	32	44	30	67	54	42	42	42	53	45	63	553	498
小児科	20	42	16	15	28	54	26	41	48	59	66	66	481	373
神経科・精神科	47	41	72	118	141	61	96	89	61	48	43	68	885	748
整形外科	90	82	93	95	97	123	148	117	86	81	99	127	1,238	747
皮膚科	27	25	15	17	28	30	15	12	28	14	27	16	254	301
泌尿器科	29	45	73	52	43	45	49	31	51	57	38	31	544	353
眼科	2	2	1	4	8	13	4	6	7	11	7	4	69	86
耳鼻咽喉・頭頸部外科	25	37	20	22	44	57	23	17	31	40	37	53	406	256
形成再建外科	0	3	5	2	8	1	0	0	0	4	7	2	32	31
放射線診断・IVR科	0	0	0	0	0	6	1	1	4	2	0	0	14	1
放射線治療科	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	2
麻酔・緩和医療科	4	1	3	2	2	1	0	0	0	0	0	1	14	23
リハビリテーション科	0	0	0	0	1	0	0	0	0	0	0	0	1	1
救急総合診療科	14	9	11	2	3	11	11	12	19	7	26	45	170	584
不明・その他	53	53	35	34	74	72	66	60	38	52	95	76	708	579
合計	951	1,012	1,141	1,205	1,505	1,325	1,230	1,086	1,101	1,114	1,130	1,301	14,101	10,765

〈新規相談件数（紹介経路別）〉

	4月			5月			6月			7月			8月			9月			10月			11月		
	外来	入院	他																					
本人	28	13	0	37	9	0	42	13	0	64	18	0	140	10	0	64	11	0	61	13	2	57	8	1
家族	26	6	0	28	11	1	24	13	1	38	10	0	76	16	0	43	15	0	38	15	3	40	11	0
医師	16	24	0	25	23	0	26	34	0	34	29	0	22	23	0	17	24	0	28	19	0	20	12	0
看護師	8	62	0	10	53	0	12	58	0	7	59	0	4	52	1	12	65	0	12	60	0	7	61	0
その他院内職員	4	9	0	1	5	0	2	10	0	11	6	0	2	11	0	5	13	0	6	7	1	4	11	0
保健福祉関係機関	4	7	1	5	11	0	8	14	3	9	18	0	7	17	0	5	19	0	7	17	1	5	14	0
医療機関	9	3	1	8	4	0	9	6	2	3	11	1	5	6	1	4	5	0	10	9	0	15	6	1
福祉施設	0	0	1	0	0	0	0	0	0	0	1	0	0	0	0	0	2	0	1	1	0	0	0	0
介護保険施設・事業所	22	26	0	14	20	0	22	24	1	19	15	0	22	13	0	7	13	0	13	9	0	15	13	0
その他	0	2	0	0	1	0	2	2	0	0	3	0	0	1	0	1	2	0	0	1	0	1	2	0
小計	117	152	3	128	137	1	147	174	7	185	170	1	278	149	2	158	169	0	176	151	7	164	138	2
総合計	272			266			328			356			429			327			334			304		

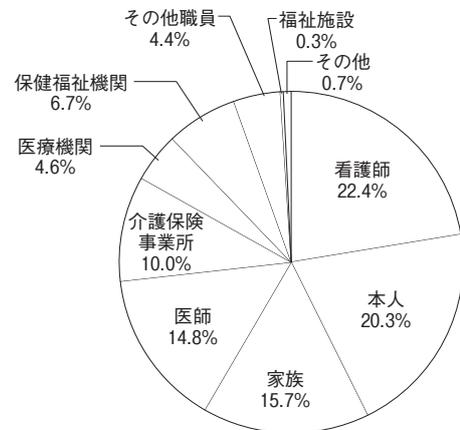
	12月			1月			2月			3月			累計			前年度累計		
	外来	入院	他	外来	入院	他	外来	入院	他									
本人	45	6	0	36	11	1	32	4	0	43	13	0	649	129	4	591	179	12
家族	57	14	0	25	8	0	24	5	0	43	12	1	462	136	6	447	177	8
医師	23	24	0	20	15	0	23	16	0	34	40	0	288	283	0	282	260	1
看護師	9	70	0	17	66	0	8	69	0	10	70	0	116	745	1	96	514	1
その他院内職員	8	5	0	6	4	0	11	10	0	7	7	0	71	98	1	52	56	0
保健福祉関係機関	3	10	1	10	8	0	5	18	0	17	15	0	85	168	6	56	106	4
医療機関	7	6	1	8	5	0	6	6	1	13	7	0	97	74	8	129	31	9
福祉施設	0	1	1	2	0	0	0	0	0	1	0	0	4	5	2	5	3	0
介護保険施設・事業所	12	14	0	14	19	1	14	12	0	15	16	0	189	194	2	197	139	3
その他	2	0	1	1	0	2	1	0	0	1	2	0	9	16	3	6	14	7
小計	166	150	4	139	136	4	124	140	1	188	182	1	1,970	1,848	33	1,861	1,479	45
総合計	320			279			265			371			3,851			3,385		

〈相談援助件数(年度比較)〉

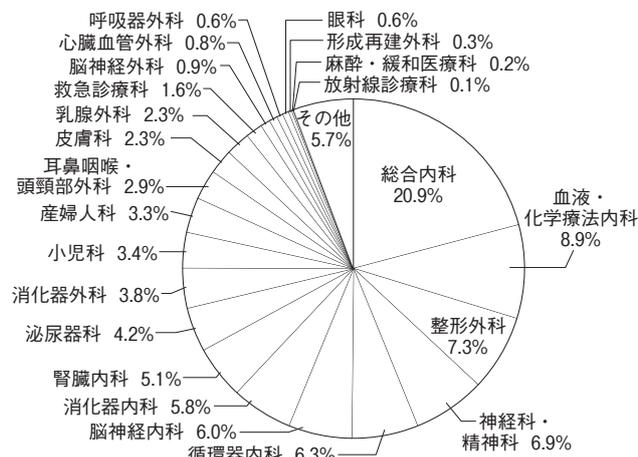
	2020年度	2019年度	2018年度	2017年度	2016年度
循環器内科	940	541	557	1,066	1,206
消化器内科	589	502	565	583	748
総合内科	2,733	1,684	1,635	1,946	2,221
血液・化学療法内科	1,232	1,170	818	949	760
脳神経内科	928	1,012	985	920	996
腎臓内科 <sup>※1</sup>	990	416	342	553	145
消化器外科	629	407	296	269	399
呼吸器外科	60	34	44	19	14
乳腺外科	314	195	189	259	174
心臓血管外科 <sup>※2</sup>	132	63	33	7	
脳神経外科 <sup>※3</sup>	185	194	145		
産婦人科	553	498	446	559	366
小児科	481	373	335	392	369
神経科・精神科	885	748	483	381	378
整形外科	1,238	747	1,024	1,287	989
皮膚科	254	301	270	312	283
泌尿器科	544	353	152	240	305
眼科	69	86	82	53	43
耳鼻咽喉・頭頸部外科	406	256	188	213	250
形成再建外科 <sup>※2</sup>	32	31	75	31	
放射線診療・IVR科	14	1	15	17	21
放射線治療科 <sup>※2</sup>	0	2	0	1	
麻酔・緩和医療科	14	23	13	20	20
リハビリテーション科 <sup>※2</sup>	1	1	13	7	
救急総合診療科	170	548	610	729	501
不明・その他	708	579	570	727	628
合計	14,101	10,765	9,885	11,540	10,816

※1 2016年7月～ ※2 2017年4月～ ※3 2018年6月～

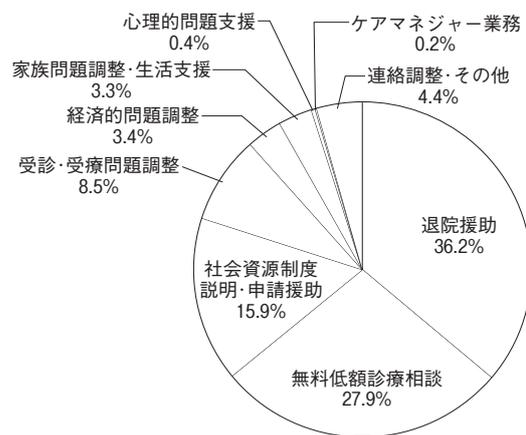
〈新規相談(紹介経路別)〉



〈新規相談(診療科別)〉



〈相談援助内容〉



登録医一覧(442名)

[敬称略](2021.3.31現在)

西 区 77	(医)天野医院	天野 良男
	(医)治生会 石村クリニック	石村 順治
	いとう消化器クリニック	伊藤 裕之
	いぬい小児科	乾 一郎
	近江眼科クリニック	近江 源次郎
	大谷クリニック	大谷 遷
	勝瀬クリニック	勝瀬 健
	耳鼻咽喉科 岸本医院	岸本 勝
	北川医院	北川 久能
	九間クリニック	九間 祥一
	河野外科	河野 実
	佐々木内科クリニック	佐々木 敏作
	下條内科クリニック	下條 信雄
	杉本眼科	杉本 英之
	坪井眼科	坪井 俊児
	ながお医院	永尾 尚子
	(医)敬詢会 永田医院	永田 昌敬
	(医)丹生医院	丹生 純一
	(医)長谷川耳鼻咽喉科	長谷川 進
	新町クリニック	濱田 和哉
	平山眼科クリニック	平山 優子
	(医)フジイ内科クリニック	藤井 繁樹
	阿波座診療所	藤井 省治
	藤田外科・胃腸科	藤田 宗行
	(医)弘清会 四ツ橋診療所	安井 潔
	(医)弘清会 四ツ橋診療所	安井 浩一
	(医)弘清会 四ツ橋診療所	安井 博規
	やまもとクリニック	山本 忍
	京町堀整形外科	牧野 正
	さかざきこどもクリニック	坂崎 弘美
	健クリニック	三木 基子
	木下皮フ科クリニック	木下 香里
	なかむら皮フ科	中村 敏明
	藤野歯科医院	藤野 明
	ほりかわ泌尿器科	堀川 直樹
	(医)三慧会 IVFなんばクリニック	森本 義晴
	奥町内科	奥町 富久丸
	かおるレディースクリニック	岡本 薫
	島野医院	島野 直人
	松浦内科クリニック	松浦 良和
	はらだこどもクリニック	原田 由利香
	渋谷内科クリニック	渋谷 孝裕
	藤本クリニック	藤本 聡
	くらし皮フ科クリニック	倉知 貴志郎
医療法人天方会 AMA Clinic	天方 義人	
西長堀医院	則武 正三	
王内科胃腸科クリニック	王 康義	
(医)天野医院	天野 祥子	
(医)名山会 上杉医院	上杉 雄二	
(医)優昌会 本城整形外科	本城 昌	
ISクリニック	糸原 房宣	
みやざきクリニック	宮崎 裕子	
(医)佐々医院	佐々 成太郎	
(医)佐々医院	佐々 仁美	
大阪きつがわ医療福祉生活協同組合医療生協ながほり通り診療所	蒲生 健	
耳鼻咽喉科 さとうクリニック	佐藤 一雄	

西 区 77	整形外科 おうクリニック	王 正道	
	福中クリニック	福中 道男	
	上嶋内科消化器科クリニック	上嶋 弾	
	えのもとクリニック	榎本 準	
	すぎた内科クリニック	杉田 潔	
	(医)丹生医院	丹生 真理子	
	四ツ橋 腎泌尿器科 こじまクリニック	児島 康行	
	曲淵ペインクリニック	曲淵 達雄	
	ふじわら整形外科	藤原 桂樹	
	坂井医院	坂井 貴子	
	九条サクラ診療所	吉田 賢哉	
	じっしょう内科	實正 哲	
	後藤こころのクリニック	後藤 康人	
	北堀江奏でレディースクリニック	寺田 裕之	
	めぐみ耳鼻咽喉科・アレルギー科	巽 恵美子	
	九条サクラ診療所	中川 真宗	
	慶生会クリニック大阪	金澤 禎行	
	あわざこどもクリニック	田中 篤志	
	やだクリニック	矢田 智恵	
	大 正 区 46	(医)光風会 江口医院	江口 隆
		石村整形外科	石村 俊信
		柿原医院	柿原 幸司
		(医)邦明会 榎原クリニック	榎原 秀一
		小正医院	小正 尚裕
		寒川医院	寒川 通洋
		(医)健人会 弘田医院	弘田 俊行
		藤吉医院	藤吉 庸雅
		(医)松原皮膚科医院	松原 爲明
		荘田診療所	荘田 静
		荘田診療所	荘田 容志
		(医)得伊会中山診療所	中山 秀雄
		横山医院	横山 正博
		西平診療所	西平 守也
		西平診療所	西平 香代
		北新会 藤原耳鼻咽喉科医院	藤原 隆行
(医)良仁会 西村外科		西村 良彦	
船井医院		船井 俊彦	
加納レディースクリニック		加納 英男	
金城外科脳神経外科		金城 康夫	
五味クリニック		五味 正裕	
(医)明友会 安井整形外科クリニック		安井 明	
本山耳鼻咽喉科		本山 壮一	
(医)田辺耳鼻咽喉科医院		田邊 修一	
一ノ名医院		一ノ名 正	
(医)久志会 黒川眼科		志水 一夫	
ひらいけ内科		平池 豊	
足立医院		足立 俊之	
本山診療所		本山 忠	
(医)秀盛会 さくらクリニック		小松 重幸	
中川耳鼻咽喉科クリニック		中川 浩伸	
山北内科クリニック		山北 哲也	
山北内科クリニック		山北 直子	
しまもとクリニック		島本 敬三	
しまもとクリニック		島本 里絵	
(医)北村診療所	北村 彰英		
ほんしょう内科クリニック	本庄 尚謙		
アダチ眼科医院	郡 千栄		
大正ファミリークリニック	瓦林 佳子		

大正区46	マツオ整形外科	松尾 澄治
	大阪きつがわ医療福祉生活協同組合 たいしょう生協診療所	鈴木 昇平
	よしむら整形外科	吉村 弘治
	山北整形外科	山北 真也
	大正すずらんクリニック	瓦林 令奈
	医療法人 西平診療所	西平 守和
	(財)洪庵記念会産婦人科くりにいにおがた	緒方 高志
	かただクリニック	堅田 明浩
	なかがわ 中之島クリニック	中川 晶
	(医)西川婦人科内科クリニック	西川 吉伸
中央区(東)32	岩間クリニック	岩間 令道
	大阪婦人子供既製服健保組合 健康管理室	間島 行春
	船場森野クリニック	森野 高晴
	うづら医院	卯津羅 祥子
	(財)大阪府結核予防会 相談診療所	増田 國次
	大林組大阪診療所	森島 豊彦
	日本生命健康管理所	石神 真人
	(医)政明会 春次医院	春次 智三郎
	塩野義製薬本社診療所	秋岡 壽
	柴田耳鼻咽喉科	柴田 重太郎
	トミタクリニック	富田 忠宏
	(医)ラ・ウォール本町クリニック	瀧野 敏子
	(医)アクア アクアメディカルクリニック	石黒 伸
	しもむら本町レディースクリニック	下村 陽祐
	(医)紀映会 レディースクリニック北浜	奥 裕嗣
	(医)高折医院	高折 和男
	たがや内科	多賀谷 昌史
	本町 林クリニック	林 宏明
	こうむら女性クリニック	甲村 弘子
	山口あきこクリニック	山口 晶子
	大織診療所	藤原 大美
	前久保クリニック	前久保 邦明
	森ノ宮胃腸内視鏡ふじたクリニック	藤田 実
	浅田診療所	浅田 洋造
	ウィメンズクリニック本町	藤野 祐司
小川眼科	小川 憲治	
よどやばしメディカルクリニック	田中 基幹	
なかじまあき内科クリニック	中嶋 千晶	
阿倍野区4	(医)湖崎会 湖崎眼科	湖崎 亮
	(医)柏蔭会 柏原医院	柏原 紀美
	レディースクリニックさわだ	澤田 益臣
	れいこ眼科クリニック	杉本 麗子
生野区3	岸田内科	岸田 泰弘
	(医)協同診療所	稲次 征人
	医療法人祐星会桃クリニック	後藤 克子
北区19	鈴木クリニック	鈴木 隆男
	(医)湖崎会 湖崎眼科アクテイ大阪分院	湖崎 亮
	南森町レディースクリニック	平井 光三
	小西統合医療内科	小西 康弘
	北中レディースクリニック	北中 孝司
	(医)裕弘会 堂山レディースクリニック	本間 裕朗
	志村ウィメンズクリニック	志村 研太郎
	(医)三慧会 HORACグランフロント大阪クリニック	森本 義晴
	(医)聖授会フェスティバルタワークリニック	八木 美佐子
	天神橋ゆかこレディースクリニック	頼 裕佳子
	(医)豊仁会 荻野レディースクリニック	荻野 瑠美
	本出診療所	本出 肇
	田中内科	田中 裕也

北区19	(有)阪神労働衛生コンサルタント 堂島サテライトオフィス	廣部 一彦	
	江川メンタルクリニック (山本梅新診療所より変更)	江川 功	
	天満SORAクリニック	森田 哲史	
	中之島フェスティバルタワー・さくらクリニック	苗村 敏	
此花区17	ふくだあやレディースクリニック	福田 綾	
	(医)奥見診療所	奥見 敏彦	
	栗栖医院	栗栖 孝臣	
	(医)小山医院	小山 貴子	
	(医)小山医院	小山 高澄	
	(医)木本会 鈴木産婦人科	鈴木 勲	
	(医)板東医院	板東 博志	
	松井クリニック	松井 清明	
	(医)徹生会 村上内科	村上 毅	
	栗栖クリニック	栗栖 孝一	
	谷本医院	谷本 尚穂	
	はやしだ診療所	林田 嘉彦	
	(医)森内科	森 滋喜	
城東区2	大庭眼科医院	大庭 省三	
	牧野レディースクリニック	牧野 滋	
	柳本産婦人科医院	柳本 時廣	
	(医)良純会朝日橋胃腸科内科小児科診療所	木下 隆弘	
	こじまクリニック	小島 研太郎	
	(医)金井産婦人科	金井 万里子	
	医療法人よつば会 クローバークリニック	荒木 良守	
	天王寺区11	おおつかレディースクリニック	大塚 志郎
		夕陽丘 佐藤クリニック	佐藤 利彦
		ちかえレディースクリニック	田所 千加枝
		上本町ヒロミレディースクリニック	橋本 弘美
おおさき内科クリニック		大崎 匡	
(医)池田クリニック		池田 光慶	
小出内科神経科		小出 泰道	
西成区4	東産婦人科 眼科	東 芳賢	
	宮原レディースクリニック	宮原 義良	
	遠藤クリニック	遠藤 友一郎	
	腎・泌尿器科安本クリニック	安本 亮二	
西淀川区7	(医)純和会 竹本診療所	八木 純	
	イワタ医院	岩田 以津子	
	医療法人ばばやクリニック	馬場谷 勝廣	
	高岡診療所	高岡 均	
	辻診療所	辻 勝弘	
	北野クリニック	北野 英基	
	大和田診療所	藤原 久義	
住吉区1	いせき整形外科	井石 聡	
	(医)福田診療所	福田 弥一郎	
	じくはら医院	竺原 俊光	
東住吉区3	桂診療所	桂 勇人	
	山口クリニック	山口 時雄	
	山田医院	山田 和彦	
	にしかわクリニック	西河 潤	
	港区64	生野内科クリニック	生野 善康
		大沢診療所	大澤 理
		大塚医院	大塚 穎宏
		香山医院	香山 仁志
		(医)誠昌会整形外科にしげクリニック	國重 昌彦
		塩見医院	塩見 啓二
(医)鈴木医院	鈴木 稔也		
(医)龍神堂会 龍神堂医院	谷内 幹弘		

港 区 64	土田クリニック	土田 茂
	(医)三愛会 中山整形外科	中山 明
	(医)天斗会 中山医院	中山 富雄
	(医)前田診療所	前田 勉
	やながクリニック	彌永 邦彦
	(医)大和医院	大和 直久
	(医)聖愛会山村耳鼻咽喉科	山村 聖眞
	古林内科	古林 芳範
	宮岡クリニック	宮岡 哲郎
	(医)西診療所	西 紀
	いはら内科	井原 義二
	笹尾医院	出雲谷 剛
	金谷内科医院	金谷 英夫
	北代診療所	北代 勇夫
	北代診療所	北代 修司
	松浦診療所	新井 孝和
	(医)緑龍会 内藤医院	内藤 龍彦
	北村医院	北村 雅哉
	坂元内科クリニック	坂元 一夫
	(医)ほのぼの会にいつクリニック	新津 建樹
	(医)頼医院	頼 明信
	義元診療所	義元 徳祥
	(医)喜馬外科	喜馬 秀樹
	野洲クリニック	野洲 武司
	(医)小嶋整形外科	小嶋 博司
	島崎診療所	島崎 久美子
	(医)大奈会 やすだ耳鼻咽喉科	安田 大作
	(医)堀井耳鼻咽喉科	堀井 睦
	谷内医院	石井 登志枝
	(医)信愛会大和診療所	大和 宗久
	西山眼科	西山 和夫
	みなと生協診療所	倉澤 高志
	金田クリニック	金田 眞一
	太田整形外科クリニック	太田 信彦
	大阪医院	大阪 正視
	やぎクリニック	八木 隆
	賀来医院	賀来 清高
	喜多クリニック 弁天町クリニック	喜多 紀人
	しらはま内科クリニック	白浜 健太郎
	岸医院	岸 良治
	溝口内科	溝口 理映子
	山田医院	山田 卓
	徳寿会 金山記念クリニック	津久井 優
しん眼科クリニック	秦 尚修	
社会福祉法人秀生会ザイオン診療所	中山 洋子	
(医)尚信会 整形外科 河村医院	河村 禎人	
医療法人社団悠久会 辻クリニック朝潮橋分院	辻 孝教	
(医)隆明会 やぎ眼科クリニック	八木 明恵	
大塚医院	大塚 欣敏	
澤田内科クリニック	澤田 光孝	
かもめクリニック	木下 啓太	
かもめクリニック	石本 英之	
かもめクリニック	中濱 瑛太郎	
歎義堂 小林医院	小林 紀男	
医療法人誠昌会 えさきクリニック (名称変更)	江崎 秀和	
医療法人たかせクリニック	高瀬 卓志	
井上医院	井上 宏之	
竹中医院	竹中 秀裕	

浪 速 区 29	(医)徳田クリニック	徳田 修
	(医)徳田クリニック	徳田 好勇
	橋村医院	橋村 直隆
	(医)檜山診療所	桧山 寛市
	本田クリニック	本田 秀明
	(医)薫鳳会 落合耳鼻咽喉科	落合 薫
	(医)菱川クリニック	菱川 秀夫
	沢井眼科	澤井 貞子
	佐久間医院	佐久間 靖博
	かねだクリニック	金田 高次
	小池クリニック	小池 洋志
	木田内科消化器科クリニック	木田 徹
	えびす診療所	久保田 泰弘
	耳鼻咽喉科中村クリニック	中村 泰久
	桜川よしえクリニック	金子 良恵
	(医)泰仁会 やまぐちクリニック	山口 貴也
	おおの耳鼻咽喉科	大野 聡史
	(医)入野医院	入野 宏昭
	笹岡医院	笹岡 英明
	(医)理秀会 なんば南藤吉医院	藤吉 理夫
	川田医院	川田 信哉
なんば山田クリニック	山田 郁子	
(医)岡藤会 岡藤クリニック	岡藤 龍正	
(医)瑠香会 あーべいんクリニック	池田 秀博	
中村クリニック	山本 昌弘	
(医)孝尽会 透析クリニック大正橋	杉浦 清史	
福 島 区 21	江頭医院	江頭 明盛
	クダラ医院	百済 尊彦
	猿渡レディスクリニック	猿渡 善治
	田仲循環器科・内科医院	田仲 輝光
	林クリニック	林 為仁
	松下医院	松下 正幸
	森山眼科	森山 穂積
	ちもりメディカルクリニック	千森 弘子
	よこいクリニック	横井 秀保
	あおやま医院	青山 晃子
	福島アイクリニック	桑山 泰明
	泌尿器科 やまなかクリニック	山中 幹基
	愛クリニック	上地 正雄
	(医)桜峰会本場診療所	八尾 宜明
	野田診療所	小濱 譲次
	(医)成基会 相坂クリニック	相坂 章爾
	中村クリニック	中村 幸生
	まさこレディースクリニック	霞 雅子
	くまだ内科・小児科クリニック	木畑 正彦
	中島小児科診療院	中島 滋郎
	医療法人臨研会 今川クリニック	福本 素由己
住 之 江 区 7	東口クリニック	東口 等
	岡村クリニック	岡村 弘光
	中島クリニック	中島 静一
	長谷川内科	長谷川 精一
	長谷川内科	長谷川 浩司
	はなのまちファミリークリニック	杉本 匡弘
	医療法人 桑江クリニック	桑江 秀樹
中 央 区 (南) 33	岩佐クリニック	岩佐 厚
	イワサキ眼科医院	岩崎 直樹
	大島内科医院	大島 久明
	大須賀内科	大須賀 康文

中央区(南)	小島クリニック	小島 昭重	
	川崎皮膚科医院	川崎 紀彦	
	さとう皮膚科クリニック	佐藤 誠紀	
	さとう皮膚科クリニック	瀧北 知子	
	(医)田中小児科医院	田中 祥介	
	寺内クリニック	寺内 陽	
	廣田整形外科皮膚科内科クリニック	廣田 龍二	
	益田クリニック	益田 元子	
	(医)岩佐診療所	岩佐 真人	
	(医)福丸耳鼻咽喉科	福丸 昌宏	
	松澤呼吸器クリニック	松澤 邦明	
	みつもとレディースクリニック	光本 隆吉	
	ふじたクリニック	藤田 富雄	
	(医)松本内科クリニック	松本 淳	
	すとうレディースクリニック	周藤 雄二	
	(医)聖和会 早川クリニック	早川 謙一	
	(医)聖和会 早川クリニック	早川 潤	
	(医)大生會 さくま診療所	佐久間 航	
	(医)大生會 さくま診療所	佐久間 知子	
	安田クリニック	安田 光隆	
	春木レディースクリニック	春木 篤	
	寺内クリニック	寺内 勇	
	河合皮膚科医院	河合 公子	
	(医)東迎会 東迎クリニック	東迎 高意	
	谷口レディースクリニック	谷口 幸一	
	きむ医療連携クリニック	金 永進	
	心齋橋いぬい皮膚科	乾 重樹	
	(医)山田医院	山田 洋	
	なんばくろとびハートクリニック	黒飛 俊哉	
	(医)医誠会 新大阪医誠会クリニック	横田 甚	
	淀川区	希咲クリニック	山分ネルソン祥興
	4	かわばたレディスクリニック	河端 良一
		なかにしキッズクリニック	中西 康詞
うつのみやクリニック		宇都宮 健弘	
旭区	梅壽クリニック	梅壽 圭吾	
3	医療法人清水会 森小路清水会クリニック	左古 昌臈	
	大谷透内科	大谷 透	
	山崎診療所	連 美知子	
東成区	(医)いながきレディースクリニック	稲垣 実	
	中山医院	津久井幾奴子	
	中山医院	津久井 伸一	
	1	タツミ医院	巽 壽一
東淀川区	1	タツミ医院	巽 壽一
平野区	2	元林産婦人科内科	元林 和彦
	日野レディースクリニック	日野 晃治	
都島区	1	祐クリニック	道清 勉

大阪府内

2	池田市	やまだクリニック	山田 祥晴
	松崎産婦人科クリニック	松崎 昇	
茨木市	4	大河内医院	大河内 寿一
	秋岡・西代医院	秋岡 壽	
	(医)中尾内科クリニック	中尾 誠	
4	マキレディースクリニック	田中 善章	
	1	柏原市	益弘産婦人科クリニック
1	吹田市	たてかわ内科クリニック	立川 豊吏
豊中市	(医)槇野クリニック	槇野 淑子	
	(医)上宮医院	上宮 正直	
	(医)直原ウィメンズクリニック	直原 廣明	
	4	ふなこし呼吸器内科	船越 俊幹
東大阪市	(医)由仁会 岡本眼科	岡本 仁史	
	(医)近藤医院	近藤 和秀	
	永井医院	山崎 章子	
	田路医院	田路 秀明	
	西岡ファミリークリニック	西岡 宏彰	
	医療法人三慧会 IVF大阪クリニック	福田 愛作	
	9	西岡医院	西岡 良泰
	森産婦人科	森 政雄	
	(医)弘和会 いわさきクリニック	岩崎 弘登	
2	藤井寺市	数尾診療所	数尾 展
	(医)平成会 平松産婦人科クリニック	平松 恵三	
1	松原市	(医)光仁幸会 西本産婦人科	西本 関男
3	八尾市	きくちレディースクリニック	菊池 知之
	萩原クリニック	萩原 正久	
	堺市	小野クリニック	小野 晃範
4	典子エンジェルクリニック	船越 典子	
	清水レディースクリニック	清水 千賀子	
	きららファミリークリニック	吉良 俊彦	
1	寝屋川市	森田医院	森田 真也
1	大東市	松下診療所	松下 和広
1	大塚山町	たかはしクリニック	高橋 徹
1	高槻市	なかにし産婦人科クリニック	中西 一吉
1	岸和田市	(医)仁睦会 岡森医院	岡森 仁昭

大阪府外

奈良県	(医)久産婦人科・内科	久 靖男
	宇山内科クリニック	宇山 宏和
	(医)久産婦人科・内科	久 裕
4	田中泌尿器科医院	田中 雅登
	(医)社団 ふかみレディースクリニック	深見 和之
兵庫県	黒田医院	黒田 昌男
	玉田クリニック	玉田 大介
	玉田クリニック	北村 哲宏
	5	風川医院

## ニッセイ訪問看護ステーション

スタッフ 担当部長：水上洋子（訪問看護ステーション兼ケアプランセンター担当部長）  
（保健師・介護支援専門員）  
常勤看護師：丸山洋子（訪問看護ステーション師長、ケアプランセンター兼務）  
酒井希代子（リンパ浮腫療法士） 吉井好夏、渡部美沙  
非常勤看護師：山内祐子、小森奈緒子、永田悦子、笹内舞、久間田久美子、巽 陽子  
青木絵里子、小島加津代（介護支援専門員有資格）  
田 弓子（保健師・介護支援専門員有資格） 岡村要  
訪問リハビリ：（日本生命病院リハビリテーション科兼務、理学療法士）  
片岡宏一郎、麦田盛穂、廣田将司、田中 孝、藤岡栄悟、白川 桂、  
安達幸恵、泉本亮二

### 1. 活動報告

地域医療支援病院併設の訪問看護ステーションとして、「予防から治療、在宅まで一貫した総合的な医療サービス」を提供するとともに、地域住民の暮らしを繋ぐ役割を担う医療者として、地域の行政、他機関、多職種と連携を図りながら、住民に寄り添う医療体制を整備し、地域から必要とされる看護が提供できるよう効率的で質の高い訪問看護を提供し、地域の人々の健康維持に努めた。

小児から高齢者まで、すべての年齢層を対象とし、医療依存度の高い利用者や、がん・非がんの終末期、認知症、精神疾患など重度化・多様化・複雑化する医療ニーズに対応するために、訪問看護師と訪問リハビリテーションが協働して自立機能の維持とQOLの向上に配慮した在宅療養の継続に努めた。

月平均利用者数は186名、月平均訪問回数は1,178件（リハビリテーション1件）であった。介護保険利用者は月平均119名（介護予防18名 介護101名）、医療保険利用者は月平均67名であった。（表1）

退院後の在宅移行期の医療的ケアの取得及び介護体制の整備や病状の悪化等により、特別指示書が発行された件数は月平均5件であった。

日本生命病院を主体としつつ、西区を中心とした西部医療圏において多くの医療機関や居宅介護支援事業所と連携を図っている。利用者の居住地は西区が最も多く、次いで港区、大正区の順であった。（表2）

新規利用者の約半数が、日本生命病院から依頼を受け、主治医及び病棟看護師、あったかサポートセンターとの協働による切れ目のない医療・看護の提供及び連携強化に努めた。（表3）

看取りを含め、安心して在宅療養が継続できるよう緊急時及び24時間対応体制を充実させ約6割の利用者が契約している。また、医療機関及び在宅療養診療所との連携、日本生命病院における救急外来との連携や後方支援病院としての入院病床の確保などを行ない日本生命済生会全体として地域の在宅医療の推進に努めた。在宅での看取り件数は21件/年であった。

### 2. 訪問体制

#### 1) 営業日及び営業時間

月曜日～金曜日：午前9時～午後4時（但し、国民の祝日、年末年始は除く）

また状況に応じては、主治医の指示に基づき、営業日・時間以外も対応している。

希望者には電話等により24時間常時電話連絡が可能な体制を整備し、事業所の電話以外に法人契約の携帯電話2台で対応している。

#### 2) 通常の実施地域

大阪市西区、浪速区、港区、大正区、中央区、福島区、此花区

概ね事業所より、半径3km圏内

### 3. 地域包括ケアシステムへの貢献

地域に開かれた訪問看護事業所として人材育成や教育機関として多機能化への取り組みと地域ネットワーク事業への参画に尽力した。

#### 1) 教育機能

(1) 看護学生の実習受け入れ：森ノ宮医療大学、大阪福祉専門学校、大阪医専

(2) 日本生命病院看護部退院支援研修：講義及び訪問看護ステーション実習

(3) 大阪府訪問看護実践研修(教育ステーション)事業として地域の訪問看護ステーションや介護事業所を対象に研修を実施

①災害研修

②自己評価ガイドライン研修

③在宅医療推進のための研修

(4) 訪問介護事業所への喀痰吸引指導

#### 2) 地域ネットワーク事業への参画

(1) 西区在宅医療連絡部会、西区在宅医療・介護連携相談支援事業、認知症等高齢者支援地域連携事業連絡会、認知症初期集中支援事業に参画し地域の高齢者施策へ貢献

表1 保険種別割合 (n=186)

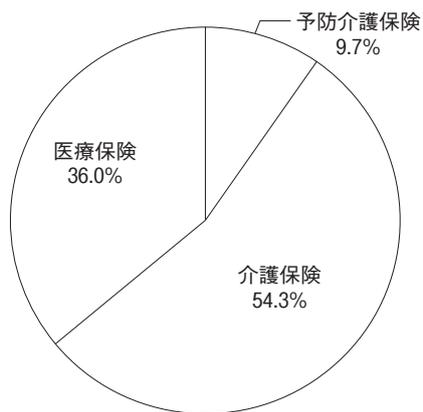


表2 利用者の住居地別割合 (n=186)

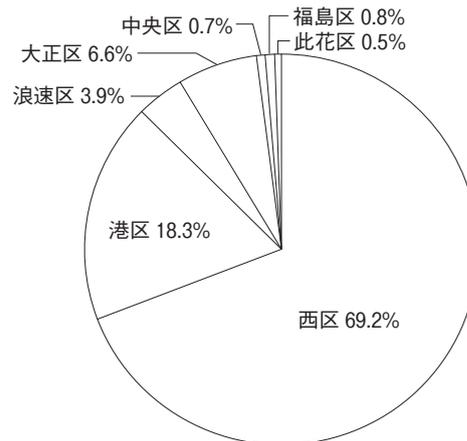


表3 新規利用者 (n=108)

依頼経路		人	割合	
日本生命病院	医師	5	3.4%	47.2%
	あったかサポートセンター	30	43.8%	
他医療機関医師		7	11.2%	15.7%
他医療機関相談員		6	4.5%	
行政・地域包括支援センター		3	1.1%	
本人・家族		6	9.0%	
訪問看護師		3	2.2%	
ケアマネジャー・相談支援センター		48	24.7%	
計		108	100%	

## ニッセイケアプランセンター

スタッフ 管 理 者	水上洋子：保健師・介護支援専門員 (訪問看護ステーション担当部長兼任) 丸山洋子：看護師 介護支援専門員 (訪問看護ステーション師長兼任)
常勤スタッフ	本家裕子：社会福祉士・精神保健福祉士、介護支援専門員 (あったかサポートセンター医療福祉相談グループ副部長兼務) 松栄優子：社会福祉士・介護支援専門員 (あったかサポートセンター医療福祉相談グループ兼務)

地域医療支援病院併設の居宅介護支援事業所として、医療ニーズの高い利用者への医療と介護と福祉の連携強化ができるよう地域の医療機関や介護サービス提供機関との連携を図り、「自立支援」と「尊厳の保持」を尊重し、要介護状態の悪化の予防と維持改善を図るケアプランの立案を行っている。

### 1. 活動状況

- ①基本的には、当院にて入院中からの関わりの中で、他者との関係性の構築が困難なケースや、在宅療養期間が明らかに短いと予想されるケースなどを担当し利用者本位の自立とQOLの向上を目指したケアプランの作成を徹底した。新規の相談に対し、対応困難な場合には、医療依存度及び在宅での生活状況に応じ、公平・中立性の高い適切な居宅介護支援事業所を選択し紹介した。
- ②入院から在宅療養へ円滑に移行できるよう、退院指導への関与や、「生活」を見据えた援助ができるよう病院看護師への退院支援の継続的な研修会を開催した。
- ③介護サービス提供機関との連携強化に努めるとともに、地域における2ヶ月に1回の西区の居宅介護支援事業所連絡会に参加し、ネットワークづくりや情報の共有に努めた。
- ④地域包括ケアシステムの実現に向けて、医療・介護連携事業、在宅医療部会連絡会、認知症高齢者初期集中チームの多職種連絡会への出席により、地域ネットワーク事業に参画した。

# 看護部

スタッフ 看護部長：高鳥郁子  
副看護部長：鈴木八枝子  
調査役：前川明子  
専門部長：大野典子  
教育担当看護師長：田畑文子  
7階病棟看護師長：島津庸子  
8階病棟看護師長：神谷香里  
9階病棟看護師長：岩本真澄  
10階病棟看護師長：森蘭祐子  
集中治療室看護師長：川端千里  
外来看護師長：高崎かおり  
入退院支援センター看護師長：久留明子

医療安全担当看護師長：阿部恭子  
11階病棟看護師長：酒井亜紀子  
12階病棟看護師長：木下園子  
13階病棟看護師長：大和由紀子  
14階病棟看護師長：賀戸ひとみ  
手術室看護師長：下山優子  
救急外来看護師長：高崎かおり（併任）

## 1. 看護部の理念

（公財）日本生命済生会の基本理念『済生利民』に従い、一人ひとりの状態と立場と気持ちに沿った看護を提供します。

## 2. 看護部基本方針

- 1) 患者さんの生命の尊厳と人権を尊重し、心のこもった看護を提供します。
- 2) 患者さんの生活環境を整え、安全で確実な看護を提供します。
- 3) 患者さんの視点に立って業務改善や効率化をはかり個々の職務満足度を高めるよう努めます。
- 4) 専門職としての自己研鑽に努め看護職の責務を果たします。
- 5) 地域医療に貢献する急性期病院としての役割を担い、地域住民から信頼される看護サービスの向上を目指します。

## 3. 2020年度看護部目標

2020年度は、4つの目標を掲げ、看護部委員会、看護師長会、次席師長会が中心となって活動した。目標及び計画立案にあたっては、前年度の活動の振り返りとともに、病院・看護部を取り巻く環境の変化等を考慮しSWOTクロス分析を用いて課題を抽出した。特に2020年度は病院機能評価受審を機会とし、ケアプロセスの充実、チーム医療の強化、多職種協働の推進に各看護単位が連携、協働できることを意識して目標を立案した。また、目標の達成基準、責任者を明確にし、計画立案、中間報告、期末報告を通して達成状況を共有し、目標達成に向けて取り組んだ。

COVID-19の対応においては、2019年度に引き続き感染対策委員会の方針の下「帰国者・接触者外来」、陰圧室10室を活用しての入院患者対応を行った。感染拡大に伴い12月7日から3月12日まで10階外科病棟をCOVID-19専用病棟とし、各病棟から看護師を選抜配置し入院患者対応を行った。

## 2020年度看護部目標

1. 地域ニーズに応える切れ目のない看護の提供
  - 1) 外来から退院まで各部署の連携を強化し、患者の生活を支える看護実践の推進
  - 2) 高齢者・認知症患者の看護の質向上を図る
  - 3) お互いに支え合い、看護のやりがいを感じ、活き活き働ける職場環境作り
2. 働き方改革における業務改善及びチーム医療、多職種協働の推進
  - 1) 機能評価を機会としチーム医療の強化
  - 2) 看護ケアプロセスがわかる看護記録の充実
  - 3) 医療安全の視点で電子カルテの問題点抽出
  - 4) 働きやすい職場環境のための業務改善推進
3. 診療機能の充実に対応できる看護実践力の向上
  - 1) 患者の意思決定支援ができる看護師の育成
  - 2) 専門領域や資格取得者の受講支援と学びを活かす環境作り
  - 3) クリニカルラダーの認定推進
4. 病院経営への積極的な参画
  - 1) 病床稼働率89.1%達成に向けた効率的なベッドコントロール
  - 2) 診療報酬改定に対応した体制の構築
  - 3) 看護実践で算定できるケアの推進と算定漏れ防止対策の徹底

## 4. 看護部の概要

施設基準：急性期一般入院料 1 7：1  
夜間看護体制加算 12：1（8月より）  
看護体制：二交代制（夜勤時間15時間）  
看護方式：固定チームナーシング  
継続受け持ち制（ペアナース制）

## 5. 看護職員数（2021年3月1日現在）

看護師：306名 助産師：22名  
看護助手：30名

## 6. 研修参加状況

- 1) 院内研修 (別表)
- 2) 院外研修 (別表)
- 3) 論文発表 3題 学会発表 15題

11月～12月 (成人看護学) 10名  
 ・四條畷学園大学 (4年課程)  
 1月 (母性看護学) 8名  
 1月～2月 (成人看護学) 17名

## 7. 看護学生実習受け入れ (2020年度)

- ・大阪保健福祉専門学校 (3年課程)
  - 7月 (母性看護学) 5名
  - 1月 (成人看護学) 5名
- ・大阪府病院協会看護専門学校 (3年課程)
  - 2月～3月 (母性看護学) 9名
  - 6月～7月・2月～3月 (成人看護学) 28名
- ・甲南女子大学 (4年課程)
  - 9月～12月 (母性看護学) WEB実習
  - (成人看護学) WEB実習
  - 8月～12月 (助産学) 1名
- ・森之宮医療大学 (4年課程)
  - 10月・12月・2月 (母性看護学) 25名
- ・関西医療大学 (4年課程)
  - 11月 (母性看護学) 10名

・南大阪看護専門学校 (3年課程)  
 6月～8月 (小児看護学) 14名  
 ・大阪医専 (3年課程)  
 6月 (統合実習) 10名  
 6月～3月 (成人/老年看護学) 64名  
 9月～10月 (小児看護学) 5名

## 8. 看護体験受け入れ

新型コロナウイルス感染拡大に伴う緊急事態宣言が発出され、受け入れ中止とした。

## 9. 看護フェア

## 10. 日本生命病院地域連携看護セミナー

新型コロナウイルス感染拡大に伴う緊急事態宣言が発出され、開催できなかった。

## 11. 病棟状況 2020年度 (2020.4～2021.3)

部署	定床	2020年度 平均患者数	病床稼働率	平均在院日数	看護師配置数 (2021.3.1現在)	勤務人員 (2021.3月平均勤務人数)		平均夜勤回数
						日	夜勤	
7階	41	36.9	90.0%	5.9	27	9.8	4.0	4.1
8階	44	35.8	81.4%	6.9	24	9.7	3.0	3.5
9階	43	37.1	86.3%	16.4	25	10.5	3.0	3.5
10階	42	28.7	68.4%	10.8	21	6.1	3.0	1.9
11階	43	37.8	87.8%	15.5	25	9.9	3.1	3.4
12階	44	36.7	83.5%	17.0	31(1)	11.6	3.6	2.7
13階	43	37.6	87.5%	13.9	23	8.9	3.1	1.9
14階	42	35	83.4%	11.0	28	10.4	3.0	2.8
ICU	8	3	37.3%	12.8	19	6.1	3.0	4.8
外来救急診療センター		22.9			39(23)			
手術					24(2)			
管理					151( )			
計	350	288.7	82.5%	10.7	301(27)			

( ) パート

## 12. 看護部委員会活動

### 1) 現任教育委員会委員会 田畑文子

〈2020年度目標〉

- ①教育計画に沿った研修を実施し、評価を行う。
- ②新たな院内認定プログラムを策定する。
- ③現任教育委員がナースングサポートの活用を推進し、全看護職員が2つ以上のテーマを受講できる。

〈活動内容〉

- ①教育計画に沿って、予定通り、研修の企画、準備、実施、評価を行った。

②新たな院内認定プログラムは、リンパ浮腫予防指導ナースと決定し、認定実施に向けて必要な事項を検討し、認定までのプログラムを作成した。また、IVナース認定について、運用マニュアルの内容について検討し造影剤や化学療法までの認定をまとめたものを作成中である。

③学研ナースングサポートの活用については、各部署の現任教育委員が部署ごとに受講テーマを検討し、活用を推進することとなった。現時点で、平均の一人当たりの履修テーマ数は4.0、総アクセス率78%である。昨年度の一人当たりの履

修テーマ数2.71、総アクセス数59.6%に比較すると増加しており、活用の推進の効果はあったのではないかと。全職員が2つ以上のテーマの受講はできなかった。

## 2) 看護記録委員会 神谷香里

〈2020年度目標〉

- ①ケアプロセスのわかる看護記録ができる
- ②看護記録の適正化を図る

〈活動内容〉

- ①委員会の中で入院診療計画書や日々の記録を振り返り、適切に記録できているかを検討した。機能評価受審もスムーズに準備することができた。新人に2回研修を行い、レベルに応じて看護計画立案について演習を行った。
- ②看護記録監査を実施し、2020年度の監査率は83.3%であった。形式監査に注力している傾向があり、今後は質監査の充実に向けて働きかける必要がある。検査中の看護の記録用紙としてテンプレートを2例新規作成し、検査室での看護を病棟でも継続して行う工夫をした。2021年度電子カルテの更新に伴い、看護計画の形式を整える必要があるため、来年度の課題とした。

## 3) 基準・手順委員会 賀戸ひとみ

〈2020年度目標〉

- ①看護業務基準・手順の追加、修正
- ②インシデント事例の多い手順をOJTで確認する
- ③ナーシングメソッドの活用を推進し月間視聴率の向上を図る

〈活動内容〉

- ①現存する全ての看護基準の見直し、修正、追加を行いファイルの製本を行った。また、「麻薬の取り扱い」「CVカテーテルからの採血」の手順を新たに作成した。相互接続コネクタの国際規格に伴い「経腸栄養」の手順の修正と周知をはかった。
- ②インシデント事例より褥瘡の院内発生の予防に向けて「ポジショニング」の手順を作成しそれに添ったOJTを実施した。
- ③手順が変更となった「バルンカテーテルの挿入」「CVカテーテル挿入」「心電図装着」についてナーシングメソッドの視聴を推進し100%の視聴が出来た。

## 4) 看護部経営改善委員会 鳥津庸子

〈2020年度目標〉

- ①重症度、医療・看護必要度の精度管理を行い、A項目のコストを確実にとることができる
- ②認知症・褥瘡ハイリスク・入退院支援等の加算が適正に評価され、対象者を増やす

〈活動内容〉

- ①2020年7月1日より重症度、医療・看護必要度

の評価がⅡへと変更になり、それに伴って監査方法（確認方法）の手順書を作成し、A項目のコスト漏れがないかの確認を各部署で行うようにした。評価変更後の重症度割合が低下することもなく、必要度に関する無駄な記録量も減少した。必要度のためだけでなく、看護師がとるコストの取り漏れを防止するために、電子カルテ内のコスト伝票の見直しを行い、見やすく取りやすいコスト伝票を作成した。

- ②今年度の各加算の状況について部署毎に集計を行い、各部署で適正に評価されているか、対象者に漏れはないか等を検討するため、各部署にフィードバックした。

## 5) 広報委員会 木下園子

〈2020年度目標〉

- ①日本生命病院のホームページをタイムリーに更新する
- ②就職合同説明会、病院見学会などの行事を関連部署と協力し、企画運営評価する

〈活動内容〉

- ①各関連部署で看護部のホームページを見直し、現状にあったものへと更新した。
- ②2月の「マイナビ 就職合同説明会」は薬90名の学生に対して説明を実施した。1月のZOOMによる就職説明会は16施設に対して甲南女子大学看護学科学生24～28名が参加し、活発な質疑応答があった。2月の病院見学会には16名の学生が参加し、1～3年目の病棟看護師が質疑応答に対応し、活発な意見交換が行われた。
- ③看護フェアや地域連携看護セミナー等の活動は、緊急事態宣言発出の為、開催できなかった。

## 6) 看護の質改善委員会 高崎かおり

〈2020年度目標〉

- ①病院機能評価受審を機会とし看護の質を患の視点で評価し改善する患者の生活の場としてふさわしい環境か評価し改善ができる
- ②看護業務の改善に活かせるデータの収集が行える（退院時アンケート・DINQL）

〈活動内容〉

- ①病棟・病室・外来を4カ所に分類し、環境整備ラウンド表を作成のうえ、6月から翌2月まで月1回環境整備ラウンドを繰り返すことで、環境の改善が図られた。
- ②退院時アンケート  
年3回、退院時アンケートを行い集計し報告した。退院時アンケートの意見より、統一した入院時オリエンテーションを行う必要性が指摘され、オリエンテーション用紙、患者用パンフレット（入院のご案内）を作成し運用を開始した。

### 13. 業績

#### 論文・著書

1. Suzuki M, Hotta M, Nagase A, Yamamoto Y, Hirakawa N, Satake Y, Nagata Y, Suehiro T, Kanemoto H, Yoshiyama K, Mori E, Hashimoto M, Ikeda M.: The behavioral pattern of patients with frontotemporal dementia during the COVID-19 pandemic, *Int Psychogeriatr*, 32:1231-1234, 2020年
2. Hashimoto M, Suzuki M, Hotta M, Nagase A, Yamamoto Y, Hirakawa N, Satake Y, Nagata Y, Suehiro T, Kanemoto H, Yoshiyama K, Mori E, Ikeda M.: The Influence of the COVID-19 Outbreak on the Lifestyle of Older Patients With Dementia or Mild Cognitive Impairment Who Live Alone, *Front Psychiatry*, doi: 10. 3389/fpsy. 2020. 5708580, 2020年
3. 百瀬由美子・小原良之・桑田美代子・鈴木智子・高原 昭・長谷川美智子・吉岡佐知子・湯浅美代子・和田奈美子: 2019年度認知症看護認定看護師の活動実態調査報告(その1)活動内容と成果について, *老年看護学*, 25:147-153, 2021年
6. 田畑文子, 石井広美, 大和由紀子, 柱本明子, 高鳥郁子: 新人医療職者のためのリフレッシュと多職種で協働する力を養う取り組みの報告, 第13回日本医療マネジメント学会大阪支部学術集会, 2020年9月, 大阪
7. 高山由美子, 山下利子, 竹永由佳, 灰谷直美, 出口暁子, 廣田将史, 辻 成佳, 東山真里: チーム連携で支える乾癬～看護師が関わった1症例～, 第13回日本医療マネジメント学会大阪支部学術集会, 2020年9月, 大阪
8. 高山由美子, 山下利子, 竹永由佳, 灰谷直美, 出口暁子, 廣田将史, 東山真里: 乾癬センターにおける医療連携～看護師の役割～, 第13回日本医療マネジメント学会大阪支部学術集会, 2020年9月, 大阪
9. 牧田佐和子: 二次救急病院での呼吸ケアサポートチーム(RST)の意義について, 第13回日本医療マネジメント学会大阪支部学術集会, 2020年9月, 大阪
10. 田中敬子: 看護師の認知度調査から見えた医療関連機器圧迫創傷の発生状況における一考察, 第13回日本医療マネジメント学会大阪支部学術集会, 2020年9月, 大阪
11. 二井千里: 手術室看護師が関わる術後せん妄予防, 第13回日本医療マネジメント学会大阪支部学術集会, 2020年9月, 大阪
12. 伊藤清美: 慢性期疾患の患者の服薬の意識と自己管理の実態, 第13回日本医療マネジメント学会大阪支部学術集会, 2020年9月, 大阪
13. 金井講治・長瀬亜岐・池田 学: 大阪府精神科診療機関のHIV陽性者の外来診療の実態, 第34回日本エイズ学会学術集会・総会, 2020年11月, 千葉(WEB開催)
14. 濱田翔子, 松田智子, 山本里紗: 睡眠障害が見られる高齢患者の生活リズムを整える看護介入—百歳体操を取り入れて—, 第51回日本看護学会, 2020年11月, WEB開催
15. 二井千里: 適切な術中VTE予防を実施するためのリスク評価への取り組み, 第42回日本手術医学会総会, 2020年12月, 高松

#### 学会発表

1. 小山佐知子, 田中敬子, 高鳥郁子: 専門領域の異なる認定看護師の連携～卵巣がんの皮膚転移自壊創のケアに難渋した一例～, 第25回日本緩和医療学会学術大会, 2020年8月, 京都(WEB開催)
2. 長瀬亜岐: 高齢者の救急医療(シンポジウム)高齢者救急における看護師の役割, 第62回日本老年医学会学術集会, 2020年8月, 東京(WEB開催)
3. 田中敬子: 専門領域の異なる認定看護師の連携～卵巣がんの皮膚転移自壊創のケアに難渋した一例～, 第25回日本緩和医療学会学術大会, 2020年8月, 京都(WEB開催)
4. 澤山 曜: 免疫抑制剤内服中の患者への感染予防行動の獲得にむけた看護介入, 第13回日本医療マネジメント学会大阪支部学術集会, 2020年9月, 大阪
5. 合田全司: 乾癬患者の継続治療の困難に対する思い, 第13回日本医療マネジメント学会大阪支部学術集会, 2020年9月, 大阪

2020年度 看護部継続教育実績(院内)

研修会名	年月	内容	講師	参加者数
1年目 研修	2020年4月	看護部理念・目標、看護部の組織、看護職の責任と役割、職業倫理、看護サービス	看護部長 高島	27
	2020年4月	医療安全管理体制と安全管理の技術	医療安全管理者 阿部	27
	2020年4月	防犯・防災、非常時・緊急時の対応	副看護部長 鈴木 総務人事G 阪本	27
	2020年4月	看護部の教育体制について [新人年間教育について]	教育担当師長 田畑	28
	2020年4月	安全な薬剤管理	薬剤部部長 野村	28
	2020年4月	安全・確実な与薬の方法	10階次席師長 石井	28
	2020年4月	「院内感染対策指針」 「標準予防策：演習」 感染経路別予防策	感染症看護 専門看護師 大野	28
	2020年4月	酸素療法と看護	13階次席師長 宮田	28
	2020年4月	医療ガス研修	馬場酸素	28
	2020年4月	クリニカルパス	クリニカル パス委員会	28
	2020年4月	移動・移送・移乗・ 体位変換	リハビリテ ーション室 田中	28
	2020年4月	安心・安全な採血	外来次席師長 野口	27
	2020年4月	安心・安全な注射技術	11階次席師長 大藤	27
	2020年4月	排泄への援助	13階次席師長 戸田	27
	2020年4月	抗菌薬、抗ウイルス薬 などの用法の理解と副 作用の観察	薬剤部 池田	27
	2020年4月	看護職としての社会人 基礎力とは	教育担当師長 田畑	27
	2020年5月	「フィジカルアセスメン トの基礎」	救急看護認定 看護師 牧田	27
	2020年5月	コミュニケーション 報告・連絡・相談とは	7階師長 島津	27
	2020年5月	薬剤・放射線暴露防止	がん化学療法 看護認定看護師 大島 放射線科技師長 長澤	27
	2020年5月	ネブライザー吸入、 吸引の技術	12階次席師長 小谷口	27
	2020年6月	導尿・膀胱留置カテー テル	外来次席師長 木村	27

研修会名	年月	内容	講師	参加者数	
1年目 研修	2020年6月	『心電図の装着、見方、 アラーム時の対応』	14階次席師長 源	27	
	2020年6月	インスリン療法と看護	糖尿病看護 認定看護師 角南	27	
	2020年6月	スキンケア・褥瘡予防	皮膚・排泄ケア 認定看護師 田中	27	
	2020年7月	輸液ポンプ・シリンジ ポンプ	臨床工学室 岡崎	27	
	2020年7月	「KYT：患者の療養・ 治療環境から日常生活 に潜む危険について考 えよう」	医療安全管理者 阿部	27	
	2020年7月	「重症度・医療・看護 必要度」	集中治療室師長 川端	27	
	2020年7月	ストレス・マネジメン ト・リラクゼーション 方法	精神科臨床 心理師 丸山	26	
	2020年8月	看護記録と看護過程	8階師長 神谷	26	
	2020年8月	退院支援・医療福祉相談	医療福祉相談G 本家	26	
	2020年8月	輸血時の看護	9階次席師長 篠部	26	
	2020年8月	麻薬の取り扱いと主作 用・副作用	薬剤部 宮原	26	
	2020年9月	「恐れずに多重課題に 取り組もう」	11階次席師長 柱本	25	
	2020年9月	BLS	救急看護認定 看護師 牧田	24	
	2020年9月	輸液療法に必要な薬剤 の知識	薬剤部副部長 足立	24	
	2020年10月	リフレッシュ研修	看護部現任 教育委員	24	
	2020年10月	手術室研修	看護部現任 教育委員	24	
	2020年10月	集中治療室研修	看護部現任 教育委員	24	
	2020年11月	ベッドサイドの看護倫 理I	14階師長 賀戸	25	
	2020年12月	食について考える	集中治療室 石本 リハビリテーション室 四釜	28	
	2021年2月	自分の心に残った看護 場面	看護部現任 教育委員	23	
	2021年2月	1年の振り返り	看護部現任 教育委員	23	
	2年目 研修	2020年5月	メンバーシップ	12階師長 木下	26

研修会名	年月	内容	講師	参加者数
2年目研修	2020年6月	フィジカルアセスメントとISBARC	救急看護認定看護師 牧田	27
	2020年6月	看護過程と看護診断	副看護部長 鈴木	26
	2020年7月	IVナース認定研修	看護部現任教育委員	26
	2020年10月	急変を防ごう！急変時の対応を学ぼう！	救急看護認定看護師 牧田	26
	2021年2月	看護過程事例検討	看護部現任教育委員	25
3年目研修	2020年6月	リーダーシップ研修	入退院支援センター師長 久留	23
	2020年9月	看護過程研修	13階師長 大和	23
	2020年11月	ベッドサイドの看護倫理	がん性疼痛認定看護師 小山	23
	2021年1月	看護過程事例検討	看護部現任教育委員	23
4年目研修	2020年7月	アサーションで看護業務を円滑に	9階師長 岩本	21
	2020年8月	看護過程	慢性疾患看護専門看護師 中村	21
	2020年11月	看護過程事例検討	看護部現任教育委員	21
5年目研修	2020年7月	事例報告から学ぶ看護	慢性疾患看護専門看護師 中村	17
	2020年10月	ベッドサイドの看護倫理3	感染症看護専門看護師 大野	17
	2020年12月	看護過程事例検討	看護部現任教育委員	17
教育担当者研修	2020年4月	教育担当者研修	慢性疾患看護専門看護師 中村	38
	2020年5月	新人看護職員研修の概要	教育担当師長 田畑	34
	2020年8月	今時の教え方に必要なスキル～コーチング～	副看護部長 鈴木	33
	2020年8月	サポート会	教育担当師長 田畑	33
	2020年9月	今時の教え方に必要なスキル～ファシリテーション・リフレクション～	教育担当師長 田畑	38
実習指導者研修	2020年5月	指導者って何だろう 自身を見直してみよう	12階 鶴田	14

研修会名	年月	内容	講師	参加者数
実習指導者研修	2020年8月	現代の看護学生の気質とコミュニケーション事例を通して効果的な指導を考える	8階 姉川	14
	2020年12月	看護学生との関わりを通しての学び	看護部現任教育委員	14
トピックス研修	2020年10月	インシデントレポートの意義、分析とその活用	13階師長 大和	27
	2021年1月	災害看護	救急看護認定看護師 牧田	51
認知症看護	2020年9月	急性期病院における認知症看護①～認知症の原因疾患とアセスメント～	11階 井上	38
	2020年10月	急性期病院における認知症看護②～認知症の原因疾患とコミュニケーション～	11階 井上	52
	2020年12月	急性期病院における認知症看護③～認知症の原因疾患と生活支援～	11階 井上	43
がん看護	2020年11月	発熱性好中球減少症への対応	がん化学療法看護認定看護師 玉井	42
	2020年12月	より良い看取りをみんなで考えよう！	緩和ケアリンクナース	28
	2021年3月	事例を通して血管外漏出の怖さを理解しよう	がん化学療法看護認定看護師 玉井	44
皮膚排泄ケア	2020年7月	スキンケアの予防とケアについて	10階 吉岡	70
	2020年9月	褥瘡予防におけるポジショニング	リハビリテーション室 藤岡	37
	2021年1月	NPWTって何だろう？機械に触れてみよう！	皮膚科医師 赤路	47
糖尿病看護	2020年12月	30分で分かる!?糖尿病の経口薬	糖尿病看護認定看護師 角南	16
	2021年1月	インスリンだけじゃない！糖尿病の治療薬	糖尿病看護認定看護師 角南	17
	2021年1月	インスリンだけじゃない！糖尿病の測定器とインスリンポンプ	糖尿病看護認定看護師 角南	6

2020年 大阪府看護協会主催の研修

コース	研修テーマ	部署	氏名	研修期間
84	分娩期の胎児心拍数陣痛図・無痛分娩時の基礎知識とケア	7階	萬代昌子	8月6日
84	分娩期の胎児心拍数陣痛図・無痛分娩時の基礎知識とケア	7階	片岡郁子	8月6日
トピックス242	「COVID19対応者育成に係る看護管理者研修	管理室	高島郁子	6月25日
トピックス242	「COVID20対応者育成に係る看護管理者研修	管理室	田畑文子	6月26日
トピックス242	「COVID21対応者育成に係る看護管理者研修	管理室	鈴木八枝子	6月30日
トピックス220	日々の健康は眠りから～睡眠負債の解消法～	8階	三好優子	8月28日
トピックス222	中堅看護師の育成～私これでいいの？今考える私のキャリアデザイン	13階	戸田陽子	8月27日
トピックス	covid19 感染症対策の基礎を学ぶ1	外来	田中希弥恵	7月10日
トピックス	covid19 感染症対策の基礎を学ぶ3	14階	脇 法子	7月17日
70	看護研究 量的研究のデザインを学ぼう	14階	野田真梨菜	9月15日
203	認知症高齢者の看護実践に必要な知識	12階	岡部彩子	9月9日、10日
203	認知症高齢者の看護実践に必要な知識	手術室	堤 早苗	9月9日、10日
203	認知症高齢者の看護実践に必要な知識	14階	湯峯里恵	9月9日、10日
203	認知症高齢者の看護実践に必要な知識	11階	森本悦代	9月9日、10日
203	認知症高齢者の看護実践に必要な知識	7階	水越 梓	9月9日、10日
23	アドバンス・ケア・プランニングにつながるための意思決定支援	13階	小川莉永	9月3日
23	アドバンス・ケア・プランニングにつながるための意思決定支援	13階	吉川奈摘	9月3日
23	アドバンス・ケア・プランニングにつながるための意思決定支援	14階	上村優子	9月3日
23	アドバンス・ケア・プランニングにつながるための意思決定支援	外来	中村美智子	9月3日

コース	研修テーマ	部署	氏名	研修期間
55	一般病棟における急変を防ぐ観察と看護のポイント	12階	久野 類	9月9日、10日
トピックス215	経済学で読み解く看護サービス	10階	森菌裕子	9月24日
トピックス215	経済学で読み解く看護サービス	管理室	鈴木八枝子	9月24日
	大阪市看護職員認知症対応力向上研修	12階	小谷口早苗	8月28日
	大阪市看護職員認知症対応力向上研修	7階	水越 梓	8月28日
	大阪市看護職員認知症対応力向上研修	9階	石川奈津実	8月28日
	大阪市看護職員認知症対応力向上研修	13階	澤山 曜	8月28日
	大阪市看護職員認知症対応力向上研修	11階	森本悦世	8月28日
	大阪市看護職員認知症対応力向上研修	ICU	西田朋子	8月28日
	対象の全体把握のためのアセスメント～関連図から患者の全体像を理解しよう～	14階	中北 聖	9月23日
56	がん化学療法をうける患者の看護	9階	平谷友里	10月22日
56	がん化学療法をうける患者の看護	9階	乙幡佳那	10月22日
56	がん化学療法をうける患者の看護	9階	関谷福美	10月22日
71	看護研究～看護研究のデザインを学ぼう～	14階	小林桃香	10月5日
325	大阪府受託研修『新型コロナウイルス感染症患者(重症患者)対応の看護従事者人材育成研修	集中治療室	三宅 誠	8月23日、24日、25日
64	現場で活かす医療メデイエーション		阿部恭子	10月26日
77	看護チームにおけるリーダーシップ	14階	小林桃香	10月29日
22	糖尿病重症化予防フットケア研修	13階	町田有里	10月23日、24日、25日
83	新人看護職員研修 責任者研修	13階	大和由紀子	10月19日、20日、21日
45	高齢者の「食」を考える。～肺炎を予防するための知識と実践	14階	湯峯里恵	10月28日
45	高齢者の「食」を考える。～肺炎を予防するための知識と実践		湯坂久美子	10月28日
5	一次救命処置を学ぼう	14階	竹原知亜希	11月16日

コース	研修テーマ	部署	氏名	研修期間
5	一次救命処置を学ぼう	14階	前田歩美	11月16日
305	退院支援強化研修	9階	神谷香里	10月9日、10日
204	認知症高齢者の看護実践に必要な知識	12階	木下園子	11月18日、19日
204	認知症高齢者の看護実践に必要な知識	14階	新部里美	11月18日、19日
46	SWOT分析で病棟の課題を見つけよう	13階	戸田陽子	11月30日、12月1日
47	実地指導者研修	8階	秦久美子	12月7日、8日
208	eラーニング活用型医療安全管理者養成研修	外来	高崎かおり	9月1日～12月15日 集合 11月8日、12月5日
47	認知症高齢者の理解と看護実践	14階	松本久美	12月2日、3日
38	慢性心不全患者の療養支援	14階	金山美咲	12月16日
38	慢性心不全患者の療養支援	14階	上地 葵	12月16日
トピックス 248	COVID19 感染症対策の基礎を学び、看護実践に活かす	10階	吉岡真菜	12月14日
18	ケア・実践がみえる看護記録	14階	古藪由希子	1月18日・19日
トピックス 218	レポート・小論文の書き方	13階	大和由紀子	2月10日
67	医療安全管理者フォローアップ研修	管理室	阿部恭子	2月19日
トピックス 252	コロナ禍での新人教育を考える	管理室	田畑文子	1月28日
トピックス 252	コロナ禍での新人教育を考える	手術室	下山優子	1月28日
	2020年度 セカンドレベルサードレベルフォローアップ研修		神谷香里	2月2日
	COVID19 感染症対策の基礎を学び、看護実践に活かす	ICU	川端千里	1月30日
トピックス 227	外来看護師が行う在宅療養支援と看護記録（病院対象）	外来	野口夕香子	2月13日
トピックス 217	看護基礎教育のカリキュラム改正～新時代の教育を考える～	13階	大和由紀子	3月16日
トピックス 217	看護基礎教育のカリキュラム改正～新時代の教育を考える～	13階	宮田綾佳	3月16日
トピックス 217	看護基礎教育のカリキュラム改正～新時代の教育を考える～	管理室	鈴木八枝子	3月16日

コース	研修テーマ	部署	氏名	研修期間
トピックス 255	看護管理者研修「withコロナ時代を生き抜く看護管理者の心構え」	管理室	高鳥郁子	3月4日
トピックス 231	現場で知っておきたい外国人対応	7階	西川瑞希	3月13日
トピックス 231	現場で知っておきたい外国人対応	7階	佐伯翔子	3月13日

管理者	認定看護管理者教育課程 ファーストレベル	13階	石井広美	8月11日～9月28日
管理者	認定看護管理者教育課程 セカンドレベル	7階	高津庸子	10月6日～12月22日
指導者	大阪府保健師助産師看護師実習指導者講習会	14階	宇埜美奈子	9月1日～10月30日

# 国際室

スタッフ 室 長：許斐正啓（事務局長兼任）  
副 部 長：陶 彬毅（国際医療コーディネーター）  
中国語医療通訳：飯田 香（常勤）、張 婷（非常勤）、倉員郁絵（非常勤）

## 概要：

在日・訪日外国人の増加に伴い、言語の壁を無くし、日本語の不自由な患者さんが安全・安心な医療を受けられるように、2019年4月から国際医療コーディネーターと医療通訳者を配置して、中国語と英語のサポートを開始した。同年5月には、「大阪府外国人患者受入れ地域拠点医療機関」に選定され、対応患者数が増加してきたため、医療の国際化への対応を推進すべく、同年10月に国際室を新設した。

2020年4月には、外国人患者受入れに適した医療機関として「ジャパンインターナショナルホスピタルズ（JIH）」推奨病院に認証された。また、同年9月には、「医療通訳者、外国人患者受入れ医療コーディネーター配置等支援事業」における間接補助事業者を選定された。

## 1. 業務内容

### 1) 言語サポート

日本語の不自由な患者さんが受診する際に、言語サポートを行っている。

#### ①対面通訳

原則として、外来診療日の診療時間内では、中国語と英語の対面通訳が対応できる体制を整えている。

#### ②電話通訳

診療時間外の対応は、「大阪府外国人患者受入れ地域拠点医療機関」の支援事業による電話通訳で、24時間365日カバーしている。（英語・中国語・韓国語・スペイン語・ポルトガル語・ベトナム語・タガログ語）

#### ③その他のツールの活用

- ・各現場に合わせ、オリジナルのコミュニケーションツール（指差しボード）を作成・活用している。
- ・通訳のニーズが高い部署には翻訳機器（ポケット、74言語対応）を配置し、簡単なコミュニケーションが現場で取れるようにしている。

### 2) 医療の国際化に対応する院内体制の整備

院内表示や院内書類の多言語化など、日本語の不自由な患者さんがスムーズに受入れられる環境を整備している。

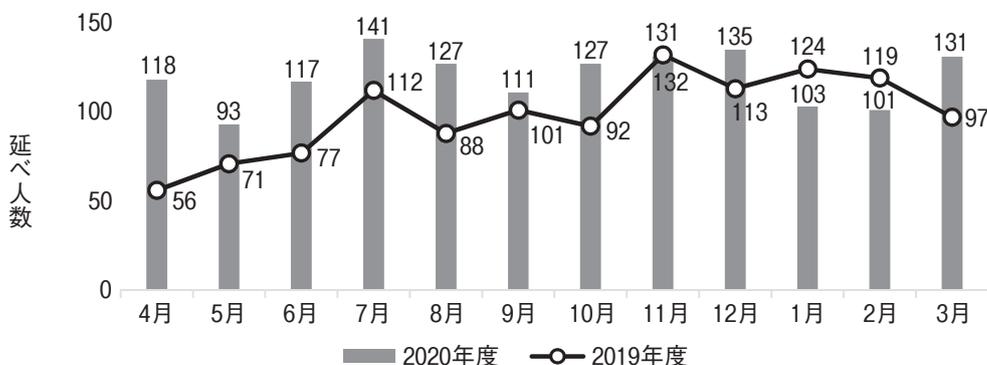
### 3) 国際関係の連絡窓口

日本語・中国語・英語での診療問合せ等（電話・メール）に対応している。

## 2. 業務実績

2020年度、国際室が対応した延べ件数は1,435件（前年度1,182件）となった。

対応延べ件数（月次推移）



対応した患者の国籍は、表1の通りである。  
 言語別では中国語約85%（前年度約89%）、英語約14%（前年度約8%）、日本語約1%（前年度約3%）

であった。なお、居住地別では、コロナ禍によりほとんどの患者さんが在日であった。

表1 国籍別対応延べ数（年度）

国籍	対応数（*）
中国	1,164 (1,012)
アメリカ	62 (38)
日本	55 (46)
フィリピン	35 (3)
パキスタン	33 (10)
ネパール	20 (16)
オーストラリア	18 (3)
英国	9 (1)
イラン	6 (0)
スリランカ	6 (0)
ジャマイカ	3 (0)
イタリア	2 (0)
インド	2 (6)

国籍	対応数（*）
ドイツ	2 (2)
バングラディッシュ	2 (0)
フランス	2 (5)
ベトナム	2 (1)
アルメニア	1 (0)
インドネシア	1 (0)
シンガポール	1 (1)
スロベニア	1 (0)
チュニジア	1 (0)
ニュージーランド	1 (0)
ハンガリー	1 (2)
ペルー	1 (0)
不明	4 (11)

（\*）カッコ内は前年度の対応数。

## ニッセイ予防医学センター

スタッフ センター長：栗波仁美

副センター長：大山摩佐子（検査診断科部長）

担当部長：住谷哲（糖尿病・内分泌センター長）

常勤医師：泉由紀子、河面 聡、眞弓周子、永田彩織、中村秀次（顧問）

### 1. 2020年の概要

予防医学センターは2018年4月30日に新築開院した日本生命病院に移転し、今年度は3年目となった。さらなる飛躍を、と目標を立てていたところ、全世界を襲ったコロナ禍により大阪に緊急事態宣言が発令され、4月8日より5月31日までの間予防医学センターとしての業務を休止せざるを得ない事態となった。そのため人間ドック受診者総数は11,475名に止まり、対前年度23%減となった。（表1）。定期健診受診者も32,624名と対前年度13%の減少となった。

健診の質および快適な受診環境の維持・向上を目指して、専門医師による診察、内視鏡検査、読影、診断、およびダブルチェック体制を維持し、看護師による専門的なケア、保健師による指導、放射線技師、臨床検査技師による専門的検査を行うようにしている。また人間ドックの午前3診体制を平日毎日実施するとともに、協会けんぽを対象とした午後健診を含む午後の診察も平日毎日実施とした。消化器内視鏡センターとの連携を密にし、2019年度は鎮静下内視鏡・経鼻内視鏡増にも対応した結果、上部消化管内視鏡検査は5,803件と増加したものの、2020年度はコロナの関係で感染対策を講じる必要があり1日あたりの件数を減らしたため2,570件と減少に転じている。当センターの特徴である女性に優しい健診施設としての特色をより充実させるため女性医師による婦人科検診を平日毎日実施するとともに、レディースデイを月2回、2診体制としている。メンタルヘルスサポート事業では、産業医受託企業を中心に35社、1万名弱のストレスチェックを実施し、そのうち14社で集団分析を実施し報告した。精神科医師、公認心理師によるコンサルテーションも実施し、メンタルサポート体制をより充実させ、産業医も含めてストレスチェックの実績は着実に積みあがっている。また、2020年度の受診者リピート率は人間ドック全体で76.8%であった。

社会福祉事業として、児童福祉施設を中心として22施設、入所者964名を対象として無料低額健診を継続実施した。また、8月に母子家庭に対する公募方式による無料乳がん検診を引き続き実施した。

日本生命と共同で糖尿病予防プログラムを開発し、最新の情報通信技術を活用した遠隔指導を実験的に行っていたが2020年度は有償にて行った。日本生命職員や地方自治体職員等を対象に実施し指導結果が判明している団体データでは体重や血糖値などで着実な改善が認められた。また学会活動として人間ドック学会に1題、日本医

療マネジメント学会に5題発表した。

2020年度人間ドック受診者の解析結果を以下に示す。人間ドック受診者の要治療率、要精密検査率は総計で11.3%、49.3%であり、昨年度とほぼ同率であった。年代別、性別の要治療（D1）率、要精密検査（D2）率を表2に示す。要治療率は今年度は男性も女性も同じで50～60歳未満が高く、なかでも女性が12.4%で最も高かった。要精密検査率では男性では40歳未満では39.9%であったが、年齢とともに増加し、50歳以上では48.4%、60歳以上で61.9%に達した。女性の要精密検査率について2020年度は男性と同様の傾向を示しており40歳未満は40.4%で、年齢とともに上昇して、60歳以上では56.3%であった。要治療（治療中を含む）、要精密検査項目の男女別の上位5項目を表3に示す。要治療では、男性はTop5すべてが今年度も生活習慣病であり、1～3位は昨年と同じで、1位は高血圧で24.4%、2位は高コレステロール血症で17.9%、3位は高中性脂肪15.3%であった。4位は糖尿病と高尿酸血症が10.1%で、同率であった。一方、女性でも、1～3位は昨年と全く同じで、高コレステロール血症、高血圧、高中性脂肪であったが、4位は血液疾患、5位は眼科疾患と2018年の順位に戻った。高尿酸血症が女性では少なく男性で多いのは飲酒の影響と考えられた。要精密検査では、眼科疾患が男女とも1位でそれぞれ23.7%、15%であった。男性では肝機能異常が2位17.1%で、3位が肛門・大腸疾患、4位は腎・尿路疾患、5位が心電図異常と昨年度とは様変わりした。女性では、潜血尿が大部分を占める腎・尿路疾患が昨年よりさらに低下し6.3%で3位となり、かわりに婦人科疾患が2位に浮上、肝機能疾患が4位となり乳房疾患は5位であった。呼吸器疾患が今回上位に入らなかったのはそもそもコロナ感染対策の一貫で呼吸機能検査を2020年度は中止していたためと考えられる。

D1、D2判定者で健診精査内科および日本生命病院各診療科に紹介した人間ドック受診者の内訳を表4に示す。各専門診療科の協力によりコロナ禍においても病院の受診者数は1322名おり消化器内科、総合内科、眼科、産婦人科、循環器内科、乳腺外科が上位を占めた。精密検査の確実な実施を含めたD1、D2フォロー体制を強化するため、1か月後フォローの実施と3か月フォローの複数回勧奨を定着させ、人間ドック診察説明時の対応も工夫し、要治療要精検者の病院受診率の向上に努めている。

表1 定期健康診断・人間ドック受診者数(運営会議資料抜粋)

	2020年度	対前年	備考
	名	%	
定期健康診断	32,624	87%	
人間ドック (日帰り)	6,168	75%	標準コースの 人間ドック
人間ドック (生活習慣病)	5,109	79%	協会けんぽなどの 簡易ドック
専門ドック (脳・肺ドック)	198	133%	
人間ドック 合計	11,475	77%	

表2 日帰り人間ドック受診者の年齢別、性別の要治療項目と要精密検査項目の頻度

	要治療項目 (D1)					
	男		女		全体	
	%	人数	%	人数	%	人数
39歳以下	7.2%	20	8.5%	27	7.9%	47
40-49歳	11.9%	97	12.3%	116	12.1%	213
50-59歳	12.2%	164	12.4%	126	12.3%	290
60歳以上	10.6%	88	8.8%	45	9.9%	133
総計	11.3%	369	11.3%	314	11.3%	683

	要精密検査項目 (D2)					
	男		女		全体	
	%	人数	%	人数	%	人数
39歳以下	39.9%	111	40.4%	128	40.2%	239
40-49歳	42.5%	347	45.3%	427	44.0%	774
50-59歳	48.4%	652	51.1%	521	49.6%	1,173
60歳以上	61.9%	514	56.3%	287	59.8%	801
総計	49.6%	1,624	48.9%	1,363	49.3%	2,987

※健診システム(タック)より日帰り人間ドックコースのみ、判定D1(要治療)、D2(要精密検査)を抽出  
 %は年齢別要治療・要精密検査数/年齢別全受診者数\*100  
 総計の%は性別総計数/全受診者数\*100

表3 性別による要治療(治療中含)・要精密検査の上位5項目(日帰り人間ドック受診者)

NO	男性			NO	男性		
	要治療項目(D1)	%	人数		要精密検査項目(D2)	%	人数
1	高血圧	24.4%	798	1	眼科疾患	23.7%	773
2	高コレステロール血症	17.9%	584	2	肝機能疾患	17.1%	559
3	高中性脂肪血症	15.3%	500	3	肛門・大腸疾患	7.1%	225
4	糖尿病	10.1%	332	4	腎・尿路疾患	5.7%	187
5	高尿酸	10.1%	331	5	心電図疾患	5.1%	166

NO	女性			NO	女性		
	要治療項目(D1)	%	人数		要精密検査項目(D2)	%	人数
1	高コレステロール血症	13.4%	373	1	眼科疾患	15.0%	416
2	高血圧	10.2%	284	2	婦人科疾患	15.9%	338
3	高中性脂肪血症	9.0%	250	3	腎・尿路疾患	6.3%	176
4	血液疾患	4.9%	137	4	肝機能疾患	6.0%	167
5	眼科疾患	4.5%	124	5	乳房疾患	6.9%	157

※各検査項目の数値・判定より抽出(センター医師による判断)  
 要治療・要精密検査項目は治療中Eを含む  
 %は各検査要治療受診者数/各検査受診者数\*100 %は各検査要精密受診者数/各検査受診者数\*100

表4 要治療・要精密検査判定者の日本生命病院への紹介(運営会議資料抜粋)

総数	1,322人		
消化器内科	448人	腎臓内科	58人
内視鏡センター	6人	泌尿器科	28人
総合内科	289人	精査内科	1人
眼科	229人		人
産婦人科	131人		人
循環器内科	73人		人
乳腺外科	59人		人

表5 2020年度 人間ドック・協会けんぽリポート率

	前年リポート数	リポート率
人間ドック(日帰り)	4,739	76.8%
協会けんぽ(生活習慣病)	3,739	73.2%

※リポート率は前年リポート数/人間ドック(協会けんぽ)総受診者数\*100

## 1. 日本生命病院医学セミナーUpdate

開催月日	テ ー マ	講 師		参加人数
2020年6月12日	日常診療に潜む下垂体疾患 ～100 and more～	院長	笠山宗正	92名
2020年7月10日	新型コロナウイルスを知って、向き合う ～小児科医の観点から	小児科部長 院内感染対策委員会委員長	西垣敏紀	308名
2020年8月7日	ゲノム診療のための 病理組織検体の取り扱い	病理診断科部長代行	城光寺龍	62名
2020年9月4日	頭頸部がんの診療について	耳鼻咽喉・頭頸部外科	金澤成典	86名
2020年10月23日	呼吸器外科、術式と呼吸機能	呼吸器外科部長代行	富田栄美子	71名
2020年11月6日	遺伝子パネル検査、 どないして出すんやったっけ？	乳腺外科部長	西田幸弘	45名
2020年12月4日	高齢者医療の課題－ 地域医療に関連して	予防医学センター長	栗波仁美	53名
2021年1月8日	止血・凝固異常について	血液・化学療法内科部長	川上 学	70名
2021年2月12日	小児の発達・成長曲線から疾患を読む	小児科副部長	中長摩利子	43名
2021年3月4日	MRI検査の概要について	放射線診断・IVR科副部長	牧 大介	52名

## 2. 1年目研修医オリエンテーション

日程	時間	場所	研修内容	担当
4月1日	8:30~8:45	5階 大会議室2	辞令交付	総務人事G
	8:50~9:30		研修医の就業規則、入会書類説明、その他	
	9:30~10:40	5階 大会議室1	研修プログラム説明・4月オリエンテーション説明	臨床研修部長(宇都部長代行)
	10:40~12:00		研修医の就業規則、入会書類説明、その他	総務人事G
	上記どこかで		説示	笠山院長
	13:00~	あったかふれあいホール	入会式・オリエンテーション 社会・地域に求められる当院の役割と機能 済生会におけるリスク管理 ・個人情報保護などに関わるマニュアル、他 就業規則・手続き	事務長
	14:10~16:30			事務担当者
	16:30~17:10	5階 会議室2	研修医の就業規則、入会書類説明、その他	総務人事G
17:10~19:00	あったかふれあいホール	進発式	総合企画部・総務人事G	
4月2日	8:30~10:30	あったかふれあいホール	医療安全管理体制と安全管理の技術 困難な患者への対応 (暴力・暴言のある患者対応について) インシデント・アクシデント、医療過誤 (インシデント・アクシデントレポートの作成方法 医療事故の対応)	看護部
	10:40~12:00		防犯・防災、非常時・緊急時の対応	看護部・総務人事G
	13:00~14:30		部署紹介	各所属長
	14:40~15:20		自己紹介	看護部・総務人事G
	15:30~17:00		院内スタンプラリー	看護部・総務人事G
4月3日	8:30~9:30	5階 会議室2	医療倫理：ヘルシンキ宣言、リスボン宣言 (人間の尊厳、守秘義務、倫理的ジレンマ、 利益相反、ハラスメント、不法行為の防止 等)	臨床研修部(宇都部長代行)
	9:30~10:30		インフォームド・コンセント	臨床研修部(宇都部長代行)
	10:30~12:00	5階 大会議室1・2	重症度、医療看護必要度研修	看護部
	13:00~14:00	あったかふれあいホール	安全な薬剤管理	薬剤部
	14:00~15:00	5階 会議室3	リハビリ依頼について	リハビリテーション室(片岡副技師長)
	15:00~17:00	中央臨床検査室	剖検、CPC	中央臨床検査部
			生化学・免疫学・血液学、輸血検査	
血液ガス分析				
生理学検査(心電図) 腹部・心エコー検査 微生物(グラム染色)、病理検査				
4月6日	8:30~12:00	あったかふれあいホール	院内感染対策指針、標準予防策、 手洗い・清潔操作、感染経路別予防策	看護部 感染リンクナース
	13:30~14:30		医療ガス研修	馬場酸素
	14:30~15:30	放射線科	造影CT検査	放射線・IVR科(小林部長)
4月7日	8:30~12:30	あったかふれあいホール	院内感染対策指針、標準予防策、 手洗い・清潔操作、感染経路別予防策	看護部 感染リンクナース
	13:30~15:00		クリニカルパス	クリニカルパス委員会
	15:10~16:20	5階 大会議室2	電子カルテ基本操作	情報システムG
	16:20~17:00		カルテ記載、病歴管理、文献検索等	診療情報管理室(橋本部長・宮本課長)
4月8日	8:30~17:00	あったかふれあいホール	安心・安全な注射技術 演習)点滴静脈内注射(血管確保は医師のみ) 輸液ルートのセット、加薬、生食ロックの方法	看護部 次席手順担当者
	13:00~14:00	薬剤部	薬剤処方	薬剤部(足立副部長)
	14:00~15:00	5階 役員会議室	病診連携	あったかさポートセンター(西岡課長)
	15:00~16:00	5階 役員応接室	時間外診療について	臨床研修部(宇都部長代行)
	16:00~17:00		ローテーション決定、死亡診断書、その他	臨床研修部(宇都部長代行)
4月13日	13:00~14:00	栄養管理室	栄養指導	栄養管理室(坂本職員)
	14:00~15:00	5階 役員会議室	レセプト、医療費など	医事サービス部(村上担当部長)
	15:00~16:00		救急診療	救急総合診療科(岸院長補佐)
	16:00~17:00	5階 会議室2	抗菌薬適正使用	中央臨床検査部(岸院長補佐)
4月14日	9:30~17:00	あったかふれあいホール	退院支援・医療福祉相談・地域包括ケア	看護部 医療福祉相談G(本家副部長)

### 3. 実習生等受け入れ

部門	学校名	期間	人数
総合内科 血液・化学療法内科	大阪大学	2020.9.28~2020.10.9	1名
		2020.9.14~2020.9.25	2名
血液・化学療法内科	兵庫医科大学	2021.3.8~2021.3.19	2名
		2021.3.22~2021.3.26	2名
形成再建外科	兵庫医科大学	2021.3.8~2021.3.19	2名
		2021.3.22~2021.3.26	2名
神経科・精神科	武庫川女子大学	2020.9.28~2020.12.21	1名
消化器内科	神戸大学	2021.1.13~2021.2.1	3名
		2021.2.8~2021.3.5	3名
救急総合診療科	大阪市消防局(救急救命士)	2021.1.8~2021.1.27	2名
薬剤部	大阪薬科大学 (現 大阪医科薬科大学)	2020.7.13~2020.9.27	1名
		2020.10.5~2020.12.20	3名
		2021.1.5~2021.3.21	3名
	大阪大谷大学	2020.5.25~2020.8.9	1名
	近畿大学	2020.7.13~2020.9.27	1名
	武庫川女子大学	2020.7.13~2020.9.27	1名
		2021.1.5~2021.3.21	1名
	同志社女子大学	2020.10.5~2020.12.20	1名
中央臨床検査部	関西医療大学	2020.9.14~2020.11.13	2名
	大阪医療技術専門学校	2020.6.25~2020.9.11	4名
	森ノ宮医療大学	2020.10.1~2020.11.30	2名
中央放射線部	大阪物療大学	2020.10.1~2020.12.16	2名
	大阪行岡医療 専門学校	2020.7.1~2020.7.30 2020.9.1~2020.9.30	1名
		2020.7.1~2020.7.30 2020.10.1~2020.10.30	1名
		2020.7.1~2020.7.30	1名
		2020.9.1~2020.9.30 2020.10.1~2020.10.30	1名
		2020.9.1~2020.9.30	1名
		2020.10.1~2020.10.30	1名
		2020.9.7~2020.9.11	2名
2020.9.14~2020.9.18	2名		
栄養管理室	大手前大学	2021.3.8~2021.3.19	2名
		2020.9.14~2020.9.18	2名
		2020.9.7~2020.9.11	2名
リハビリテー ション室	相愛大学	2020.11.9~2020.11.20	2名
	藍野大学	2020.11.9~2020.12.5	1名
	大阪医専	2020.10.26~2020.11.21	1名
	白鳳短期大学	2021.1.12~2021.1.29	1名
	京都滋慶学園京都医療専門学校	2021.1.27~2021.2.27	1名
	関西医療学園 専門学校	2021.2.22~2021.2.27 2021.3.1~2021.3.6	1名 1名
ニッセイ訪問看護 ステーション	大阪医専	2021.1.18~2021.1.28	2名
		2021.2.22~2021.3.4	2名

部門	学校名	期間	人数
看護部	南大阪看護専門学校	2020.5.14~2020.9.1	16名
	大阪保健福祉 専門学校	2020.6.30~2020.7.7	5名
		2020.7.6~2020.7.10	5名
		2020.8.3~2020.8.12	5名
		2021.1.21~2021.1.27	5名
	大阪医療看護 専門学校	2020.7.20~2020.7.31	5名
		2020.8.24~2020.9.4	5名
		2020.10.12~2020.10.23	5名
	甲南女子大学 (WEB)	2020.5.29、2020.6.3	23名
		2020.6.4~2020.6.5	23名
	大阪府看護協会	2020.11.16~2021.2.12	9名
	大阪府病院協会看護専門学校	2020.8.3~2020.8.24	140名
	四条畷学園	2021.1.12~2021.1.20	5名
		2021.1.12~2021.1.26	5名
		2021.1.26~2021.2.3	5名
		2021.2.2~2021.2.17	5名
	関西医療大学	2020.10.20~2020.10.29	5名
		2020.12.1~2020.12.10	10名
		2020.11.4~2020.11.6	5名
		2020.11.17~2020.11.26	5名
	甲南女子大学	2020.8.18~2020.9.30	1名
		2020.5.29、6.3-5.9、9.16、 10.4、12.4、12.8、12.15	WEB
	大阪医専高度看護保健学科	2020.6.1~2021.3.4	53名
森ノ宮保健医療学部看護学科	2020.10.5~2021.2.26	77名	

※以下はCOVID-19感染防止のため実習中止となったものです

総合内科	大阪大学	2020.5.11~2020.5.22	1名
		2020.7.27~2020.7.31	3名
血液・化学療法内科	大阪大学	2020.4.6~2020.4.17	2名
		2020.7.6~2020.7.17	2名
神経科・精神科		2020.6.1~2020.6.4	2名
皮膚科		2020.6.15	1名
総合内科	兵庫医科大学	2020.4.6~2020.4.17	1名
		2020.4.6~2020.5.1	1名
消化器内科	兵庫医科大学	2020.4.20~2020.5.1	1名
循環器内科		2020.4.6~2020.4.17	1名
循環器内科		2020.4.20~2020.5.1	1名
循環器内科	大阪医科大学	2020.5.11~2020.6.5	2名
リハビリテー ション室	白鳳短期大学	2020.4.6~2020.5.29	1名
	大阪保健医療大学	2021.2.1~2021.2.13	1名
	大阪リハビリテーション専門学校	2020.6.8~2020.7.31	1名
	大阪医療福祉専門学校	2020.11.30~2020.12.4	1名

#### 4. 講演会・研修会

##### 【院内職員対象】

日程	講演会・研修会	主催・関係課等	場所
7月10日	第43回院内感染対策委員会（ICT）教育講演会 第126回日本生命病院医学セミナーUpdate ・「新型コロナウイルスを知って、向き合うー小児科医の視点から」 小児科部長 院内感染対策委員会委員長 西垣 敏紀	感染対策委員会	あったか ふれあい ホール
9月30日	令和2年度 第1回 医療安全研修 講演テーマ：「Googleから学ぶ！ ー心理的安全性が医療チームにくれるものー」 近畿大学病院安全管理室 医療安全対策室 辰巳 陽一 先生	医療安全管理委員会	あったか ふれあい ホール
10月6日	病院機能評価受審講演会 「病院に求められる課題と対応 ～病院機能評価受審を通じて～」 講師：北摂総合病院 院長 小林 一郎 先生	病院機能向上委員会	5階 大会議室2
10月29日	医療コミュニケーション研修（接遇研修） 「効果的なコミュニケーションの実践 ～コミュニケーションのメカニズムを知る～」 奈良県立医科大学 公衆衛生学講座 岡本 左和子 先生	福祉事業局	あったか ふれあい ホール
11月17日	2020年度第1回 感染防止対策病院連携合同カンファレンス 大阪みなと中央病院、大阪掖済会病院、日本生命病院 ・合同カンファレンス ・職種別分科会	感染対策委員会	あったか ふれあい ホール 院内各所
11月25日	せん妄についての研修 せん妄の病態と治療 神経科・精神科 副部長 鈴木由貴 せん妄を起こしやすい薬剤 薬剤師 森岡 浩子 せん妄へのケア 認知症看護認定看護師 高原昭	脳機能センター	あったか ふれあい ホール
12月8日	医療ガスの安全な取り扱い研修会 ・酸素ボンベの取り扱いについて ・医療ガスでのヒヤリハット事例 ・医療ガスでの事故事例	医療ガス 安全管理委員会	あったか ふれあい ホール
12月22日	令和2年度 第2回 医療安全研修 1. ワーキング活動報告 ・医薬品安全管理ワーキング ・医療機器安全管理ワーキング 2. 児童虐待とその対応について	医療安全管理委員会	あったか ふれあい ホール
12月23日	第2回保険診療講習会 演題：適時調査に向けて ～「臨床研究病院入院診療加算」の施設基準要件で ある全病院を対象とした講習会	医事サービス部	あったか ふれあい ホール
1月14日	倫理コンサルテーションチーム活動報告 「医療期間におけるACPとは」 講師：大阪大学大学院医学系研究科 （居の倫理と公共政策学） 古結 敦士 先生	倫理委員会・ 教育委員会	あったか ふれあい ホール
1月21日	人権研修 「インターネットと人権、個人情報保護」 講師：大阪企業人権協会 講師団講師 古野 哲司氏	教育委員会 総務人事G	あったか ふれあい ホール

日程	講演会・研修会	主催・関係課等	場所
1月29日	輸血療法講演会「クイズで学ぶ輸血療法」 講師：血液・化学療法内科 部長 川上 学	輸血管理室 医事課	あったか ふれあい ホール
2月2日	院内研修「喫煙の害と禁煙治療について」 講師：予防医学センター 副部長 河面 聡	総務人事G	あったか ふれあい ホール
2月16日	2020年度第2回 感染防止対策病院連携合同カンファレンス 大阪みなと中央病院、大阪掖済会病院、日本生命病院 ・合同カンファレンス ・職種別分科会	感染対策委員会	あったか ふれあい ホール 院内各所
3月2日	1年目研修医症例報告会	総務人事G	あったか ふれあい ホール
3月6日	I 第41回 看護研究発表会 ①「レディース病棟で働く看護師が重要視している看護と 女性生殖器手術を受けた患者の満足度の比較」 7階病棟 古島 優里 ②「短期入院の白内障術後における自己点眼実施状況の実 態調査」 8階病棟 牧添 優季 ③「早期リハビリテーションに対する集中治療室看護師の 認識～理学療法士との連携を目指して～」 集中治療室 永易 ひろみ ④「人口膝関節置換術・人工股関節置換術における術後せん 妄予防へのアロマセラピーを用いたアプローチ～せん 妄予防に向けての芳香浴の効果～」 12階病棟 中西咲弥花 ⑤「乾癬1週間入院パス患者の退院後のセルフケア状況の 調査」 11階病棟 秋山 麗 ⑥「肺がんの初回化学療法・放射線療法を受ける患者の前 向きな思い」 13階病棟 吉川 奈摘 ⑦「大腸内視鏡検査時の安全・安楽な体位保持の検証～両 足台と右足台の比較～」 外来 村上 真紀 ⑧「無菌室へ入院している患者の口腔ケア～個別性のある 看護介入をめざして～」 9階病棟 川村 麻彩子 ⑨「腹腔鏡手術における手術室エキスパートナースの危険 予知に対する危険回避行動の分析」 手術室 二井 千里 ⑩「急性期病棟における看護師の経験年数における終末期 ケアに対する困難感の違い」 10階 辻野 沙季 ⑪「腹膜透析導入患者を対象とした退院前訪問・退院後訪 問を行った事例報告」 II 看護部委員会活動報告会	看護部	あったか ふれあい ホール  5階 大会議室 1・2
3月9日	2年目研修医臨床研究発表会	総務人事G	5階 大会議室 2
3月29日	佐藤名誉院長 特別講義	総合企画部	あったか ふれあい ホール

【医療関係者対象】

日程	講演会・研修会	主催・関係課等	場所
9月5日	第21回 あわぎフォーラム 病診連携学術講演会 I 講演会 ①「当院における認知症診療」 特任副院長 兼 脳神経内科部長 兼 脳機能センター長 芳川 浩男 ②「子どもたちの発育、発達の問題を診断する ～当院小児科でできること～」 小児科部長 西垣 敏紀 II 特別講演 「最新の呼吸器外科手術の現状と展望」 大阪大学 外科学講座 呼吸器外科学 教授 新谷 康	あったかサポート センター	あったか ふれあい ホール
2月27日	日本生命病院 緩和ケア (PEACE) 研修会	がん治療センター 緩和ケアチーム	あったか ふれあい ホール
2月28日	日本生命病院JMECCコース 日本内科学会認定 内科救急・ICLS講習会	ACLS委員会	あったか ふれあい ホール

【一般・患者対象】

日程	講演会・研修会	主催・関係課等	場所
8月14日	日本生命病院 市民健康セミナー ～30分でよくわかる健康講座～ 「暑い夏を乗り切るために今から出来ること」 糖尿病認定看護師 角南 ちえ子	あったかサポート センター	あったか ふれあい ホール
9月11日	日本生命病院 市民健康セミナー ～30分でよくわかる健康講座～ 「長引く 咳 その原因は？」 講師：総合内科 立花 功 副院長	あったかサポート センター	あったか ふれあい ホール
10月3日	「日本生命病院 市民健康セミナー」 『お薬は生物?!～大切に管理しましょう!～』 薬剤部：森岡浩子 『糖尿病治療の最近の話題』 糖尿病センター長：住谷 哲	糖尿病・内分泌 センター	あったか ふれあい ホール
10月9日	日本生命病院 市民健康セミナー ～30分でよくわかる健康講座～ 「がんの痛みに使うお薬」 講師：薬剤部 足立 充司	あったかサポート センター	あったか ふれあい ホール
11月12日	2020年度日本生命病院『いい皮膚の日』 講演会 『すぐに役立つ、やけどの基礎知識』 皮膚科医師 赤路 和哉 『来院前にできる、やけどのケア』 看護師 『冬場に注意!低温やけど』 看護師 『やけどの外科治療』 形成再建外科 宮崎 裕子 来場者に対する医療相談・看護相談	皮膚科 あったかサポート センター	あったか ふれあい ホール

日程	講演会・研修会	主催・関係課等	場所
11月20日	<p>日本生命病院 糖尿病フェア</p> <p>I 各種測定・相談</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・血糖値・HbA1c 測定 看護師</li> <li>・血管年齢測定 臨床検査技師</li> <li>・筋肉量・握力測定 理学療法士</li> <li>・栄養相談 管理栄養士</li> <li>・お薬相談 薬剤師</li> <li>・簡易医師相談 医師</li> </ul> <p>II 医師によるミニセミナー 「糖尿病との付き合い方」 総合内科：加藤 更紗</p>	<p>糖尿病・内分泌 センター あったかさポート センター</p>	<p>あったか ふれあい ホール</p>
12月11日	<p>日本生命病院 市民健康セミナー ～30分でよくわかる健康講座～ 「たばこの害について勉強しましょう」 講師：予防医学センター 河面 聡</p>	<p>あったかさポート センター</p>	<p>あったか ふれあい ホール</p>
1月15日	<p>日本生命病院 市民健康セミナー ～30分でよくわかる健康講座～ 「ご存じですか？がんの放射線治療」 講師：中央放射線部 放射線部 次席技師長 新谷 泰正</p>	<p>あったかさポート センター</p>	<p>あったか ふれあい ホール</p>
1月29日	<p>日本生命病院糖尿病セミナー 「血糖値をコントロールする食事療法」 管理栄養士 「糖尿病に関する最近の話題」 糖尿病センター長 住谷 哲</p>	<p>糖尿病・内分泌 センター</p>	<p>あったか ふれあい ホール</p>
2月5日	<p>日本生命病院 市民健康セミナー ～30分でよくわかる健康講座～ 「加齢による眼の病気」 講師：眼科 部長 谷井 啓一</p>	<p>あったかさポート センター</p>	<p>あったか ふれあい ホール</p>
3月12日	<p>日本生命病院 市民健康セミナー ～30分でよくわかる健康講座～ 「どうしよう？認知症」 講師：認知症認定看護師 高原 昭</p>	<p>あったかさポート センター</p>	<p>あったか ふれあい ホール</p>

## 5. 日本生命病院医学賞・医学奨励賞

### 日本生命病院医学賞

該当者なし

### 日本生命病院医学奨励賞

所属	氏名	受賞内容
皮膚科	高田洋子	Alogliptin-induced bullous pemphigoid associated with HLA-DQB1*03:01: a case report (アログリプチンが誘発したHLA (ヒト白血球抗原) DQB1*03:01関連水疱性類天疱瘡)
腎臓内科	光本憲祐	血液透析を離脱し得た、血栓性微小血管症 (TMA) を呈した悪性高血圧症の1例
耳鼻咽喉・頭頸部外科	細野研二	扁桃病巣皮膚疾患に対する扁桃誘発試験の検討と扁桃摘出術の有用性について

## 6. 地域活動

事業等	出務場所	出務日	講師／出務医師	備考
急病診療所出務	西九条休日急病診療所	6月28日(日) 10:00~17:00	二宮隆介	内科担当
		9月27日(日) 10:00~17:00	高島大幸	内科担当
		1月17日(日) 10:00~17:00	三浦夕子	小児科担当
3か月児健康診査	西区保健福祉センター	4~6・8・10~3月 毎月第3水曜日 13:30~ 7~3月 第4水曜日 13:30~	池原千衣子	
3歳児健康診査 (耳鼻咽喉科)	西区保健福祉センター	9月28日(水) 13:45~ 3月3日(水) 13:45~	小泉敏三	
BCG接種	西区保健福祉センター	5~7・9~3月 第4金曜日 13:15~	三浦夕子	
		8月第4金曜日 13:15~	池原千衣子	
大阪西地域産業保健センター 労働健康相談	西区民センター	10月15日(木) 17:30~19:30	高橋 励	産業医による小規模事業所の 労働健康相談

## 7. ボランティアについて

地域に開かれた病院としてボランティアを一般市民から受け入れ、地域との信頼関係を強化し、より一層地域社会に貢献したい。

また、ボランティアは職員と協力し、患者さんが安心して治療を受けられるよう一人一人の患者さんにきめ細かいサービスを提供し、より良い療養環境を作り上げるよう努めていく。

(ボランティア活動は、新型コロナウイルス感染拡大に伴い活動休止中)

### ■概要

名 称 「あったかサポートクラブ」  
発 足 2001年（平成13年）  
登録人数 26人（男性5人、女性21人）  
工房（ワークショップの講師4人）

### 活動内容

#### 案内ボランティア

初再診手続きのサポート、車いす患者の介助、診察・検査等場所の案内  
入院患者さんのサポート（買い物代行・洗濯代行等）

#### 図書ボランティア

外来図書コーナー、病棟図書コーナーの管理

#### ものづくりボランティア

患者さんや、図書の寄付者へのプレゼント作り

#### ガーデンボランティア

ニッセイ四季彩ガーデンの手入れ

#### 工房ボランティア（ワークショップの講師）

- ・ボタニカルアート教室
- ・水墨画教室
- ・絵だより教室
- ・ビーズアクセサリー教室

8. 広報関係（テレビ、新聞、雑誌等）

(1) 新聞

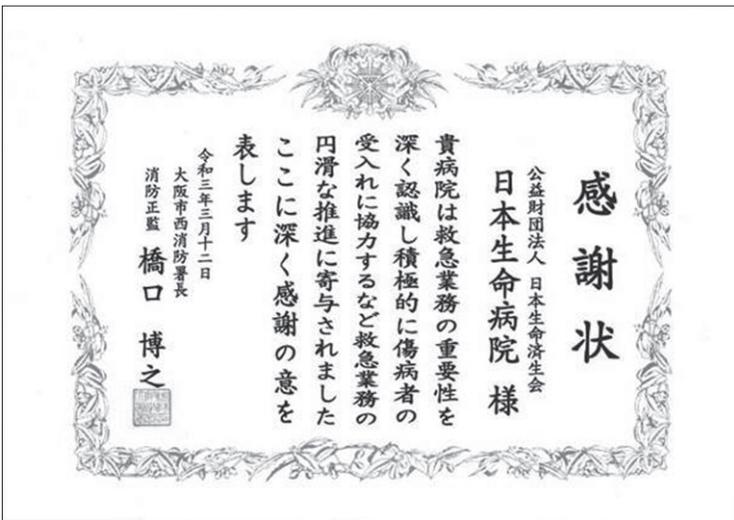
- ・2020年5月28日 日本経済新聞 日刊
- ・2020年5月28日 産経新聞 産経WEST
- ・2020年5月28日 朝日新聞 デジタル

(2) 表彰

- ・西区消防記念日表彰

(3) 監修（日本生命関連）

- ・がん読本（2021年度版）
- ・NISSAYデータブック（2021年度版）



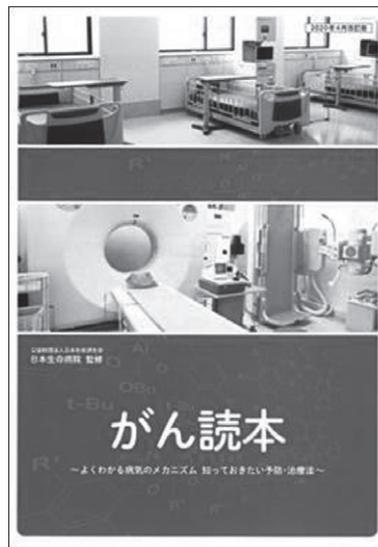
西区消防記念日表彰



『Biz Life Style 関西版 2020年特別編集号』



NISSAYデータブック（2021年度版）



がん読本（2021年度版）



## 9. 院内行事

〈2020年〉

4月1日	・2020年度新入職員入会式
4月1日	・2020年度進発式
4月24日	・CS・ES進発
5月7日	・監査法人トーマツによる会計監査（5/7～5/16、11/16～18、2/25～3/1、3/25・26・31）
5月26日	・第35回定時理事会（書面による決議の省略）
6月12日	・日本生命病院 医学セミナーUpdate（～3/5まで全10回）
6月16日	・第17回 定時評議員会
6月18日	・日本生命病院 地域医療支援運営委員会（9/15、12/15、3/16、6月は書面開催）
6月23日	・決算報告会ならびに2019年度表彰式
6月26日	・CPC（6月26日、10月2日、11月6日、12月15日、3月23日）
7月1日	・日生稲荷神社・日生白玉神社 神事（稲荷祭）
7月10日	・第43回院内感染対策委員会教育講演会
8月5日	・消防・防災訓練（9月25日、12月11日）
8月14日	・よくわかる健康講座（8月14日、9月11日、10月9日、12月11日、1月15日、2月5日、3月12日）
9月4日	・大阪880万人訓練
9月5日	・第21回あわぎフォーラム（特別講演：大阪大学呼吸器外科 新谷康教授）
9月5日	・開放型病院登録医総会
9月5日	・開放型病院運営委員会
9月9日	・地域薬業連携研修会
9月13日	・日本医療マネジメント学会大阪支部学術集会
9月24日	・安否確認訓練
9月25日	・2020年度第1回 消防・防災訓練（9/25、12/11）
9月30日	・令和2年度 医療安全研修（9/30、12/22）
10月3日	・2020年度第1回市民健康セミナー
10月6日	・病院機能評価受審講演会
10月16日	・2020年度下期進発式、日本生命病院医学賞・医学奨励賞表彰式、永年勤続表彰
10月29日	・医療コミュニケーション研修（接遇研修）
10月29日	・院内不在者投票
10月30日	・病院機能評価模擬サーベイ
11月11日	・篤志解剖者慰霊祭
11月12日	・日本生命病院 いい皮膚の日
11月20日	・日本生命病院 糖尿病フェア
11月25日	・せん妄についての研修
11月27日	・安否確認訓練（11/17、2/19）
12月8日	・医療ガスの安全な取り扱い研修
12月11日	・2020年度第2回消防防災訓練
12月17日	・人権研修会「職場の人権～職場のハラスメント、メンタルヘルス～」
12月22日	・第2回医療安全研修
12月23日	・第2回保険診療講習会

〈2021年〉

1月4日	・新年互礼会
1月14日	・ACP研修「医療機関におけるACP～意思決定を支えるチーム医療～」
1月21日	・人権研修会（第2回目）「個人情報と人権～個人情報保護・プライバシー、SNS利用と人権～」
1月29日	・輸血療法講演会「クイズで学ぶ輸血療法」
1月29日	・糖尿病セミナー
2月2日	・院内研修「喫煙の害と禁煙治療について」
2月15日	・病院機能評価訪問審査（2月15日、16日）
2月27日	・日本生命病院 緩和ケア（PEACE）研修会
2月28日	・日本生命病院 JMECC
3月2日	・1年目研修医症例報告会
3月9日	・2年目研修医臨床研修発表会
3月12日	・大阪市西区消防記念日表彰
3月22日	・定時理事会・臨時評議員会（予算）
3月27日	・2020年度診療報酬説明会
3月29日	・佐藤名誉院長特別講義

公益財団法人 日本生命済生会  
**日本生命病院年報**  
公第9巻（通算第20巻） 2021年10月発行

編 集 公益財団法人 日本生命済生会 日本生命病院 年報WG  
発 行 公益財団法人 日本生命済生会 日本生命病院  
住 所 〒550-0006 大阪市西区江之子島2丁目1番54号  
T E L (06) 644-33-446（代表）  
U R L <https://www.nissay-hp.or.jp/>